

目 次

○平成 21 年度市民参加の実施状況 平成 20 年度との比較・過去の状況	1～20
○平成 21 年度市民参加の実施状況	21～26
○公募市民委員アンケート集計結果	27～56
○公募市民委員アンケート用紙	57～58
○新聞折込パブリックコメント試行実施について（報告）	59～60
○平成 21 年度市民協働事業概要調査	61～74
○平成 21 年度市民協働事業概要調査一覧	75～99
○市民協働事業評価アンケート 評価のまとめ	100～103
○市民協働事業評価アンケート結果	104～163
○市民協働事業評価アンケート用紙	164～166

平成 21 年度 市民参加の実施状況 平成 20 年度との比較・過去の状況

【審議会等】

1. 審議会等の数

平成 21 年度 会議数 42

平成 20 年度 会議数 42

市で設置している審議会等（委員会・協議会等）のうち、審議・検討内容が基本条例第5条に当てはまるもの、及び自主的に市民参加手続を行っている会議の数

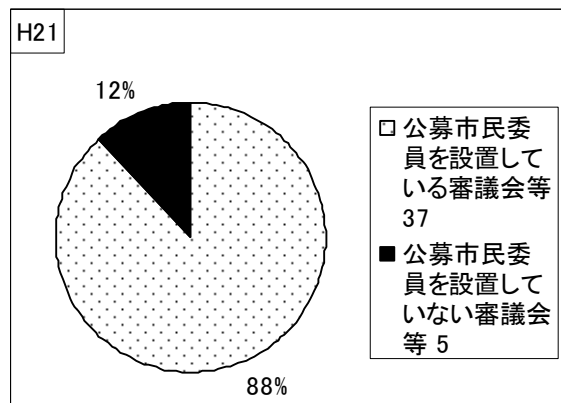
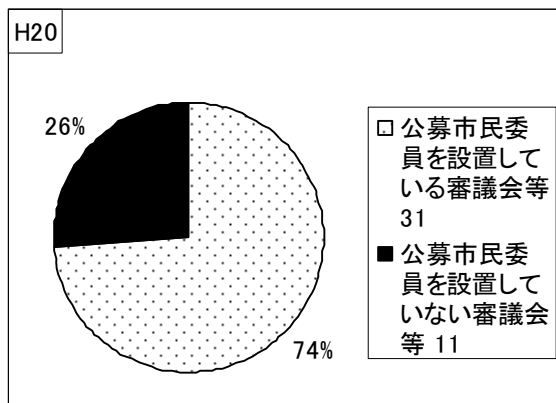
2. 公募市民委員の有無

平成 21 年度

公募市民委員を設置している審議会等	37 件	88%
公募市民委員を設置していない審議会等	5 件	12%
計	42 件	

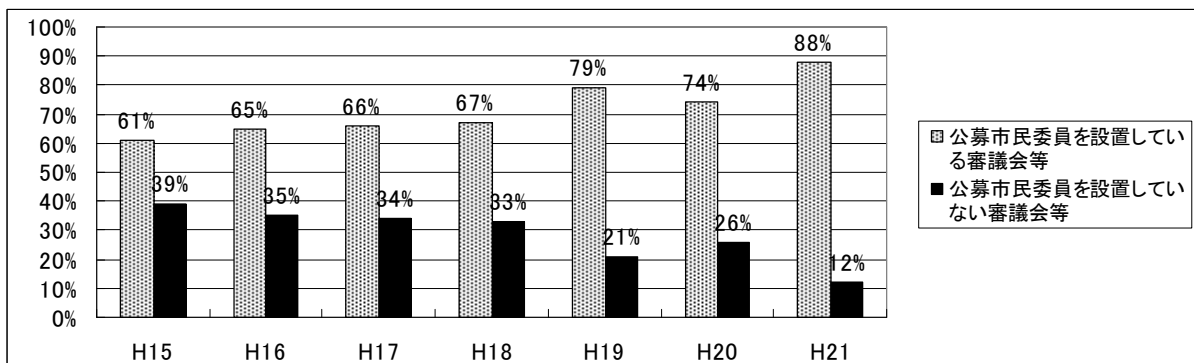
平成 20 年度

公募市民委員を設置している審議会等	31 件	74%
公募市民委員を設置していない審議会等	11 件	26%
計	42 件	



過去の状況

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
公募市民委員を設置している審議会等	61%	65%	66%	67%	79%	74%	88%
公募市民委員を設置していない審議会等	39%	35%	34%	33%	21%	26%	12%



3. 公募市民委員枠がない場合の理由

平成 21 年度

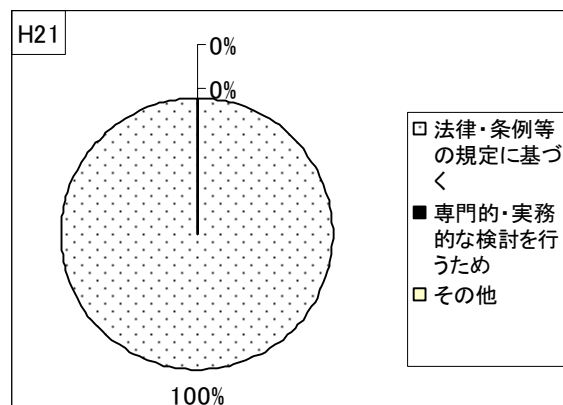
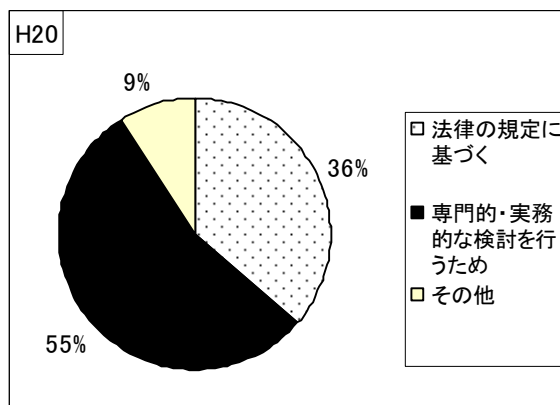
法律・条例等の規定に基づく	5 件	100%
専門的・実務的な検討を行うため	0 件	0%
その他	0 件	0%
計	5 件	

全て根拠規定に基き、市民委員枠を設けず、関係機関職員や専門的知識のある者等で構成している。

平成 20 年度

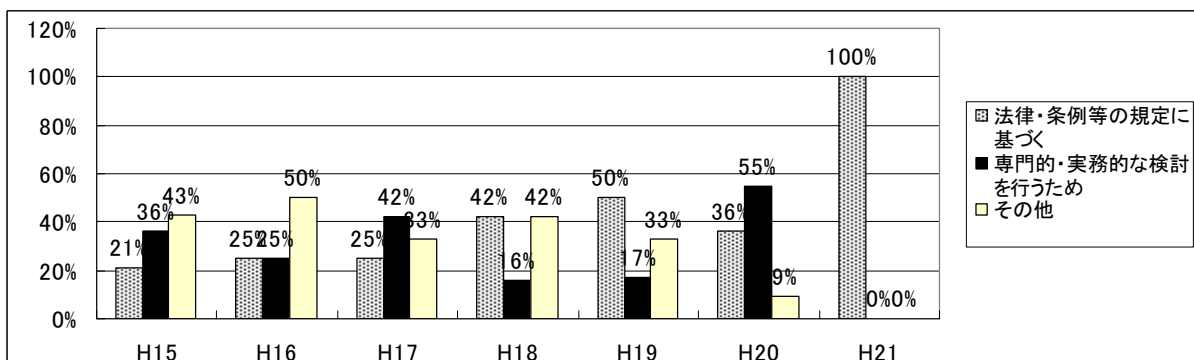
法律の規定に基づく	4 件	36%
専門的・実務的な検討を行うため	6 件	55%
その他	1 件	9%
計	11 件	

専門的の理由として関係機関職員で構成が 4 件。実務的の理由として関係機関の委員で構成が 2 件あった。「その他」は、「市民ではあるが公民館利用団体からの選出」。



過去の状況

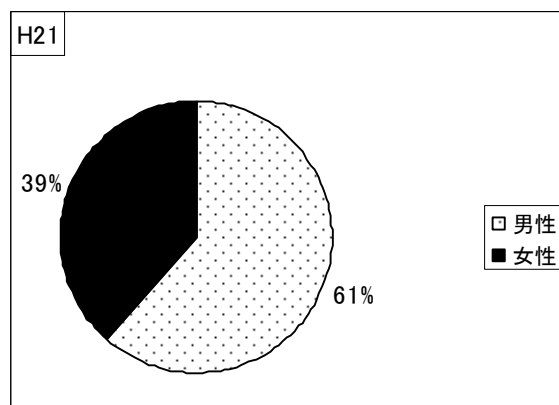
	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
法律・条例等の規定に基づく	21%	25%	25%	42%	50%	36%	100%
専門的・実務的な検討を行うため	36%	25%	42%	16%	17%	55%	0%
その他	43%	50%	33%	42%	33%	9%	0%



4. 公募市民委員の男女の割合

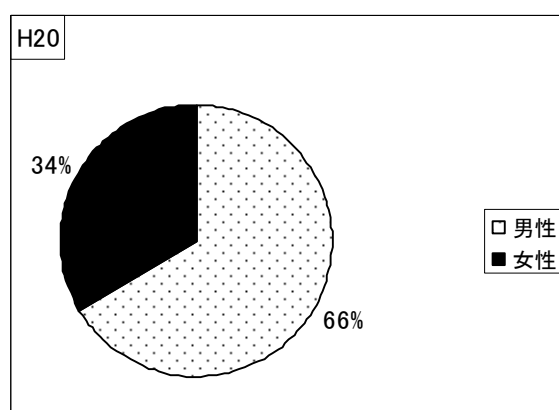
平成 21 年度

男性	94 名	61%
女性	59 名	39%
計	153 名	



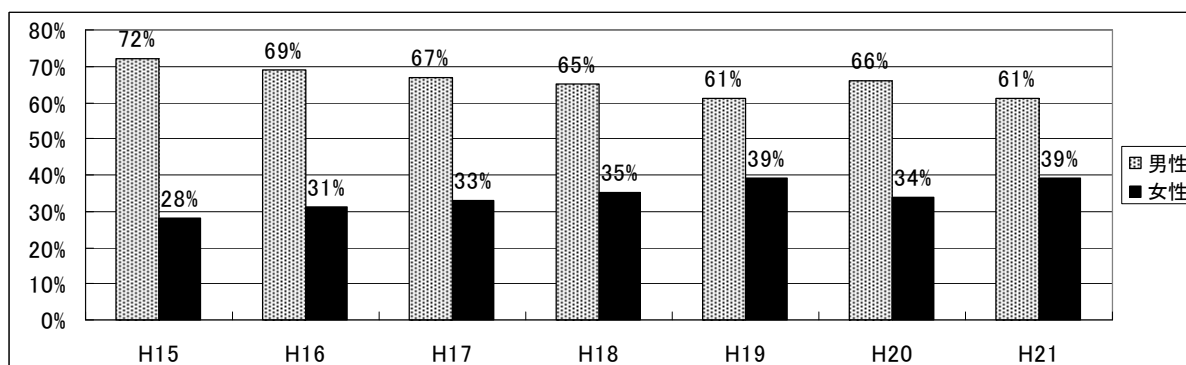
平成 20 年度

男性	65 名	66%
女性	33 名	34%
計	98 名	



過去の状況

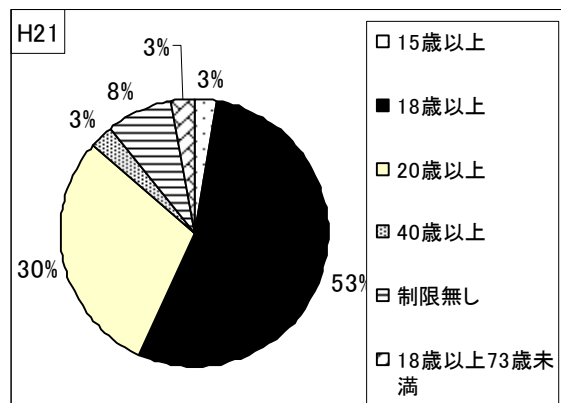
	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
男性	72%	69%	67%	65%	61%	66%	61%
女性	28%	31%	33%	35%	39%	34%	39%



5. 公募市民委員の応募条件 <年齢>

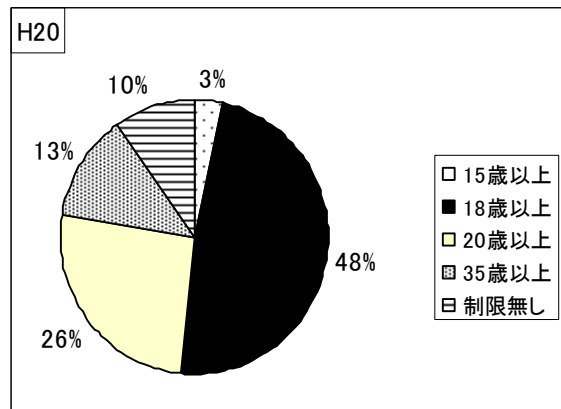
平成 21 年度

15 歳以上	1 件	3%
18 歳以上	20 件	53%
20 歳以上	11 件	30%
40 歳以上	1 件	3%
制限無し	3 件	8%
18 歳以上 73 歳未満	1 件	3%
計	37 件	



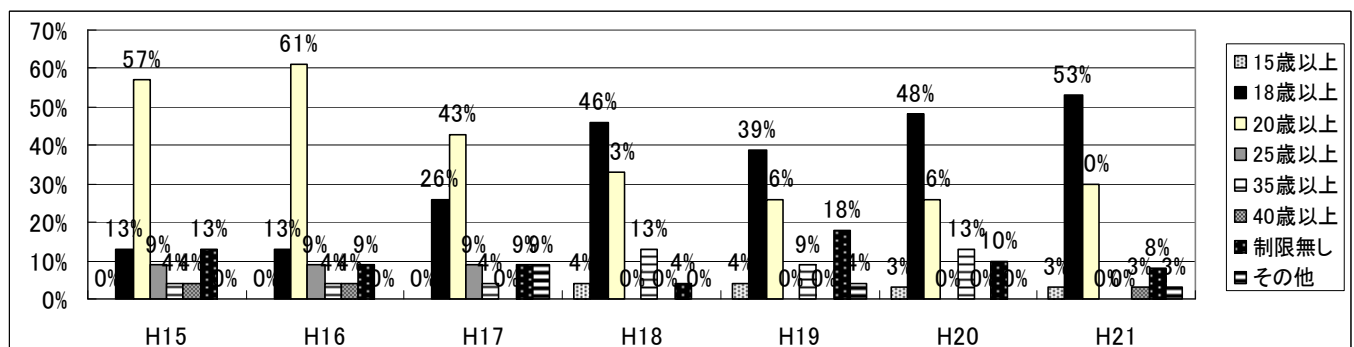
平成 20 年度

15 歳以上	1 件	3%
18 歳以上	15 件	48%
20 歳以上	8 件	26%
35 歳以上	4 件	13%
制限無し	3 件	10%
計	31 件	



過去の状況

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
15 歳以上	0%	0%	0%	4%	4%	3%	3%
18 歳以上	13%	13%	26%	46%	39%	48%	53%
20 歳以上	57%	61%	43%	33%	26%	26%	30%
25 歳以上	9%	9%	9%	0%	0%	0%	0%
35 歳以上	4%	4%	4%	13%	9%	13%	0%
40 歳以上	4%	4%	0%	0%	0%	0%	3%
制限無し	13%	9%	9%	4%	18%	10%	8%
その他	0%	0%	9%	0%	4%	0%	3%

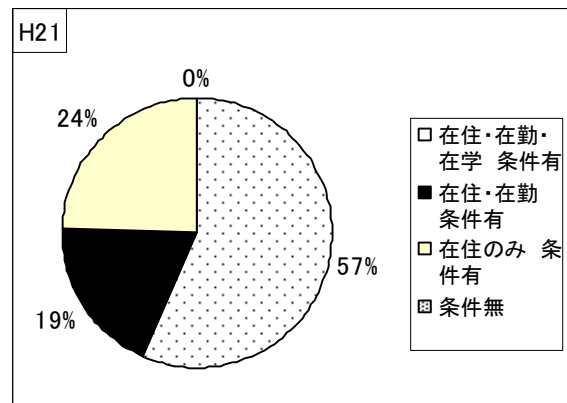


※平成17年度より18歳以上の条件が増加。

6. 公募市民委員の応募条件 <在住><在勤><在学>

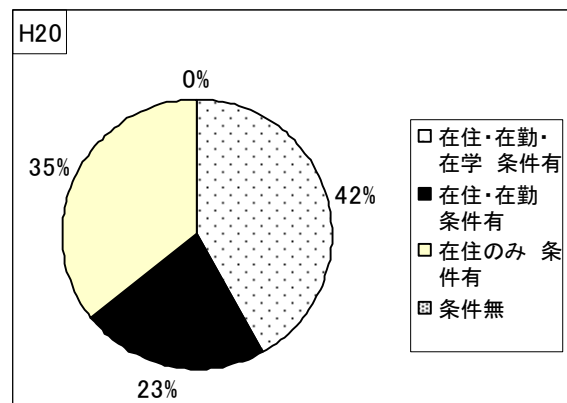
平成 21 年度

在住・在勤・ 在学条件有	21 件	57%
在住・在勤 条件有	7 件	19%
在住のみ 条件有	9 件	24%
条件無	0 件	0%
計	37 件	



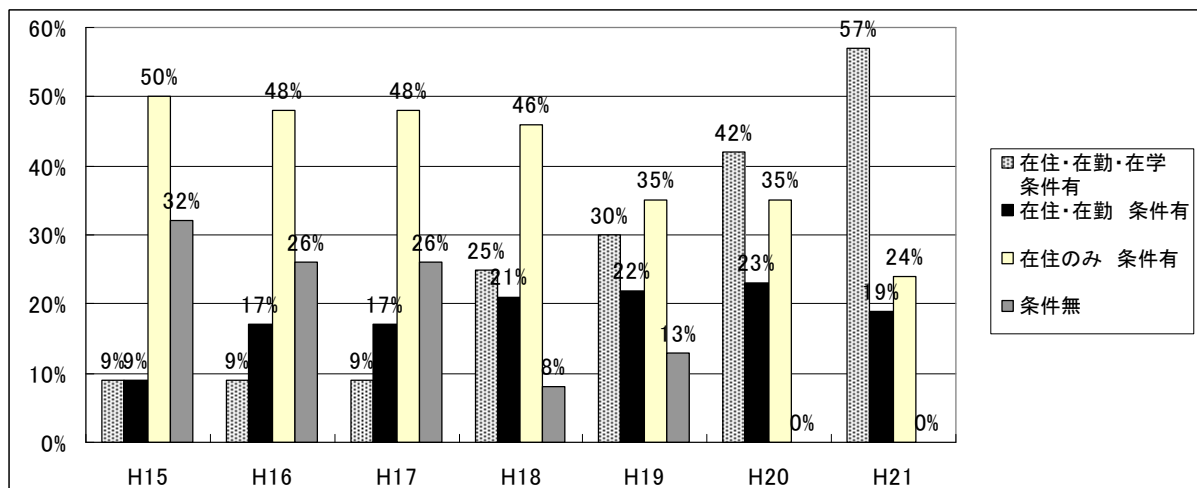
平成 20 年度

在住・在勤・ 在学条件有	13 件	42%
在住・在勤 条件有	7 件	23%
在住のみ 条件有	11 件	35%
条件無	0 件	0%
計	31 件	



過去の状況

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
在住・在勤・在学 条件有	9%	9%	9%	25%	30%	42%	57%
在住・在勤 条件有	9%	17%	17%	21%	22%	23%	19%
在住のみ 条件有	50%	48%	48%	46%	35%	35%	24%
条件無	32%	26%	26%	8%	13%	0%	0%



※在住・在勤・在学条件有が 6 割弱。

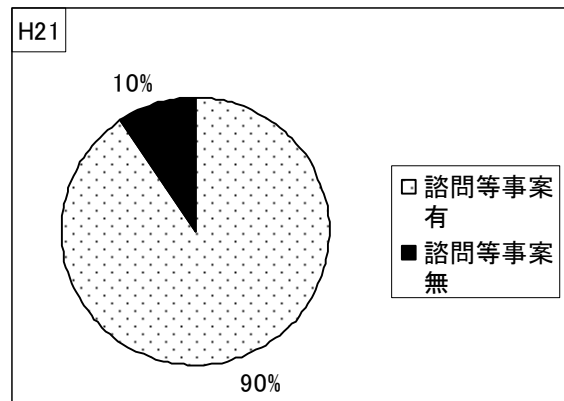
7. 公募市民委員の応募条件 <その他>

公募市民委員の応募条件として、その他には、「事業関係者」、「国民健康保険被保険者」、「公民館利用団体の構成員」等の条件を付している。

8. 諮問等事案の有無

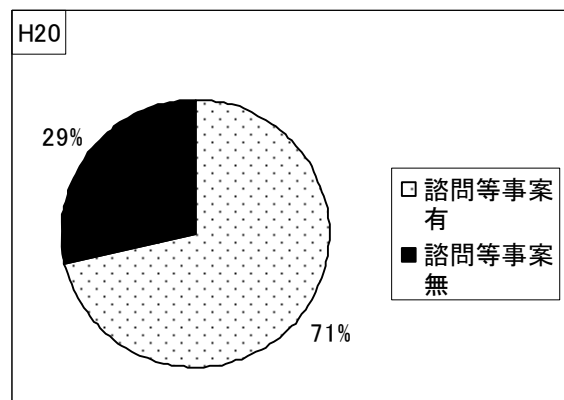
平成 21 年度

諮問等事案有	38 件	90%
諮問等事案無	4 件	10%
計	42 件	



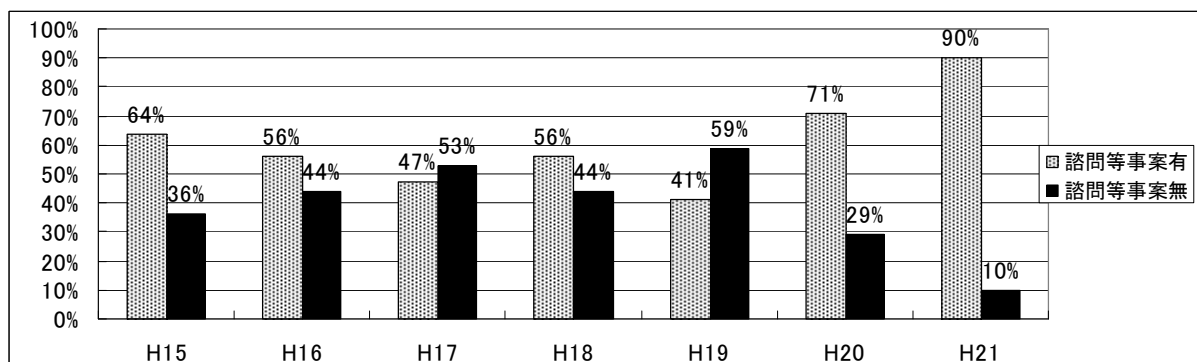
平成 20 年度

諮問等事案有	30 件	71%
諮問等事案無	12 件	29%
計	42 件	



過去の状況

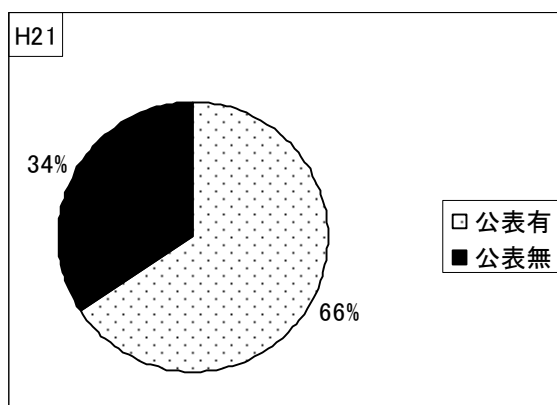
	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
諮問等事案有	64%	56%	47%	56%	41%	71%	90%
諮問等事案無	36%	44%	53%	44%	59%	29%	10%



9. 諮問等事案の公表の有無

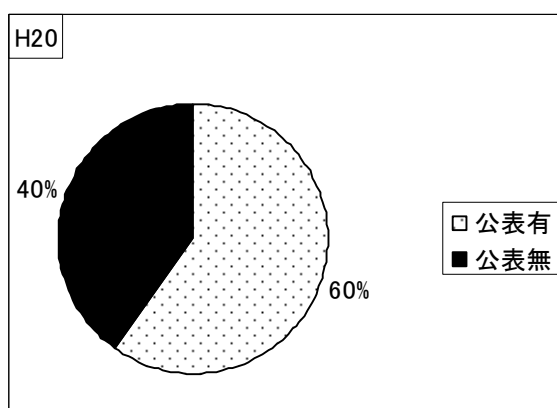
平成 21 年度

公表有	25 件	66%
公表無	13 件	34%
計	38 件	



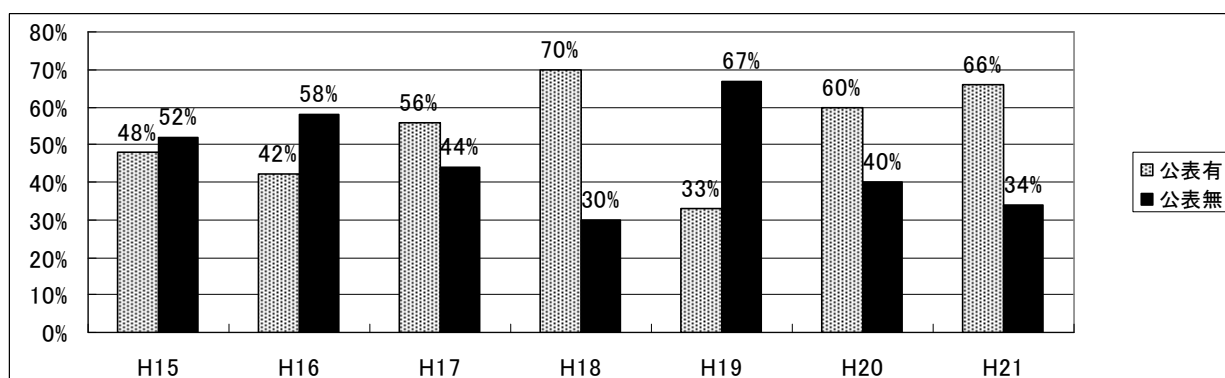
平成 20 年度

公表有	18 件	60%
公表無	12 件	40%
計	30 件	



過去の状況

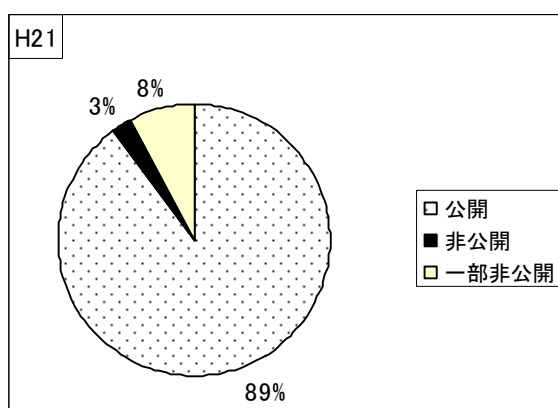
	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
公表有	48%	42%	56%	70%	33%	60%	66%
公表無	52%	58%	44%	30%	67%	40%	34%



10. 審議会等の公開

平成 21 年度（開催された会議）

公開	35 件	89%
非公開	1 件	3%
一部非公開	3 件	8%
計	39 件	



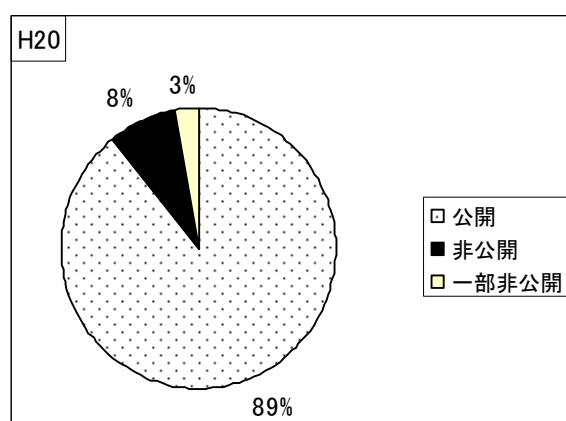
設置はされているが未開催会議が 3 件。

非公開の理由は、「審議事項が個人情報に及ぶ恐れがあるため」。

一部非公開の理由は、「個人情報の保護」、「人事案件のみ非公開」。

平成 20 年度（開催された会議）

公開	33 件	89%
非公開	3 件	8%
一部非公開	1 件	3%
計	37 件	



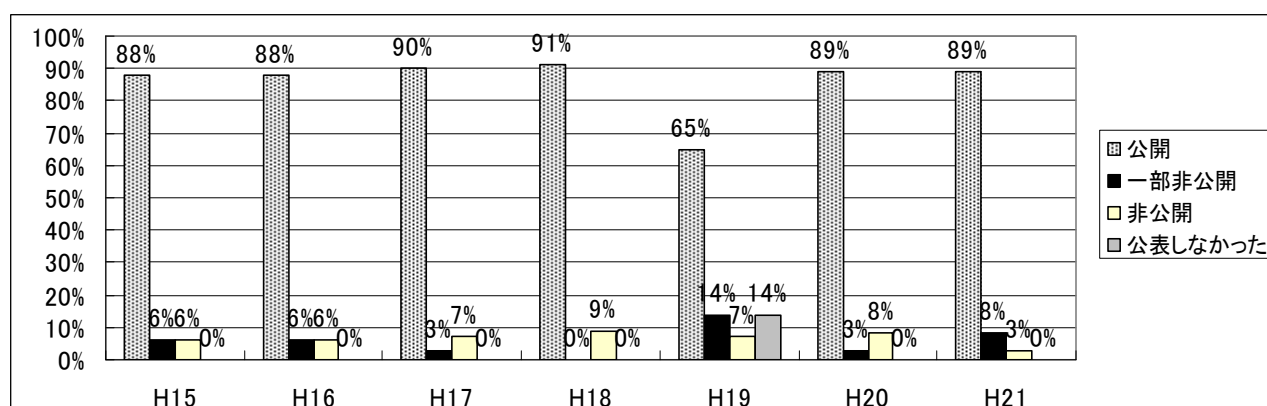
設置はされているが未開催会議が 5 件。

非公開の会議の理由は、「個人情報が含まれるため」、「自由な審議が出来なくなるため」。

一部非公開は人事案件の部分のみ非公開。

過去の状況

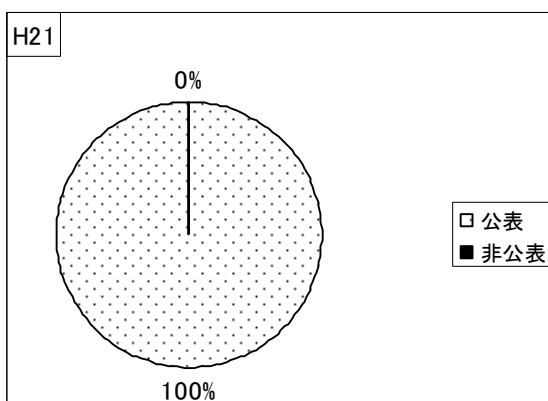
	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
公開	88%	88%	90%	91%	65%	89%	89%
一部非公開	6%	6%	3%	0%	14%	3%	8%
非公開	6%	6%	7%	9%	7%	8%	3%
公表しなかった	0%	0%	0%	0%	14%	0%	0%



11. 会議録の公表

平成 21 年度（下表以外に、未開催会議が 3 件ある。）

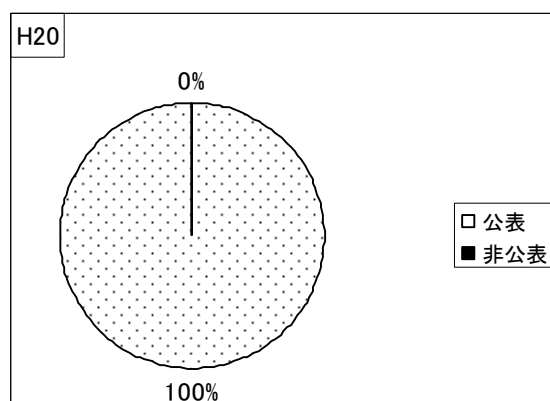
公表	39 件	100%
非公表	0 件	0%
計	39 件	



平成 20 年度

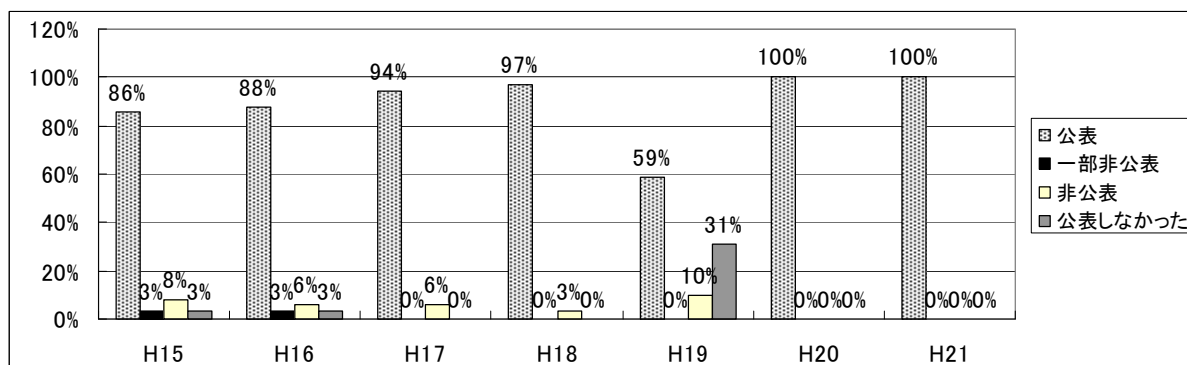
（下表以外に、未開催会議が 5 件、会議非公開につき会議録なしが 1 件ある。）

公表	36 件	100%
非公表	0 件	0%
計	36 件	



過去の状況

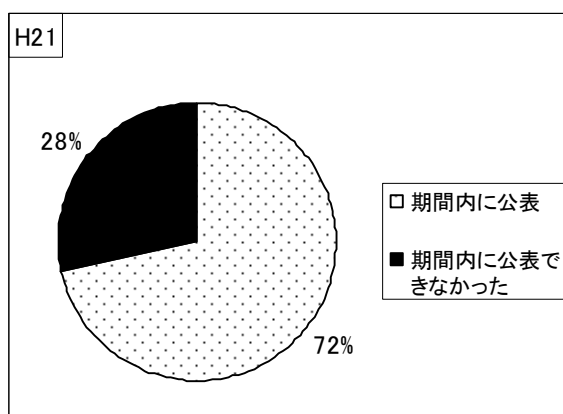
	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
公表	86%	88%	94%	97%	59%	100%	100%
一部非公表	3%	3%	0%	0%	0%	0%	0%
非公表	8%	6%	6%	3%	10%	0%	0%
公表しなかった	3%	3%	0%	0%	31%	0%	0%



12. 会議録の公表の時期（4週間以内に公表）

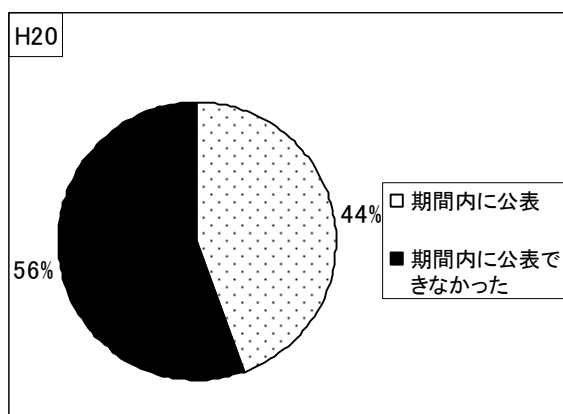
平成 21 年度

期間内に公表	28 件	72%
期間内に公表できなかった	11 件	28%
計	39 件	



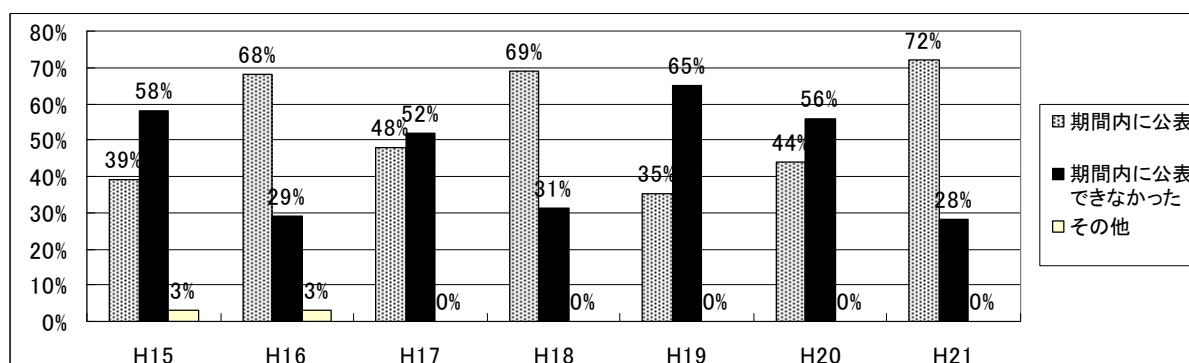
平成 20 年度

期間内に公表	16 件	44%
期間内に公表できなかった	20 件	56%
計	36 件	



過去の状況

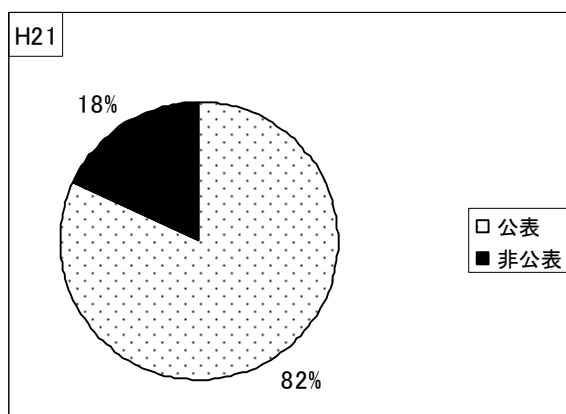
	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
期間内に公表	39%	68%	48%	69%	35%	44%	72%
期間内に公表できなかった	58%	29%	52%	31%	65%	56%	28%
その他	3%	3%	0%	0%	0%	0%	0%



13. 委員名の公表

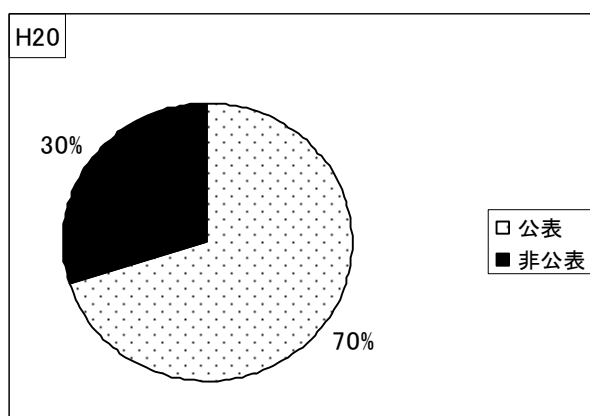
平成 21 年度

公表	32 件	82%
非公表	7 件	18%
計	39 件	



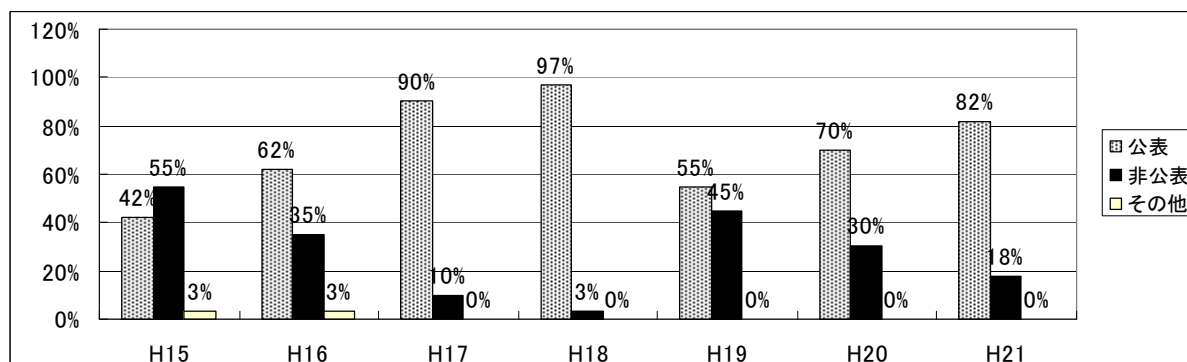
平成 20 年度

公表	26 件	70%
非公表	11 件	30%
計	37 件	



過去の状況

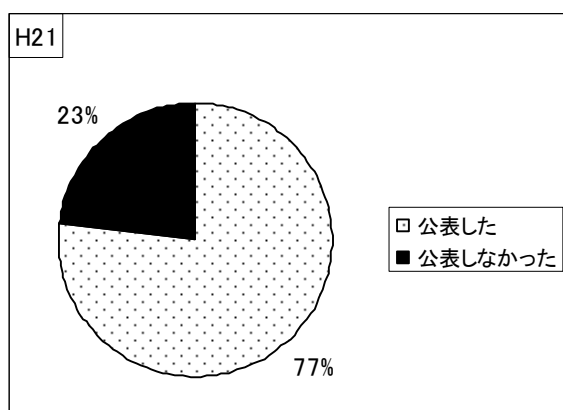
	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
公表	42%	62%	90%	97%	55%	70%	82%
非公表	55%	35%	10%	3%	45%	30%	18%
その他	3%	3%	0%	0%	0%	0%	0%



14. 審議会等の開催予定の公表

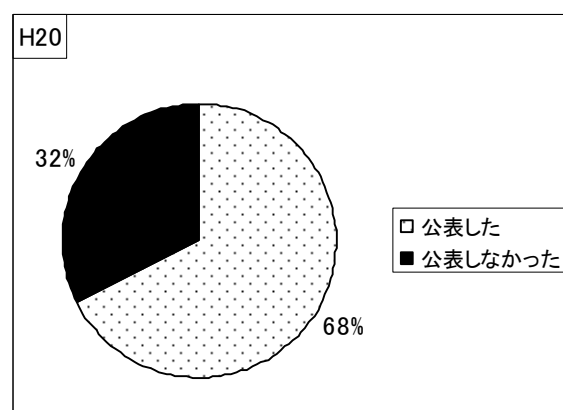
平成 21 年度

公表した	30 件	77%
公表しなかった	9 件	23%
計	39 件	



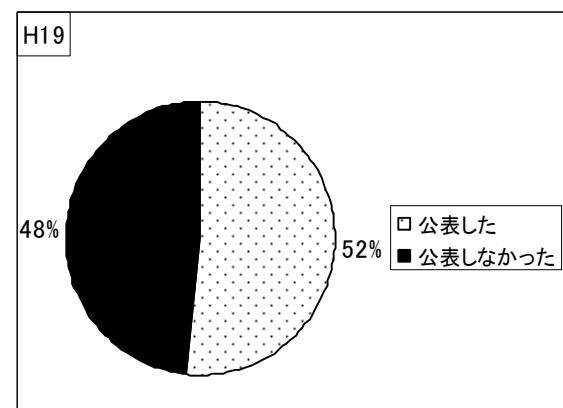
平成 20 年度

公表した	25 件	68%
公表しなかった	12 件	32%
計	37 件	



平成 19 年度

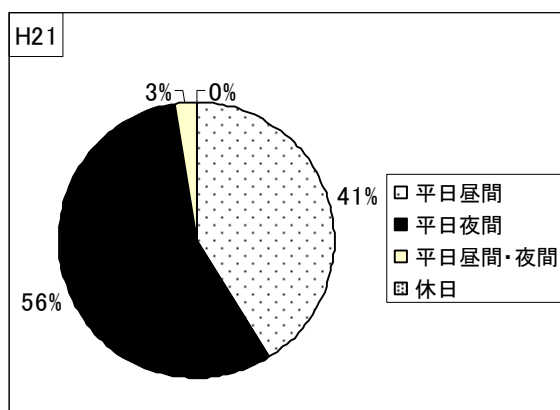
公表した	15 件	52%
公表しなかった	14 件	48%
計	29 件	



15. 審議会等の会議の開催時間

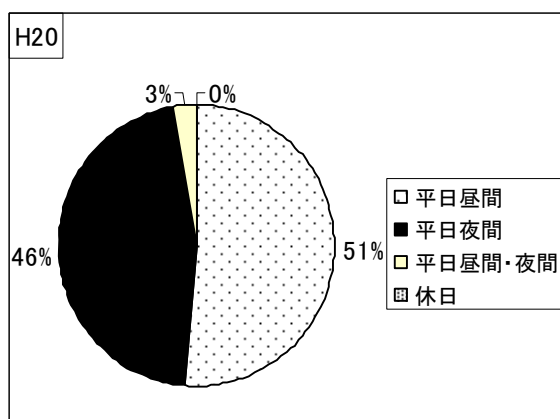
平成 21 年度

平日昼間	16 件	41%
平日夜間	22 件	56%
平日昼間・夜間	1 件	3%
休日	0 件	0%
計	39 件	



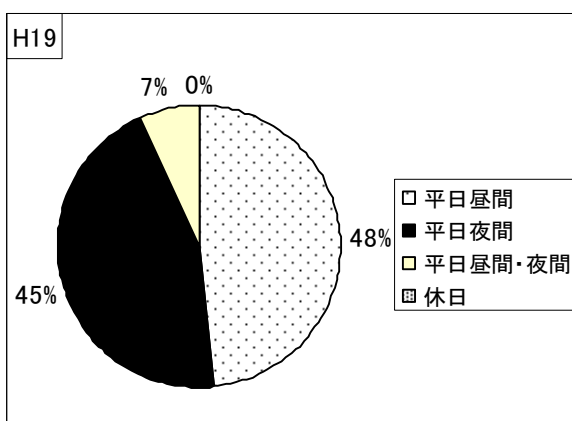
平成 20 年度

平日昼間	19 件	51%
平日夜間	17 件	46%
平日昼間・夜間	1 件	3%
休日	0 件	0%
計	37 件	



平成 19 年度

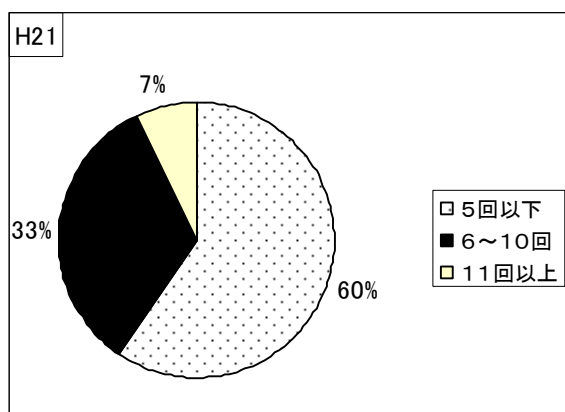
平日昼間	14 件	48%
平日夜間	13 件	45%
平日昼間・夜間	2 件	7%
休日	0 件	0%
計	29 件	



16. 会議開催回数

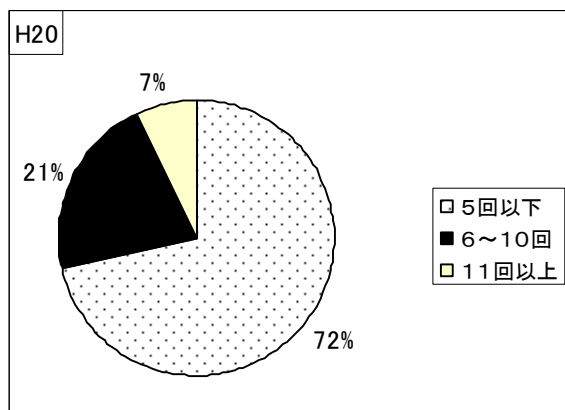
平成 21 年度

5 回以下	25 件	60%
6 ～ 10 回	14 件	33%
11 回以上	3 件	7%
計	42 件	



平成 20 年度

5 回以下	30 件	72%
6 ～ 10 回	9 件	21%
11 回以上	3 件	7%
計	42 件	



【パブリックコメント】

平成 18 年度

案件	狛江市の市民参加と市民協働の推進に関する基本条例の一部改正素案	狛江市国民保護計画(素案)	狛江市地域防災計画修正素案	狛江市農業振興計画
担当課	市民協働課	総務防災課	総務防災課	産業生活課
意見提出者	2 人	6 人	2 人	なし

平成 19 年度

案件	狛江市耐震改修促進計画案	中学校給食実施案
担当課	総務防災課	学校教育課
意見提出者	1 人	3 人

平成 20 年度

案件	第 2 期狛江市障害福祉計画素案	狛江市コミュニティバス運行内容	狛江市商店街振興プランの改定素案	公共施設再編方針（委員長報告書案）
担当課	福祉サービス支援室	都市整備課	地域活性課	政策室
意見提出者	1 2 人	3 0 人	8 人	7 4 人

平成 21 年度

案件	狛江市地域防災計画（21 年度修正）	狛江市次世代育成支援行動計画（後期）	狛江市下水道総合計画	狛江市男女共同参画推進計画策定
担当課	安心安全課	子育て支援課	上下水道課	政策室
意見提出者	5 人	2 人	3 人	1 1 人

案件	狛江市第3次基本 構想策定	狛江市前期基本計 画策定
担当課	政策室	政策室
意見提出 者	104人	44人

【公聴会】

平成17・18・19・20・21年度、公聴会は実施されなかった。

【その他の市民参加の手続き】

1. 実施内容・件数

平成 18 年度実施

市民説明会	3 件
シンポジウム	1 件
その他	3 件
計	7 件

平成 19 年度実施

市民説明会	3 件
シンポジウム	2 件
その他	4 件
計	9 件

平成 20 年度実施

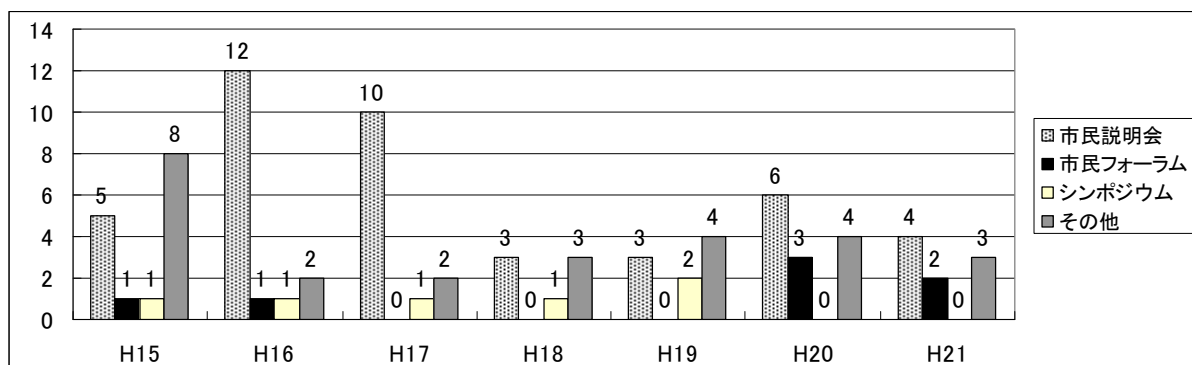
市民説明会	6 件
市民フォーラム	3 件
シンポジウム	0 件
その他	4 件
計	13 件

平成 21 年度実施

市民説明会	4 件
市民フォーラム	2 件
シンポジウム	0 件
その他	3 件
計	9 件

過去の状況

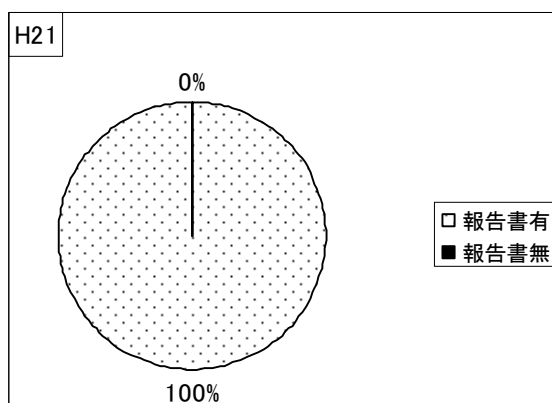
	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
市民説明会	5 件	12 件	10 件	3 件	3 件	6 件	4 件
市民フォーラム	1 件	1 件	0 件	0 件	0 件	3 件	2 件
シンポジウム	1 件	1 件	1 件	1 件	2 件	0 件	0 件
その他	8 件	2 件	2 件	3 件	4 件	4 件	3 件



2. 報告書作成の有無

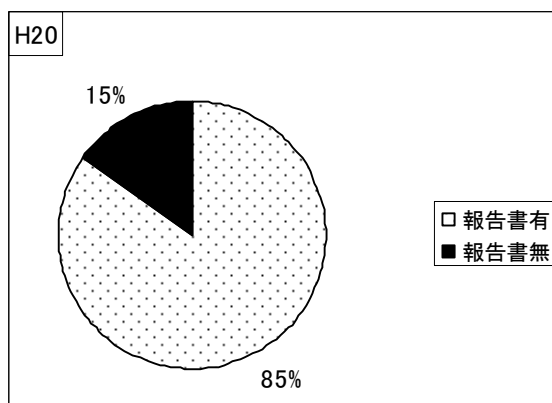
平成 21 年度実施

報告書有	9 件	100%
報告書無	0 件	0%
計	9 件	



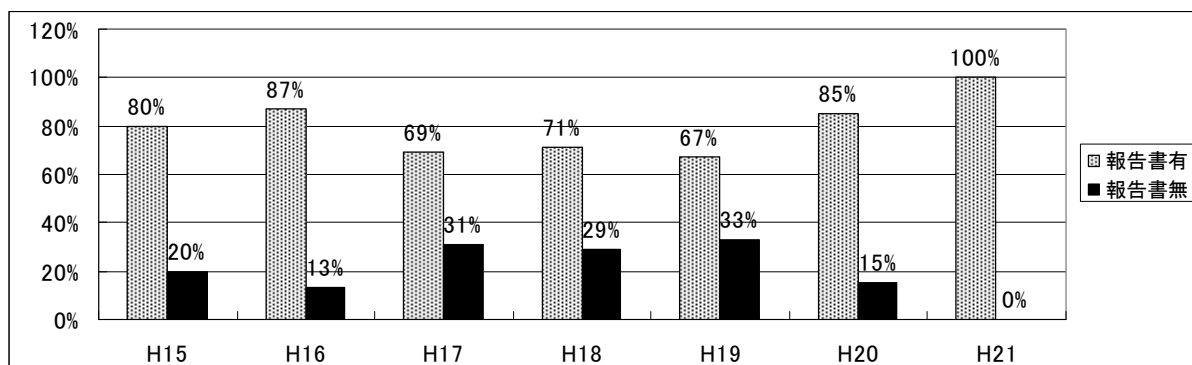
平成 20 年度実施

報告書有	11 件	85%
報告書無	2 件	15%
計	13 件	



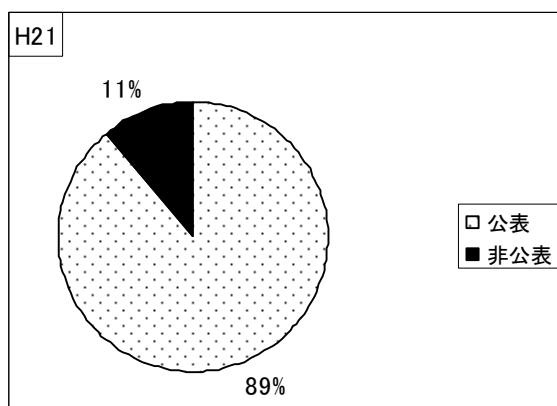
過去の状況

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
報告書有	80%	87%	69%	71%	67%	85%	100%
報告書無	20%	13%	31%	29%	33%	15%	0%



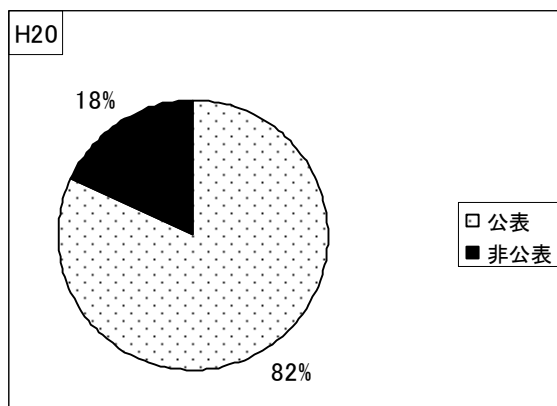
3. 報告書等の公表 平成 21 年度実施

公表	8 件	89%
非公表	1 件	11%
計	9 件	



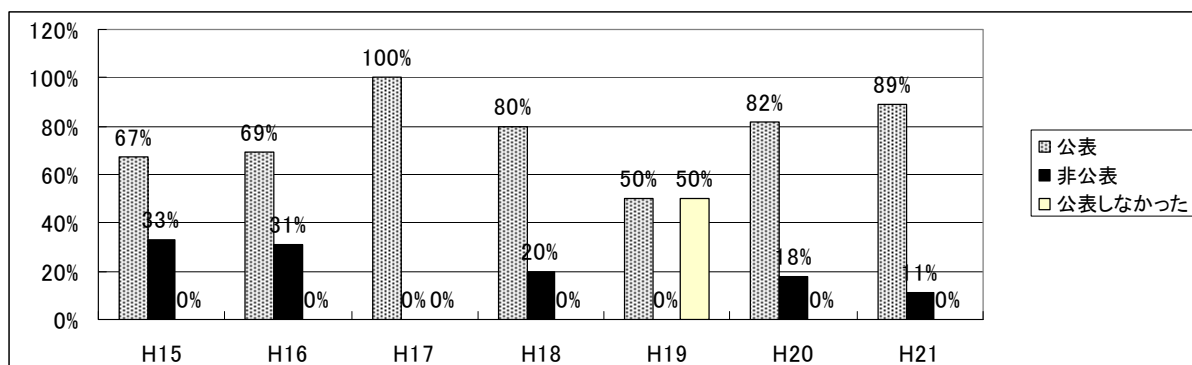
平成 20 年度実施

公表	9 件	82%
非公表	2 件	18%
計	11 件	



過去の状況

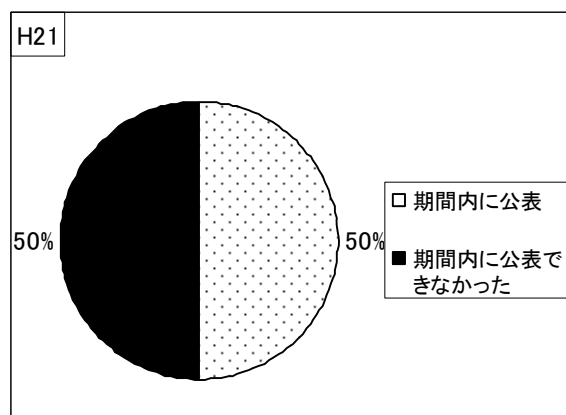
	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
公表	67%	69%	100%	80%	50%	82%	89%
非公表	33%	31%	0%	20%	0%	18%	11%
公表しなかった	0%	0%	0%	0%	50%	0%	0%



4. 報告書等の公表時期（4週間以内に公表）

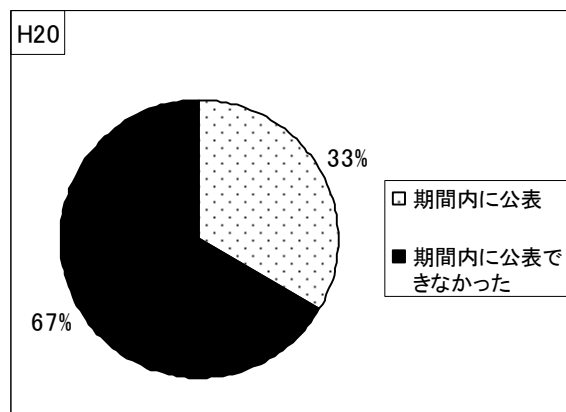
平成 21 年度

期間内に公表	4 件	50%
期間内に公表できなかった	4 件	50%
計	8 件	



平成 20 年度

期間内に公表	3 件	33%
期間内に公表できなかった	6 件	67%
計	9 件	



平成21年度 市民参加の実施状況【審議会等】

主管課	担当係	審議会等名称	諮問・検討内容	市民参加の対象 ＊「泊江市の市民参加と市民協働の推進に関する基本条例」第5条より	公募市民委員の有無	
					公募市民委員の有無	公募市民委員枠がない場合の理由
政策室	秘書担当	泊江市長の資産等の公開に関する審査会	資産等報告書等の審査その他の処理を行なうため	その他、自主的に市民参加を行っている	有	—
政策室	企画法制担当	泊江市個人情報保護審議会	泊江市個人情報保護条例の改正又は廃止に関する事項等、市長の諮問に基づく個人情報保護制度に関する必要な事項の審議。電子計算処理等の運用に係る基本的事項に関すること。	その他、自主的に市民参加を行っている	有	—
政策室	企画法制担当	泊江市個人情報保護審査会	個人情報情報の開示請求又は訂正請求並びに中止請求に対する決定についての不服申立に関する諮問事項の審査	その他、自主的に市民参加を行っている	有	—
政策室	企画法制担当	泊江市情報公開審査会	条例に基づく不服申し立てがあった場合の審査。	その他、自主的に市民参加を行っている	有	—
政策室	企画法制担当	泊江市総合基本計画審議会	泊江市第3次基本構想、泊江市前期基本計画策定	(1)市の基本構想及び基本的事項を定める計画等の策定又は変更	有	—
政策室	企画法制担当	泊江市基本計画策定市民分科会	基本計画の策定に関し必要な事項について審議及び調整し、泊江市総合基本計画審議会に報告する。	(1)市の基本構想及び基本的事項を定める計画等の策定又は変更	有	—
政策室	企画法制担当	泊江市第4次行財政改革大綱策定委員会	泊江市第4次行財政改革大綱の策定に関し、必要な事項について審議及び調整し市長に報告する。	(1)市の基本構想及び基本的事項を定める計画等の策定又は変更	有	—
政策室	協働調整担当	泊江市市民参加と市民協働の推進に関する審議会	市民参加と市民協働に関する指針の検討。市民参加と市民協働の実施状況に関する総合的評価の実施。市民参加と市民協働の推進の検討と改善。市民参加の手続きの方法及び市民協働事業の提案に関する事項。この条例の改正又は廃止に関する事項。	(2)市政に関する基本方針、市民に義務を課し、市民の権利を制限する内容の条例の制定改廃	有	—
政策室	協働調整担当	泊江市男女共同参画推進計画策定委員会	計画に関する調査、研究及び協議に関すること。計画策定に関すること。	(1)市の基本構想及び基本的事項を定める計画等の策定又は変更	有	—
安心安全課	安心安全係	泊江市防災会議	地域防災計画を作成、実施の推進・泊江市地域内にかかる災害が発生した場合において、災害情報の収集に関すること	(1)市の基本構想及び基本的事項を定める計画等の策定又は変更	無	防災会議条例3条(関係機関職員)
安心安全課	安心安全係	泊江市国民保護協議会	国民保護のための措置、国民保護のに関する計画作成	(3)広く市民に適用、重大な影響を及ぼす制度の導入改廃	無	武力攻撃事態における国民の保護のための措置法40条4項
安心安全課	安心安全係	泊江市交通対策調整会議	交通事故防止等の総合計画に関すること。交通事故防止等の施策に関すること。	(1)市の基本構想及び基本的事項を定める計画等の策定又は変更	有	—
安心安全課	安心安全係	泊江市生活安全対策協議会	市民生活の安全に関する意識の高揚を図るための啓発、市民等の自主的な防犯活動に対する援助、市民生活の安全を図るための環境整備、犯罪・事故等の現状把握及び防止対策	その他、自主的に市民参加を行っている	有	-
職員課	人事研修係	泊江市特別職報酬等審議会	市議会議員の報酬の額及び市長等常勤の特別職の給料の額について	その他、自主的に市民参加を行っている	有	—
地域活性課	市民文化係	「音楽の街-泊江」構想推進委員会	「音楽の街-泊江」構想を推進するための計画の策定に関すること。「音楽の街-泊江」構想を推進するための事業の立ち上げ支援に関すること。	(1)市の基本構想及び基本的事項を定める計画等の策定又は変更	有	—
地域活性課	地域振興係	泊江市民花火大会準備委員会	花火大会の安全開催に向けた企画立案に関すること・協賛団体等へ花火大会への参加及び協力を呼びかけることに関すること・花火大会開催のための協賛金を集める計画に関すること	(3)広く市民に適用、重大な影響を及ぼす制度の導入改廃	有	—
福祉サービス支援室	総合調整担当	市民福祉推進委員会	福祉計画の策定・市民福祉の推進及び調整に係る重要事項・不服申し立て	(3)広く市民に適用、重大な影響を及ぼす制度の導入改廃	有	-
介護支援課	介護保険係	泊江市介護保険推進市民協議会	介護保険制度の運営の円滑化又は変更。介護サービスの提供、確保、サービス水準の向上。介護サービスの基盤整備。第1号被保険者の保険料の減免及び利用料の軽減。介護認定。介護サービスに関する相談及び苦情の解決。その他介護保険制度に関して必要と認める事項	(2)市政に関する基本方針、市民に義務を課し、市民の権利を制限する内容の条例の制定改廃	有	—
介護支援課	高齢者支援係	泊江市地域包括支援センター運営協議会	センターの設置等に関する事項を調査・協議、センターの運営、センターの職員の確保に関すること、その他地域包括ケアに関すること	(3)広く市民に適用、重大な影響を及ぼす制度の導入改廃	有	—
健康支援課	保険年金係	泊江市国民健康保険運営協議会	一部負担金の負担割合に関すること。保険料の賦課方法に関すること。療養の給付期間に関すること。保険給付の種類および内容に関すること。保健事業の実施大綱の策定に関すること。その他国民健康保険事業運営に関する重要事項。	(2)市政に関する基本方針、市民に義務を課し、市民の権利を制限する内容の条例の制定改廃	有	—
健康支援課	健康推進係	泊江市健康づくり推進協議会	市民の健康づくりの啓発及び各種事業への参加推進。市の健康づくり事業全般に渡っての調査・検討	(3)広く市民に適用、重大な影響を及ぼす制度の導入改廃	有	—
健康支援課	健康推進係	泊江市食育推進検討委員会	推進計画の検討及び施策の推進、その他食育推進	(3)広く市民に適用、重大な影響を及ぼす制度の導入改廃	有	—
児童青少年課	児童青少年係	泊江市青少年問題協議会	青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する総合的施策の樹立につき調査審議、施策の実施のための関係行政機関相互の連絡調整	(1)市の基本構想及び基本的事項を定める計画等の策定又は変更	無	地方青少年問題協議会法3条、条例、規則
児童青少年課	児童青少年係	泊江市青少年問題協議会小委員会	青少年健全育成施策推進に際し、具体的な実施計画等の調整及び推進に資する。	(1)市の基本構想及び基本的事項を定める計画等の策定又は変更	有	-
児童青少年課	児童青少年係	泊江市青少年委員の会議	青少年の余暇指導。青少年団体の育成。青少年指導者に対する援助。官公署、学校および青少年関係団体相互の連絡。青少年教育の振興。	その他、自主的に市民参加を行っている	有	-
子育て支援課	企画支援係	泊江市次世代育成支援行動計画策定委員会	行動計画策定のため調査研究を行い、計画案を策定。	(1)市の基本構想及び基本的事項を定める計画等の策定又は変更	有	—
環境管理課	環境整備係	泊江市環境保全審議会	環境基本計画。環境の保全等についての基本的事項。	(1)市の基本構想及び基本的事項を定める計画等の策定又は変更	有	—
環境管理課	環境整備係	泊江市環境保全実施計画推進委員会	実施計画推進に関わる環境保全の取組みについて市民、事業者及び行政の参加と協働を前提とし、パートナーシップの構築を図りながら実践する。ワーキンググループの運営及び進捗状況を統括。その他環境保全。	(1)市の基本構想及び基本的事項を定める計画等の策定又は変更	有	—

環境管理課	道路管理係	自転車等駐車対策協議会	総合計画に関すること。放置禁止区域の指定、変更及び解除に関すること。		(2) 市政に関する基本方針、市民に義務を課し、市民の権利を制限する内容の条例の制定改廃	有	—
都市整備課	企画計画係	狛江市都市計画審議会	都市計画に関する事項の調査審議		(3) 広く市民に適用、重大な影響を及ぼす制度の導入改廃	有	—
都市整備課	企画計画係	狛江市まちづくり委員会	「狛江のまち・魅力百選」の募集・審査、地区まちづくり協議会の認定、地区まちづくり計画の案の作成、地区まちづくり計画の決定、テーマ型まちづくり協議会への支援、51条表彰、調整会の開催、まちづくり提言		(1) 市の基本構想及び基本的事項を定める計画等の策定又は変更	有	—
都市整備課	企画計画係	狛江市地域公共交通会議	地域の実情に応じた適切な乗合旅客運送の態様及び運賃、料金等に関する事項		(3) 広く市民に適用、重大な影響を及ぼす制度の導入改廃	有	—
都市整備課	企画計画係	狛江市コミュニティバス市民検証委員会	コミュニティバスの運行実績及び利用実態、福祉施設利用者等運賃補助、今後のコミュニティバスに関する運行態様		(3) 広く市民に適用、重大な影響を及ぼす制度の導入改廃	有	—
上下水道課	下水道管理係	狛江市下水道総合計画策定及び評価委員会	下水道における総合的な計画策定、下水道事業の再評価の実施		(1) 市の基本構想及び基本的事項を定める計画等の策定又は変更	有	—
清掃課	業務係	狛江市ごみ半減推進審議会	一般廃棄物の処理の基本方針、廃棄物の再利用及び減量の促進に関する事項		(1) 市の基本構想及び基本的事項を定める計画等の策定又は変更	有	—
学校教育課	教育庶務係	狛江市教育委員会	狛江市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則(平成20年3月7日教育委員会規則第11号)第2条		(3) 広く市民に適用、重大な影響を及ぼす制度の導入改廃	無	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条
学校教育課	教育庶務係	狛江市教育委員会の自己点検及び評価に関する審査委員会	狛江市における教育の今日的な状況を踏まえ、教育の質の向上に資するよう、教育委員会が効果的に教育行政を行うとともに、教育的な観点から適切に教育行政が行われているか、教育委員会の自己点検及び評価の結果について審査し、評価意見を付する。		その他、自主的に市民参加を行っている	有	—
社会教育課	社会教育係	狛江市社会教育委員の会議	社会教育に関する諸計画立案、教育委員会の諮問、調査研究		その他、自主的に市民参加を行っている	有	—
社会教育課	文化財担当	狛江市文化財専門委員会	狛江市内に所在する文化財の保存および活用に関し、常に調査、研究をするとともに、狛江市教育委員会の求めに応じ狛江市文化財の指定および解除等重要事項を審議する。			無	狛江市文化財保護条例3、4条(文化財の指定・解除等重要事項審議のため専門的知識が必要)
社会教育課	社会教育係	狛江市スポーツ振興審議会	教育委員会の諮問に応じ、スポーツの振興に関する重要事項について調査審議し答申。		(1) 市の基本構想及び基本的事項を定める計画等の策定又は変更	有	—
公民館	事業係	狛江市立公民館運営審議会	館長の諮問に応じ、公民館における各種事業の企画実施につき調査審議する。		(4) 大規模な施設の設置に係る基本計画等の策定・利用や運営方針、又は変更	有	—
図書館	図書サービス係	狛江市立図書館協議会	狛江市立図書館の運営に関し、狛江市立図書館長の諮問に応ずる。図書館奉仕について館長に意見を述べる。		(4) 大規模な施設の設置に係る基本計画等の策定・利用や運営方針、又は変更	有	—

審議会等名称		委員の人数							公募市民委員の応募条件					諮問等事案			会議の公開			会議録の公表			委員名	備考
		会議 回数	全委員 の人数	公募市 民委員 の定数	公募市 民委員 の人数	男性	女性	20歳未 満・青少 年・公募 市民委員	年齢	在住	在勤	在学	その他の条件	説明・ 検討等 事業の有 無	諮問等 事業の 有無	開催予定の 公表	会議の公開	非公開の理由	会議開催時 間	会議録の公 表	非公表の理由	会議録 の公表 時期 (4週間 以内)		
泊江市長の資産等の公開に関する審議会		0	3	2	1	1	0	0	20歳以上	○	—	—	—	無	—	—	—	—	—	—	—	—	—	審査請求がなく、平成21年度未開催。
泊江市個人情報保護審議会		4	6	4	4	4	0	0	20歳以上	○	—	—	—	有	無	公表した	公開	—	—	平日昼間	公表	—	○	有
泊江市個人情報保護審査会		1	5	無	4	4	0	0		○	—	—	-	有	有	公表した	一部非公開	個人情報の保護	平日昼間	公表	—	○	有	
泊江市情報公開審査会		1	5	3	4	4	0	0	20歳以上	○	—	—	—	有	有	公表した	一部非公開	個人情報の審査	平日昼間	公表	—	○	有	
泊江市総合基本計画審議会		8	13	5	4	3	1	0	18歳以上	○	○	○	—	有	有	公表した	公開	—	—	平日夜間	公表	—	○	有
泊江市基本計画策定市民分科会		36	47	60	37	20	17	0	18歳以上	○	○	○	-	有	有	公表した	公開	—	—	平日夜間	公表	—	○	有
																								分科会数3 会議回数各12回 全委員数内 訳：1分科会-11人(内公募3、一般6)・2分科会-18人(内公募4、一般9)・3分科会-18人(内公募5、一般10) 無作為抽出500人 担当 者見解：市民委員間での情報量の違い、 発言の隔たりは見受けられたが、公募委員は知識をもっており、一般委員も勉強をされて委員会に臨んでいたようなので、公募と一般市民委員の知識の差はあまり感じなかった。無作為抽出により新しい委員の開拓がで きる。この手法を用いるかは、審議会等の規模による。
泊江市第4次行財政改革大綱策定委員会		5	6	5	3	1	2	0	18歳以上	○	○	○	—	有	有	公表した	公開	—	—	平日夜間	公表	—	○	無
泊江市市民参加と市民協働の推進に関する審議会		6	11	8	4	3	1	0	18歳以上	○	○	○	市民参加及び市民協働に関心のある市民	有	有	公表した	公開	—	—	平日夜間	公表	—	×	有
泊江市男女共同参画推進計画策定委員会		10	12	4	1	0	1	0	20歳以上	○	○	○	男女共同参画社会の推進に関心のある者	有	有	公表した	公開	—	—	平日夜間	公表	—	○	有
泊江市防災会議		3	14	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	有	無	公表しなかった	公開	—	—	平日昼間	公表	—	×	有
泊江市国民保護協議会		0	18	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	無	—	—	—	—	—	—	—	—	—	平成21年度は未開催
泊江市交通対策調整会議		0	0	1	0	0	0	0	18歳以上	○	○	○	—	無	—	—	—	—	—	—	—	—	—	H21未開催
泊江市生活安全対策協議会		6	20	3	1	1	0	0	20歳以上	○	○	○	—	有	無	公表した	公開	—	—	平日昼間	公表	—	○	無
泊江市特別職報酬等審議会		7	10	2	2	1	1	0	20歳以上	○	○	—	—	有	無	公表しなかった	非公開	審議事項が個人情報に及ぶ恐れがあるため	平日昼間	公表	—	○	有	
「音楽の街ー泊江」構想推進委員会		6	10	4	4	2	2	1	15歳以上	○	○	○	「音楽の街ー泊江」構想に関心のある者	有	有	公表した	公開	—	—	平日夜間	公表	—	○	有
泊江市民花火大会準備委員会		8	10	3	2	2	0	0	18歳以上	○	○	○	—	有	無	公表しなかった	公開	—	—	平日夜間	公表	—	×	有
市民福祉推進委員会		4	20	5	5	4	1	0	20歳以上	○	○	—	市内の福祉推進に関心のある方	有	有	公表した	公開	—	—	平日夜間	公表	—	○	有
泊江市介護保険推進市民協議会		3	12	6	5	2	3	—	40歳以上	○	○	—	65歳以上、40歳以上65歳未満、居宅・施設サービス従事者	有	有	公表した	公開	—	—	平日夜間	公表	—	○	有
泊江市地域包括支援センター運営協議会		3	8	7	4	2	2	—	なし	○	○	—	被保険者、サービス利用者、施設サービス従事者、居宅サービス事業関係者、NPO等地域サービス関係者	有	無	公表した	公開	—	—	平日夜間	公表	—	○	有
泊江市国民健康保険運営協議会		3	11	4	2	1	1	0	18歳以上 73歳未満	○	—	—	泊江市国民健康保険被保険者	有	有	公表しなかった	公開	—	—	平日昼間	公表	—	○	無
泊江市健康づくり推進協議会		3	12	4	4	4	0	—	20歳以上	○	—	—	原則として平日昼間の会議に出席できる	有	無	公表しなかった	公開	—	—	平日昼間	公表	—	○	無
泊江市食育推進検討委員会		3	15	3	3	2	1	0	18歳以上	○	○	○	平日夜間会議出席	有	有	公表した	公開	—	—	平日夜間	公表	—	○	有
泊江市青少年問題協議会		1	25	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	有	無	公表しなかった	公開	—	—	平日昼間	公表	—	○	有
泊江市青少年問題協議会小委員会		5	16	2	1	0	1	0	18歳以上	○	○	○	—	無	—	公表しなかった	公開	—	—	平日昼間	公表	—	×	有
泊江市青少年委員の会議		5	7	2	2	1	1	0	18歳以上	○	○	○	—	有	有	公表しなかった	公開	—	—	平日夜間	公表	—	○	有
泊江市次世代育成支援行動計画策定委員会		10	14	4	4	1	3	0	18歳以上	○	○	○	—	有	有	公表した	公開	—	—	平日夜間	公表	—	×	有
泊江市環境保全審議会		2	12	8	7	4	3	0	18歳以上	○	○	○	—	有	有	公表した	公開	—	—	平日昼間	公表	—	○	有
泊江市環境保全実施計画推進委員会		6	11	3	0	0	0	0	18歳以上	○	○	○	平日夜間の会議に出席できる者	有	有	公表した	公開	—	—	平日夜間	公表	—	○	有

自転車等駐車対策協議会	5	12	4	4	4	2	2	0	18歳以上	○	○	—	有	有	公表した	公開	—	平日昼間	公表	—	○	有	
狛江市都市計画審議会	1	11	2	1	1	0	0	0	18歳以上	○	—	平日昼間の会議に出席できる者	有	有	公表した	公開	—	平日昼間	公表	—	×	有	
狛江市まちづくり委員会	12	11	10	6	4	2	0	0	18歳以上	○	○	—	有	無	公表した	公開	—	平日夜間	公表	—	○	有	
狛江市地域公共交通会議	1	13	3	3	2	1	0	0	18歳以上	○	○	—	有	無	公表した	公開	—	平日昼間	公表	—	○	有	
狛江市コミュニティバス市民検証委員会	3	10	3	3	2	3	0	0	18歳以上	○	○	—	有	無	公表した	公開	—	平日夜間	公表	—	×	無	
狛江市下水道総合計画策定及び評価委員会	4	6	6	5	3	2	0	0	18歳以上	○	○	—	有	有	公表した	公開	—	平日夜間	公表	—	○	有	下水道という専門的な審議会で理解しづらい所があったと思われたが、市民委員がいることで、市民に分りやすい記述に仕上がった。
狛江市ごみ半減推進審議会	7	12	12	8	3	5	—	—	20歳以上	○	—	—	有	有	公表した	公開	—	平日昼間	公表	—	×	有	
狛江市教育委員会	12	4	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	有	有	公表した	一部非公開	人事案件非公開(法)	平日昼間・夜間	公表	—	○	有	公募市民委員を入れるかは市長の政策的判断
狛江市教育委員会の自己点検及び評価に関する審査委員会	3	5	2	2	2	0	0	0	18歳以上	○	○	—	有	無	公表しなかった	公開	—	平日昼間	公表	—	×	有	
狛江市社会教育委員の会議	8	8	2	2	1	1	0	0	20歳以上	○	—	—	有	有	公表した	公開	—	平日夜間	公表	—	○	有	
狛江市文化財専門委員会議	3	6	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	有	無	公表した	公開	—	平日夜間	公表	—	○	有	
狛江市スポーツ振興審議会	9	8	2	2	2	0	0	0	20歳以上	○	○	—	有	有	公表した	公開	—	平日夜間	公表	—	○	有	
狛江市立公民館運営審議会	6	9	5	5	3	2	0	0	なし	○	○	公民館利用団体の構成員(推薦必要)	有	有	公表した	公開	—	平日夜間	公表	—	×	無	
狛江市立図書館協議会	6	8	2	2	2	0	0	0	18歳以上	○	○	—	有	有	公表した	公開	—	平日夜間	公表	—	×	無	

平成21年度 市民参加の実施状況【パブリックコメント】

実施結果			報告書			
			意見 提出 者数	検討結 果まとめ の有無	検討結 果まとめ の公表	非公表の理由
主管課	担当係	施策名	施策の内容	実施期間	検討結 果まとめ の公表	検討結 果まとめ の公表 時期 (4週間 以内)
安心安全課	安心安全係	狛江市地域防災計画(21年度修正)	狛江市地域防災計画修正案について	4月15日～5月15日	公表	×
子育て支援課	企画支援係	狛江市次世代育成支援行動計画(後期)	狛江市次世代育成支援行動計画(後期)素案について	平成22年1月1日～1月14日	公表	×
上下水道課	下水道管理係	狛江市下水道総合計画	狛江市下水道総合計画素案について	10月1日～10月20日	公表	×
政策室	協調調整担当	狛江市男女共同参画推進計画策定	狛江市男女共同参画推進計画素案について 新聞折込の方法を実施:広報こまえに意見提出用料金受取人払い郵便はがきを印刷した素案概要版紙面を入れ込んだ。	平成21年12月15日 ～平成22年1月12日	公表	×
政策室	企画法制担当	狛江市第3次基本構想策定	総合基本計画審議会より示された狛江市第3次基本構想素案について 新聞折込の方法を実施:広報こまえに意見提出用料金受取人払い郵便はがきを印刷した素案概要版紙面を入れ込んだ。	7月1日～21日	公表	○
政策室	企画法制担当	狛江市前期基本計画策定	狛江市前期基本計画素案について	平成22年1月15日 ～2月1日	公表	○

平成21年度 市民参加の実施状況【その他の市民参加（市民フォーラム・シンポジウム・市民説明会等）】

主管課	担当係	市民参加の施策名	手続きの種類	施策の内容	市民参加の対象 *「狛江市の市民参加と市民協働の推進に関する基本条例」第5条より	実施結果		報告書				
						実施日・期間	出席者・意見件数	報告書の有無	報告書の公表	非公表の理由	報告書の公表時期 (4週間以内)	備考
政策室	広報広聴担当	市長への手紙	その他	市長が市民の市政に関する意見や質問、要望等を広く聴くことにより市政運営の参考にする。市長へ寄せられた市民からの手紙(専用はがき、手紙、ファックス、ホームページ専用ホームページからの電子メール等)は広報広聴担当が受付する。平成20年度からは地域センター、公民館に専用投函箱を設置。	その他、自主的に市民参加を行っている	通年	357件	有	公表	—	○	
		市長と語る会	その他	市民と市長が直接語りあう会。各回テーマを決め、市長から説明し、それに対して市民から質問、意見を伺う。21年度のテーマは「私が願う将来の狛江」(6月)、「公共施設再編方針」(11月)。	その他、自主的に市民参加を行っている	6月21・24日 11月25・28日	25名(21日) 26名(24日) 50名(25日) 41名(28日)	有	公表しなかった	市長が政策の参考とする会であるため	—	
政策室	協働調整担当	狛江市男女共同参画推進計画策定	市民フォーラム	狛江市男女共同参画推進計画骨子案市民説明とワーク・ライフ・バランスについて のフォーラム	(1)市の基本構想及び基本的事項を定める計画等の策定又は変更	平成21年10月4日(日)PM	14名・9件	有	公表	—	○	
政策室	協働調整担当	狛江市男女共同参画推進計画策定	市民説明会	「人がかがやく!こまえ市民のつどい」狛江市男女共同参画推進計画素案市民説明会	(1)市の基本構想及び基本的事項を定める計画等の策定又は変更	平成21年11月29日(日)PM	19名・9件	有	公表	—	○	計画の愛称を募集
政策室	協働調整担当	狛江市市民参加と市民協働の推進に関する審議会市民フォーラム	市民フォーラム	タイトル:「聞かせて狛江 あなたの想い」～活動がやりがいを生み、市民が喜ぶ。市民活動の原動力は何か～ テーマ:「狛江の街を元気つけ・市民を元気にする仕組みづくり」市民活動によるイベントと活動に参加している市民に視点をあて、事業活動を周知させ、活動を盛り上げると共に、市民の思いを探る。	その他、自主的に市民参加を行っている	平成21年11月1日(日)PM	24名	有	公表	—	○	狛江古代カッパ多摩川いかにたれー ス実行委員会、「音楽の街—狛江」推進事業実行委員会、「絵手紙発祥の地—狛江」実行委員会、狛江市制施行40周年記念事業実行委員会の市民委員をパネリストとする。
上下水道課	下水道管理係	狛江市下水道総合計画策定	市民説明会	狛江市下水道総合計画素案(たたき台)について	(1)市の基本構想及び基本的事項を定める計画等の策定又は変更	7月3日(金)夜間 7月5日(日)10時	3日—0人 5日—2人 (12件)	有	公表	—	×	
子育て支援課	企画支援係	狛江市次世代育成支援行動計画(後期)	市民説明会	狛江市次世代育成支援行動計画(後期)素案	(1)市の基本構想及び基本的事項を定める計画等の策定又は変更	12月8日 12月13日	8日—15人 13日—4人	有	公表	—	×	8日(火)夜間中央公民館・13日(日)エコルマホールにて開催
子育て支援課	企画支援係	狛江市次世代育成支援行動計画(後期)	その他	狛江市次世代育成支援行動計画作成にあたり、中学生との意見交換会	(1)市の基本構想及び基本的事項を定める計画等の策定又は変更	9月7日・30日	7日—7人 30日—7人	有	公表	—	×	青少年会議(7日)と南部武遊伝(第2中学校・30日)のメンバーと普段の生活の様子や今後の市への要望等についてざっくばらんに意見交換した。
安心安全課	安心安全係	狛江市地域防災計画(21年度修正)	市民説明会	狛江市地域防災計画修正案について	(1)市の基本構想及び基本的事項を定める計画等の策定又は変更	4月12・17・25日	12日—0人 17日—15人 25日—9人	有	公表	—	×	12日(日)19時～南部地域センター、17日(金)10時～市役所、25日(土)10時～野川地域センター

公募市民委員アンケート集計結果

調査対象:平成21年度、市の審議会(委員会・協議会等)に
公募による市民委員として参加されていた方

* 公募によらない市民委員[無作為抽出により募集した市民]を含む。

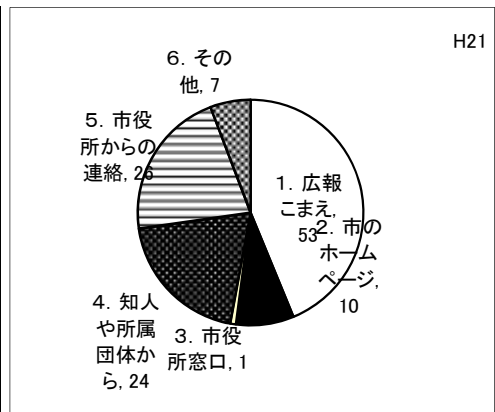
調査期間:平成22年3月19日～4月20日

実績	
送付数	141通 (H20:84 H19:77)
回答数	98通 (H20:56 H19:53)
回答率	69.50% (H20:66.67 H19:68.83)

◆市民委員に応募した時点のことを伺います。(複数回答可)

○次のどの方法で委員募集を知りましたか？

	H21		H20	H19
	回答数	%	%	%
1. 広報こまえ	53	44%	43%	53%
2. 市のホームページ	10	8%	2%	4%
3. 市役所窓口	1	1%	2%	0%
4. 知人や所属団体から	24	20%	27%	24%
5. 市役所からの連絡	26	21%	19%	14%
6. その他	7	6%	6%	4%
計	121			



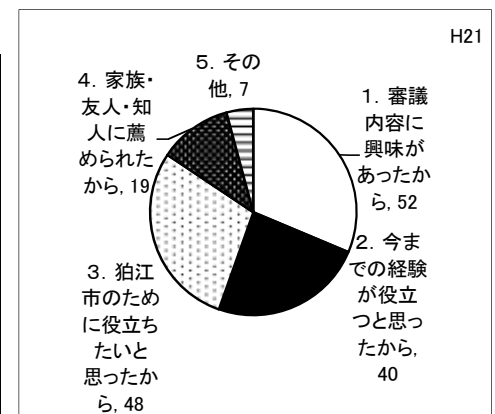
「1.広報こまえ」の割合が高く、次いで「5.市役所からの連絡」、「4.知人や所属団体から」の順となる。

「6.その他」について

・「市からの郵便物で参加の意があれば返信して下さいとあったので。」

○応募のきっかけは何ですか？

	H21		H20	H19
	回答数	%	%	%
1. 審議内容に興味があったから	52	31%	27%	26%
2. 今までの経験が役立つと思ったから	40	24%	26%	29%
3. 狛江市のために役立ちたいと思ったから	48	29%	32%	32%
4. 家族・友人・知人に薦められたから	19	11%	12%	3%
5. その他	7	4%	3%	9%
計	166			



「1.審議内容に興味があったから」の割合が高く、次いで「3.狛江市のために役立ちたいと思ったから」、「2.今までの経験が役立つと思ったから」の順となる。

「5.その他」について

- ・報酬があったから。
- ・市民としてごみ減量に取り組んでいきたいし、役に立ちたいと思ったから。
- ・公民館の運営に積極的な市民参加が必要だと思ったから。

◆平成21年度の会議の事務について伺います。(いずれか一つに回答)

○平成21年度の会議の開催回数についてどのように感じましたか？

	H21		H20	H19
	回答数	%	%	%
1. 多い	1	1%	0%	0%
2. 適当	62	67%	73%	63%
3. 少ない	30	32%	27%	37%
計	93			

「2.適当」と答えた方の実際の開催回数は？

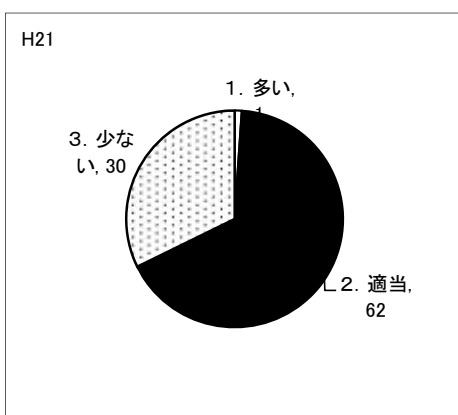
平均 6.4回(H20:4.8回)

「3.少ない」と答えた方の実際の開催回数は？

平均 6.6回(H20:4.2回)

「3.少ない」と答えた方は、どのくらいが適当と考えるか。

平均 14.2回(H20:7.8回 H19:6回)



○会議1回あたりの時間はどのように感じましたか？

	H21		H20	H19
	回答数	%	%	%
1. 長い	10	11%	0%	4%
2. 適当	72	78%	95%	84%
3. 短い	10	11%	5%	12%
計	92			

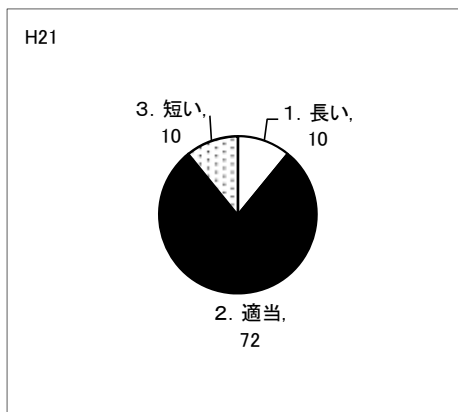
「2.適当」と答えた方の実際の会議時間は？ 平均 2時間(H20:1.9時間)

「3.短い」と答えた方の実際の会議時間は？ 平均 2時間

「3.短い」と答えた方が適当とした会議時間。平均2.5時間(前年同 H19:2.7時間)

「1.長い」と答えた方の実際の会議時間は？ 平均 2.6時間

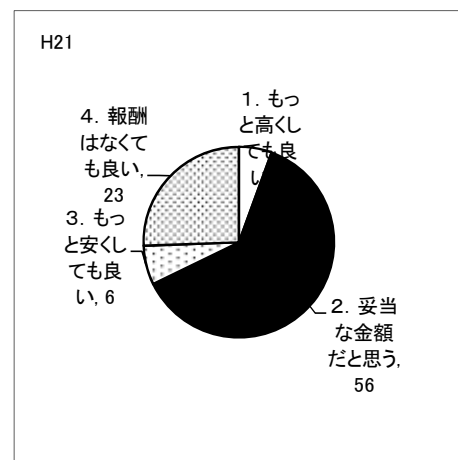
「1.長い」と答えた方が適当とした会議時間。平均 1.6時間



○会議の報酬についてどのように感じましたか？

〈1回につき3,000円〉

	H21		H20	H19
	回答数	%	%	%
1. もっと高くしても良い	5	6%	14%	11%
2. 妥当な金額だと思う	56	62%	57%	43%
3. もっと安くしても良い	6	7%	0%	0%
4. 報酬はなくても良い	23	26%	29%	45%
計	90			

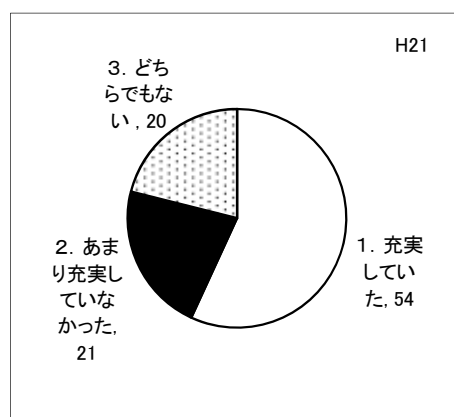


◆平成21年度の会議の中身について伺います。(いずれか一つに回答)

○会議の審議内容についてどのように感じましたか？

	H21		H20	H19
	回答数	%	%	%
1. 充実していた	54	57%	60%	48%
2. あまり充実していなかった	21	22%	21%	31%
3. どちらでもない	20	21%	19%	21%
計	95			

「1.充実していた」の回答の割合が高い。



【1. 充実していた理由】

- 1 審議の結果として様々な企画が実現に至ったから。
- 2 事務局からの説明のあと審議に入るのでよく理解でき内容も充実していたと思う。
- 3 経験豊かで見識のある委員の存在が大きかった。特に〇〇委員の分析、資料提供が議論を深める上で有効だった。
- 4 無駄な時間もなく、会議が出来ていると感じました。
- 5 問題点にはその物事に知識のある人から意見が出され、活発な議論がなされたと思う。但し、若干些末な部分に向きすぎたきらいはあった。
- 6 各委員から活発な発言があり、内容が充実していた。
- 7 活発な議論があったと思います。私自身もそうですが、興味のある領域や専門分野については、積極的な発言が多かったと思います。
- 8 狛江市の上下水道課の大事さと、日々どのような働きをしているかが、よく理解出来たこと。
- 9 公民館運営審議会として意見書を提出のため集中した会議を行ないました。新しい委員さんと意思疎通、意見交換を充分計れるよう努力しました。もっと事前準備するなど反省点もあります。
- 10 それなりに十分な審議はされている。
- 11 いただいた資料がわかりやすい。
- 12 事務局が一生懸命うごいてくれた。
- 13 市民の声が次の会議でどういされるのか気になっている。
- 14 まあまあ充実していた。
- 15 市の現状をふまえて、課題や改善策を検討できたため。
- 16 様々な側面から内容について審議されていたと思います。非常にハイレベルだと感じました。
- 17 一つ一つの項目について丁寧に審議し、多数の意見があり活発な会議でした。勉強にもなりました。
- 18 知識の不足していた点をゲストを呼んで説明してもらい意見交換ができ充実していた。常に現場の目線での対応でした。
- 19 外部有識者の方々との意見交換は大変良かったと思います。
- 20 学識や実務経験豊富な方の話、意見が聞け有益だった。
- 21 地域包括支援センターとして絞り審議していた。
- 22 審議結果に勢力を持って取り組み、責任有る答申が出来たと思う。
- 23 委員会の存在意義や大枠の話をする機会が多かったから。
- 24 委員長が全体を良く把握してリードしていた。
- 25 問題意識の高い方が多いので、活発な意見のやりとりができた。

【2. あまり充実していなかった理由】

- 1 一つの審議に時間がかかってしまった。内容に偏りがあった。

2 委員の発言がほとんどない。
3 総花的となり、焦点がぼけやすかった。
4 問題点の整理が不十分である。
5 意見が反映されないことが多いと感じた。
6 1回の会議において、審議項目があまりにも多いように思えました。
7 審議の進め方(事務局側も含め)の悪さ、審議時間の制約もあり、共通認識にたった議論の深まりに欠けた。
8 一般市民としては事前の知識が不足していて充実感は味わえなかった。
9 発言が一部の者に片寄っていた。回数が少なく(時間が少なく)十分討議が出来なかった。
10 もっと先に行なわなければならない重要事項があるように思った。
11 対象案件がなかったから、報告だけであつたので。
12 想定していた内容と異なる。
13 資料不足。
14 出席者に、「指名されたので仕方なく出席した」と見受けられる、自分の意見を持たない方が出席との印象を受けた。このため議題がなかなか結論に至らない。
15 委員の発言が少なかった。
16 委員間での意見のやり取りで事が決するのではなく、方向が決まっている事を話し合った感がある。話し合った結果が反映していない。
17 ①基本構想、基本計画はそれぞれ最低1年間は必要。②策定方針(市の論点)は示されなかった。③論点を提起すべき学識委員にその能力がなかった。
18 単発的に発言が繰り返される場合が多く、議論としての集約が図られていない様です。
19 マンション建設に於ける調整会が90%を越えるから。

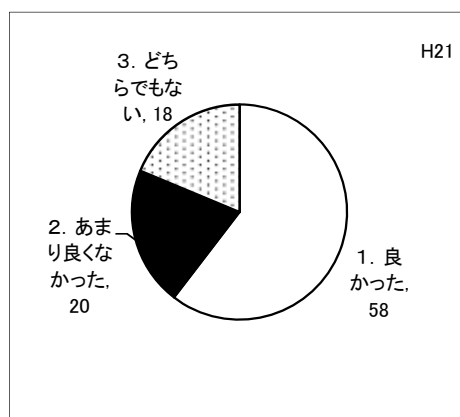
【3. どちらでもない理由】

1 初年度のため、本格的審議ではない。
2 委員になって間もなく、会議の進行や内容に参加回数が少なくて、理解しづらい。
3 参加回数が少ないので、自身の審議内容の理解がまず必要でした。
4 細かい数字の結果がでていますが、もう少し身近に感ずる会議にして欲しい。
5 ①公募市民の経験差(バラツキ)で核心までの習得理解に時間がかかる。②核心を突いた議論に焦りにくく、冗長になる時間が多かった。
6 人が多すぎて審議内容がうまくまとまらない。というのか、強引にまとめたという感じ。
7 事務局とのやりとりの場が少なかった。
8 資料が豊富に準備された時は充実していた。資料説明が長い時(やむをえないが)。委員のこだわりの質問など。3回ともガン関係が多かったが市民の健康づくりは広範多岐に亙ると思うが、他の議題が少なかった。
9 あまり問題もなく、充実していたとはいえないが、普通だった。
10 基本的には必要に応じてすすめられているが、論点が多数あるわりには時間が足りないときがあった。
11 新しく背景がわからないこともあった。審議した結果がどうなるのかよくわからない。
12 もう少し委員同士で勉強し、情報を共有できる機会がほしかった。
13 包括職員⇄市の職員⇄協議会の人の意見交換がより深まった方がよいと思います。

○審議の進め方(進行)についてはいかがでしたか？

	H21		H20	H19
	回答数	%	%	%
1. 良かった	58	60%	73%	65%
2. あまり良くなかった	20	21%	9%	15%
3. どちらでもない	18	19%	18%	19%
計	96			

「1. 良かった」の回答の割合が高い。



【1. 良かった理由】

- 1 効率的に充実した進行だったから。
- 2 ○○先生の進行はわかりやすい。
- 3 資料に対する希望もよく取り入れて頂き、次回の会議には出来上がっていたおかげで、要領よく進行したと思う。
- 4 ほど良く次へ展開していった。
- 5 構成員の経験差の割には、まあまあ、まとめたのではないかな。
- 6 いま少し意見(発言)均等に。時間をうまく。
- 7 皆さん会議に慣れているのか、スムーズに運びました。
- 8 委員長の審議の進め方が良かった。
- 9 横道にそれないよう、うまくコントロールしていたと思います。
- 10 まあまあの程度良かった。短時間で結構内容が多いので、この程度の進め方になると思う。
- 11 疑問に対して適確な回答があった。
- 12 議長の議事進行が良かった。
- 13 スムーズに進行が進んでいた。
- 14 会長の進行が適切だったゆえ。
- 15 効率的でスムーズだった。
- 16 この内容ではこういった進め方になるでしょう。
- 17 正・副委員長が諮問内容をよく理解して適切にリードしていただいたため。
- 18 平易な言葉で投げかけて下さったので発言しやすく感じました。
- 19 行政の方が細やかに資料を準備され、委員長さんの進行が上手でした。スムーズでした。
- 20 委員長がすばらしかった。
- 21 短い時間でしっかりと議論をするためには、ある程度テキパキと進行する必要があったと思うので、その点が非常に良かったと思います。
- 22 少ない時間を有効に使って審議が進められたと思います。
- 23 議長・副議長が適切に審議を進めていた。
- 24 専門知識を持った方(学識経験者)が発言されると会議がしまってくる。

【2. あまり良くなかった理由】

- 1 スムーズにできなかった。
- 2 審議内容について内容が幅広く、事務局だけでは把握しきれていないと思った。質問にその場で応じられないので、書面による質問と後日の回答をもうけるのがいい。

3 少なく共一度や二度は市長が出席し、我々の生の声を聞くべき。
4 分科会長の専門性の欠如と、まとめかたの力量不足。
5 当日か直前に資料が来るのでチェックできない。
6 事務局とのやりとりの場が少なかった。最終案がこんなかたちになるなら、もっと事務局とのやりとりが必要。
7 当初の資料が不十分でその確認のために時間がかかった。時間の管理など工夫されていたが、討議期間が圧倒的に足りなかった。
8 事務局(行政)の方針、意図が強すぎる。審議会と委員会の位置づけが不明。
9 会議の進行をする立場として反省点は多いです。わかりやすい説明、要点をおさえること等大変にがてな点なので努力が必要です。
10 資料不足。
11 デキレース的に司会進行役が決められたため、まるですじ書きどおりの進行にしか議題がすすまない。
12 非常に消極的。
13 市側が市民の意見に対して真摯でなく、議論が中途半端になる。
14 議題の内容に関係する市側の担当者が居ない場合が多々あった。
15 ①ファシリテーター役であるべき委員長があたかも行政主導のスケジュール管理するコンサルのようなだった。②市民委員が主導権を発揮できるためには過半数は公募委員とすべきだった。
16 参画者の審議姿勢に二種類あり、ほとんど発言もしない、会議参画も不十分というグループを放置している様な進行は、問題ありと思う。
17 審議のボリュームが多いので、時間不足となりがち。

【3. どちらでもない理由】

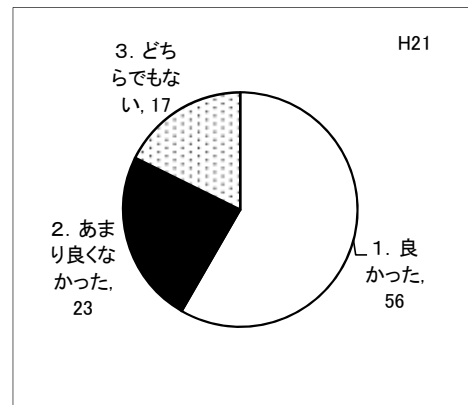
1 事務局よりの報告に対しての内容確認が多いので、進行は問題ないと感じている。
2 「進め方」はどうすればいいか知らないが、「審議のポイントは何か」を指摘するような進め方をすればもっと多くの意見がでるのではないかと思います。
3 いつも時間不足の感が残りました。進行その物は問題ないと思いました。
4 一つの議題に長くなりすぎる部分もあった。
5 もう少し1人1人の意見をきくべき。
6 進行は大変な役である。議事、内容に精通しているわけではないので、時には課の職員3～6人も出席しておられるので、必要に応じて参考意見を述べられるとよい。(助言ではない。)
7 基本的には必要に応じてすすめられているが、多数の委員の意見が聞きたいが、時間の点、論点の設定のしかたにより十分な議論がなされないことがあった。
8 要点を整理すればより短期間で済むから。
9 進め方には問題ありませんが、この審議内容では時間がたりなく、いつも時間切れで終わってしまう感じでした。
10 委員長の進行が中心。

○会議のために事務局が作成した資料や事務局からの説明はいかがでしたか？

	H21		H20	H19
	回答数	%	%	%
1. 良かった	56	58%	66%	63%
2. あまり良くなかった	23	24%	9%	17%
3. どちらでもない	17	18%	25%	21%
計	96			

「1. 良かった」の回答の割合が高い。

「2. あまり良くなかった」の回答の割合が前年より増加。



【1. 良かった理由】

- 1 わかりやすくまとめられていた。
- 2 よく準備されていた。
- 3 一部説明(資料)不足が見受けられたが、概して、悪くなかった。
- 4 いま少し分り易く。
- 5 内容は専門的でやや難しく思いました。
- 6 資料もその都度交付されて、説明が加えられた。
- 7 分りやすかった。一部専門用語で、難しい箇所があったが。
- 8 市民のついでに予定表は内容が一覧できてよかった。市健康プロフィールシート。各種ガン検診統計表など。
- 9 丁寧な説明で専門知識が無くても、ある程度理解出来るようになった。
- 10 かわいい資料だった。
- 11 よくまとまっていた。
- 12 簡約にまとめられていた。
- 13 ていねいだった。
- 14 係の方の努力で細部まで具体的に記述されていた。
- 15 継続して事務局を行なうことにより資料や説明は洗練されてきたが、新たな視点で工夫の必要も感じる。
- 16 膨大な資料の作成は、さぞご苦労なさったと存じます。まとめ方も分かりやすかったと思います。
- 17 細やかでした。
- 18 大変良く事務局の方が動いてくれました。
- 19 非常に熱心でわかりやすかった。
- 20 最初にもっと関係資料を出して欲しかった。
- 21 短時間内での処理にもかかわらずキメ細かく丁寧であった。
- 22 会議向けの資料が充分に揃えてあり、それに沿っての懇切丁寧な説明がよかった。
- 23 毎回、何枚もの資料作成(結果報告も含め)の苦労に感謝しておりました。
- 24 事前に資料等が配布される等努力されている。
- 25 狛江市の状況説明資料、並びに他市との比較データ等、大変参考になる資料が多かった。
- 26 毎回整理して次回に参考になるように用意されていた。

【2. あまり良くなかった理由】

- 1 どうしても体裁を整える話が多かった気がする。
- 2 問題点をわかりやすく整理する事。

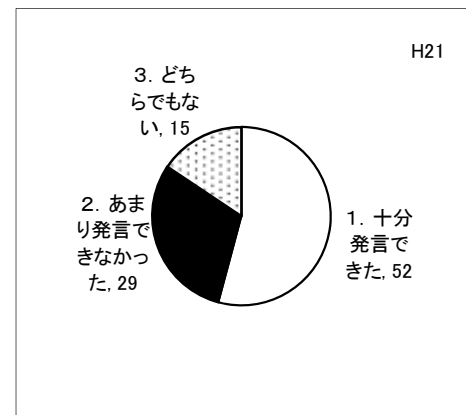
3 内容は多くても特に審議の必要がある部分は限られるので、そういう部分の強弱を見て焦点をしぼる必要。
4 我々の要求で結果的には諸々の資料が出てきたが、予め問題点が明確に理解出来る資料を用意すべき。
5 会議の性格・位置づけもあろうが、もっと事務局の考え・方向を主張してもらった方が意見を出しやすいように思った。
6 表面的な説明しかできていない。
7 一般の人が参加しているのだから、資料を会合の前に渡して自分なりの考えをまとめておく期間(時間)が欲しかった。
8 変更部分の色を変えとか、わかりやすくしてほしい。
9 資料の説明が不十分。説明の時間が少なすぎた。資料の整備・提供も不十分。
10 現況と課題の分析があいまいで分りにくく、(フォーマットが改善されるまで)委員が現状を理解するのに時間がかかった。
11 短期間で全てを吸収するためにはポイントをまとめた資料・解説書が必要。
12 情報公開の資料等は経年で比較できるように、採録項目やフォーマットは余り変えない方がよい。
13 アンケート自由記述を私から言わなければ出さなかったのは残念。
14 重要な資料が事前に配布されなかった。
15 統計をとった資料にバイアス(偏り)があり、正確なデータとは言えない。
16 中味が薄い。(実績がない。)
17 不要と思われる資料もあった。必要な資料がなかった。
18 市側のコミュニケーションが悪いのか、ずれている資料が目立った。
19 ①前期基本構想の「検証」がまったくおざなりだった。②市民分科会参加市民への論点情報の提供、事前学習が不十分。
20 資料の文面をそのまま読み上げる事が説明とされていて、深まりが弱いと思われます。
21 よく分からない資料が多かった。要点をまとめ、見やすくしてほしい。

【3. どちらでもない理由】

1 わかりやすいものと、見づらいものが混在している。
2 説明の仕方が上手なていねいな方と、だらだら読み簡潔に説明して欲しい。
3 「進行」の所でも述べたが、多くの資料に短時間に目を通さなければならないので、前もって配布される場合には、資料のどの点が審議のポイントかをメモしていただくとか、説明の場合もどの点がポイントか、どの点が変わっているかなど、指摘して下さると助かります。
4 資料が多く目を通すのが大変でした。自信なさげな説明もあったのが気になりました。
5 資料が多すぎ！
6 適切でした。
7 こんなものだと思う。
8 お願いした資料についてどうなったか等こちらから問い合わせる場合も多く、状況をお知らせしてもらえるとありがたいと思いました。役割をわきまえた上でもっと距離の近い関わりができるとよいと思います。
9 部局によって違いがあるが、案件によっては当審議会で審議することの意味が理解されていないケースもある。
10 基本的には必要なものは出されていると思うが、さらに要求することが適切か、自身で準備すべきか迷う点があるため。
11 事務局としての案や考え方がほしい。なぜなら、委員が話し合っても最終的には取り入れられないこともあった。
12 そもそも資料があまり事務局側から配られていなかった気がします。
13 可もなし、不可もなしだったから。
14 あれだけのボリュームを作成されたのは、大変だったと思います。ただ、その分、配布が遅くなり、次の会議まで目を通すのが難しかった。配布をもっと早くする為の改善を考えていただきたい。(委員一人一人の発言の議事録が必要なのかも疑問。)

○会議でのご自身の発言についてどのように感じましたか？

	H21		H20	H19
	回答数	%	%	%
1. 十分発言できた	52	54%	47%	40%
2. あまり発言できなかった	29	30%	32%	38%
3. どちらでもない	15	16%	21%	23%
計	96			

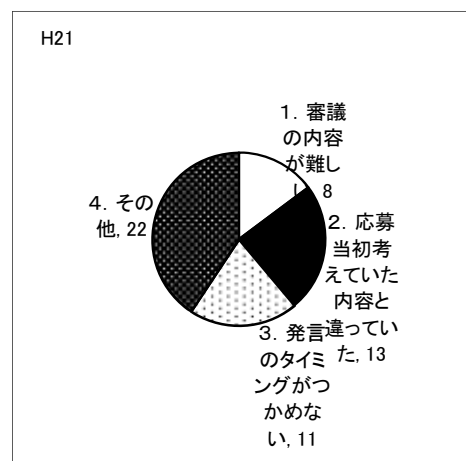


※「2. あまり発言できなかった」「3. どちらでもない」とお答えいただいた方に伺います。

○十分に発言できなかった理由は何ですか？

	H21		H20	H19
	回答数	%	%	%
1. 審議の内容が難しい	8	15%	14%	11%
2. 応募当初考えていた内容と違って	13	24%	24%	18%
3. 発言のタイミングがつかめない	11	20%	10%	29%
4. その他	22	41%	52%	43%
計	54			

(複数回答可)



【4. その他】

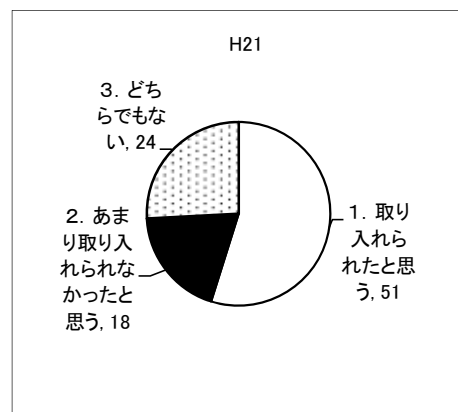
- 1 時間的制約などから控えた。
- 2 確認事項が多かったので、特に発言することがなかった。
- 3 その日の議事内容により変化あり。つまらない発言をしていると感じたこともあり、その時は少し他人の発言をよく聴こうと思った。(反省した。)
- 4 出席回数が、仕事の関係で少なかった。
- 5 他の委員の意見を出来る文尊重したいため、多少自己主張は控えた。
- 6 市民会議等に訓れている方々と自分との差がありすぎました。
- 7 知識の乏しい分野では、なかなか実感を伴わず、意見が出しにくかった。興味のある分野では意見を述べることもできたと思う。
- 8 一人とか二人とかいつも同じ人が発言することが多すぎる。
- 9 自身の力量。
- 10 各種説明、委員の発言など音声小さく聞きとりにくかった。
- 11 理解しづらい面があった。
- 12 委員長で進行役なので、司会として発言と自分の意見を分けて発言するのが難しかったです。
- 13 皆様のご意見を聞くのに、せいっぱい。その答などで納得することも多かったです。
- 14 難聴のため。
- 15 強引に議題の方向を外らす発言者に対し、修正するだけで時間が多いに消費される。
- 16 専門的な内容については発言するというよりは学ばせて頂きました。

17 もっと発言したい事があった。
18 自分自身の未熟さを感じました。
19 自分が市の実状について深いところで理解できていなかったり、市民の声が会議の場で出にくかった為、「市民が何をどう考えているのか」がつかめなかった為です。
20 調整会が多く、自分の知識不足から。

○審議の中でご自身の意見が取り入れられたと思いますか？

	H21		H20	H19
	回答数	%	%	%
1. 取り入れられたと思う	51	55%	57%	44%
2. あまり取り入れられなかったと思う	18	19%	11%	25%
3. どちらでもない	24	26%	32%	31%
計	93			

「1. 取り入れられたと思う」の回答の割合が高い。



【1. 取り入れられたと思う理由】

1 もちろん私だけの意見でなく皆の智恵を出しあった上ですが、その中に自身の考えも反映されていると思う。
2 資料に対する希望が、次回の資料に反映され、議事内容が頭の中ですっきりと整理され毎回役に立った。
3 議事録内容にのっている。
4 皆さんに賛同していただいた。
5 各委員の方の賛同が得られたので。
6 学んだことで、各地域に施設ができ、特養施設建設が評価されたこと。
7 提案した事項が取り上げられて、実行に移された。
8 公民館運営審議会は合議体なので、全委員の方の意見を充分出してもらえよう取り組んでいます。
9 路線、運行の全体のイメージを語れる委員が他にいない為。
10 委員が分担して答申を起案したことなど。
11 専門的な分野では、正直、わからない事(内容や文言)が多かったのですが、私のような一般市民の発言も指針の中に取り入れてくださったことに感謝します。
12 一般的立場の意見として(対象が一般人の内容)同じ立場で意見が伝えられました。
13 自分の意見そのものは取り入れられていなくても、意見を言える雰囲気は作られていたので。
14 参画者に理解してもらえる様、工夫しながら発言をした。
15 魅力百選で審査したので。
16 市民委員会で、他の市民委員の方が同意された物は、取り入れられた。

【2. あまり取り入れられなかったと思う理由】

1 取り入れられる程の発言をしていない。
2 狛江市の問題点に民間人の考えも取入、創意工夫する事も必要と思う。
3 内容をまとめることに意識が働きすぎ。人権意識に対する認識が事務局と違っていると感じた。
4 発言ができなかった為。

5 自分の発言について充分話しが進まぬうちに、時間がなくて次の項目に移って行くので、中途半端な思いが多かった。
6 他の委員の意見がすぐれていた。
7 予算の関係か？
8 審議内容が難しくスポーツ振興と少し離れていたのではないか？
9 テーマに対して知識がなかった。むずかしいテーマだった。障がい者スポーツと高齢者スポーツをいっしょにしているのは根本的に無理。
10 審議内容について充分把握できていない部分があったので発言ができなかったから。
11 自分が市の実状について深いところで理解できていなかったり、市民の声が会議の場で出にくかった為、「市民が何をどう考えているのか」がつかめなかった為です。
12 狛江市の状況が意見を取り入れられる環境に未だっていない。
13 調整会が多く、自分の専門外の為。
14 専門家の意見に流されてしまいやすい。調べる時間があれば自分の意見も出せると思う。

【3. どちらでもない理由】

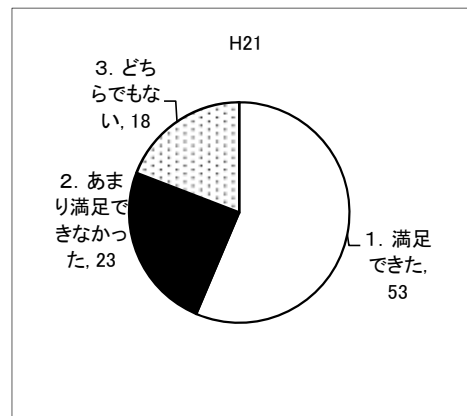
1 良いアイデアや発言をうまくできなかった。
2 委員になって審議の回数が少なかった。
3 修正意見が採用されたかどうか知るすべがないので。
4 話した内容は意見として頂いたようだが、その意見も役に立てた実感が乏しい。
5 充分取り入れられた部分と、あとは行政当局の意思決定の部分と両面あったから。
6 取り入れられたものもあるが、重要な案件を共有して深められず、消化不良の部分は大きい。
7 最終案についての市側の説明の機会が設定されなかったため、質問や議論ができなかった。
8 何を基準にするのか、誰が判断するのか？主催者に任せるしかないと思う。①その場の雰囲気でもんなが納得すれば取り入れられたと思うが？どうだろう。②半年か1年後の結果をみないとわからない。
9 あまり積極的に意見はしなかったが不満はない。
10 基本的には取り入れられたと思っているが、もっと時間をかけて議論すべきと考える点について、その議論がなされていないため。
11 全体的関連がまだ理解できていない。
12 今後の市などの調整課題。
13 取り入れられたかどうかを検証する場面が無く、認識されていないため。

○会議がまとめた答申(提言・報告)内容について、どのように思いますか？

	H21		H20	H19
	回答数	%	%	%
1. 満足できた	53	56%	66%	60%
2. あまり満足できなかった	23	24%	9%	13%
3. どちらでもない	18	19%	25%	27%
計	94			

「1. 満足できた」の回答の割合が高い。

「2. あまり満足できなかった」の回答の割合が前年より増加。



【1. 満足できた理由】

1 伝えるべき内容を整えているから。
2 重要なポイントはおり込まれていた。
3 限られた期間、及び市民委員のバラツキ等の条件下では、一応評価されても良い答申と思う。
4 参加市民の代表の意向が分る。
5 審議の内容が反映されたものになったと思う。
6 行政が進んで行く方向が自分の思いに近いものであること(不足もあるが)が解ったから。
7 評価されたこと。
8 難しいながら満足しました。
9 内容についてほぼ共通認識がもてた。異なる意見が出された点については、多くの意見の方向ですすめていいのではと出され、まとめていった。
10 妥当である。
11 答申の内容をきちんと次年度に生かされなければ意味がない。
12 分かりやすかった。
13 まあまあ満足。
14 起案からまとめまで、逐条的に検討ができたため。
15 守備範囲の広大な提議に対し、細やかに指針が示されたと思います。
16 冊子が送られ、又、広報誌(4/15付)等で報告されると関わった事にうれしく思います。
17 言葉の使い方、資料等の説明を良くまとめ良い内容にできたと思う。
18 市民の方々にも、市職員にも、市長等の方々にも充分理解してもらえる答申内容と思っている。
19 常識的な線で結果が出ていたと思う。

【2. あまり満足できなかった理由】

1 言葉尻、文言にこだわり過ぎて内容が深まったかは疑問。
2 目先の事だけを取上げできたため。
3 短期間でまとめたため、審議が少なく、事務局の素案がそのまま通ることが多く、審議内容が反映されにくかった。
4 自分の意見が或る程度取り入れられたとは思っているものの、我々が感じている粕江市の危機的状況は全体に埋没してしまっていて読む者に訴えるものとはなっていない。
5 分科会の答申が審議会の答申に全面的に採択されたが、その後、市や議会への答申が大幅に改訂されたし、前向きの提言が削除された部分が随所にみられ残念です。

6 最終案についての市側の説明の機会が設定されなかったため、質問や議論ができなかった。
7 施策成果指標も分科会で議論すべき。
8 全体像が判らない中での一部分のみ。このような委員会はいらない。
9 次期運行変更へのスケジュールが不明確。市民は行程表を求めている。
10 行政・事務局の意向が強くなる。
11 参加者が予習をしないまま出席した場合、答申内容もそれなりの内容になってしまっていた。
12 委員の提言等を採用していない事務局の考え方。
13 市の答申であって委員が練り上げたものではない。
14 テーマに対して知識がなく、テーマが非常にむずかしかったのです。
15 事務局サイドでの修正が多すぎる。
16 期間が短い。
17 ①パブコメによる審議会での修正議論が不十分。時間のなさ。②その後の行政としての構想、基本計画の最終修正が密室で行なわれ不信感をおぼえた。
18 私も粕江市で働く人間なので、市民の声をもっと聞きたいと思いました。自分が市の実状について深いところで理解できていなかったり、市民の声が会議の場で出にくかった為、「市民が何をどう考えているのか」がつかめなかった為です。
19 努力は認めるが、答申等において遅い。

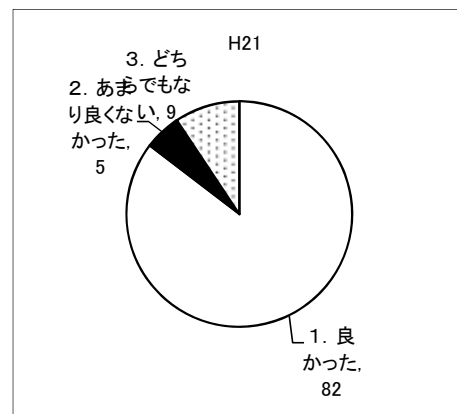
【3. どちらでもない理由】

1 答申はこれから。
2 答申そのものはいいと思うが、もっと多くの意見が出されてもよいのではないと思う。
3 良かったと思いました。
4 可もなく不可もないものができると思っていた。
5 この程度だと思う。
6 まとめた答申となっているか。各委員の意見、要望のまとめ、羅列だけでよいのか。同系列のものを更にまとめるとベスト。
7 まだまとめは出ていない。
8 まだ、答申していません。
9 今回はなにも結果が出ず半年間位の間に言うことで終了。はたしてこの先にどういう進行があるのか？期待しております。
10 議事録は作成いただきましたが、答申はいただいていません。
11 可もなく、不可も無いと感じたから。
12 大方は納得できたが、市民委員会の位置づけがややあいまいな感じが残った。

○公募市民委員として会議に参加してどうでしたか？

	H21		H20	H19
	回答数	%	%	%
1. 良かった	82	85%	81%	81%
2. あまり良くなかった	5	5%	8%	6%
3. どちらでもない	9	9%	11%	13%
計	96			

「1. 良かった」の回答の割合が高い。



【1. 良かった理由】

- 1 他の委員の方々はじめ、人のネットワークが広がり市民活動をしていく上で有意義。
- 2 市民参加の委員会があることを体験できた。今まで目にふれることのなかった印刷物・資料により行政における現状を少し理解することができた。
- 3 重要な答申に参加できたから。
- 4 以前から、参加したいという意志はあったが、私にとってむずかしすぎるのではないかとの思いもあった。しかし市民としての意見を言えばよいとわかり、充実感が湧いた。
- 5 勉強になった。
- 6 更めて、行政及び市民意識等の問題を実感したこと。
- 7 情報を得ることが出来た。他の委員の意見が聞けた。知らないことが多く、様々な考えの人がいて興味深く思った。
- 8 議題としている内容がつかめた。
- 9 市民となってからそう長くもなく、市とのかかわりもない生活を送っておいりましたので出席して、色々な面を知る事が出来ました。
- 10 初めての経験で緊張しましたが、こうして、会議で意見を出して、きめられて行く事が解りました。
- 11 市としての問題がよくわかり、一市民としてどう行動するか指針が持てた。
- 12 大変勉強になりました。行政や議会の実態が或る程度わかり、市民との間にかんがりのへだたりがあることが勉強になった。
- 13 あらためて会議は大変だと理解できた。
- 14 多様な考え、見方が確認できて良かった。
- 15 市民として市のため、街のために少しでも役立てれば良いとの思いは常に持っていますので。
- 16 意見が云えたこと。
- 17 日頃、知り合うことのない分野の人を知った。市役所の人も。
- 18 無作為抽出の委員選考が行なわれ、様々な立場の方と議論できたこと。
- 19 もう1年あるので市民の立場で市民の生活向上を提言できるから。
- 20 大事な事なのに知らない事が多くとても勉強に成りました。
- 21 職員の働きが良くわかった。
- 22 いろいろな人の考え方が分かり良かった。
- 23 普段わからない行政内容について深く考える機会となった。市全体を考える機会ともなった。責任ある立場を感じ社会人としての訓練となった。
- 24 勉強をさせていただきました。
- 25 市としての問題点がわかった。
- 26 市行政に参加出来、良く理解出来た。
- 27 いろいろなことが良くわかり勉強になった。
- 28 やはり知らなかったこと等多かったので参加していろいろ勉強になったので。

29 舞台裏の苦労が受け止められた。
30 審議されている内容が把握できてよかった。
31 市政の内情の一部がわかった。
32 市に払っている税金の使われ方の一部を知ることができたので良かった。
33 今まで接することのなかった分野の方々とお話しができ、自分自身のフィールドが少し広がった気がいたします。
34 今まで文字だけでしか分からなかった部分が、内容を理解し、又、行政の大変さがわかりました。
35 任期はあと1年。職員の意識改革に努力したい。
36 粕江在住、在勤の方々とこんなにすばらしい人達がいたと思うとよかったです。
37 大変ためになりました。
38 実際に委員として関わることで、市政側の視点も理解できたと思っているので。
39 市民参加の問題点がよくわかった。
40 市の市民協働への姿勢、意識の高いことが確認出来た。
41 今後も皆さんと一緒に市民の一人として粕江市の福祉を考えていきたい。
42 粕江市の現状が把握できた。
43 市に貢献出来たと思う。また、市民の方にも説明しうる内容の答申と考える。
44 良い経験になると思うから。
45 粕江市内で起きていることがよくわかった。
46 粕江市の行政にとどまらず(市民委員の方のご意見で)地域の事を色々知る事ができ、関心ももった。

【2. あまり良くなかった理由】

1 粕江市の10年先・20年先をどの様にするのか？討議されていない。
2 粕江市の危機的状況を確認する意味ではそれなりに意義はあったが、それが市政に反映されるとはとも思えず徒労であったと空しさだけが残った。
3 時間のムダであった。(市民も行政も)
4 回数が少なすぎる。人数も少ない。全体像が語れる人をあと2-3人、2町で1人くらい。

【3. どちらでもない理由】

1 良い経験になりました。
2 「良かった」という言葉とは違うが、意味はあったと思う。
3 設置要綱には健康づくりの啓発、事業への参加推進とあるが、年間計画を具体的に示されるよい。個人として参考資料等の蒐集も出来る。
4 自分の専門知識が活用できなかったから。

○今後、同じ会議または他の会議に市民委員として応募しますか？

	H21		H20	H19
	回答数	%	%	%
1. 応募と思う	48	51%	51%	45%
2. 応募しないと思う	8	8%	9%	14%
3. わからない	39	41%	40%	41%
計	95			

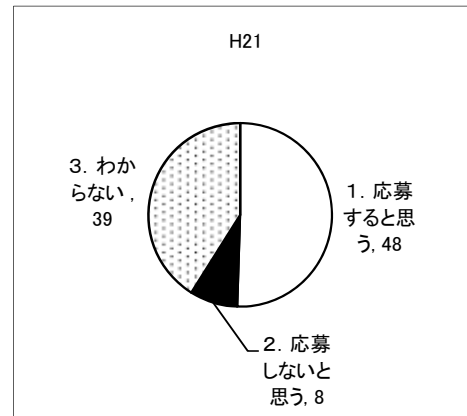
応募を希望する会議名

「高齢者ボランティア活動、音楽の街・狛江」「行政市民刷新会議（行政改革に直結する会議）」

「行財政関係」「行政評価（外部評価）」「こまバス、市民協働・市民活動関係」

「同じ会議」「こまバスについての委員会」「青少年育成関係」

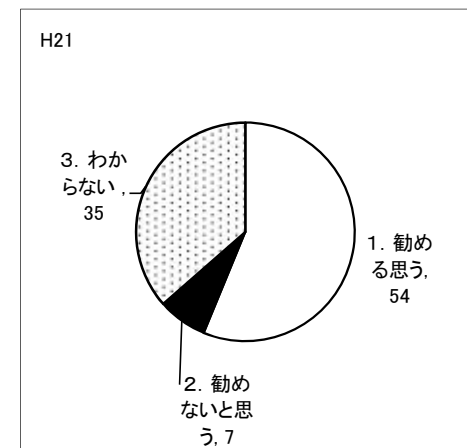
「地域包括支援センター運営協議会」「特別職報酬審議会、教育のあり方審議」



○今後、家族・友人に公募市民委員としての参加を勧めますか？

	H21		H20	H19
	回答数	%	%	%
1. 勧める思う	54	56%	62%	45%
2. 勧めないと思う	7	7%	0%	9%
3. わからない	35	36%	38%	47%
計	96			

「1. 勧めると思う」の回答の割合が高い。



○ご意見・ご感想など、自由にご記入ください。

1 年間を通して、あまり力になれませんでした。委員としては昨年度までですが、狛江市内で何か手伝えることがありましたら参加したいと思っています。
2 今後の審議内容について、内容を前に知らせていただけると、自分の考えを準備できるので、検討事項を案内していただけるとよいと思う。介護への地域参加促進になるようなしくみを考えていくことで、安心な暮らしが送れるのではないかと考えているので、審議会の内容と異なったら、その様な会議があれば教えて下さい。
3 資料をただ目を通し当日説明を受ける、そして審議するのですが、型だけの様な気がしている。
4 審議会の予定日を2, 3日出して委員の多くの方が参加できるようにして頂きたい。第1回の審議会是他のどうしても休めない仕事と重なって欠席した。もう少し早目に、2, 3の日を出していただければ休まなくもすんだかも知れないから。
5 私は狛江が大好きです。小さな狛江市でなければ取り組めない行政の仕事を、更に皆で盛り上げて、応援して、実践して行きたい。狛江大好き人間をたくさん作って、よい街造りに参加したい。大変お世話になりました。初めての経験で、狛江市の行政がこんなに細かく市民を巻き込んで作られていたことを、友人達に広めて行きたいです。
6 当初考えていたレベルのものではなかったが、参加されていた方は相応に努力されていたという印象を持ちました。出席回数が少なく申し訳ありませんでした。
7 このアンケートでは、設問に一工夫すると思う必要がある。例えば、全て良い、良くないではなく、ある具体箇所は良かったが、違う案件(箇所)では良くないとか、総括判定を良い、良くないでくれない設問もあるのではないかな？
8 議事録作成の速さには感心しました。内容が多くて事務局は全体を把握するのは大変だと思いました。市民委員は関心事が個々異なるのに意味があるのですが、発言を聞いたとき、司会者がコメントして、言葉だけでなくその背景及び全体の位置づけなど焦点づけして貰えると審議が深まるのと思いました。
9 狛江市に将来が在るかの様な基本計画は市民の理解を誤らせるもの。当市の規模貧弱な財政状態を考えれば調布市との合併しか根本的生き残り策はない。それをもっと市民に赤裸々に示すべき。
10 「総合基本計画」もお送りいただきありがとうございます。制約も多いと思いますが、時代を先取りした諸施策を”住民・地域のため”着実に実施していただければと思います。またお手伝いできれば・・・と存じます。
11 また、参加出来れば内容を勉強して発言したい。
12 資料を見るにしても表面でしか読み取れなかったもので、なかなか意見が言えませんでした。他の方の意見を聞くことで、参考になりました。自分が考えていた環境よりも、だいぶ広範囲にわたってありましたので色々気づかされました。何かの折に役立てればと思っています。
13 市役所の職員の方々、テキパキと会議をまとめ、議事・資料作成、パソコンがあるとは云え、大変です。お仕事とは云え、お疲れ様でした。
14 分科会・審議会の答申がどの段階で、どの様に修正されたか、その部分と修正の理由をその都度直ちに各委員に文書にて報告して欲しい。また、議会等を経て策定された後、改めて各委員を招集して報告して欲しい。パブコメも或る特定のグループらしき人達が、同じ項目を同じような意見を同じような提言で寄せられているように感じられるものが多数ありましたのも、採択の場合に考慮に入れるべきだと思います。
15 市民意見と会長・事務局まとめの間を、双方向でやりとりできる説明が必要。そのための時間も必要。市民参加が形がよい化する。
16 会議をする前に少人数グループを作って意見を議論したりした方が良かったと思った。1人1人ではなかなかうまく意見を言えない。
17 今までの経験や専門分野でお役に立てることがあれば、参加したいと思います。今後ともよろしくお願いします。
18 一般市民も参加してのこの度の試み、これからも長く続けて欲しいと思います。行政が街で生活している人々の思いを知る良い機会だと思う。
19 市民として自由に意見、提言を受入れる姿勢をもつことを希望します。
20 ①無作為抽出による市民委員の選出は今後も続けていただきたい。②委員会答申と最終案との接点については意見交換の場を今後最終段階で設けるべき。

21 ①分権が進み、基本計画が自治の指標になる。その時に、もっと市民が主体的に参加し、議論できる枠組みが必要。施策評価の提示、十分な討議時間の保障と、市民側の力量の向上、案文まで書く覚悟。②P46「透水性舗装」分科会では、職員側も含め、必要との意見はなかった。疑問と何回か発言したが、あえて入れた理由を知りたい。③無作為抽出で参加された方が途中で何人か出席しなくなった理由を知りたい。残念です。④子ども参加の形がよい化。
22 市民参加のあり方(市民委員会・パブリックコメント)を根本的に見直す必要があるのでは？
23 報酬はなくても良いが、出すならより高額であってよいのではないか。
24 専門職の委員が居られるが、積極的な提言が少ないように思う。
25 「会議回数の少ない理由は予算面と委員が職業をもっているということであったが、市民の健康づくりは広範にわたるので多面に互って協議するとなると5回ぐらいがよい。医師の代表は必要な時に出てもらうなど会議内容を考慮、充実したものにしたい。設置要綱により変更できないと思うが。」「これからは団塊の世代が増えてきます。市のために役立ちたいと思う人も多いと思う。こういう人たちの貴重な職場経験を生かすことはできないのか。福祉関係、特に健康づくりは間口が広いので、細分化して(新しい会を作ってでも)市民協働の成果をあげるようにしたいものである。(担当の係は仕事が増えると思うが、委員で分担するようにしては如何なものか。)」
26 街づくりの為に必要な部署をもっとアピールしても良いと思います。市民の皆さんがもっと協力して行くと良いと思います。
27 初めての参加で戸惑いを感じたが参加して良かったと思います。
28 事務局の姿勢と見識(知識、ヤル気、企画立案力)によって大きく差が出ることを理解した。
29 報酬について、対等・平等の関係で合議制での会議を行なっているので、3段階の報酬となっていることには異和感を感じます。一般公募の市民委員に合わせて日額3,000円となりますと説明がありました。決まったこととして受け取りました。委員長の額が他の委員さんと違い、3段階の額となることは説明されませんでした。行政と市民との協働はまちづくりをすすめるうえで大変大事なことです。コミュニケーションをつくり相互のよい関わりをつくれればと思います。このアンケートにあるような内容について関係各事務局へも投げかけていただき、委員の関わり方、事務局の関わり方を共に点検し合い、これからのよりよいまちづくりのための審議会、協議会となりますよう企っていただければと思います。
30 長い間(6年間)ありがとうございました。次期の委員の方は、とても良い方ですので、安心しています。
31 一つの会議に市民委員は余り長くいるのもどうかと思うが、ある程度の継続性も必要。市民委員の機能が活かされるためには、専門性を持った有識者委員が存在しないとならない。個人情報・情報公開法制等にくわしい研究者等が本来ふさわしい。しかし、全国の市町村に審議会があり、中々難しいとは思いますが。
32 審議会は個人情報の保護が本来の任務であるが、目的外使用や外部接続などにより効率化やサービス向上にもつながると説明される。後日、この点に関して具体的な事例があれば報告してもらいたい。
33 この審査会は実施機関に対する異議申立がなければ開かれないので、閉店休業なのは当然なのだが、折角の審議会なので、粕江市の情報公開体制全般の議論を行なってもよいのではないか。
34 参加できるチャンスをいただき感謝しています。
35 働いているので、平日ならば夜間でないと参加できません。事務局の皆さんおつかれ様です。ありがとうございました。
36 公共交通会議とわけている理由がわからない。一体化を。応募者がいないとは言え「地方公務員」系の人ばかり？民間畑の私にはイワカン。
37 本当は市民みんなが一度は(市民委員に)参加できると意識が高くなると思うのですが。他の市民公募については、わかりませんが、「ゴミ」については、市民全員必ずかかわっていることなので、何とか皆さんに知っていただきたいと思うことが多くて、どのような形で参加できるか、考えることが多かったです。
38 良い機会が与えられ、一市民としての責任がはたせたか疑問だが、税金の使い方が感じられた。
39 難聴でご迷惑をかけました。医者から補聴器をつければ十分聴こえるということでしたが、補聴器を調整してもうまくいかなかった。補聴器が音の高い低いの調整できるか、ききづらいいはだめですと補聴器屋は言うのです。現在特別の方法で治療します。少しずつよくなっているので、治りましたら活動したいと思っています。ご迷惑をかけるようでしたら解役して下さい。
40 実際に現場で仕事をしている人(例えば、保育士、作業所の職員、施設職員、障がい者・児の親等)を委員にするべきだと思う。よい議題が出て、話し合っても、その場で終わってしまい、その後にいかされていない。

41 審議会で決めた事項は、内部機関でなく、第三者が実施等を評価するシステムを構築する必要がある。
42 議長と司会進行役は毎回確実に出席できる人で、声が大きく、手短にまとめることが上手な人を厳正に選んでいただきたい。
43 開催時間は、1時間30分の予定でしたが、2時間～2時間30分になることがありました。当初よりの時間設定を検討してほしいです。
44 会議に参加して、食育、食に対する真剣な取組に感心し、納得してます。狛江市がますます好きになりました。いろいろと厳しい財政の中、前向きに進めることと、多くの市民に伝えるためのアピールが大切と思ってます。
45 委員の中で、現場の先生のご欠席が多く、生の現場の声や実態を知ることができなかったのはとても残念です。このすばらしい行動計画が決して机上のもので終わることのないよう、狛江市民の為にフィードバックされることを切に望みます。ありがとうございました。
46 今回は、いろいろとお世話になりました。多方面の方々と委員会が構成され、大変勉強になりました。子育ての内容でしたので近所の方や友人にアドバイスできる要素が増えました。ありがとうございました。
47 狛江市の沈滞は行政の能力不足であることが解った。旧来の保守的な官吏が狛江市職員には残っている。思いきった改革、進化させようという意気に欠けている。他市との交流などベンチマーキングを進めるべきである。旧弊を変えようとしないう行政の考えを押しつける委員会のあり方を変えないと狛江市の活性化は望めない。
48 参加しないと事実がわからない。市民参加の形だけに近いという事。
49 スポーツ振興としてもっと子供(高校生)までの育成として市で何がバックアップできるか、そんなテーマの仕事がしたかった。
50 私自身、狛江市を勉強するために入会したので、大したことはできませんでしたが、個人としては有意義だった。感謝。
51 議会にだす答申を事務局で多量に修正するのであれば、会議の時に修正箇所を提案してほしい。
52 ①基本構想・基本計画の策定の前提である自治体改革ビジョンがない。「成果指標」も未分化であり、「選択と集中」が示せなかったことは失敗だった。②市民参加(条例)の手直しでなく、「地方政府」を主権者である市民がコントロールする「自治体基本条例」への議論を出発させるべきである。
53 報酬はなくても良いと思えるような内容にするべきだと思います。このように市民が参加することは大変有意義だと思います。ただ、「有意義な参加」となるか否かは、市民の積極的な意識が大前提だと思います。市民が積極的な意識を持たざるを得なくなるような効果的なPR、動機付け、審議内容を是非提供していただきたいと思います。
54 あまり貢献出来ず申し訳なかったです。
55 月1回の3～4ヶ月間に2時間ずつだけでは、資料の説明や結果報告で、最後は市にお願いする形で終わってしまい、審議する時間がたりないと感じました。せめて半年間位は市民参加委員として問題を見守りたかったと思いました。
56 各種委員会での委員の重複が多いと思われます。
57 今後とも未熟ながら自分なりに努力をし、皆さんと一緒に市民として福祉の問題に取り組んでいきたいと思っています。市民の声が反映される福祉に期待したいです。
58 ○○先生が出席する会議は、会議・審議の的がはずれず充実した協議会であると思う。市側の事務局の勉強を含めさらなる努力を期待したい。
59 特にありません。
60 今後ともよろしくお願いいたします。
61 まちづくり委員会はマンション建設の調整会の色彩が強く、委員会の会議内容が片寄っていると思う。
62 審議内容のボリュームから考えて、進行のプランから厳しいと思えた。(最後が時間切れのシリキレトンの感じ。)しかし、行政と市民が直接、接点を持てる場は貴重で、(民主主義の原点なので)こうした機会は推進してほしい。

公募市民委員アンケート集計結果～基本計画策定市民分科会編～

調査対象:平成21年度、市の審議会(委員会・協議会等)に
公募による市民委員として参加されていた方

* 公募によらない市民委員[無作為抽出により募集した市民]を含む。

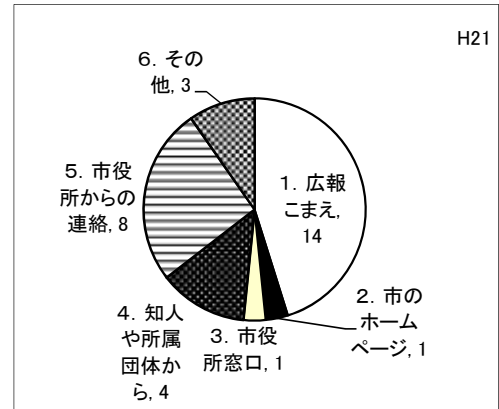
調査期間:平成22年3月19日～4月20日

実績	
送付数	141通 (H20:84 H19:77)
回答数	98通 (H20:56 H19:53)
回答率	69.50% (H20:66.67 H19:68.83)

◆市民委員に応募した時点のことを伺います。(複数回答可)

○次のどの方法で委員募集を知りましたか？

	H21	
	回答数	%
1. 広報こまえ	14	45%
2. 市のホームページ	1	3%
3. 市役所窓口	1	3%
4. 知人や所属団体から	4	13%
5. 市役所からの連絡	8	26%
6. その他	3	10%
計	31	



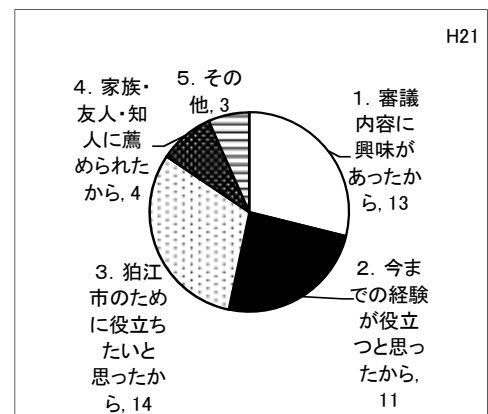
「1.広報こまえ」の割合が高く、次いで「5.市役所からの連絡」の順となる。

「6.その他」について

・「市からの郵便物で参加の意があれば返信して下さいとあったので。」

○応募のきっかけは何ですか？

	H21	
	回答数	%
1. 審議内容に興味があったから	13	29%
2. 今までの経験が役立つと思ったから	11	24%
3. 狛江市のために役立ちたいと思ったから	14	31%
4. 家族・友人・知人に薦められたから	4	9%
5. その他	3	7%
計	45	



「3.狛江市のために役立ちたいと思ったから」の割合が高く、次いで「1.審議内容に興味があったから」、
「2.今までの経験が役立つと思ったから」の順となる。

「5.その他」について

・報酬があったから。

・以前政府の委員会の委員を経験したことがあるので(郵政省と通産省)、狛江市の委員会の内容を経験したから。

・多様性確保のため。

◆平成21年度の会議の事務について伺います。(いずれか一つに回答)

○平成21年度の会議の開催回数についてどのように感じましたか？

	H21	
	回答数	%
1. 多い	0	0%
2. 適当	13	59%
3. 少ない	9	41%
計	22	

「2.適当」と答えた方の実際の開催回数は？

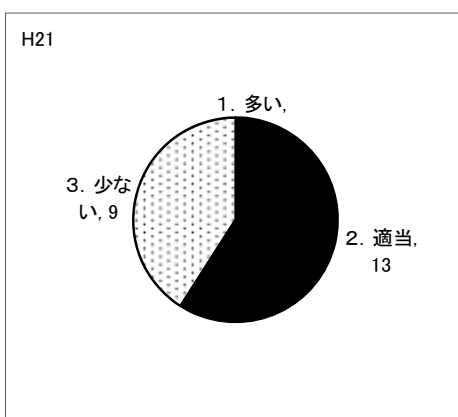
平均 11.5回

「3.少ない」と答えた方の実際の開催回数は？

平均 12.3回

「3.少ない」と答えた方は、どのくらいが適当と考えるか。

平均 26.2回



○会議1回あたりの時間はどのように感じましたか？

	H21	
	回答数	%
1. 長い	4	18%
2. 適当	14	64%
3. 短い	4	18%
計	22	

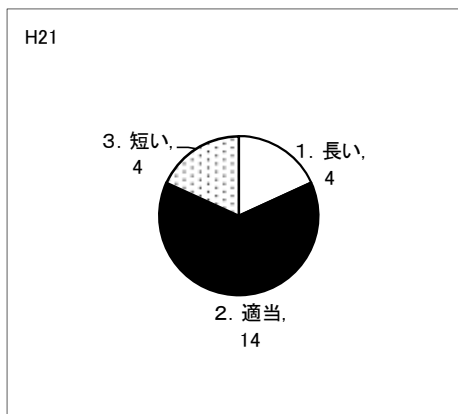
「2.適当」と答えた方の実際の会議時間は？ 平均 2.3時間

「3.短い」と答えた方の実際の会議時間は？ 平均 2.5時間

「3.短い」と答えた方が適当とした会議時間は？ 平均2.8時間

「1.長い」と答えた方の実際の会議時間は？ 平均 3時間

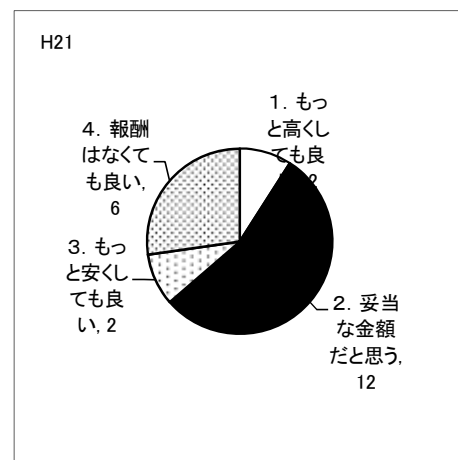
「1.長い」と答えた方が適当とした会議時間は？ 平均 1.9時間



○会議の報酬についてどのように感じましたか？

〈1回につき3,000円〉

	H21	
	回答数	%
1. もっと高くしても良い	2	9%
2. 妥当な金額だと思う	12	55%
3. もっと安くしても良い	2	9%
4. 報酬はなくても良い	6	27%
計	22	

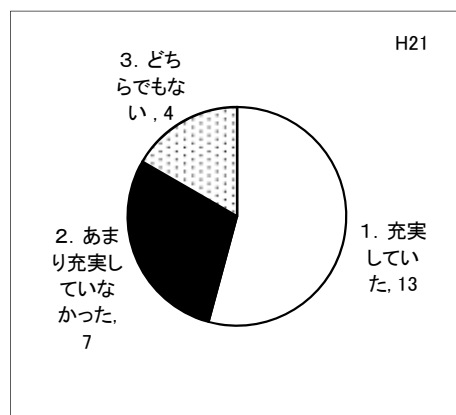


◆平成21年度の会議の中身について伺います。(いずれか一つに回答)

○会議の審議内容についてどのように感じましたか？

H21		
	回答数	%
1. 充実していた	13	54%
2. あまり充実していなかった	7	29%
3. どちらでもない	4	17%
計	24	

「1.充実していた」の回答の割合が高い。



【1. 充実していた理由】

- 2 事務局からの説明のあと審議に入るのでよく理解でき内容も充実していたと思う。
- 3 経験豊かで見識のある委員の存在が大きかった。特に〇〇委員の分析、資料提供が議論を深める上で有効だった。
- 4 無駄な時間もなく、会議が出来ていると感じました。
- 5 問題点にはその物事に知識のある人から意見が出され、活発な議論がなされたと思う。但し、若干些末な部分に向きすぎたきらいはあった。
- 6 各委員から活発な発言があり、内容が充実していた。
- 7 活発な議論があったと思います。私自身もそうですが、興味のある領域や専門分野については、積極的な発言が多かったと思います。
- 25 問題意識の高い方が多いので、活発な意見のやりとりができた。

【2. あまり充実していなかった理由】

- 3 総花的となり、焦点がぼけやすかった。
- 4 問題点の整理が不十分である。
- 5 意見が反映されないことが多いと感じた。
- 6 1回の会議において、審議項目があまりにも多いように思えました。
- 7 審議の進め方(事務局側も含め)の悪さ、審議時間の制約もあり、共通認識にたった議論の深まりに欠けた。
- 8 一般市民としては事前の知識が不足していて充実感は味わえなかった。
- 9 発言が一部の者に片寄っていた。回数が少なく(時間が少なく)十分討議が出来なかった。

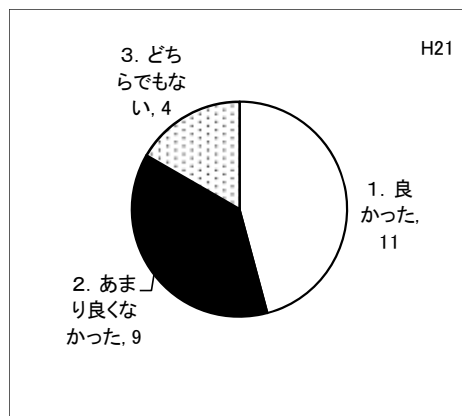
【3. どちらでもない理由】

- 5 ①公募市民の経験差(バラツキ)で核心までの習得理解に時間がかかる。②核心を突いた議論に焦りにくく、冗長になる時間が多かった。
- 6 人が多すぎて審議内容がうまくまとまらない。というのか、強引にまとめたという感じ。
- 7 事務局とのやりとりの場が少なかった。

○審議の進め方(進行)についてはいかがでしたか？

H21		
	回答数	%
1. 良かった	11	46%
2. あまり良くなかった	9	38%
3. どちらでもない	4	17%
計	24	

「1. 良かった」の回答の割合が高い。



【1. 良かった理由】

- 3 資料に対する希望もよく取り入れて頂き、次回の会議には出来上がっていたおかげで、要領よく進行したと思う。
- 4 ほど良く次へ展開していった。
- 5 構成員の経験差の割には、まあまあ、まとめたのではないかな。
- 6 いま少し意見(発言)均等に。時間をうまく。
- 7 皆さん会議に慣れているのか、スムーズに運びました。
- 8 委員長の審議の進め方が良かった。
- 9 横道にそれないよう、うまくコントロールしていたと思います。
- 10 まあまあ程度良かった。短時間で結構内容が多いので、この程度の進め方になると思う。
- 11 疑問に対して適確な回答があった。

【2. あまり良くなかった理由】

- 2 審議内容について内容が幅広く、事務局だけでは把握しきれないと思った。質問にその場で応じられないので、書面による質問と後日の回答をもうけるのがいい。
- 3 少なく共一度や二度は市長が出席し、我々の生の声を聞くべき。
- 4 分科会長の専門性の欠如と、まとめかたの力量不足。
- 5 当日か直前に資料が来るのでチェックできない。
- 6 事務局とのやりとりの場が少なかった。最終案がこんなかたちになるなら、もっと事務局とのやりとりが必要。
- 7 当初の資料が不十分でその確認のために時間がかかった。時間の管理など工夫されていたが、討議期間が圧倒的に足りなかった。
- 8 事務局(行政)の方針、意図が強すぎる。審議会と委員会の位置づけが不明。
- 17 審議のボリュームが多いので、時間不足となりがち。

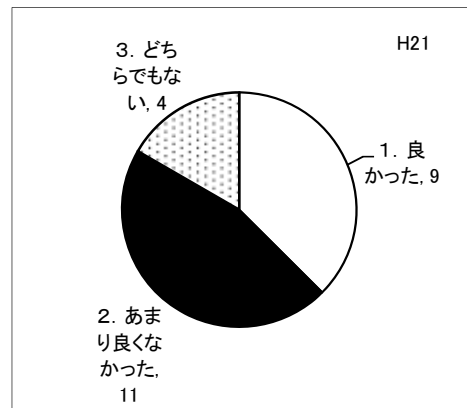
【3. どちらでもない理由】

- 3 いつも時間不足の感が残りました。進行その物は問題ないと思いました。
- 4 一つの議題に長くなりすぎる部分もあった。
- 5 もう少し1人1人の意見をきくべき。

○会議のために事務局が作成した資料や事務局からの説明はいかがでしたか？

H21		
	回答数	%
1. 良かった	9	38%
2. あまり良くなかった	11	46%
3. どちらでもない	4	17%
計	24	

「1. 良かった」の回答の割合が高い。



【1. 良かった理由】

- 3 一部説明(資料)不足が見受けられたが、概して、悪くなかった。
- 4 いま少し分り易く。
- 5 内容は専門的でやや難しく思いました。
- 6 資料もその都度交付されて、説明が加えられた。
- 7 分りやすかった。一部専門用語で、難しい箇所があったが。

【2. あまり良くなかった理由】

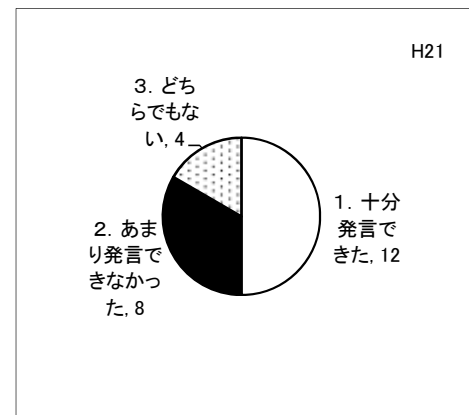
- 1 どうしても体裁を整える話が多かった気がする。
- 2 問題点をわかりやすく整理する事。
- 3 内容は多くても特に審議の必要がある部分は限られるので、そういう部分の強弱を見て焦点をしぼる必要。
- 4 我々の要求で結果的には諸々の資料が出てきたが、予め問題点が明確に理解出来る資料を用意すべき。
- 5 会議の性格・位置づけもあろうが、もっと事務局の考え・方向を主張してもらった方が意見を出しやすいように思った。
- 6 表面的な説明しかできていない。
- 7 一般の人が参加しているのだから、資料を会合の前に渡して自分なりの考えをまとめておく期間(時間)が欲しかった。
- 8 変更部分の色を変えとか、わかりやすくしてほしかった。
- 9 資料の説明が不十分。説明の時間が少なすぎた。資料の整備・提供も不十分。
- 10 現況と課題の分析があいまいで分りにくく、(フォーマットが改善されるまで)委員が現状を理解するのに時間がかかった。
- 11 短期間で全てを吸収するためにはポイントをまとめた資料・解説書が必要。

【3. どちらでもない理由】

- 4 資料が多く目を通すのが大変でした。自信なさげな説明もあったのが気になりました。
- 5 資料が多すぎ！
- 6 適切でした。
- 14 あれだけのボリュームを作成されたのは、大変だったと思います。ただ、その分、配布が遅くなり、次の会議まで目を通すのが難しかった。配布をもっと早くする為の改善を考えていただきたい。(委員一人一人の発言の議事録が必要なのかも疑問。)

○会議でのご自身の発言についてどのように感じましたか？

H21		
	回答数	%
1. 十分発言できた	12	50%
2. あまり発言できなかった	8	33%
3. どちらでもない	4	17%
計	24	

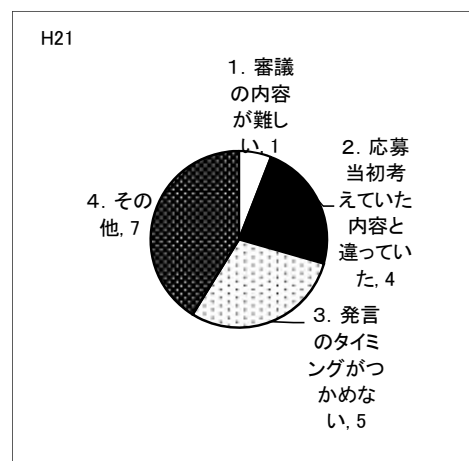


※「2. あまり発言できなかった」「3. どちらでもない」とお答えいただいた方に伺います。

○十分に発言できなかった理由は何ですか？

H21		
	回答数	%
1. 審議の内容が難しい	1	6%
2. 応募当初考えていた内容と違って	4	24%
3. 発言のタイミングがつかめない	5	29%
4. その他	7	41%
計	17	

(複数回答可)



【4. その他】

3 その日の議事内容により変化あり。つまらない発言をしていると感じたこともあり、その時は少し他人の発言をよく聴こうと思った。(反省した。)

4 出席回数が、仕事の関係で少なかった。

5 他の委員の意見を出来る丈尊重したいため、多少自己主張は控えた。

6 市民会議等に訓れている方々と自分との差がありすぎました。

7 知識の乏しい分野では、なかなか実感を伴わず、意見が出しにくかった。興味のある分野では意見を述べる事ができたと思う。

8 一人とか二人とかいつも同じ人が発言することが多すぎる。

9 自身の力量。

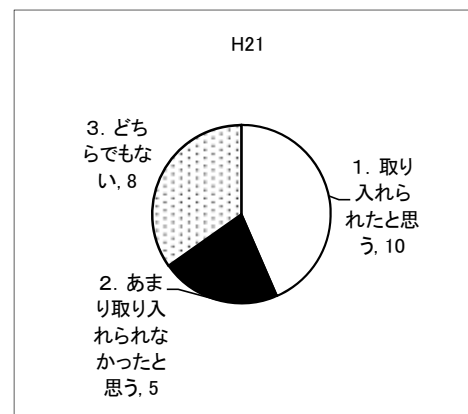
19 自分が市の実状について深いところで理解できていなかったり、市民の声が会議の場で出にくかった為、「市民が何をどう考えているのか」がつかめなかった為です。

20 調整会が多く、自分の知識不足から。

○審議の中でご自身の意見が取り入れられたと思いますか？

H21		
	回答数	%
1. 取り入れられたと思う	10	43%
2. あまり取り入れられなかったと思う	5	22%
3. どちらでもない	8	35%
計	23	

「1. 取り入れられたと思う」の回答の割合が高い。



【1. 取り入れられたと思う理由】

- 2 資料に対する希望が、次回の資料に反映され、議事内容が頭の中ですっきりと整理され毎回役に立った。
- 3 議事録内容にのっている。
- 4 皆さんに賛同していただいた。
- 5 各委員の方の賛同が得られたので。
- 6 学んだことで、各地域に施設ができ、特養施設建設が評価されたこと。
- 16 市民委員会で、他の市民委員の方が同意された物は、取り入れられた。

【2. あまり取り入れられなかったと思う理由】

- 2 狛江市の問題点に民間人の考えも取入、創意工夫する事も必要と思う。
- 3 内容をまとめることに意識が働きすぎ。人権意識に対する認識が事務局と違っていると感じた。
- 4 発言ができなかった為。
- 5 自分の発言について充分話しが進まぬうちに、時間がなくて次の項目に移って行くので、中途半端な思いが多かった。

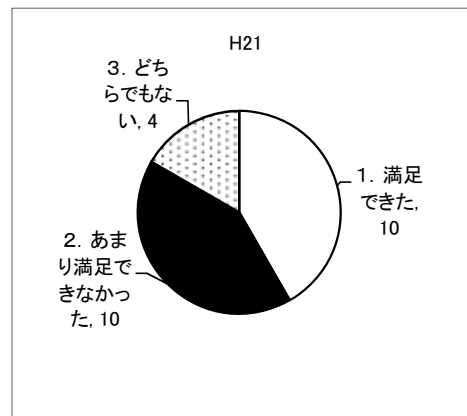
【3. どちらでもない理由】

- 4 話した内容は意見として頂いたようだが、その意見も役に立てた実感が乏しい。
- 5 充分取り入れられた部分と、あとは行政当局の意思決定の部分と両面あったから。
- 6 取り入れられたものもあるが、重要な案件を共有して深められず、消化不良の部分は大きい。
- 7 最終案についての市側の説明の機会が設定されなかったため、質問や議論ができなかった。

○会議がまとめた答申(提言・報告)内容について、どのように思いますか？

H21		
	回答数	%
1. 満足できた	10	42%
2. あまり満足できなかった	10	42%
3. どちらでもない	4	17%
計	24	

「1. 満足できた」、「2. あまり満足できなかった」の回答の割合が同数。



【1. 満足できた理由】

- 2 重要なポイントはおろ込まれていた。
- 3 限られた期間、及び市民委員のバラツキ等の条件下では、一応評価されても良い答申と思う。
- 4 参加市民の代表の意向が分る。
- 5 審議の内容が反映されたものになったと思う。
- 6 行政が進んで行く方向が自分の思いに近いものであること(不足もあるが)が解ったから。
- 7 評価されたこと。

【2. あまり満足できなかった理由】

- 1 言葉尻、文言にこだわり過ぎて内容が深まったかは疑問。
- 2 目先の事だけを取上げできたため。
- 3 短期間でまとめたため、審議が少なく、事務局の素案がそのまま通ることが多く、審議内容が反映されにくかった。
- 4 自分の意見が或る程度取り入れられたとは思うものの、我々が感じている粕江市の危機的状況は全体に埋没してしまって読む者に訴えるものとはなっていない。
- 5 分科会の答申が審議会の答申に全面的に採択されたが、その後、市や議会への答申が大幅に改訂されたし、前向きの提言が削除された部分が随所にみられ残念です。
- 6 最終案についての市側の説明の機会が設定されなかったため、質問や議論ができなかった。
- 7 施策成果指標も分科会で議論すべき。
- 8 全体像が判らない中での一部分のみ。このような委員会はいらない。

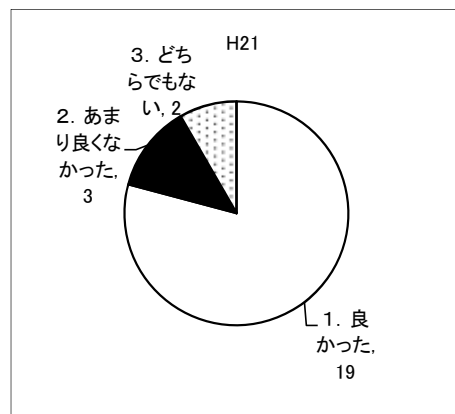
【3. どちらでもない理由】

- 3 良かったと思いました。
- 4 可もなく不可もないものができると思っていた。
- 12 大方は納得できたが、市民委員会の位置づけがややあいまいな感じが残った。

○公募市民委員として会議に参加してどうでしたか？

H21		
	回答数	%
1. 良かった	19	79%
2. あまり良くなかった	3	13%
3. どちらでもない	2	8%
計	24	

「1. 良かった」の回答の割合が高い。



【1. 良かった理由】

- 4 以前から、参加したいという意志はあったが、私にとってむずかしすぎるのではないかとの思いもあった。しかし市民としての意見を言えばよいとわかり、充実感が湧いた。
- 5 勉強になった。
- 6 更めて、行政及び市民意識等の問題を実感したこと。
- 7 情報を得ることが出来た。他の委員の意見が聞けた。知らないことが多く、様々な考えの人がいて興味深く思った。
- 8 議題としている内容がつかめた。
- 9 市民となってからそう長くもなく、市とのかかわりもない生活を送っておいりましたので出席して、色々な面を知る事が出来ました。
- 10 初めての経験で緊張しましたが、こうして、会議で意見を出して、きめられて行く事が解りました。
- 11 市としての問題がよくわかり、一市民としてどう行動するか指針が持てた。
- 12 大変勉強になりました。行政や議会の実態が或る程度わかり、市民との間にかなりのへだたりがあることが勉強になった。
- 13 あらためて会議は大変だと理解できた。
- 14 多様な考え、見方が確認できて良かった。
- 15 市民として市のため、街のために少しでも役立てれば良いとの思いは常に持っていますので。
- 16 意見が云えたこと。
- 17 日頃、知り合うことのない分野の人を知った。市役所の人も。
- 18 無作為抽出の委員選考が行なわれ、様々な立場の方と議論できたこと。
- 46 狛江市の行政にとどまらず(市民委員の方のご意見で)地域の事を色々知る事ができ、関心ももった。

【2. あまり良くなかった理由】

- 1 狛江市の10年先・20年先をどの様にするのか？討議されていない。
- 2 狛江市の危機的状況を確認する意味ではそれなりに意義はあったが、それが市政に反映されるとはとも思えず徒労であったと空しさだけが残った。
- 3 時間のムダであった。(市民も行政も)

【3. どちらでもない理由】

- 1 良い経験になりました。
- 2 「良かった」という言葉とは違うが、意味はあったと思う。

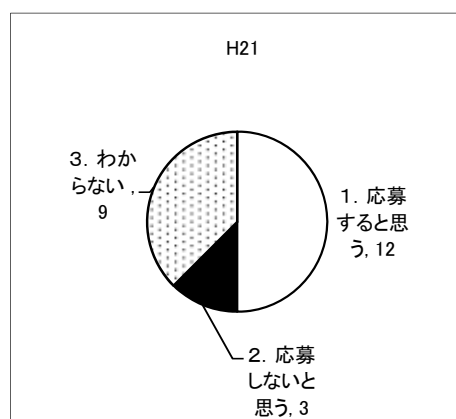
○今後、同じ会議または他の会議に市民委員として応募しますか？

	H21	
	回答数	%
1. 応募すると思う	12	50%
2. 応募しないと思う	3	13%
3. わからない	9	38%
計	24	

応募を希望する会議名

「高齢者ボランティア活動、音楽の街・狛江」「行政市民刷新会議（行政改革に直結する会議）」

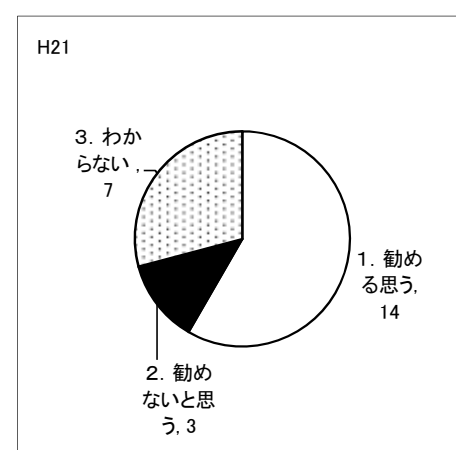
「行財政関係」「行政評価（外部評価）」



○今後、家族・友人に公募市民委員としての参加を勧めますか？

	H21	
	回答数	%
1. 勧めると思う	14	58%
2. 勧めないと思う	3	13%
3. わからない	7	29%
計	24	

「1. 勧めると思う」の回答の割合が高い。



○ご意見・ご感想など、自由にご記入ください。

5 私は狛江が大好きです。小さな狛江市でなければ取り組めない行政の仕事を、更に皆で盛り上げて、応援して、実践して行きたい。狛江大好き人間をたくさん作って、よい街造りに参加したい。大変お世話になりました。初めての経験で、狛江市の行政がこんなに細かく市民を巻き込んで作られていたことを、友人達に広めて行きたいです。
6 当初考えていたレベルのものではなかったが、参加されていた方は相応に努力されていたという印象を持ちました。出席回数が少なく申し訳ありませんでした。
7 このアンケートでは、設問に一工夫すると思う必要がある。例えば、全て良い、良くないではなく、ある具体個所は良かったが、違う案件(個所)では良くないとか、総括判定を良い、良くないでくれない設問もあるのではないかな？
8 議事録作成の速さには感心しました。内容が多くて事務局は全体を把握するのは大変だと思いました。市民委員は関心事が個々異なるのに意味があるのですが、発言を聞いたとき、司会者がコメントして、言葉だけでなくその背景及び全体の位置づけなど焦点づけして貰えると審議が深まるのと思いました。
9 狛江市に将来が在るかの様な基本計画は市民の理解を誤らせるもの。当市の規模貧弱な財政状態を考えれば調布市との合併しか根本的生き残り策はない。それをもっと市民に赤裸々に示すべき。
10 「総合基本計画」もお送りいただきありがとうございます。制約も多いと思いますが、時代を先取りした諸施策を”住民・地域のため”着実に実施していただければと思います。またお手伝いできれば・・・と存じます。
11 また、参加出来れば内容を勉強して発言したい。
12 資料を見るにしても表面でしか読み取れなかったもので、なかなか意見が言えませんでした。他の方の意見を聞くことで、参考になりました。自分が考えていた環境よりも、だいぶ広範囲にわたってありましたので色々気づかされました。何かの折に役立てればと思っております。
13 市役所の職員の方々、テキパキと会議をまとめ、議事・資料作成、パソコンがあるとは云え、大変です。お仕事とは云え、お疲れ様でした。
14 分科会・審議会の答申がどの段階で、どの様に修正されたか、その部分と修正の理由をその都度直ちに各委員に文書にて報告して欲しい。また、議会等を経て策定された後、改めて各委員を招集して報告して欲しい。パブコメも或る特定のグループらしき人達が、同じ項目を同じような意見を同じような提言で寄せられているように感じられるものが多数ありましたのも、採択の場合に考慮に入れるべきだと思います。
15 市民意見と会長・事務局まとめの間を、双方向でやりとりできる説明が必要。そのための時間も必要。市民参加が形がい化する。
16 会議をする前に少人数グループを作って意見を議論したりした方が良いと思った。1人1人ではなかなかうまく意見を言えない。
17 今までの経験や専門分野でお役に立てることがあれば、参加したいと思います。今後ともよろしくお願いします。
18 一般市民も参加してのこの度の試み、これからも長く続けて欲しいと思います。行政が街で生活している人々の思いを知る良い機会だと思う。
19 市民として自由に意見、提言を受入れる姿勢をもつことを希望します。
20 ①無作為抽出による市民委員の選出は今後も続けていただきたい。②委員会答申と最終案との接点については意見交換の場を今後最終段階で設けるべき。
21 ①分権が進み、基本計画が自治の指標になる。その時に、もっと市民が主体的に参加し、議論できる枠組みが必要。施策評価の提示、十分な討議時間の保障と、市民側の力量の向上、案文まで書く覚悟。②P46「透水性舗装」分科会では、職員側も含め、必要との意見はなかった。疑問と何回か発言したが、あえて入れた理由を知りたい。③無作為抽出で参加された方が途中で何人か出席しなくなった理由を知りたい。残念です。④子ども参加の形がい化。
22 市民参加のあり方(市民委員会・パブリックコメント)を根本的に見直す必要があるのでは？
62 審議内容のボリュームから考えて、進行のプランから厳しいと思えた。(最後が時間切れのシリキレトンの感じ。)しかし、行政と市民が直接、接点を持てる場は貴重で、(民主主義の原点なので)こうした機会は推進してほしい。

○会議のために市の事務局が作成した資料や事務局からの説明はいかがでしたか？

1. 良かった
2. あまり良くなかった
3. どちらでもない

理由：

○会議でのご自身の発言についてどのように感じましたか？

1. 十分発言できた
2. あまり発言できなかった
3. どちらでもない

※「2. あまり発言できなかった」「3. どちらでもない」とお答えいただいた方に伺います。

○十分に発言できなかった理由は何ですか？

1. 審議の内容が難しい
2. 応募当初考えていた内容と違っていた
3. 発言のタイミングがつかめない
4. その他（

○審議の中でご自身の意見が取り入れられたと思いますか？

1. 取り入れられたと思う
2. あまり取り入れられなかったと思う
3. どちらでもない

理由：

○会議がまとめた答申（提言・報告）内容について、どのように思いますか？

1. 満足できた
2. あまり満足できなかった
3. どちらでもない

理由：

○公募市民委員として会議に参加してどうでしたか？

1. 良かった
2. あまり良くなかった
3. どちらでもない

理由：

○今後、同じ会議または他の会議に市民委員として応募しますか？

1. 応募すると思う（希望する会議名があれば⇒
2. 応募しないと思う
3. わからない

○今後、家族・友人に公募市民委員としての参加を勧めますか？

1. 勧めると思う
2. 勧めないと思う
3. わからない

○ご意見・ご感想など、自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。同封の返信用封筒でご返信ください。

審議会等担当：〇〇課△△係

アンケート担当：企画財政部政策室協働調整担当

TEL：03-3430-1111（内線****）

TEL：03-3430-1111（内線2454）

新聞折込パブリックコメント試行実施について〈報告〉

【目的】

市民参加手続きの中でも、多くの市民参加が求められるパブリックコメント制度は重要な手法であるが、寄せられる意見の件数は伸び悩んでいる。

件数の伸びが期待できる新聞折込の方法を試行的に実施し、費用対効果の検証を行なう。

【実施について】

平成 21 年度の第 3 次基本構想及び男女共同参画推進計画策定におけるパブリックコメントで試行実施した。(別紙参照)

基本構想は市政全般に関わる重要施策で、市民意見を十分に取り入れたものにする必要があるため、市民参加手続きを充実させるべきである。男女共同参画推進計画については、市民の興味の隔たりが予想できることから、パブリックコメントの件数は見込めないものと予想できる。

この試行によりどれだけの効果が得られるか、一定の判断ができるものとする。

①実施方法

施策概要について広報こまへの別紙(1 枚 2 頁)として作成し、新聞折込にて各家庭へ配布し、公共施設窓口等に配置した。

紙面に料金受取人払郵便での意見提出用郵便はがきを印刷し、切り取って送付していただいた。

②実施結果

・第 3 次基本構想

実施期間 平成 21 年 7 月 1 日～21 日

提出意見数 222 件

提出者数 104 名 内、広報紙面はがき(以下、はがき)利用者は 75 名

◇参考 前期基本計画

実施期間 平成 22 年 1 月 15 日～2 月 1 日

提出意見数 281 件

提出者数 44 名

・男女共同参画推進計画

実施期間 平成 21 年 12 月 15 日～平成 22 年 1 月 12 日

提出意見数 40 件 内、はがき利用は 24 件

提出者数 11 名 内、はがき利用者は 8 名

第 3 次基本構想では 72%の方がはがきを利用し、男女共同参画推進計画では、はがきが提出意見数の 60%を占め、73%の方がはがきを利用した。

③経費

	基本構想	男女計画	
合計	269,595 円	266,345 円	差額 3,250 円
内訳			
作成委託費	210,810 円	左記金額と同様	
新聞折込手数料	54,495 円	左記金額と同様	
後納郵送料	4,290 円	1,040 円	

【考察】

パブリックコメントの一つの手法として一定の効果があつたのではないかと考える。

第3次基本構想の提出意見数は、前期基本計画より少ないが、前者への提出者数は、後者より60名上回っている。広く市民から意見をいただいたという点で評価ができる。

男女共同参画推進計画については、昨年度この手法を用いず実施された他の3施策（基本計画以外）より提出者数、提出意見数共に多い結果となった。

この手法には、施策素案概要を見て、意見や質問をその場ですぐに書け、あとは切り取ってポストに投函するという意見提出の手軽さがある。このように、市民が手軽に市民参加できる手法の導入は、今後検討していく必要があると考える。

経費は前年度予算要求が必要で、初校から製品受け取りまで約1ヶ月の時間がかかることは、導入するにあたり考慮が必要である。

（実施にあたっては、広報に別紙（2色刷り）として折り込むことから、広告と間違われる可能性もある。広報に「パブリックコメント実施中・詳細は別紙」の旨の記載が必要と考える。また、パブリックコメントの手法として広く市民に知っていただくために、パブリックコメント実施前の説明会等で直接市民に手渡しする必要があると考える。）

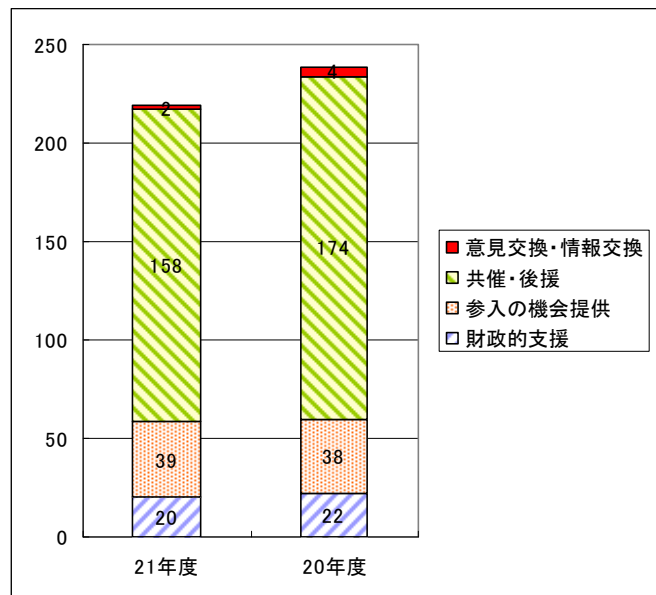
平成 21 年度市民協働事業概要調査

市民協働事業の分野について

財政的支援	「補助金」等、市が市民公益活動団体に対して資金援助を行う事業
参入の機会提供	市と団体が「委託」「協定」等を交わし、協力して実施する事業（協定等による報償としての交付金事業を含む）
共催・後援	市や教育委員会が共催・後援を行う事業
意見交換・情報交換	「懇談会」「ワークショップ」等、協働事業について団体から提案・意見を聞く等の場の開催

1. 市民協働事業件数

	21 年度	20 年度
財政的支援	20 件	22 件
参入の機会提供	39 件	38 件
共催・後援	158 件	174 件
意見交換・情報交換	2 件	2 件
計	219 件	236 件



	19 年度	18 年度	17 年度
財政的支援	20 件	21 件	31 件
参入の機会提供	36 件	36 件	36 件
共催・後援	137 件	138 件	93 件
意見交換・情報交換	3 件	4 件	6 件
計	196 件	199 件	166 件

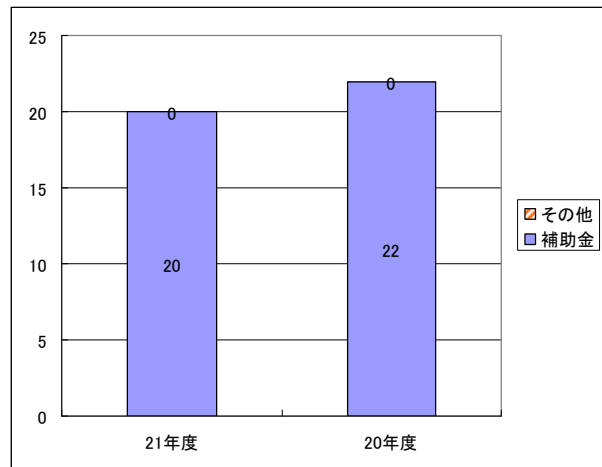
調査結果

○全体的に見ると、平成 20 年度と比較し、17 件減少している。

2. 財政的支援

補助金等事業件数

	21 年度	20 年度
補助金	20 件	22 件
その他	0 件	0 件
計	20 件	22 件



調査結果

○20 年度と比較し、全体で事業件数は 2 件減少している。

○補助金が、2 件減少した。

- ・都市整備課 新規「地区まちづくり準備会助成金」
- ・福祉サービス支援室 新規「小規模作業等新体系移行支援事業」

→「心身障害者(児)通所訓練等事業」、「精神障害者共同作業所通所訓練事業」から移行

- ・安心安全課「調布地区防犯協会等に対する補助金」

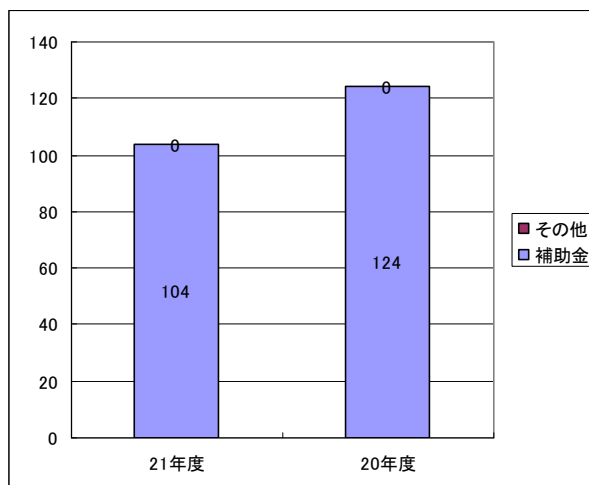
→「調布地区防犯協会狛江支部連合会補助金」と「調布地区防犯協会補助金」を一本化

- ・環境管理課「子ども多摩川ふれあい事業」未実施

	19 年度	18 年度	17 年度
補助金	20 件	15 件	20 件
交付金		5 件	10 件
その他	0 件	1 件	1 件
計	20 件	21 件	31 件

交付団体数

	21 年度	20 年度
補助金	104 団体	124 団体
その他	0 団体	0 団体
計	104 団体	124 団体



調査結果

○交付団体総数では 20 団体減少している。

- ・都市整備課 新規「地区まちづくり準備会助成金」で 1 増。
- ・安心安全課「地区消防隊運営費補助金」で 1 減。
- ・安心安全課「防災会支部運営費補助金」で 1 減。
- ・介護支援課「地域福祉推進事業補助金」で 4 減。
- ・環境管理課「子ども多摩川ふれあい事業」未実施により 1 減。
- ・地域活性課「新しい風補助金」で 5 減。
- ・地域活性課「コミュニティ活動活性化交付金」で 5 減。
- ・福祉サービス支援室「小規模作業所等新体系移行支援事業」で 3 減。

※今ままで施設数で計上し 5 団体と数えていたが、補助を受けているのは 2 団体のため、2 団体で計上した結果、3 減。

- ・福祉サービス支援室「心身障害者（児）通所訓練等事業」で 1 減。

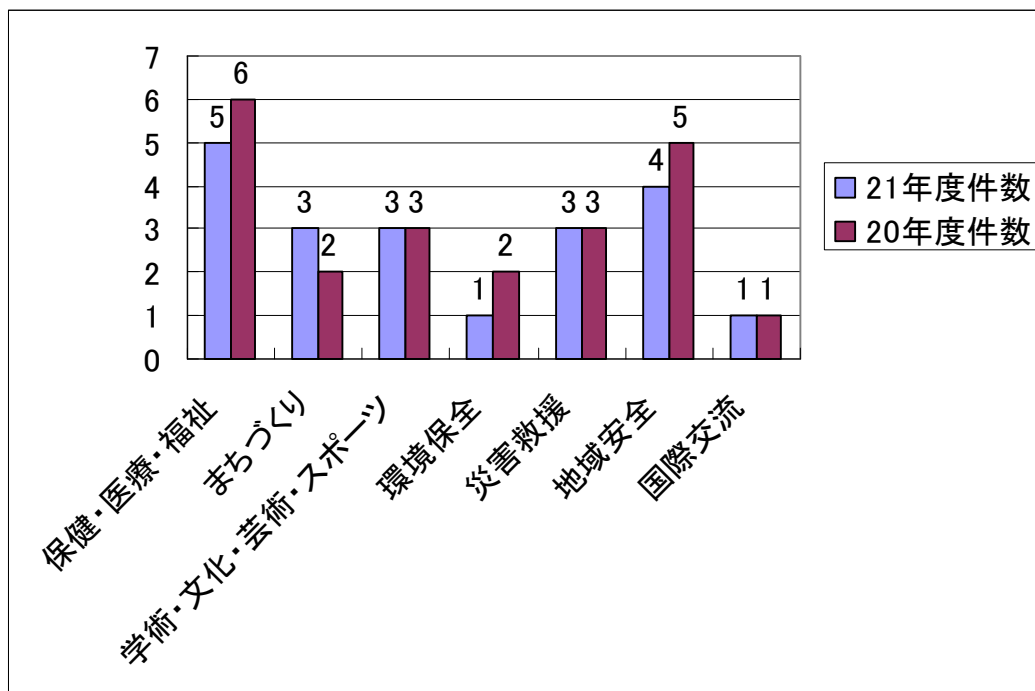
※今ままで施設数で計上し 5 団体と数えていたが、補助を受けているのは 4 団体のため、4 団体で計上した結果、1 減。

	19 年度	18 年度	17 年度
補助金	126 団体	91 団体	85 団体
交付金		34 団体	36 団体
その他	0 団体	0 団体	1 団体
計	126 団体	125 団体	122 団体

事業分野別件数・交付額

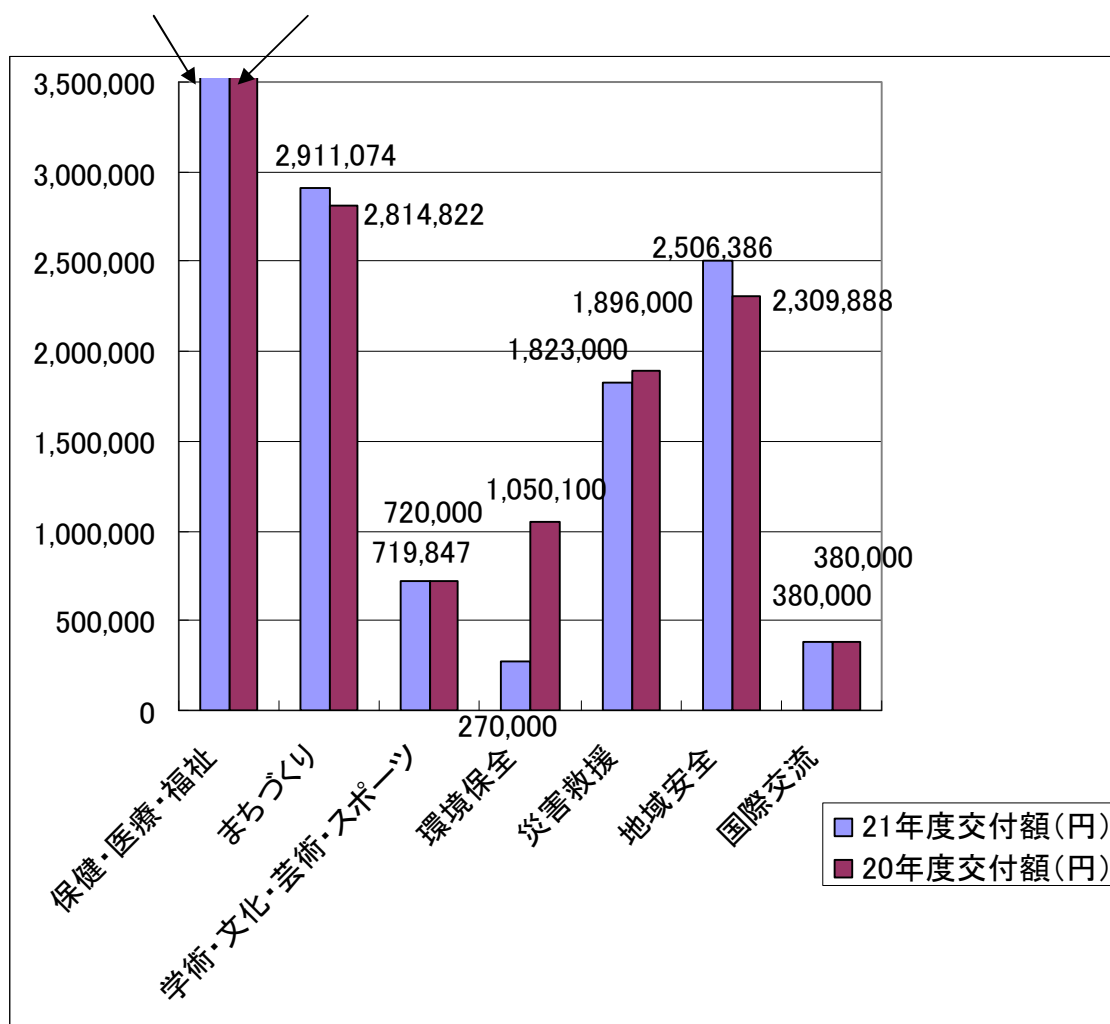
	21 年度		20 年度		
	件数	交付額（円）	件数	交付額（円）	
保健・医療・福祉	5	68,846,908	6	143,846,249	-74,999,341
まちづくり	3	2,911,074	2	2,814,822	96,252
学術・文化・芸術・スポーツ	3	719,847	3	720,000	-153
環境保全	1	270,000	2	1,050,100	-780,100
災害救援	3	1,823,000	3	1,896,000	-73,000
地域安全	4	2,506,386	5	2,309,888	196,498
国際交流	1	380,000	1	380,000	0
合 計	20	77,457,215	22	153,017,059	-75,559,844

事業分野別件数グラフ



事業分野別交付額グラフ

68,846,908 143,846,249



調査結果

○交付額は、20年度と比較し、75,559,844円減少した。

「保健・医療・福祉」分野において、小規模作業所等新体系移行支援事業への移行により、74,463,332円減少。他、「環境保全」分野等において減少。

平成 21 年度「補助金」交付団体と事業総額に対する交付総額の割合

	件数	団体数	事業総額（円）	交付額（円）	補助金の割合（％）
保健・医療・福祉	5	36	173,654,235	68,846,908	39.6%
まちづくり	3	24	10,485,296	2,911,074	27.8%
学術・文化・芸術・スポーツ	3	7	2,682,838	719,847	26.8%
環境保全	1	1	1,099,944	270,000	24.5%
災害救援	3	26	3,323,757	1,823,000	54.8%
地域安全	4	9	8,225,454	2,506,386	30.5%
国際交流	1	1	697,585	380,000	54.5%
合 計	20	104	200,169,109	77,457,215	38.7%

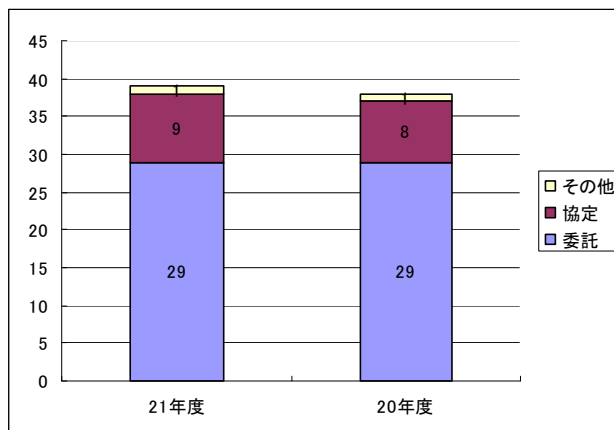
調査結果

○事業総額に対する交付額の割合が高い順に「災害救援」、「国際交流」、「保健・医療・福祉」分野となっている。

3. 参入の機会提供

事業件数

	21 年度	20 年度
委託	29 件	29 件
協定	9 件	8 件
その他	1 件	1 件
計	39 件	38 件



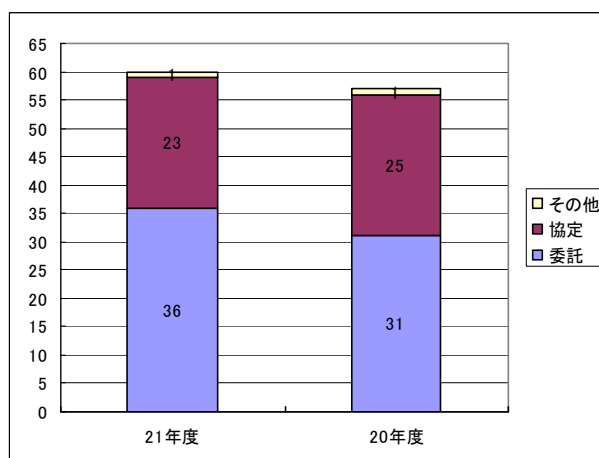
調査結果

- 20 年度と比較し、全体で事業件数は 1 件増加している。
- 「委託」事業は同数
 - ・地域活性課 新規「音楽の街－狛江子ども体験塾事業委託」
 - ・地域活性課 新規「よりあっこ事業委託」
 - ・社会教育課「少年少女剣道大会委託」は未実施
 - ・社会教育課「少年少女バドミントン大会委託」は未実施
- 「協定」事業は、1 件増加した。
 - ・環境管理課 新規「どうする多摩川河川敷？問題解決と有効活用に向けたまちづくりディスカッション」
 - ・子育て支援課 新規「狛江市内の支援の必要な子どもにかかわる支援ネットワークマップ作成事業」
 - ・昨年市民協働事業評価アンケートにより、協働事業には当てはまらないとした事業 市民課「狛江市窓口業務協定」
- 「その他」事業は、昨年度と同様で社会教育課の「狛江市立古民家園指定管理業務」。

	19 年度	18 年度	17 年度
委託	28 件	25 件	25 件
協定	7 件	7 件	10 件
その他	1 件	1 件	1 件
計	36 件	33 件	36 件

参入団体数

	21 年度	20 年度
委託	※36 団体	31 団体
協定	23 団体	25 団体
その他	1 団体	1 団体
計	60 団体	57 団体



調査結果

○委託事業で5団体増加した。

※社会教育課「学校開放地域交流事業運営委託」の協働相手は「学校開放地域交流委員会」ということで、今まで1団体で計上していたが、学校ごとの委員会のため6団体で計上した。

- ・介護支援課「会食会事業」で1増
- ・地域活性課 新規「よりあっこ事業委託」で1増
- ・社会教育課「少年少女剣道大会委託」は未実施により1減
- 「少年少女バドミントン大会委託」は未実施により1減

○協定事業で2団体減少した。

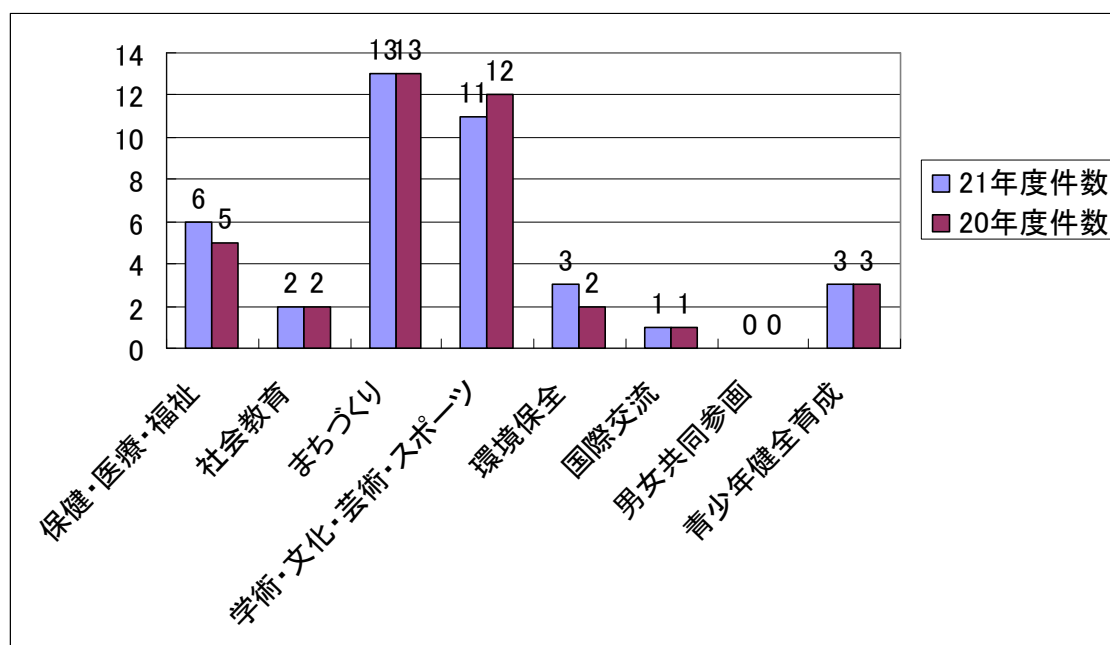
- ・環境管理課「どうする多摩川河川敷？問題解決と有効活用に向けたまちづくりディスカッション」で1増
- ・子育て支援課「狛江市内の支援の必要な子どもにかかわる支援ネットワークマップ作成事業」で1増
- ・昨年市民協働事業評価アンケートにより、協働事業には当てはまらないとした事業 市民課「狛江市窓口業務協定」で4減

	19 年度	18 年度	17 年度
委託	30 団体	32 団体	33 団体
協定	23 団体	23 団体	21 団体
その他	1 団体	1 団体	1 団体
計	54 団体	56 団体	55 団体

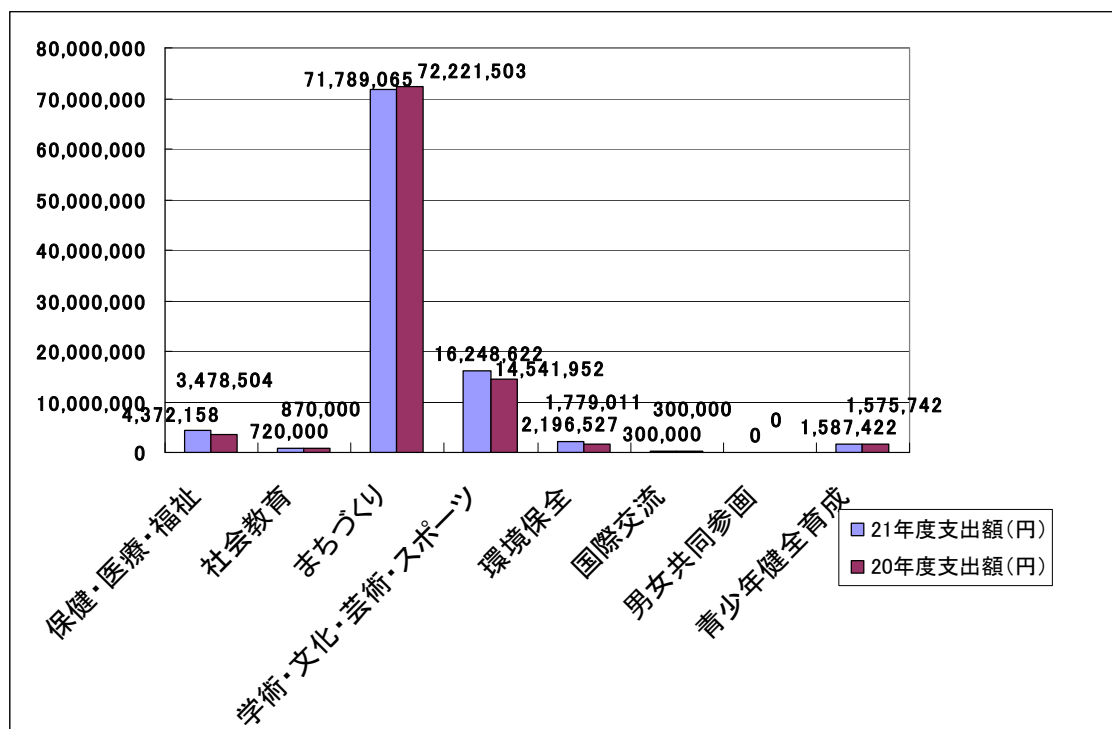
事業分野別件数・支出額

	21 年度		20 年度		
	件数	支出額（円）	件数	支出額（円）	
保健・医療・福祉	6	4,372,158	5	3,478,504	893,654
社会教育	2	720,000	2	870,000	-150,000
まちづくり	13	71,789,065	13	72,221,503	-432,438
学術・文化・芸術・スポーツ	11	16,248,622	12	14,541,952	1,706,670
環境保全	3	2,196,527	2	1,779,011	417,516
国際交流	1	300,000	1	300,000	0
男女共同参画	0	0	0	0	0
青少年健全育成	3	1,587,422	3	1,575,742	11,680
合 計	39	97,213,794	38	94,766,712	2,447,082

事業分野別件数グラフ



事業分野別支出額グラフ



調査結果

○分野別事業件数について、「まちづくり」、「学術・文化・芸術・スポーツ」分野の件数が昨年同様多い。

○支出額も「まちづくり」、「学術・文化・芸術・スポーツ」の分野が大きく占めている。

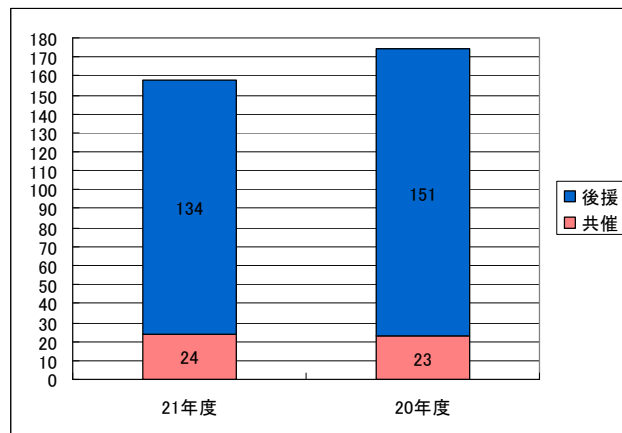
20年度と比較し、2,447,082円増加した。

「学術・文化・芸術・スポーツ」分野で、音楽の街-狛江推進事業委託で1,067,000円、狛江市立古民家園指定管理業務が968,000円増加。

4. 共催・後援

共催・後援件数

	21年度	20年度
共催	24件	23件
後援	134件	151件
計	158件	174件



調査結果

○件数は、20年度と比較し、16件減少した。

○共催事業は、1件増加し24件。後援事業は、17件減少し、134件となった。

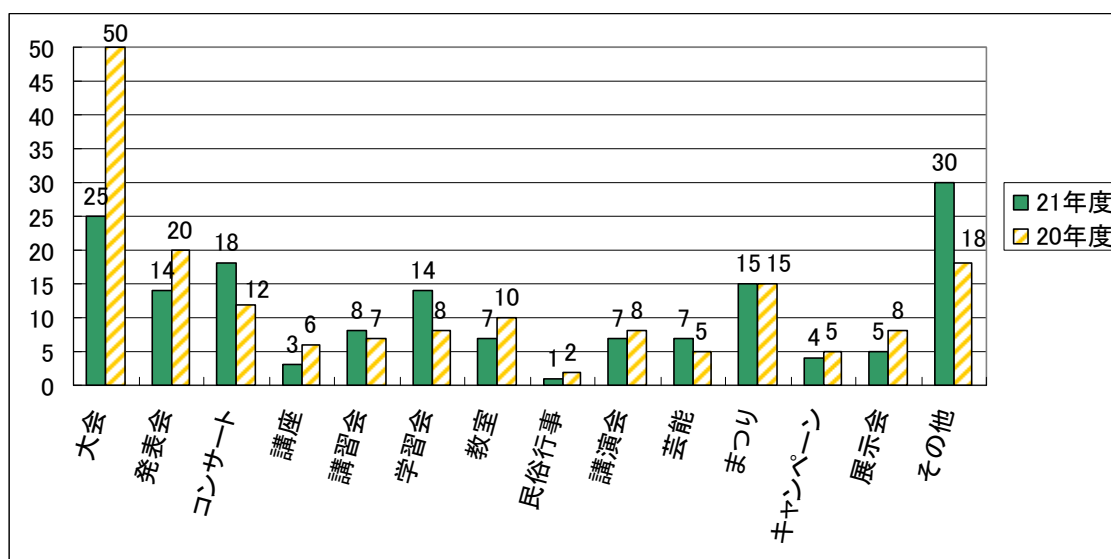
事業形態別件数

	21年度	20年度
大会	25件	50件
発表会	14件	20件
コンサート	18件	12件
講座	3件	6件
講習会	8件	7件
学習会	14件	8件
教室	7件	10件
民俗行事	1件	2件
講演会	7件	8件
芸能	7件	5件
まつり	15件	15件
キャンペーン	4件	5件
展示会	5件	8件
その他	30件	18件
合計	158件	174件

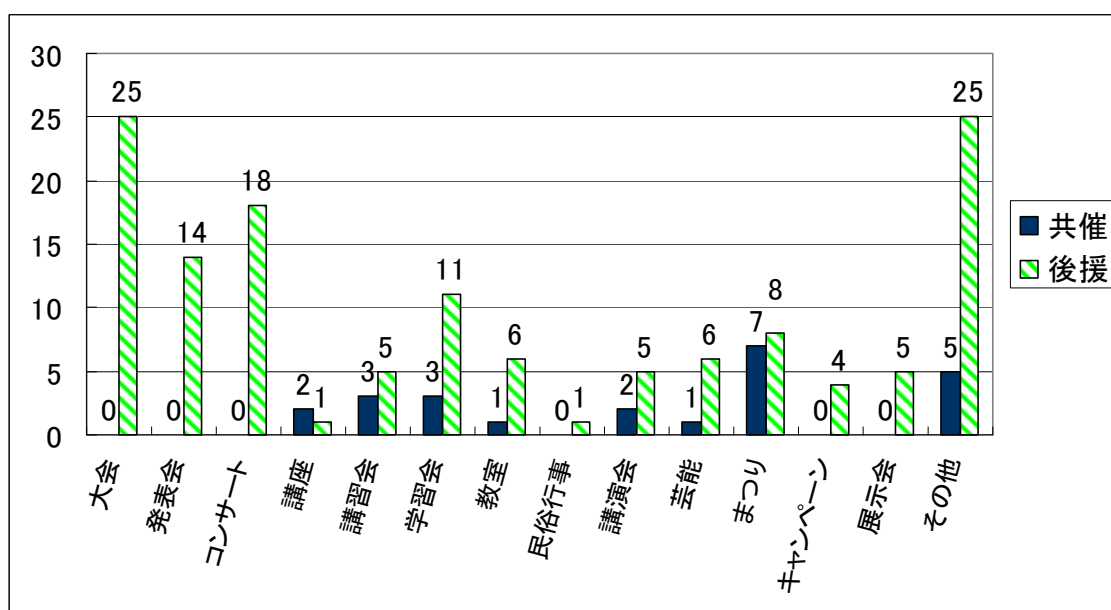
21年度 共催・後援別件数

	共催	後援
大会	0件	25件
発表会	0件	14件
コンサート	0件	18件
講座	2件	1件
講習会	3件	5件
学習会	3件	11件
教室	1件	6件
民俗行事	0件	1件
講演会	2件	5件
芸能	1件	6件
まつり	7件	8件
キャンペーン	0件	4件
展示会	0件	5件
その他	5件	25件
合計	24件	134件

事業形態別件数グラフ



21 年度 共催・後援別件数グラフ



調査結果

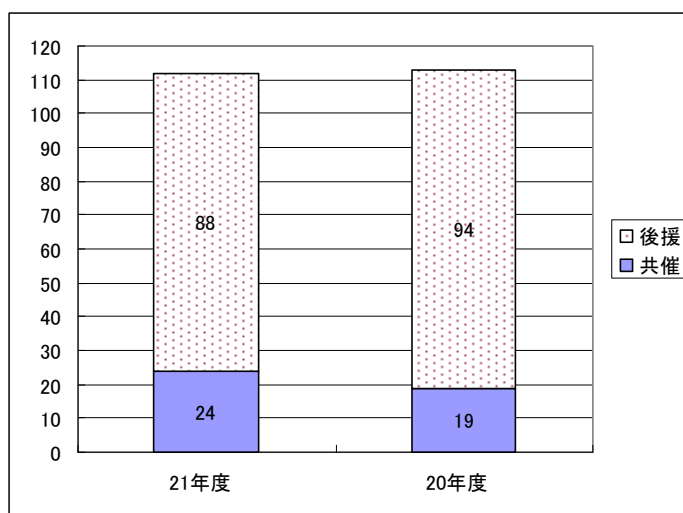
- 事業形態別件数では、20 年度と比較し、「その他」が 12 件増加、「大会」が 25 件減少した。
- 事業形態別の共催・後援それぞれの件数では、ほとんどの形態において後援が多くなっている。「大会」「その他」、「コンサート」の順で後援の件数が多い。

共催・後援件数

	19 年度	18 年度	17 年度
共催	15 件	18 件	6 件
後援	122 件	120 件	87 件
計	137 件	138 件	93 件

共催・後援団体数

	21 年度	20 年度
共催	24 団体	19 団体
後援	88 団体	94 団体
計	112 団体	113 団体



調査結果

○同一団体が複数の共催や後援を受けている場合があるため、団体数は件数よりも少なくなっている。

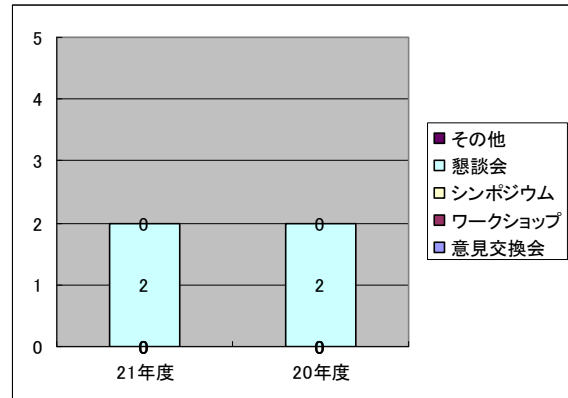
○共催・後援団体数は 20 年度と比べ 1 団体減少し、112 団体となった。

	19 年度	18 年度	17 年度
共催	15 団体	18 団体	7 団体
後援	91 団体	73 団体	63 団体
計	106 団体	91 団体	70 団体

5. 意見交換・情報交換

意見交換・情報交換件数

	21 年度	20 年度
意見交換会	0 件	0 件
ワークショップ	0 件	0 件
シンポジウム	0 件	0 件
懇談会	2 件	2 件
その他	0 件	0 件
計	2 件	2 件



調査結果

○件数は 20 年度と変わらず、2 件であった。

	19 年度	18 年度	17 年度
意見交換会	0 件	0 件	0 件
ワークショップ	0 件	0 件	0 件
シンポジウム	0 件	1 件	2 件
懇談会	2 件	2 件	3 件
その他	1 件	1 件	1 件
計	3 件	4 件	6 件

担当課	種別	分野	事業名	支援の目的・根拠条文	交付対象	事業総額(円)	交付総額(円)	交付総額の負担割合	実績及び成果
安心安全課	補助金	地域安全	調布地区防犯協会等に対する補助金	狛江市調布地区防犯協会等が行う各種防犯運動及び看板設置等の事業、青少年野球大会・剣道大会等の事業、防犯に関する映画会・座談会等の事業、防犯運動用雑誌の発行、その他青少年の非行防止等事業に対して補助を行う。狛江市調布地区防犯協会等に対する補助の基準	調布地区防犯協会 調布地区防犯協会狛江支部 連合会	2,816,110	680,000		・調布地区防犯協会 街頭、侵入犯罪抑止対策の推進、ひったくり、車上狙い防止対策、薬物乱用防止対策の推進、安全安心まちづくり防犯のつどい(調布グリーンホール)、青少年非行防止街頭パトロール、年末警戒所激励訪問、振込み詐欺防止キャンペーン ・調布地区防犯協会狛江支部連合会 「安心安全なまち狛江」を目指し、本部・警察署との連携による駅前活動、市と生活安全対策協議会主催の防犯キャンペーン活動、安心安全パトロールの実施、歳末特別警戒、各種イベントの警戒、防犯診断等の事業展開を行っている。 平成21年調布警察署管内事故発生件数は1,039件、死亡3件重傷13名軽傷1,155名で昨年よりも減少している。狛江市においては発生225件死亡0名重傷2名軽傷243名で、発生件数が増加したが、死亡事故が発生0(ゼロ)となった。今後も更に減少させるため各種キャンペーン広報活動を活発に行い事故防止に努めていく。園児交通安全防犯事業では交通安全、防犯活動の推進を図った。また、交通安全講習会や防犯講習会への参加園児に対する安全指導。
安心安全課	補助金	地域安全	調布交通安全協会等に対する補助金	交通安全協会等が行う交通安全に関する各種教室、講習会事業及び交通安全思想の普及啓発活動に対して補助を行う。狛江市調布交通安全協会等に対する補助の基準	調布交通安全協会 調布警察署内園児交通安全防犯連絡会	3,224,406	900,000		本部は、各地区隊点検作業巡回、役員会議(総合防災訓練)について、可搬ポンプ点検について)各地区隊は、毎月の点検及び訓練、放水訓練、会議等を行い地域防災の強化・推進が図られた。
安心安全課	補助金	災害救援	地区消防隊運営費補助金	狛江市における大規模震災により、同時多発災害、延焼拡大等の広域性を有する災害が発生した時に、消防活動を主とした地域防災の強化・推進に資するボランティア組織である狛江市地区消防隊に対して補助を行う。狛江市地区消防隊運営費の補助基準	第1地区隊、第2地区隊、第3地区隊、第5地区隊、第6地区隊、第7地区隊、第8地区隊	1,507,730	1,190,000		火災予防運動のポスター・チラシ・パンフレット等を購入し、町会・自治会・防災会等に配付し防火防災思想の普及を図った。春・秋の火災予防運動期間中実施する危険物輸送車両・駅舎・車両にかかわる査察及び防火のつどいを支援した。防火防災広報事業の推進を図った。
安心安全課	補助金	災害救援	防火協会補助金	住民の隣保共同の精神に基づき自主的な防災活動を行うことにより、地震・その他の災害による被害の防止及び軽減を図ることを目的とした活動を行う狛江市防火協会に対して補助を行う。狛江市防火協会及び狛江市防火会に対する補助の基準	狛江防火協会	1,303,000	120,000		狛江市合同水防演習に参加、地域自主訓練実施、春・秋の火災予防運動で訓練等実施、防災市民リレー大会・研修会・防災講演会の実施、防災ラジオの配付、防災会視察研修、支部長・婦人部長会議の実施。
安心安全課	補助金	災害救援	防災会支部運営費補助金		和泉第3支部、狛江団地支部、北和泉支部、真東支部、小足立支部、和泉第1支部、多摩川住宅イ号棟支部、上和泉支部、駄倉支部、セントラルハイイツ支部、銀行町支部、多摩川住宅二号棟支部、狛江ハイタウン支部、猪方支部、岩戸支部、駒井支部、和泉多摩川支部、中和泉5丁目支部	513,027	513,000		

担当課	種別	分野	事業名	支援の目的・根拠条文	交付対象	事業総額(円)	交付総額(円)	交付総額の負担割合	実績及び成果
介護支援課	補助金	保健・医療・福祉	老人クラブ補助金	老人クラブ会員の教養の向上、健康の増進、レクリエーション等の活動、地域社会との交流を目的とし、老人クラブの活動を通じて地域福祉の増進を図る。狛江市老人クラブ補助金交付要綱	狛江市老人クラブ連合会、第一長寿会、第二長寿会、第三長寿会、多摩川六十路会、南部長寿会、いつつみ長寿会、あつま長寿会、第五長寿会、第六長寿会、第七長寿会、和泉本町健康クラブ、駒井町健康クラブ、若草会、狛江団地健康クラブ、はなみずき会、百の会	6,382,983	4,993,889	国・都・市1/3ずつ	補助額は前年にに対し減少となった。地域清掃等社会奉仕活動、一人暮らし高齢者訪問等の友愛活動、寧たきり予防の健康づくり事業の開催など、老人クラブ3大事業(社会奉仕・友愛活動・健康増進)が達成された。
介護支援課	補助金	保健・医療・福祉	地域福祉推進事業補助金	創意工夫により地域の社会資源を有効に活用した、市内の非営利の市民団体が実施する福祉サービス事業の普及・拡大を図るとともに、当該団体の発展・向上に寄与するため、その事業展開に要する経費の一部を補助する事により、高齢者・障害者等の在宅福祉サービス等の普及及び拡大を図る。地域福祉推進事業補助要綱	難病患者と家族の会、手をつなぐ親の会、NPOさつき会「家族会」、遺族会、ハンディキャップこまえ、狛江共生の家、単位老人クラブ(6老人クラブ)	896,445	818,168	都・市1/2ずつ	交付実績額は、減少となった。21年度は前年度と比較すると一団体の減少となった。(単位老人クラブが9から8団体となった。6団体が事業を実施、2団体が事業中止)各団体、相談会の設置・講演会の開催、講習会の開催等展開された。障害者や高齢者等に社会参加を支援するための活動費等の一助になった。
環境管理課	補助金	地域安全	街路灯電気料金補助金	私有道路内に設置されている街路灯のなかで、市管理外の街路灯については、市長の認定に基づき電気料金の補助金を交付することができ	狛江団地自治会 多摩川住宅イ号棟自治会 多摩川住宅二棟団地管理組合 法人 狛江団地自治会 緑化推進事業協議会	1,908,667	650,136		各団地敷地内の街路灯263基に対し、20W街路灯定額料金相当分を補助する。
環境管理課	補助金	環境保全	緑化推進事業協議会補助	市内緑化を図るため、花卉、植木類の展示及び即売を実施し、緑化運動を推進を図る。 狛江市緑化推進事業協議会に対する補助の基準		1,099,944	270,000		昭和48年度より緑化推進事業がスタートし、年2回の植木即売会を開催しており、市内の緑化に努めている。市内保育園等に花井の植栽を行っている。
児童青少年課	補助金	学術・文化・芸術・スポーツ	青少年健全育成事業補助金	各育成委員会に対し、青少年健全育成事業に係る経費の一部又は全部を補助することにより、市民主体の青少年健全育成事業の充実及び発展に資することを目的とする。	狛江市青少年第一～第四育成委員会	1,415,195	319,847		補助金により、委員会主体の青少年健全育成事業の充実及び発展に資することができる。
社会教育課	補助金	学術・文化・芸術・スポーツ	郷土芸能保存会補助	狛江市文化財保護条例に基づき、市指定文化財(市技芸)の保存に当たっている保持者(保存会)に対し、その保存継承を図るため、その管理等に要する経費の一部を補助する。 狛江市文化財保護条例	駒井はやし保存会	597,750	300,000		補助金の交付により、綿太鼓や獅子頭の修理及び衣装新調等の整備ができ、後継者への技能伝承が図られ、市民まつりなどの行事で市民公開を行うなどの成果をあげている。
社会教育課	補助金	学術・文化・芸術・スポーツ	青少年育成事業補助金	青少年の健全な育成を図るため、青少年を対象として実施する事業の経費を補助 狛江市青少年育成事業補助金交付要綱	狛江市少年野球連盟・狛江市ボーイスカウト連絡協議会	669,893	100,000		青少年の健全な育成のため、補助金の支給は一定の意味を持っている。
社会教育課	補助金	地域安全	狛江市立学校PTA連合会こどもかけこみ110番事業補助金	子どもの生命と安全を確保するための活動の充実及び発展に資することを目的 狛江市立学校PTA連合会こどもかけこみ110番事業に関する補助金交付要綱	狛江市立学校PTA連合会	276,271	276,250		PTA連合会かけこみ110番実行委員会の要請活動により、該当事案もなく抑止効果を発揮している。

担当課	種別	分野	事業名	支援の目的・根拠条文	交付対象	事業総額(円)	交付総額(円)	交付総額の負担割合	実績及び成果
政策室	補助金	国際交流	国際交流協会事業	市民主体の国際交流事業の充実及び発展に資することを目的とする。 狛江市国際化事業に関する補助金交付要綱	狛江市国際交流協会	697,585	380,000		狛江市民による国際交流を推進して、国際相互理解と国際親善に寄与することを目的としている。21年度は「初釜のつどい」「日本語スピーチ大会」「桜まつり」等を企画し、55名の外国人の参加があった。市民まつりでは、マレーシア風の餃子(マルタバック)を製造販売し、好評を得た。会報誌「KIFA」により13号発行した。
地域活性課	補助金	まちづくり	新しい風補助金	先駆的な活動又は特色ある事業を実施する狛江市の市民公益活動団体の事業に対し、その経費の一部について補助金を交付することにより団体の成長及び発展を図る。 狛江市市民公益活動事業補助金(新しい風補助金)交付要綱	ひめしやら塾 狛江市障害者団体連絡協議会、ミュージャルCoCoへ、和泉多摩川緑地都立公園化話し合い会、むいから・あいの会、NPO法人バリアフリーセーター・福祉ネット「ナナの家」	2,364,669	1,100,000		16年度よりスタートして本年度は6回目。1事業の交付上限は20万円。6団体が公開プレゼンテーションを行い、うち6団体に交付された。補助金により、市内で行われている先駆的な活動あるいは特色のある活動を援助することができ、これらの事業を行う団体の成長及び発展の一助となった。
地域活性課	補助金	まちづくり	狛江市コミュニティ活動活性化助成金	集合住宅の管理組合及び町会等設立準備会に対し、狛江のまちづくり及び地域社会づくりに資する活動を対象にコミュニティ活動活性化助成金を交付し、もって、町会等の組織化、育成及びコミュニティ活動の活性化を図る 狛江市コミュニティ活動活性化助成金交付要綱	狛江団地自治会、北久保町会、駄倉町会、狛江セントラルイツ管理組合、寛東町会、銀行町親和会、猪方町会、駒井町会、岩戸町会、小足立町会、小寛むつみ会、狛江ハイタウン管理組合、神代団地自治会、和泉本町一丁目町会、中和泉5丁目町会、北久保A団地、元和泉1丁目町会	7,675,958	1,771,074		20年度まで一世帯50円一律の補助金だったものを、事業規模や世帯数に応じて各町会・自治会等の実態に合った運用ができるよう、市と町会等及び町会等内の連絡事務に要する経費として、連絡事務助成金を、町会等が行う事業に要する経費として事業助成金を、新しい町会等の設立のために立ち上げられた設立準備会に対し、町会等の設立のための事務及び会議等に要する経費として設立準備会助成金を新設。
都市整備課	補助金	まちづくり	(新規) 地区まちづくり準備会助成金	一定の要件を満たした、地区のまちづくりに関する活動を行っている団体に支援をすることにより、地区のまちづくりを推進し、協働のまちづくりの実現を図る。 狛江市まちづくり条例 狛江市まちづくり条例施行規則 地区まちづくり協議会、地区まちづくり準備会及びテーマ型まちづくり協議会への支援に関する要綱	多摩川住宅【街づくり(地区計画)準備会】	444,669	40,000		15年度より助成制度を開始しているが、この制度が利用されたのは今回が初めてである。当該団体では、定期的な勉強会や役員会を行い、多摩川住宅の地区計画策定準備が進められている。
福祉サービス支援室	補助金	保健・医療・福祉	ふれあいサロン(夢)運営事業	ふれあいサロン(夢)の運営費を補助し、心身障がい者の就労支援を図る。 狛江市心身障害者団体等事業補助金交付要綱	狛江市障害者団体連絡協議会	5,640,100	3,226,000	都・市 1 / 2 ずつ	喫茶室の経営を通して、心身障がい者の就労、社会参加、市民交流の機会を持つことが出来た。市内の「こまえ工房」、「ひかり作業所」、「就労支援事業所メイ」などからも広く利用者を受け入れ、心身障がい者の雇用促進・社会復帰の援助を図った。
福祉サービス支援室	補助金	保健・医療・福祉	心身障害者(児)通所訓練等事業	心身障害児通所訓練施設運営費等補助(地域デザイングループ) 狛江市心身障害者(児)通所訓練等事業運営費補助金交付規則	えるぶ[こども教室えるぶ、スペースえるぶ]、ゆめぼと、ハッピーライフフオーエバー、福祉ネット「ナナの家」	62,339,386	43,305,651	都 2 / 3 市 1 / 3	心身障害児通所訓練施設運営を行うことで、地域社会における在宅心身障がい者(児)の社会適応訓練の場を継続して確保した。
福祉サービス支援室	補助金	保健・医療・福祉	(新規)小規模作業所等新体系移行支援事業	小規模作業所の運営等に要する経費の一部を補助することにより、障がい者の自立更生を促進するとともに、保護者の負担の軽減を図ることを目的とする。	NPO 狛江さつき会[ワークイン・メイ、カレーション・メイ] 足立邦栄会[こまえ工房(こめびび・もえぎ・こだち)]	98,395,321	16,503,200	都 10 / 10	作業所の安定的な運営と障がい者の自立更生を促進するとともに、保護者の負担の軽減を図ることができた。

担当課	種別	分野	事業名	事業目的	協働相手	事業総額(円)	市支出額(円)	実績及び成果
介護支援課	委託	保健・医療・福祉	食生活支援事業	閉じこもりがちな高齢者に対して、通所による食生活の支援を実施することによって、介護予防や日常生活を営むうえでの支援を改善し、生きがい作りや心身機能の維持向上を促す。	NPO法人むべの会	1,259,800	1,200,000	年間24回実施し、延べ142人が参加した。栄養士による指導と、買い物から食事作りまで、参加者が行うことで、食生活を改善して介護予防の一助となった。なお、この事業は今年度で終了となった。
介護支援課	委託	保健・医療・福祉	会食会事業	高齢者に対して屋敷及び食後のアトラクション等を実施することによって、外出の機会と人との出会いの機会を提供し、もって孤独感の解消と生きがい作りに寄与する。	エブロン会 グループ・アイ ときの会 グループ・のがわ	1,668,997	1,790,100	グループ・のがわが平成21年10月から新規事業として立ち上がり、各団体月1回実施、延べ1,491人が参加した。元気高齢者の介護予防及び参加者間での交流ならびに引きこもり高齢者等の外出機会の促進に寄与できると、事業目的を達成できた。
環境管理課	委託	環境保全	水辺の楽校事業運営委託	多摩川の水辺の自然と生きものを守り、子供達の自然体験や世代を超えた交流、憩いの場として活用することを目的とする。協議会は、水辺の楽校の活動を支援するものとする。	泊江水辺の楽校運営協議会	325,855	300,000	清掃活動や総合学習の支援活動など「水辺の楽校」へ4740名の参加があった。主催事業を45回行い1461名の参加、支援事業を43回行い3279名の参加があった。
環境管理課	協定	環境保全	泊江市公園等の住民参加による管理に関する協定	公園等の日常管理について、地域の住民で組織する団体と協定し、住民意識の高揚と地域連帯の醸成を図ることを目的とする。	のびのび会・とんぼの会・泊江弁財天特別緑地保全市民の会	1,344,816	1,536,900	報償費は清掃等ボランティア活動、自然観察会、学習会などにかかる費用の一部として使用され、コミュニティ活動の理解及び住民意識の高揚と地域連帯の醸成となっている。
環境管理課	協定	環境保全	(新規)どうする多摩川河川敷？問題解決と有効活用に向けたまちづくりディスカッション(市民協働事業提案制度)	現在市が抱える喫緊の課題である「多摩川河川敷の問題解決と有効活用」について、市民協議会という手法を用いて、市民の多様な意見を取り入れた市民提案書を作成し、その問題解決のための行政側の政策立案の一助となればと考え、開催したものである。	泊江青年会議所	359,627	359,627	多摩川河川敷における問題解決と有効活用に向けた市民からの提言をまとめ、問題の所在や問題解決に向けた方向性を議論し、質の高い「市民提案書」を作成した。また、市民協議会という新たな市民参加手法を開発し、住民の自治意識の向上を促した。
健康支援課	委託	保健・医療・福祉	健康増進室利用料及びあいどぴあセンター施設等使用料徴収業務委託	健康増進事業及びあいどぴあセンター施設の利用券を、自動販売機を使い販売し利用料を徴収する。	泊江市障害者団体連絡協議会	392,983	392,983	市の事務負担を軽減している。 平成21年度販売実績6,982枚
健康支援課	協定	保健・医療・福祉	「野良猫トラブル」を目標として「野良猫から地域猫へ」(市民協働事業提案制度)	泊江市と泊江地域ねこの会との協働事業を実施するため協定書を締結し、市民と猫との共生の実現をめざす。	泊江地域ねこの会	546,550	546,550	飼い主のいない猫を適正に管理し、野良猫の数及び猫に関する近隣トラブルを減らすことができた。地域住民のコミュニケーションを図ることで、住環境を向上させることができた。また、野良猫に関する苦情、相談等に対処するため、猫の飼育ガイドラインを1000部作成し、動物病院や自治会へ配布した。
公民館	委託	学術・文化・芸術・スポーツ	地域交流事業 第21回いべんと西河原	西河原公民館利用団体を主体に1年間活動の成果を展示や舞台で発表する機会とし、利用団体同士及び市民との交流を図り、公民館活動の発表の場とする。	第21回いべんと西河原実行委員会	201,983	200,000	参加者延べ11,958人(ただし、参加団体の報告書にある人数を単純に計算したもの)。実行委員会:76団体:76人。いべんと西河原実行委員会の企画委員を中心とした活動が根付いてきて、市民による企画・実施が真実化してきている。実行委員会を中心に活動団体の発表の場としての「いべんとは盛況に終わった」。
公民館	委託	国際交流	国際交流事業 日本語教室	外国から日本に来た方々が日本語及び生活文化を学ぶ場として開設。また、市民と外国人による市民レベルの交流を図る。	日本語教室運営委員会	345,083	300,000	生徒延べ1,332人、スタッフ延べ:853人、計2,185人。全37回。今年度も毎週土曜日に行われる平常の教室をはじめ、行事等、市民スタッフの尽力で安定した運営ができた。
子育て支援課	協定	保健・医療・福祉	(新規) 泊江市内の支援の必要な子どもにかかわる支援ネットワークマップ作成事業(市民協働事業提案制度)	「市内の社会資源や支援の受け皿並びに発達期に応じた相談機関をイラストマップ化」し、関係機関への配布・周知と市民に対し情報の提供を図り、最大限の成果を泊江市民に還元すること。	サポート泊江	407,008	407,000	サポート泊江と子育て支援課の協働により、「泊江市育ちの森マップ」を5,000部作成し、3月に市内公共施設、子育て関係施設等、約80団体(機関)へ4,000枚を配布した。3月6日にはエールホールで発表と意見交換会を行い63名の市民に参加いただいた。 作成にあたっては、8回にわたり調整会議を開催し、サポート泊江と子育て支援課の担当者が検討を重ねた。また、市の福祉・教育関係機関担当課長会とも連携し、情報提供やご意見をいただいた。

参入の機会提供（委託・協定・覚書等）

担当課	種別	分野	事業名	事業目的	協働相手	事業総額(円)	市支出額(円)	実績及び成果
児童青少年課	委託	青少年健全育成	青少年育成事業委員会 合同事業業務委託	親子向けに子どもたちにもクラシック音楽の素晴らしさ、楽しさ、おもしろさを伝えようと、家庭においてもこのコンサートのことや話題にのぼり、親子の会話が増えることで、親子の絆が深められるような内容で実施する。 青少年の健全育成のために市内全域の青少年を対象とした青少年健全育成事業（バスハイウェイ ピーチボール大会、広報誌すくすく）を団体へ委託する。	青少年育成事業委員会	1,414,012	42,012	自治総合センターコミュニティ助成金により実施。 青少年を対象とした親子参加型の事業はあまりないため、大変好評であった。事業を通じてクラシック音楽を身近に感じることができ、また親子のふれあいの機会を提供できた。 参加者 727名
児童青少年課	委託	青少年健全育成	青少年育成事業委員会 合同事業業務委託	青少年の健全育成のために市内全域の青少年を対象とした青少年健全育成事業（バスハイウェイ ピーチボール大会、広報誌すくすく）を団体へ委託する。	青少年育成事業委員会	168,434	160,000	委員が主体的に事業を企画・運営する事ができた。ビーチボールでは、初心者も気軽に参加でき、小中学生同士が勝敗に関わらず交流できた。また住民交流友好都市の山梨県小菅村からも参加があり、市外の小学生の親睦が図れた。バスハイウェイは体験学習を提供できた。広報誌すくすく発行によって育成委員会の活動を広く知らせることが出来た。 ・ビーチボール 参加チーム 35チーム 162名 ・バスハイウェイ 参加者40名 ・広報誌すくすく 10号（6月）、11号（3月）発行
児童青少年課	委託	青少年健全育成	狛江市成人式企画運営 委託	その年の新成人自らが、成人式（アトラクション）の企画・立案及び運営を実施	狛江市成人式企画実行委員会	385,410	385,410	毎年新成人の約半数が参加している。新成人自らが、自分達の成人式を企画・運営することは非常に意義のあることであり、新成人実行委員は新成人参加者のまとめ役となっている。工夫された企画案により式はまとまりのあるものになり、大いに盛り上がった。
社会教育課	その他	学術・文化・芸術・スポーツ	狛江市立古民家園指定 管理業務	古民家を狛江の大切な文化遺産として保存するとともに、子どもから高齢者まで世代を超えた市民の交流の場と、体験学習や歴史学習など、市民が積極的に参加できる、ふるさとづくりの拠点として、地域文化の継承と発展に寄与する。	狛江市立古民家園運営市民協議会	8,979,575	8,555,000	平成21年度から23年度までの3年間、市民団体である狛江市立古民家園運営市民協議会を指定管理者に指定している。21年度の入園者数は31,357人を数え、14年4月の開園後、最多の入園者数である。会員やボランティアにより、さまざまな事業が展開されており、異世代間や人と人との交流など、市民参加・協働に成果をあげている。
社会教育課	委託	社会教育	心身に障害のある児童・生徒の地域活動促進事業 運営委託	土曜日等に実施される学習・文化活動、スポーツ活動等を通じて、市内の心身に障害のある児童・生徒等の地域活動への参加・充実・促進を図る。	遊びの会、ふれんずシブ	467,600	420,000	21年度は、ふれんずシブが年間5回、遊びの会が年間7回の活動。市内に数少ない障がい者を対象にした団体であり、特に遊びの会は、一般の児童との交流もあり、その存在の意義は大きい。
社会教育課	委託	社会教育	学校開放地域交流事業 運営委託	地域の子どもたちの安全な遊び場として、学校施設を地域の子どもたちに開放することにより、子どもの健全な心身の発達に寄与し、地域交流を推進することを図る。	学校開放地域交流運営委員会（1小、3小、5小、6小、和泉小、緑野小）	408,017	300,000	各校の運営委員会では、年に何回かの行事（もちつき大会やビーチボール大会等）を地域の人たちや子どもたちと一緒に実施しており、地域の交流を通して運営意識の活性に寄与している。
社会教育課	委託	学術・文化・芸術・スポーツ	子ども科学体験事業実施 委託	昨今の理科離れに鑑み、科学に親しみ、楽しむことにより、科学に対する興味や関心を喚起し、科学を身近なものに感じる心を育成すること	こまろ科学体験塾実行委員会	600,131	600,000	8月8日土・9日日の2日間を同内容で2回開催（ものづくり「ゴム動力おもちゃ〜CD自立倒立ゴム動力車・ゴム動力時計」、かがく遊び「自動噴水管」 参加人数 127名（2日間）
社会教育課	委託	学術・文化・芸術・スポーツ	少年野球大会委託	スポーツの普及と参加者相互の親睦を図るため。 青少年健全育成の一環。	狛江市少年野球連盟	453,024	430,000	参加人数 小学生3～6年生 310名
社会教育課	委託	学術・文化・芸術・スポーツ	少年少女サッカー大会委託	スポーツの普及と参加者相互の親睦を図るため。 青少年健全育成の一環。	狛江市少年少女サッカー連盟	296,113	296,113	参加人数 小学生3～6年生 480名
社会教育課	委託	学術・文化・芸術・スポーツ	少年少女綱引き大会委託	スポーツの普及と参加者相互の親睦を図るため。 青少年健全育成の一環。	狛江市少年少女綱引き大会実行委員会	266,509	266,509	参加人数 小学生3～6年生 141名

担当課	種別	分野	事業名	事業目的	協働相手	事業総額(円)	市支出額(円)	実績及び成果
社会教育課	委託	学術・文化・芸術・スポーツ	平成21年度泊江市民体育大会委託	市民の健康づくり及び市民相互の交流の場を広げる為。	泊江市体育協会	1,241,000	1,241,000	軟式野球、スキー、卓球、バドミントン、ゴルフ、バレーボール、ボウリング、硬式テニス、空手道、バスケットボール、柔道、ダンススポーツ、グラウンドゴルフ、剣道、ソフトボール(全15種目) 参加人数 3061名
社会教育課	委託	学術・文化・芸術・スポーツ	第20回市民スポーツフェスティバル	市民の健康づくり及び市民相互の交流の場を広げる為。	市民スポーツ実行委員会	1,400,000	1,400,000	ビーチボール、ウォーキング、多摩川ロードレース、水泳、キンボール、3中地区スポーツ大会、1・4中地区スポーツ大会、2中地区スポーツ大会 参加人数 2198名
地域活性課	委託	学術・文化・芸術・スポーツ	絵手紙発祥の地推進事業委託	文化活動として全国的に定着している絵手紙について、関係者、関係機関と連携し、「絵手紙発祥の地」をアピール、市民文化の醸成に努める。	「絵手紙発祥の地-泊江」実行委員会	703,011	593,000	今年度は各種絵手紙教室や絵手紙展、こまバス連携事業、そして泊江駅北口排気塔巨大絵手紙の設置等、新規事業15事業、継続事業3事業の計18事業を実施したことで、市民文化の醸成を図ることができた。メディアにも多くとりあげられ、年間25回(前年度28回)と前年並みの回数を維持しており、巨大絵手紙除幕式の記事が新聞5紙に掲載される等、絵手紙への注目度が更に高まった。
地域活性課	委託	学術・文化・芸術・スポーツ	音楽の街-泊江推進事業委託	「音楽の街-泊江」をキーワードに、市民とともに文化・芸術活動の醸成を図る。	「音楽の街-泊江」推進事業実行委員会	4,377,414	3,067,000	前年度から定着している駅前ライブや市役所ロビーコンサートの実施に加え、今年度は民間施設を利用した有料公演、公立中学校吹奏楽支援事業として木管楽器講習会とホール練習を実施した。毎年恒例の夢コンサートは、こまえ文化フェスティバルとして開催し、絵手紙とのコラボや出演団体を市内で公募するなど、市民文化・芸術の醸成を図ることができた。
地域活性課	委託	学術・文化・芸術・スポーツ	(新規) 音楽の街-泊江子ども体験塾事業委託	子どもたちが質の高い音楽を体験することにより、音楽に対する興味・理解を深め、子どもたちの豊かな感性の醸成と健全育成を図る。	「音楽の街-泊江」推進事業実行委員会	600,812	600,000	プロの演奏家が学校を訪問し、小学校2校でクラシックコンサートを実施した。コンサートでは、楽器の紹介や子どもたちに馴染みのある曲の演奏、児童全員が参加しての合唱なども行い、子どもたちの音楽に対する興味・理解が深まった。また、質の高い音楽を体験したことで、子どもたちの豊かな感性の醸成と健全育成が図られた。
地域活性課	委託	まちづくり	NPO情報誌作成委託	市内で様々な分野において活躍している市民活動団体の活動をより一層推進するため、活動に必要な行政情報及び団体活動を行うにあたって共有する情報等を掲載するNPO情報誌「わっこ」の発行を団体へ委託する。	特定非営利活動法人kpress	7,141,000	7,138,656	情報誌の発行によって、団体が活動を行うにあたっての情報発信媒体となることができ、団体の活動を活性化することができた。また、情報誌の作成を団体へ委託することにより、地域に密着した新鮮な情報の提供ができた。
地域活性課	委託	まちづくり	根川地区センター一般管理業務委託	地区センターを地域住民が自主管理することにより、地域コミュニティの醸成を図る。	根川地区センター運営協議会	193,410	200,000	地域住民で構成される協議会が地区センターの予約受付業務等の自主管理をすることにより、地域コミュニティの醸成が図られた。
地域活性課	委託	まちづくり	駄倉地区センター一般管理業務委託	地区センターを地域住民が自主管理することにより、地域コミュニティの醸成を図る。	駄倉地区センター運営協議会	200,000	200,000	地域住民で構成される協議会が地区センターの予約受付業務等の自主管理をすることにより、地域コミュニティの醸成が図られた。
地域活性課	委託	まちづくり	谷戸橋地区センター一般管理業務委託	地区センターを地域住民が自主管理することにより、地域コミュニティの醸成を図る。	谷戸橋地区センター運営協議会	587,033	200,000	地域住民で構成される協議会が地区センターの予約受付業務等の自主管理をすることにより、地域コミュニティの醸成が図られた。
地域活性課	委託	まちづくり	和泉多摩川地区センター一般管理業務委託	地区センターを地域住民が自主管理することにより、地域コミュニティの醸成を図る。	和泉多摩川地区センター運営協議会	175,619	200,000	地域住民で構成される協議会が地区センターの予約受付業務等の自主管理をすることにより、地域コミュニティの醸成が図られた。
地域活性課	委託	まちづくり	ふるさと自然体験事業委託	ふるさと友好都市川口町の豊富で雄大な自然を体験することにより、社会性や自立性、感性を向上させる。	社会福祉法人雲柱社	768,000	750,000	ふるさと友好都市川口町で地元の子どもたちとキャンプやオリエンテーション等を行い、社会性や自立性、感性が向上した。39名参加。
地域活性課	委託	まちづくり	(新規)よりあいっこ事業委託	泊江市民とふるさと友好都市である新潟県旧川口町の住民との相互の交流及び理解を深めることを目的とする。	よりあいっこ実行委員会	281,077	200,000	よりあいっこを通じ、住民との相互の交流及び理解を深めることができた。15名参加。

担当課	種別	分野	事業名	事業目的	協働相手	事業総額(円)	市支出額(円)	実績及び成果
地域活性課	委託	まちづくり	市民まつり事業委託	狛江市民まつりを通じて郷土愛を培い、連帯のあるまちづくりに寄与する。	市民まつり実行委員会	8,832,227	4,500,000	来場者数62,000人。今年は、ゴーオンジャンのステージを行った。晴天に恵まれ、大盛況のうちに終了し、大きなトラブル、苦情もなかった。まつりの開催により市の活性化・市民間の連帯及び郷土愛の醸成につながった。
地域活性課	協定	まちづくり	岩戸地域センター自主運営に関する協定	地域住民の自発的なコミュニティ活動を助長するため、地域センターの管理・運営業務を委託する。	岩戸地域センター運営協議会	14,100,379	13,972,702	地域住民の自発的な活動拠点として、当センターを利用され、また各種運営協議会事業に積極的な参加を得て、団体活動の助長や友好が図られた。
地域活性課	協定	まちづくり	上和泉地域センター自主運営に関する協定	地域住民の自発的なコミュニティ活動を助長するため、地域センターの管理・運営業務を委託する。	上和泉地域センター運営協議会	17,117,727	16,363,861	事業としては、「ビーチボール大会」、「男の料理教室」、「フリーマーケット」、「廃食油で環境にやさしい石けんをつくりましょう」等を行った。年1回の上和泉センターまつりを10/17,18に開催し、34団体の参加があった。
地域活性課	協定	まちづくり	南部地域センター自主運営に関する協定	地域住民の自発的なコミュニティ活動を助長するため、地域センターの管理・運営業務を委託する。	南部地域センター運営協議会	14,410,586	14,132,330	事業としては、「南部武遊伝」、「郷土料理教室」、「こどもクリスマス会」、「おはなし会」、「ラベンタースティック作り」、「男の料理教室」、「折り紙教室」、「寄植え教室」等を行った。年1回の利用者発表会を10月31日、11月1日に開催し、約500名の来場者があった。
地域活性課	協定	まちづくり	野川地域センター自主運営に関する協定	地域住民の自発的なコミュニティ活動を助長するため、地域センターの管理・運営業務を委託する。	野川地域センター運営協議会	14,152,508	13,753,724	その他、広報紙の発行、大掃除、利用者懇談会、委員研修等を行った。
地域活性課	協定	まちづくり	アプト制度	市と市民及び企業等が相互に連携し協力することにより実施する指定区域等の清掃及び美化活動の実施に関する必要な事項を定め、もって市民協働と地域住民の連帯意識を高めることを目的とする	弁天通り清掃会、ひまわり、第三長寿会、狛江団地自治会、狛江市シルバー人材センター、ごみゼロの会、狛江ハイツ団地管理組合、元和泉水神前土手清掃アプトの会、咬いがら清掃の会、五小グリーンプロジェクト、さくらグループ、河津さくら会、バスケットボールクラブ スマイルズ	177,792	177,792	市は保険の加入や清掃用具等の消耗品を提供し、希望団体にはアプト制度を実施している旨の看板を設置した。20年度は新規に1件団体が追加され13団体、14箇所において清掃活動に従事してもらっている。
福祉サービス支援室	委託	保健・医療・福祉	福祉だより封入委託	就労活動の向上を目的とする。	足立邦栄会	35,525	35,525	今年度は3回発行し、それぞれ封入作業を依頼した。

担当課	種別	事業名	事業形態	事業目的	実施団体	実施日	実施場所	支援内容
安心安全課	共催	平成21年度泊江市防災会視察研修	学習会	住民の隣保協同の精神に基づく自主的な防災活動を行うことにより、地震・その他の災害による被害の防止及び軽減を図る。	泊江市防災会	平成22年3月10日	国土交通省船橋防災センター	・広報掲示板などでPR
介護支援課	共催	ミニデイサービス	その他	一人暮らしの高齢者等の閉じこもり・介護予防として、ボランティアによりデイサービスを実施している。折り紙等を楽しんだり、昼食を一緒に摂ることで介護予防に繋がる。	若葉会	第2・第4木曜日	中央公民館・あいとぴあセンター	広報こまえへの掲載 会場の確保
介護支援課	共催	健康づくり事業	講習会	老人クラブが主催となり、健康づくりに関する実践活動、健康に関する知識等についての普及・啓発等高齢者の健康づくりを目的とする。	泊江市老人クラブ連合会	平成21年 7/15、8/21、8/26、 9/17、10/14、11/13、 12/3 平成22年 2/10、3/26	中央公民館・上和泉地域センター	広報こまえへの掲載 ポスター市内掲示
介護支援課	共催	平成21年度調布泊江浴場組合	その他	敬老の日を祝するとともに、高齢者の保健衛生の向上とコミュニケーションの場を提供する。	調布泊江浴場組合	平成21年 9/11～13		広報こまえへの掲載 ポスター市内掲示
介護支援課	共催	高齢者食生活支援事業(会食会)	講習会	当事業を行うことにより、虚弱高齢者等に対して外出支援および社会交流を通じ介護予防効果を図り、社会福祉の増進に寄与することを目的としている。	あけびの会	22.4.1～23.3.31		
介護支援課	共催	ペタンク講習会、心と身体健康に関する講演会他	講習会	当事業を行うことにより、健康長寿をめざす。また、市民生活の向上・会員相互の親睦を図り健康で明るく楽しい生きがいのある生活を送り、社会福祉の増進に寄与することを目的としている。	泊江市老人クラブ連合会	22.5～23.3		
健康支援課	共催	マタニティクッキング	教室	妊婦の食生活の向上。地域の妊婦同士が一緒に料理実習をすることにより親交を深めることができる。	泊江栄養士会	平成21年 4/22・5/20・ 6/24・7/20・8/21・9/16・ 11/25・平成22年3/17	あいとぴあセンター	・チラシの作成・印刷 ・「母と子の保健バック」に封入 ・母親学級にてチラシの配布 ・問い合わせに關しての回答 ・施設料の免除
健康支援課	共催	市民健康講座	講演会	泊江市民の健康並びに各種疾病の予防に寄与することを目的とする。	泊江市薬剤師会	平成22年2月20日	エコルマホール	・広報こまえへの掲載 ・ポスター板・あいとぴあセンターにてポスターの掲示
児童青少年課	共催	泊江市立駄倉保育園 父母の会秋祭り	まつり	保育園児・家族・卒園児・近隣地域の方々を対象に多くの人との交流や親睦を計り、より緊密な連携が築けるように開催する。(近隣の方々への日頃の感謝、保育園への理解とPR活動も合わせて実施する。)	泊江市立駄倉保育園 父母の会 泊江市立駄倉保育園	平成21年10月18日	泊江市立駄倉保育園	・秋祭り実行委員代表者打合せ ・当日スタッフとして参加 ・園児への通り指導 ・機材等貸出し及び使用援助 ・ポスター等掲示
児童青少年課	共催	泊江市立宮前保育園 父母の会夏祭り	まつり	在園児及び家族と共に、お祭りの機会を通じて交流を深める。また、近隣住民の方々との交流の場とする。	泊江市立宮前保育園 父母の会	平成21年7月18日	泊江市立宮前保育園	・役員との打合せ ・盆踊りの指導 ・施設及び物品の貸出し ・盆踊り指導
児童青少年課	共催	みしまっこ夏まつり'09	まつり	在園児・家族・保育士・地域住民のためのおまつりと位置付け、クラスと地域を越えた交流の場とする。	泊江市立三島保育園 父母の会	平成21年7月25日	泊江市立三島保育園	・施設及び物品貸出し

担当課	種別	事業名	事業形態	事業目的	実施団体	実施日	実施場所	支援内容
社会教育課	共催(教育)	第43回市町村総合体育大会開会式	その他	開会式参加	NPO法人 狛江市体育協会	21.7.25	東久留米市立中央公民館	庁用バス手配 市町村負担金・参加費の負担 会場の確保
社会教育課	共催(教育)	P友会25周年事業 記念講演会	その他	P友会25周年記念行事として、地域で子育て支援、特に特別支援教育啓発活動として実施する。	狛江市P友会	21.10.3	エコルマホール	
政策室	共催	東京行政相談委員協議会第10支部第2回研修会	学習会	東京行政相談委員協議会第10支部に所属する、三鷹市・府中市・調布市・小金井市・狛江市の行政相談委員の見識を高め、情報交換を行う。	東京行政相談委員協議会第10支部	平成21年11月5日	山梨県北都留郡小菅村	開催通知等文書の送付、往復の交通機関(庁用バス)の確保と運行、研修先との事務的な折衝及び調整
政策室	共催	無料結婚相談	その他	非婚化・晩婚化に伴う少子化等の社会問題への対応として、結婚に関する相談を気軽にできる機会を提供することを目的とする。	社団法人武蔵府中法人会	平成21年11月29日 平成22年1月31日 平成22年3月21日	中央公民館講座室	会場設営、広報掲載、市内・庁舎内・各地域センター等にポスター掲示・チラシ配布、HP掲載
政策室	共催	市民法律講座	講座	市民の皆さんの法律知識の向上と問題解決の手助けを目的とする。	狛江市泉親会(狛江市内に在任弁護士)	22.4.1～23.3.31	中央公民館	会場設営、広報掲載、市内・庁舎内・各地域センター等にポスター掲示・チラシ配布、HP掲載
政策室	共催	こまえ平和フェスタ2010	まつり	現在もおお暴力、武力、戦争の止まない世界において、過去の歴史と現在の実態を知り、平和を保持していくことの大切さを学び、考えを深める場として開催する。	こまえ平和フェスタ実行委員会	22.8.22	エコルマホール	・実行委員会への参加 ・当日スタッフとしての参加 ・広報・HP・掲示板等でPR ・消耗品費の予算計上(32,550円) ・パンフレット・ポスター等の印刷
地域活性課	共催	絵手紙発祥の地―狛江『絵手紙50年in狛江』	講演会	絵手紙の日とされた2月3日に、絵手紙が誕生してからの50年を振り返る「絵手紙50年in狛江」を開催し、狛江市民等に絵手紙の魅力伝え、絵手紙の更なる理解と普及を図る。	日本絵手紙協会	平成22年2月3日	エコルマホール	・広報・HP・掲示板等でPR ・市内小・中学校への招待状送付
地域活性課	共催	農業ウォッチングラリー	学習会	生産者と消費者との交流を通じ、都市農業への理解を図る。	JAMAINZ 狛江青壮年部	平成21年7月4日	市内農家	・広報等でPR ・当日のスタッフとして参加 ・事業費の一部負担
地域活性課	共催	使用者向けセミナー「職場のいじめ防止とメンタルケア」	講座	いじめの早期発見と防止に努め、事後の適切な対応を学ぶことにより、良好な雇用環境の維持・発展に寄与する。	東京都労働相談情報センター八王子事務所	平成21年10月19・20日	調布市市民文化会館	・広報等でPR ・当日のスタッフとして参加
地域活性課	共催	第10回多摩川流域郷土芸能フェスティバル	芸能	かけがえのない自然の財産である多摩川を活用して、地域に根ざしている郷土芸能の競演という切り口から流域の方々の交流などをとおして、多摩川に多くの方々が関心と親しみを持ってもらうため。	多摩川流域郷土芸能フェスティバル実行委員会	平成21年12月6日	川崎市多摩区市民会館	・広報等でPR ・当日のスタッフとして参加 ・行政施設使用
地域活性課	共催	狛江古代カップ第19回多摩川いかだレース	まつり	かけがえのない自然の財産である多摩川を活用して、流域の方々の交流などをとおして、多摩川に多くの方々に関心と親しみを持ってもらうため。	狛江古代カップ第19回多摩川いかだレース実行委員会	平成21年7月19日	多摩川五本松から宿河原堰手前	・広報等でPR ・当日のスタッフとして参加 ・行政施設使用
地域活性課	共催	いずみ会納涼盆踊り	まつり	盆踊りは伝統文化の一つであり、地域の人の親睦・交流の場やコミュニケーションの場にもつながる	いずみ会	平成21年8月8・9日	狛江市民ひろば	・行政施設利用

担当課	種別	事業名	事業形態	事業目的	実施団体	実施日	実施場所	支援内容
地域活性課	共催	市民音楽祭	まつり	音楽の街狛江を広く市民にアピールしたい。	東京狛江ロータリークラブ	平成23年3月5日	エコルマホール	共催役割分担については今後調整
安心安全課	後援	自主防災訓練	その他	狛江ハイタウンのみならず、広く地域住民へ参加を呼びかけ、多くの市民が参加することにより、地域防災力の向上に寄与することが考えられる。	こまえハイタウン団地管理組合法人	平成21年6月28日	みつおさ中央公園	・広報掲示板などでPR
安心安全課	後援	第12回災害のない街づくり駅前音楽会	コンサート	市民への災害のない街づくりを呼びかけることを目的とし、関係団体との連携による広報活動の活性化により市民生活の向上への寄与と公益が見込まれる。	東京狛江ロータリークラブ	平成21年5月1日から5月23日	小田急線狛江駅北口噴水前広場	・広報掲示板などでPR
安心安全課	後援	震度6に備える。街は？あなたは？防災ワークジョブ	学習会	国が進める「公演・緑化技術5箇年計画」の推進機関である財団法人都市緑化技術開発機構に属する組織として、公園緑地やオープンスペースを有効に活用した、避難地、避難路のあり方、防災や非難のための各種施設のあり方、災害発生時における情報伝達システムのあり方などの調査、研究、開発を行うとともに、一般への啓発及び防災公園などの設備推進に関する普及活動を行う。	狛江の安心・安全なまちづくりを考える協議会	平成21年7月25日	泉の森会館3階ホール	・広報掲示板などでPR
安心安全課	後援	震度6に備える。街は？あなたは？防災ワークジョブ	学習会	国が進める「公演・緑化技術5箇年計画」の推進機関である財団法人都市緑化技術開発機構に属する組織として、公園緑地やオープンスペースを有効に活用した、避難地、避難路のあり方、防災や非難のための各種施設のあり方、災害発生時における情報伝達システムのあり方などの調査、研究、開発を行うとともに、一般への啓発及び防災公園などの設備推進に関する普及活動を行う。	狛江の安心・安全なまちづくりを考える協議会	平成21年11月8日	泉の森会館3階ホール	・広報掲示板などでPR
安心安全課	後援	和泉多摩川橋詰広場シンポジウムー防災から都立公園化までの道筋ー	学習会	国が進める「公演・緑化技術5箇年計画」の推進機関である財団法人都市緑化技術開発機構に属する組織として、公園緑地やオープンスペースを有効に活用した、避難地、避難路のあり方、防災や非難のための各種施設のあり方、災害発生時における情報伝達システムのあり方などの調査、研究、開発を行うとともに、一般への啓発及び防災公園などの設備推進に関する普及活動を行う。	狛江の安心・安全なまちづくりを考える協議会	平成22年2月12から2月21日	泉の森会館3階ホール	・広報掲示板などでPR

担当課	種別	事業名	事業形態	事業目的	実施団体	実施日	実施場所	支援内容
課税課	後援	税を考える習慣特別セミナー	講演会	税金で支え、みんなで作り上げる国家像について、将来を支える子どもたちの教育や国益の問題などを考える。	社団法人 武蔵府中 法人会	平成21年11月13日	府中の森芸術劇場 ふるさとホール	特になし
学校教育課	後援 (教育)	子どもボランティアスクール	教室	学齢期の児童に対するボランティア体験学習の取り組みとして、障がい者や高齢者、ノンジャバーニーズの方など、様々な人々との出会いと交流の体験や、環境など社会における様々な課題を知り多様な価値観や共に生きる「共生」について考える機会とすることで、子ども自身の豊かな心の育ちを支援することを目的とする。	狛江市社会福祉協議会	21.5.1～22.3.31	野川地域センター あいとぴあセンター 西河原公民館	・小学校へのチラシの配布
学校教育課	後援 (教育)	2009年度 多摩川乗馬会	まつり	交流乗馬会	特定非営利活動法人 バリアフリーセンター 福祉ネット「ナナの家」	21.4.29～21.11.3	多摩川自由ひろば	・ポスターの掲示 ・ポスター、チラシの小中学校へ配布
学校教育課	後援 (教育)	冊子「こどもおだきゅう沿線」の発行及び第23回こどもおだきゅう沿線文学賞(作文コンクール)	その他	児童文化の振興および児童の情操の進化に役立てるとともに、作文コンクールをとおして子どもたちの書く意欲を高め、ものの見方・考え方を養い併せて文章表現力の向上もねらいとしている。	日本児童ペンクラブ	21.5.1～21.12.15	各小学校	小学校へのポスター、チラシ等の配布
学校教育課	後援 (教育)	第36回全国社会科教育研究協議会	講習会	東京都及び全国の小学校社会科教育に関心の深い教師の参集を得て、社会科教育向上のために研究協議する。	社会科教育連盟	21.6.27	緑野小学校	小学校へ案内の配布
学校教育課	後援 (教育)	夏！体験ボランティア2009	その他	ボランティア活動の体験を通して、様々な社会問題への関心を深め、地域社会を構成する一市民として積極的に社会づくりに参加することの意義を学ぶ目的で実施する。また、ボランティア活動を通じた様々な人々との出会いの中から、多様な価値観や自らの生き方、共に生きていくことの意味を考える機会とする。	狛江市社会福祉協議会	21.7.1～9.15	あいとぴあセンター	小中学校へのポスター、チラシ等の配布
学校教育課	後援 (教育)	障害のある子どものためのコンディネーショントレーニング	講習会	①知的障がいのある子どもたちが、適切な指導のもとにスポーツに親しみ、体を動かす楽しさを知り、地域で仲間と共に豊かなレクリエーションスポーツを体験できるようにする。 ②障がい児・者向け指導ノウハウのある団体に専門的なアドバイスを頂きながら地域の障がい児・者スポーツの振興(メニューや方法等)に役立てる。	狛江市手をつなぐ親の会	21.6.21	西和泉体育館	小中学校へのポスター、チラシ等の配布
学校教育課	後援 (教育)	第31回東京都立調布特別支援学校夏まつり	まつり	障害児・者と地域の人々との交流・親睦を深める機会を提供する。	東京都教育庁生涯学習部社会教育課	21.7.18	調布特別支援学校	小中学校へのチラシの配布

担当課	種別	事業名	事業形態	事業目的	実施団体	実施日	実施場所	支援内容
学校教育課	後援 (教育)	明治大学理工学部 「夏休み科学教室」	教室	小1～高3を対象とし、子供達に工作や実験を通して、それらの基本原理や現象の裏にひそむ真理について理解を深めてもらうことや、工夫して物を作ったり、観察する喜びを体験してもらうことを目的としている。	明治大学理工学部	21.8.20	明治大学 生田キャンパス	小中学校へのチラシの配布
学校教育課	後援 (教育)	特別支援教育支援員・ 特別支援学級介助員 のための 特別支援教 育/実践力育成セミ ナー	講習会	各自自治体における特別支援教育推進を支援するため、支援員・介助員等を対象として特別支援教育の実践力向上を目指す。とした研修会を企画する。	多摩地区特別支援教育研究会	21.7.28～7.30	日野市立日野第三 小学校	小中学校へ案内等を配布
学校教育課	後援 (教育)	ノッツ 森のようちえん のあそびくらぶ「のあそ び園」	教室	幼児期における自然体験活動の普及	NPO法人国際自然 大学校	21.6.22～22.3.11	きたみふれあい広 場	
学校教育課	後援 (教育)	雲南省昆明市女子中 高等学校の生徒と泊江 市内の小中高校生との 国際交流事業	その他	中国雲南省に住む少数民族の出身である雲南省昆明市女子中等学校の生徒と泊江市内の小中高校生とが直接交流することによりお互いの環境の違いを知り、文化への理解を深める機会を提供したい。	東京たまがわロータ リークラブ	21.8.21～8.22	都立泊江高等学校	小中学校へ案内等を配布
学校教育課	後援 (教育)	第25回多摩ユースオー ケストラ第25回記念泊 江公演	発表会	・文化芸術振興・青少年の情操教育、健全育成・青少年による社会参加と役割の認識・今村能氏(泊江市在住)による地域音楽、芸術活動の拡充など	多摩ユースオーケス トラ	21.11.22	エコルマホール	小中学校へのチラシ等の配布
学校教育課	後援 (教育)	障がいのある子どもの ためのスポーツ教室 (通称:うきうきサッ カー)	教室	①知的障がいのある子どもたちが、適切な指導のもとにスポーツに親しみ、体を動かす楽しさを知り、地域で仲間と共に豊かなレクリエーションスポーツを体験できるようにする。 ②障がいのない児・者向け指導技術のある団体に専門的なアドバイスを頂きながら地域の障がいのない児・者スポーツの振興(メニューや方法等)に役立てる。	泊江市手をつなぐ親 の会	21.11.3	西和泉体育館	小中学校へのポスター、チラシ等の 配布
学校教育課	後援 (教育)	障がいのある子ども達 の放課後活動	講習会	地域の中で障がいがあっても安全・安心で豊かに生活するため、泊江における特に学齢期のニーズと現状の報告・研修会をする。現在の支援5施設年間延べ5,250名以上の子ども達が通う活動の場と人との継続と充実が不可欠であることを多くの市民に知らせること、各団体が有するニーズの理解を進める研修とする。	泊江市地域デイク ループ事業連絡協議 会	21.10.13	泊江市中央公民館	ポスターの掲示
学校教育課	後援 (教育)	桐朋学園 オーケストラ 演奏会	発表会	付属高校生、大学生によるオーケストラ授業の成果発表。泊江市施設を借用しての折角の発表の場でもあるため、市内在住在勤、エコルマホール倶楽部E会員の方々に、気軽に足を運び聴いて戴きたい。	桐朋学園大学音楽学 部	21.12.2	エコルマホール	小中学校へのチラシ等の配布

担当課	種別	事業名	事業形態	事業目的	実施団体	実施日	実施場所	支援内容
学校教育課	後援 (教育)	発達障がいのある子どもの謎-アスペルガー当事者として伝えたいこと-高村明さんをお迎えして-	講演会	様々な場で、発想で、アプローチで、子どもや若者への支援に取り組んでいる個人や団体が、緩やかな繋がりを持ち、知恵と人材を交流させ、多角的な子ども・若者支援を共に考えるネットワーク作りの一環として、年1回の定例講演会を行い、仲間を募る。	子ども☆若者支援者ネットワーク《講演会実行委員会》	21.11.29	世田谷 北沢タウンホール	小中学校へのチラシ等の配布
学校教育課	後援 (教育)	第18回泊江すくすくコンサート	コンサート	小学生中学生及び高校生による発表及び交流の機会として充実を図るという実施コンセプトに沿って開催する。	泊江市青少年問題協議会	21.12.12	エコルマホール	小中学校へのチラシ等の配布
学校教育課	後援 (教育)	障がいのある子どものためのスポーツ教室(通称:うきうきサッカー)	教室	①知的障がいのある子どもたちが、適切な指導のもとにスポーツに親しみ、体を動かす楽しさを知り、地域で仲間と共に、豊かなレクリエーションスポーツを経験できるようにする。②障がい者・障がい児向けの指導技術のある団体に専門的なアドバイスをいただきながら、地域の障がい児・若者スポーツ振興(メニューや方法等)に役立てる。	泊江市手をつなぐ親の会	22.3.7	西和泉体育館	小中学校へのポスター、チラシ等の配布
学校教育課	後援 (教育)	研修会「発達障害児(者)の行動問題の理解と支援」	講習会	研修会	福祉ネット「ナナの家」	22.3.13	あいとびあセンター	小中学校へのチラシ等の配布
学校教育課	後援 (教育)	平成21年度泊江市地域人権啓発活動事業講演と映画のつどい	その他	人権尊重思想の普及高揚を図り、広く市民に人権問題に対する正しい知識を深め、もって基本的人権の擁護に資することを目的とする。	多摩東人権啓発活動地域ネットワーク協議会	22.2.6	エコルマホール	
学校教育課	後援 (教育)	多摩川乗馬会(第47～50回)	その他	交流乗馬会	福祉ネット「ナナの家」	22.4.25・5.16・9.19・10.31	多摩川自由ひろば	・ポスターの掲示 ・ポスター、チラシの小中学校へ配 特になし
環境管理課	後援	泊江のまちづくりと多摩川を考える公開シンポジウム	学習会	多摩川と泊江のまちづくりを推進するための多摩川流域センター設立を目的とする。	泊江に多摩川流域センターをつくる会	平成21年7月18日	ノタリーノ2階ホール	
環境管理課	後援	多摩川川柳	その他	多摩川の流域である近隣の自治体住民の「河川に対する意識向上」を最大の目的とする。川柳の5. 7. 5という文字数を通して参加者の河川に対する理解を深める。	調布エフエム放送株式会社	平成21年12月14日～平成22年2月28日	調布エフエム媒体およびホームページ	特になし

担当課	種別	事業名	事業形態	事業目的	実施団体	実施日	実施場所	支援内容
健康支援課	後援	平成21年度東京都エイズ予防月間におけるエイズ予防普及啓発事業	キャンペーン	一般市民に対するエイズ予防の普及・啓発。	東京都多摩府中保健所	平成21年10月22日 ～12月15日	府中フォーリス前、多摩府中保健所他	・広報こまえへの掲載
子育て支援課	後援	ドメスティック・バイオレンス終結にむけてのキャンペーン	キャンペーン	夫、パートナーからの暴力は犯罪と認識して、狛江市の相談窓口や民生児童委員に相談することを周知する。	国際ソロプチミスト東京-狛江	21.11.9～11.22	子育て支援課窓口及び掲示板等	ポスターの掲示と配付用バンフレットの窓口配置
子育て支援課	後援	「子どもと一緒につながりあそび」	教室	こまえチャイルドラインの立ち上げを広く伝える。	NPO法人 チャイルドライン支援センター	21.12.13	子育て支援課窓口及び掲示板等	ポスターの掲示と配付用バンフレットの窓口配置
社会教育課	後援(教育)	春季市民囲碁大会	大会	市民相互の交流を図り、囲碁の普及を目的とする。	日本棋院狛江支部	21.5.17	中央公民館	
社会教育課	後援(教育)	ひめしやら塾舞踊公演 古事記より「雲井観音譚」～泉龍寺にまつわる縁起を題材にした創作物語～	芸能	泉龍寺のまわりの方、狛江市民の方々に文化芸術としての舞踊公演を観ていただきたい。	ひめしやら塾	21.7.18～21.7.19	泉龍寺境内	・ポスター掲示
社会教育課	後援(教育)	「Swing しま show 5」	発表会	スイングジャズを中心に、ビックバンドによる生演奏で市民に楽しんでもらう。	イズミスイングリッシュストラ	21.5.24	泉の森会館	
社会教育課	後援(教育)	第20回狛江市舞踊大会	発表会	狛江市舞踊連盟を構成する六つの団体の会員が一堂に会して日本舞踊・民謡舞踊・新舞踊の踊りを披露するは発表会。	狛江市舞踊連盟	21.6.21	エコルマホール	・ポスター掲示
社会教育課	後援(教育)	狛江バンドフェスティバルVOL11	コンサート	連盟加盟団体によるバンド演奏	狛江市音楽連盟	21.7.5	西河原公民館	・ポスター掲示 ・わっこ掲載
社会教育課	後援(教育)	「戦いをとめた女性達」	学習会	女性達の意思決定で戦争を一時と、戦させたドキュメンタリーフィルムを通して、戦争の悲惨さ、そして平和の大切さを知る。戦争被害者支援の「白いスカーフ基金」へ募金活動を行う。	国際ソロプチミスト東京-狛江	21.8.3	泉の森会館	
社会教育課	後援	「戦いをとめた女性達」	学習会	女性達の意思決定で戦争を一時停戦させたドキュメンタリーフィルムを通して、戦争の悲惨さ、そして平和の大切さを知る。戦争被害者支援の「白いスカーフ基金」へ募金活動を行う。	国際ソロプチミスト東京-狛江	21.8.3	泉の森会館	
社会教育課	後援(教育)	夏休みわくわく！クラフト体験教室VOL.2	学習会	クラフト作家の世界を体験。親子で参加できるな夏休みクラフト一日体験教室	泉の森友の会	21.8.23～21.8.30	泉の森会館	
社会教育課	後援(教育)	「第11回 カラオケ21発表会」	発表会	地域住民の交流、親睦を目標とし、また、日常の練習の成果を発表する。	カラオケ21	21.8.30	西河原公民館	・ポスター掲示
社会教育課	後援(教育)	平成21年度 わかば戦大会	大会	級位者参加による囲碁活性化を図ると同時に、生涯の趣味を広げて、同好の士の交流を図る。	日本棋院狛江支部	21.9.6	中央公民館	
社会教育課	後援(教育)	ミュージック・アーチ 活動10周年 チャリティコンサート	コンサート	収益をアフリカ難民の子ども達支援として贈る。	ミュージック・アーチ	21.9.27	エコルマホール	・チラシ学校配布

担当課	種別	事業名	事業形態	事業目的	実施団体	実施日	実施場所	支援内容
社会教育課	後援 (教育)	NYフィル・ティーチャー・シンガー・アーティストによるファミリーコンサート	コンサート	音楽教育を通じて国際親善と理解。貧困で教育を受けられない子供達を支援する募金活動。	国際ソロプチミスト東京一泊江	21.10.1	エコルマホール	・チラシ学校配布
社会教育課	後援	NYフィル・ティーチャー・シンガー・アーティストによるファミリーコンサート	コンサート	音楽教育を通じて国際親善と理解。貧困で教育を受けられない子供達を支援する募金活動。	国際ソロプチミスト東京一泊江	21.10.1	エコルマホール	・チラシ学校配布
社会教育課	後援 (教育)	カラオケ発表会「第6回 いろいろ倶楽部 歌謡まつり」	発表会	歌を通して、地域の親睦・交流を深め健康で生きがいのある人生に役立てる事を目的とする。	いろいろ倶楽部	21.10.11	エコルマホール	
社会教育課	後援 (教育)	ミュージカル「レンゲ畑のまんなかで」の上演	発表会	本公演の実施により団体としての目的や社会的役割を果たすことができる。上演の実績を積むことが団体の力の蓄積となり、更に次回公演へのステップとなる。観客の心に何かを届け、それが少しでも心を振るわせるきっかけとなつてほしい。プロを目指す若い人たちの発表の場の提供。子ども達が「自分で考える、感じる、それを伝える」機会の提供。	ミュージカルCOCO	21.10.17～21.10.18	西河原公民館	・チラシ学校配布
社会教育課	後援 (教育)	ミュージカル「レンゲ畑のまんなかで」の上演	発表会	本公演の実施により団体としての目的や社会的役割を果たすことができる。上演の実績を積むことが団体の力の蓄積となり、更に次回公演へのステップとなる。観客の心に何かを届け、それが少しでも心を振るわせるきっかけとなつてほしい。プロを目指す若い人たちの発表の場の提供。子ども達が「自分で考える、感じる、それを伝える」機会の提供。	ミュージカルCOCO	21.10.17～21.10.18	西河原公民館	・チラシ学校配布
社会教育課	後援 (教育)	第34回邦楽の集い	発表会	日本の伝統芸能を通じ健全なる文化教養を高め、ゆたかな情操の涵養を旨み、狛江市の文化向上に寄与すると共に会員相互の親睦を目的といたします。	狛江市邦楽連盟	21.10.18	エコルマホール	・ポスター掲示
社会教育課	後援 (教育)	万葉集 講演会 万葉集の歌 ～山部赤人と山上億良～	学習会	東京都史跡であり狛江市の貴重な文化遺産である玉川碑に集い万葉集を学習する会	万葉名歌玉川碑に集う会	21.11.13	中央公民館	・ポスター掲示
社会教育課	後援 (教育)	第24回定期演奏会	コンサート	市民による市民のためのコンサート	狛江フィルハーモニー管弦楽団	21.11.14	エコルマホール	・ポスター掲示
社会教育課	後援 (教育)	第24回定期演奏会	コンサート	市民による市民のためのコンサート	狛江フィルハーモニー管弦楽団	21.11.14	エコルマホール	・ポスター掲示
社会教育課	後援 (教育)	平成21年度 秋季市民囲碁大会	大会	囲碁対局の大会を通して同好の士及び市民相互の友好と交流を図る。	日本棋院狛江支部	21.11.22	中央公民館	
社会教育課	後援 (教育)	能楽ワークショップ	発表会	能楽の普及	狛江能楽普及会	21.12.2	エコルマホール	・チラシ学校配布
社会教育課	後援	ヤングアメリカンズ アウトリーチツアー2010 (ヤングアメリカンズ・ミート・ジャパニーズキッズ)	その他	ヤングアメリカンズというアメリカの音楽教育NPOを招いて、3日間の表現芸術教育を行う。	NPO法人 じぶん未来クラブ	22.2.8～22.2.11	エコルマホール	

担当課	種別	事業名	事業形態	事業目的	実施団体	実施日	実施場所	支援内容
社会教育課	後援 (教育)	ヤングアメリカンズ アウ トリーチャリアー2010 (ヤングアメリカンズ・ミ ト・ジャパニーズキッズ)	その他	ヤングアメリカンズというアメリカの音楽 教育NPOを招いて、3日間の表現芸術教 育を行う。	NPO法人 じぶん未 来クラブ	22.2.8～22.2.11	エコルマホール	
社会教育課	後援 (教育)	平成22年 どんと焼祭	その他	伝承民俗行事を守り、地域青少年の友情 を交換する。	狛江市ボーイスカウト 連絡協議会	21.12.6～22.1.10	多摩川緑地公園グ ランド脇他	・わっこ掲載
社会教育課	後援 (教育)	「マンドリーノTAMA」第 10回定期演奏会	コンサ ート	狛江市内にマンドリンとギターの合奏グ ループ「マンドリーノTAMA」の存在を知っ て頂き、会員になってくださる方を希望 し、尚、音楽の分野で貢献したい。	マンドリーノTAMA	21.12.19	エコルマホール	
社会教育課	後援	「マンドリーノTAMA」第 10回定期演奏会	コンサ ート	狛江市内にマンドリンとギターの合奏グ ループ「マンドリーノTAMA」の存在を知っ て頂き、会員になってくださる方を希望 し、尚、音楽の分野で貢献したい。	マンドリーノTAMA	21.12.19	エコルマホール	
社会教育課	後援 (教育)	狛江市民吹奏楽団 第 10回定期演奏会	コンサ ート	年間活動発表の場として	狛江市民吹奏楽団	22.1.24	エコルマホール	・ポスター掲示 ・チラシ学校配布
社会教育課	後援	狛江市民吹奏楽団 第 10回定期演奏会	コンサ ート	年間活動発表の場として	狛江市民吹奏楽団	22.1.24	エコルマホール	・ポスター掲示 ・チラシ学校配布
社会教育課	後援 (教育)	歌舞劇団 田楽座 狛江公演「万歳楽」	芸能	田楽座の狛江公演を実施することによ り、伝統芸能を実演し、親しみ、たのし み、普及振興すること。	田楽座 狛江公演実行 委員会「みんなおいで ん」	22.6.20	エコルマホール	・ポスター掲示 ・チラシ学校配布
社会教育課	後援	歌舞劇団 田楽座 狛江公演「万歳楽」	芸能	田楽座の狛江公演を実施することによ り、伝統芸能を実演し、親しみ、たのし み、普及振興すること。	田楽座 狛江公演実行 委員会「みんなおいで ん」	22.6.20	エコルマホール	・ポスター掲示 ・チラシ学校配布
社会教育課	後援 (教育)	第33回 市民創作展	展示会	異なるジャンルの芸術作品を一堂に展示 発表することにより、相互の交流と親睦を 図り市民の文化向上に寄与する事。	狛江市芸術協会	22.4.24～22.4.25	中央公民館	
社会教育課	後援	第33回 市民創作展	展示会	異なるジャンルの芸術作品を一堂に展示 発表することにより、相互の交流と親睦を 図り市民の文化向上に寄与する事。	狛江市芸術協会	22.4.24～22.4.25	中央公民館	
社会教育課	後援 (教育)	第12回狛江チャリ ティー歌謡まつり	発表会	公民館利用団体としての活動を発表する にあたり、趣味を通じ、社会貢献の目的 で集まった仲間でのチャリティーの舞台。	アマチュア歌謡サーク ル 狛江	22.5.16	エコルマホール	・ポスター掲示
社会教育課	後援	第12回狛江チャリ ティー歌謡まつり	発表会	公民館利用団体としての活動を発表する にあたり、趣味を通じ、社会貢献の目的 で集まった仲間でのチャリティーの舞台。	アマチュア歌謡サーク ル 狛江	22.5.16	エコルマホール	・ポスター掲示
社会教育課	後援 (教育)	35回 春の芸能祭	芸能	狛江市民の文化舞台芸能の発表を冀っ て広く市民の交流と親睦を計り舞台芸能 の後継者育成及び向上発展に寄与する 目的です。	狛江市文化協議会	22.3.7	エコルマホール	・ポスター掲示

担当課	種別	事業名	事業形態	事業目的	実施団体	実施日	実施場所	支援内容
社会教育課	後援	35回 春の芸能祭	芸能	狛江市民の文化舞台芸能の発表を冀つて広く市民の交流と親睦を計り舞台芸能の後継者育成及び向上発展に寄与する目的です。	狛江市文化協議会	22.3.7	エコルマホール	・ポスター掲示
社会教育課	後援 (教育)	第27回子ども本全国 研究集会	学習会	幼・小・中・高等学校の教員、学校司書、こどもの本研究者、作家、評論家、家庭や地域での読書活動の推進者、学校図書館・図書館の活用に関する研究・実践の発表の機会を設け、参加者の研修と研究的な交流を図る。	日本子どもの本研究会	22.7.28～22.7.29	エコルマホール	・チラシ学校配布
社会教育課	後援 (教育)	六郷用水の今と昔	展示会	稲作のために作られた六郷用水は昔狛江の人々に親しまれ、暮らしを潤してきた。その存在を果たした役割などを改めて確認し、後世に伝えたい。	泉の森友の会	22.3.19～22.3.25	泉の森会館	
社会教育課	後援 (教育)	第25回狛江母親大会	学習会	学習と話し合い。	第25回狛江母親大会実行委員会	22.5.9	中央公民館	・チラシ学校配布
社会教育課	後援	第25回狛江母親大会	学習会	学習と話し合い。	第25回狛江母親大会実行委員会	22.5.9	中央公民館	・チラシ学校配布
社会教育課	後援 (教育)	第8回 多摩川スカウト フェスティバル	まつり	スカウトスキルを通じスカウト運動の普及を図る	狛江市ボーイスカウト 連絡協議会	22.5.8～22.5.9	市役所前市民広場	・チラシ学校配布
社会教育課	後援 (教育)	第25回定期演奏会	コンサート	市民のための文化意識向上	狛江フィルハーモニー 管弦楽団	22.5.15	エコルマホール	・ポスター掲示
社会教育課	後援	第25回定期演奏会	コンサート	市民のための文化意識向上	狛江フィルハーモニー 管弦楽団	22.5.15	エコルマホール	・ポスター掲示
社会教育課	後援 (教育)	初夏の音楽会	コンサート	多くの市民に参加して頂き、音楽文化を極めるとともにお互いの交流を深める。	狛江市音楽連盟	22.6.6	エコルマホール	・ポスター掲示
社会教育課	後援	初夏の音楽会	コンサート	多くの市民に参加して頂き、音楽文化を極めるとともにお互いの交流を深める。	狛江市音楽連盟	22.6.6	エコルマホール	・ポスター掲示
社会教育課	後援 (教育)	狛江市三曲協会 第11回演奏会	コンサート	市民の人々と三曲(箏・三絃・尺八)を通じて交流を深め、邦楽文化の維持・向上と、狛江市の文化の発展に寄与することを目的。	狛江市三曲協会	22.6.12	エコルマホール	
社会教育課	後援 (教育)	第62回都民体育大会 開会式	その他	開会式参加	NPO法人 狛江市体育協会	21.7.25	東久留米市立中央 公民館	

担当課	種別	事業名	事業形態	事業目的	実施団体	実施日	実施場所	支援内容
社会教育課	後援 (教育)	狛江市バレーボール春季大会 (6人制・9人制)	大会	スポーツの普及と参加者相互の親睦を図るため。	狛江市バレーボール協会	(6人制) 21.6.21 21.7.5	市民総合体育館	わっこ掲載
社会教育課	後援 (教育)	第31回狛江市卓球団体戦	大会	狛江市民の卓球愛好者及び団体による市民卓球団体戦の開催。	狛江市卓球連盟	21.7.19	市民総合体育館	わっこ掲載
社会教育課	後援 (教育)	狛江市ソフトボール協会5周年記念大会	大会	設立から5年の年度にあたり、協会内の団結力・親睦を深めるため。	狛江市ソフトボール協会	21.7.26	西和泉グラウンド	
社会教育課	後援 (教育)	平成21年度 HOOPHYSTERIA ファイブスター	その他	狛江市の小・中学校のバスケットボール愛好者の技術レベルの向上と親睦のため。	HOOPHYSTERIA ファイブスター	21.8.9	市民総合体育館	案内チラシ
社会教育課	後援 (教育)	平成21年度狛江市老人クラブ連合会ゴルフ大会	大会	高齢者の健康づくり活動の一環として実施する。	狛江市老人クラブ連合会	21.9.15	狛江市民グラウンド	わっこ掲載
社会教育課	後援 (教育)	第20回狛江市陸上競技記録会	その他	陸上競技の普及、発展、技術の向上を目的とする。	狛江市陸上競技協会	21.9.20	多摩市立陸上競技場	わっこ掲載
社会教育課	後援 (教育)	平成21年度 狛江市立学校PTA連合会バレーボール大会	大会	各校の親睦	狛江市立学校PTA連合会	21.10.25	市民総合体育館	
社会教育課	後援	第2回“都歩の日”多摩川ウォーキングフェスタ	その他	都民へのスポーツ普及。	社団法人 日本ウォーキング協会	21.10.3	多摩川沿道	パンフレット
社会教育課	後援 (教育)	T&Mクラブ 第20回オープン・家庭婦人ダブルス大会	大会	狛江市近郊の卓球愛好者との交流	狛江T&Mクラブ	21.11.20	市民総合体育館	案内チラシ わっこ掲載
社会教育課	後援 (教育)	第5回狛江市少年少女サッカー連盟杯秋季大会	大会	スポーツの普及と参加者相互の親睦を図るため。	狛江市サッカー少年少女連盟	21.11.1～21.12.20	狛江市民グラウンド	わっこ掲載
社会教育課	後援 (教育)	平成21年度狛江市民令別ミックスダブルスとシングルス大会	大会	公式テニスの普及と技術の向上、及び会員相互の親睦と市民の心身の鍛錬を計る事を目的とする。	狛江市硬式テニス協会	21.11.15	元和泉テニスコート 東野川テニスコート	わっこ掲載
社会教育課	後援 (教育)	狛江市ジュニアバレーボール教室	その他	バレーボールの普及と多摩国体を目指すジュニアプレーヤーを養成するとともに、子どもたちの交流や心身の鍛錬により、青少年の健全育成に寄与する。	NPO法人 狛江市体育協会	(小学生) 21.11.7～21.11.21 (中学生) 21.12.19	(小学生) 西和泉体育館 (中学生) 私立第3中学校体育館	

担当課	種別	事業名	事業形態	事業目的	実施団体	実施日	実施場所	支援内容
社会教育課	後援 (教育)	第12回 KOMAE CUP 2009(秋)シニアサッ カー大会	大会	40才以上のシニアサッカーマンによる大会を通じて、市民の親睦を図り、市外のサッカーマンとの交流を行い、豊かで平和な地域コミュニティの創設を目指す。	KSCマトウーロB	21.12.23	市民グラウンド	わっこ掲載
社会教育課	後援 (教育)	第17回バタフライカップ ダブルス・チーム大会	大会	狛江市近郊の卓球愛好者との交流	狛江T&Mクラブ	22.4.16	市民総合体育館	案内チラシ わっこ掲載
社会教育課	後援 (教育)	「剣道教室」	その他	多くの市民の皆様及び市内剣道愛好家の参加を広く公募し、市民への剣道の普及振興と剣技の上達及び剣道愛好家相互の融和と青少年の健全育成を図ることを目的に著名な剣道家を講師に招致して剣道の基本動作(対人的技能)、礼法などの指導を受けるものである。	狛江市剣道連盟	22.4.11	市民総合体育館	案内チラシ 広報掲載
社会教育課	後援 (教育)	平成22年度狛江市ソフトボール協会主催春季ソフトボール大会	大会	ソフトボール競技を通して市民の交流、親睦、技術向上のため。	狛江市ソフトボール協会	22.4.4～22.5.2 (毎日曜日)	西和泉グラウンド	わっこ掲載
社会教育課	後援 (教育)	狛江市軟式野球大会 春季大会	大会	アマチュアスポーツの一環としての軟式野球同好の士と共に健康と親睦を図ることを目的とする。	狛江市軟式野球連盟	22.4.4～22.7.11 (毎日曜日)	多摩川緑地グラウンド	わっこ掲載
社会教育課	後援 (教育)	第8回狛江市ビーチボール大会(顧問杯)	大会	いつでも、どこでも、だれでもが手軽にできるスポーツとして全国的に親しまれているビーチボール競技の普及、振興を図り、参加者相互の交流を図る事を目的に開催する。	狛江市ビーチボール協会	22.4.25	市民総合体育館	わっこ掲載
社会教育課	後援 (教育)	小田急バレーボールクリニック	その他	バレーボールの実力向上	狛江市バレーボール協会	22.4.18	市民総合体育館	わっこ掲載
社会教育課	後援 (教育)	「子供バスケットボール教室 FIVE STAR CAMP」	その他	バスケットボールを愛好する子供達のために個人のテクニックをアップさせる為のアメリカナイズされた合理的なバスケットボール教室を開催。	HOOPHYSTERIA ファイブスター	22.4.4	市民総合体育館	案内チラシ
社会教育課	後援 (教育)	狛江・調布早朝野球連盟リーグ戦・トーナメント戦	大会	野球を通じて親睦と交流を図り、健康増進を目的とする。主に毎週金曜日の午前6時から8時に市民グラウンドを使用。	狛江・調布早朝野球連盟	22.4.16～22.11.26 (毎金曜日)	狛江市民グラウンド	わっこ掲載
社会教育課	後援 (教育)	第13回KOMAE CUP 2010(春)シニアサッカー大会	大会	40才以上のシニアサッカーマンによる大会を通じて、市民の親睦を図り、市外のサッカーマンとの交流を行い、豊かで平和な地域コミュニティの創設を目指す。特に今年度は狛江市制40周年を祝う記念行事とした。	KSCマトウーロB	22.5.4	狛江市民グラウンド	わっこ掲載
社会教育課	後援 (教育)	第17回多摩東ブロックダンススポーツ大会 第24回狛江市ダンススポーツ大会 平成22年度山口繁雄杯争奪戦	大会	広い地域の選手と共に公認戦として技術の向上を図る。	狛江市ダンススポーツ連盟	22.5.30	市民総合体育館	わっこ掲載

担当課	種別	事業名	事業形態	事業目的	実施団体	実施日	実施場所	支援内容
社会教育課	後援 (教育)	狛江市民春季テニス大会	大会	硬式テニスの普及と技術の向上及び会員相互の親睦と市民の心身の錬磨を計る事を目的とする。	狛江市硬式テニス協会	22.5.9	元和泉テニスコート 東野川テニスコート	
社会教育課	後援 (教育)	バスケットボール春季 狛江市民大会	大会	バスケットボールの普及と競技力の向上。	狛江市バスケットボール連盟	22.2.16 22.6.6	市民総合体育館	わっこ掲載
社会教育課	後援 (教育)	第15回東京国際スリー デーマーチ	その他	ウォーキングはいつでも誰でも身近な自然とのふれあいを楽しむ気軽にできるスポーツとして親しまれており、緑豊かな多摩・武蔵野の地で楽しみながら歩いて、ウォーキングの健康、環境、交流へ寄与するものです。	東京国際スリーデー マーチ実行委員会、 社団法人日本ウォー キング協会	22.5.1～22.5.3	東京都立小金井公園・いこいの広場	案内チラシ
社会教育課	後援 (教育)	第11回多摩川ウォーク	その他	ウォーキングへの関心を高めるとともに、多摩川流域における市区町村住民の健康増進と体力向上を目指す。	(財)世田谷区スポーツ振興財団	22.5.9	二子玉川緑地運動場～調布市多摩川自由広場・多摩市一ノ宮公園	案内チラシ
社会教育課	後援 (教育)	第11回多摩川ウォーク	その他	ウォーキングへの関心を高めるとともに、多摩川流域における市区町村住民の健康増進と体力向上を目指す。	(財)世田谷区スポーツ振興財団	22.5.9	二子玉川緑地運動場～調布市多摩川自由広場・多摩市一ノ宮公園	案内チラシ
社会教育課	後援 (教育)	第6回狛江市少年少女 サッカー連盟杯 春季大会	大会	スポーツの普及と参加者相互の親睦を図るため。	狛江市サッカー少年少女連盟	22.5.30～22.8.8	狛江市民グラウンド	広報掲載
社会教育課	後援 (教育)	狛江市バレーボール春季大会	大会	スポーツの普及と参加者相互の親睦を図るため。	狛江市バレーボール協会	(6人制) 22.7.4 22.6.20	市民総合体育館	わっこ掲載
社会教育課	後援 (教育)	平成22年度 狛江市バドミントンダブルス大会(会長杯)	大会	スポーツの普及と参加者相互の親睦を図るため。	狛江市バドミントン協会	22.6.13	市民総合体育館	
社会教育課	後援 (教育)	第22回ペアー・マツチ大会	大会	狛江市近郊の卓球愛好者との交流	狛江T&Mクラブ	22.7.16	市民総合体育館	わっこ掲載
政策室	後援	狛江明るい社会づくりの会	その他	アフリカ難民救助のための毛布収集活動の実施	狛江明るい社会づくりの会 和泉本町一丁目町会	22.5.16	市民ひろば	名義使用
清掃課	後援	第2回ふれあいバザー	キャンペーン	ごみの減量を目指し、ごみのリサイクル社会の実現に向けて、身近なフリーマーケットの開催を通じてにより多くの方にリサイクルの意義の理解と浸透を図る。		平成21年10月18日	狛江第一小学校	・名義使用 ・ごみ半減新聞等の配布
地域活性課	後援	第7回多摩ブルー・グリーン賞	発表会	多摩地域で活躍する中小企業の優れた技術・製品や経営手腕を評価し、表彰することで、地域企業による技術開発や経営戦略創造の活力を生み出し、地域経済がより活性化されることを目的とする。	多摩信用金庫価値創造事業部	平成21年12月16日	パレスホテル立川	名義使用
地域活性課	後援	多摩の物産&輸入品 商談会'09	展示会	多摩の物産と世界からの輸入品を一堂に会し、百貨店、スーパー、卸売業者、専門店等とのビジネスマッチングを促進し、商談、商品開発の場を提供することを目的とする。	多摩信用金庫	平成21年7月6・7日	パレスホテル立川	名義使用

担当課	種別	事業名	事業形態	事業目的	実施団体	実施日	実施場所	支援内容
地域活性課	後援	みんなの！狛江夏まつり2009	まつり	狛江の産業と文化の振興を目的に、狛江の活性化を図る。来場者の楽しみを優先した参加型の催しを取り入れ、幅広い年齢層に地域参加を呼びかけ狛江の魅力を探し、狛江を発信していく。	狛江夏まつり実行委員会	平成21年8月1・2日	泉龍寺及び泉の森会館とその周辺	名義使用
地域活性課	後援	第20回府中市工業技術展	展示会	ものづくり産業の活性化を支援するため、中小企業等の優れた技術や製品を広くPRし、異業種、教育・研究機関等との交流を促進することで、技術の向上や販路開拓による取引機会の拡大、企業間連携の実現、情報収集・交換を図る。	むさし府中商工会議所・府中市工業技術展実行委員会	平成21年10月16・17日	府中市市民会館	名義使用
地域活性課	後援	サンタクロース代配事業	民俗行事	商店会の会員や地域の中学生がサンタクロースに扮し、希望する市内の子どもたちにプレゼントを届けることにより、商店会のイベント事業の周知と市民生活の向上を図る。	御台橋商栄会	平成21年12月24日	市内全域	名義使用
地域活性課	後援	狛江青年会議所ふれあいキッズ	まつり	狛江の子どもたちに、この事業を通して様々な体験をし、スタッフを交え交流を深めてもらう。いろいろな体験をしていく中で、子どもたちが夢を膨らませ、この事業での思い出が子どもたちの、そして狛江のまちの、明るい未来につながっていくことを目的とする。	狛江青年会議所	平成21年11月14・15日	味の素スタジアム 狛江市民まつりにて ブース参加	名義使用
地域活性課	後援	調布狛江合唱団45周年記念演奏会	コンサート	地域とかわった合唱団の集大成として参加者とともに音楽を楽しむ。	調布狛江合唱団	平成21年12月5日	調布市市民文化会館	名義使用
地域活性課	後援	第24回多摩源流まつり	まつり	多摩川の源流である小菅村を多くの入々にPRし、多数の参加者を得て多摩川の上下流交流を図ることを目的とする。	山梨県小菅村	平成22年5月4日	山梨県小菅村	名義使用
地域活性課	後援	第8回多摩ブルー・グリーン賞	発表会	多摩地域の中小企業の活性化と地域経済の振興に寄与するため。	多摩信用金庫価値創造事業部	平成22年12月15日	パレスホテル立川	名義使用
地域活性課	後援	2010東京TAMA音楽祭&2010東京TAMAIのちのちのレレー	その他	多摩地域の市民文化交流等。	東京TAMA音楽祭組織委員会	平成22年4月11・16・17日	・昭和記念公園 ・アムニュー立川	名義使用
地域活性課	後援	音楽体験講座	芸能	市内に音楽を楽しむ環境を作るため。	狛江音楽普及会	平成22年4月21日・6月16日・8月18日・10月20日・12月15日	エコルマホール(展示・多目的室)	名義使用
都市整備課	後援	第32回住宅デー	キャンペーン	地元建設事業者が住宅相談や耐震相談、家具転倒防止器具の設置ボランティア、子ども工作教室等、様々な奉仕活動を行い、市民の住環境に対する意識啓発を図る。	東京土建一般労働組合狛江支部	平成21年6月21日	市内15会場	後援名義使用

担当課	種別	事業名	事業形態	事業目的	実施団体	実施日	実施場所	支援内容
都市整備課	後援	第15回『東京土建住宅まつり』	まつり	住まいの手入れや修理などの住宅相談、包丁研ぎ、まな板削り、子ども工作教室、タイル細工、竹細工教室、各職(電気、水道、畳、塗装、内装)コーナーなど、日ごろお世話になっている市民の皆様へ奉仕活動をするため。	東京土建一般労働組合泊江支部	平成21年10月18日	泊江駅北口「緑の三角広場」	後援名義使用
福祉サービス支援室	後援	多摩川乗馬会	その他	交流のため	特定非営利活動法人バリアフリーセンター福祉ネット「ナナの家」	平成21年4月29日、5月31日、9月27日、11月3日	和泉多摩川河川敷自由ひろば	泊江市の名義を後援として講演会チラシやパンフレットに使用することを承認した。
福祉サービス支援室	後援	第29回ボランティアのつどい	まつり	ボランティア、市民活動に対する認知及び理解を深める。市内のボランティアグループ、市民活動団体の紹介及びPR。ボランティア・市民活動を始めたいと思っている人のためのキッカケづくり。行事を通して各団体の交流・情報交換を図る。障がい者団体との連携・交流・情報交換を図る。	泊江市社会福祉協議会	平成21年10月4日	あいとぴあセンター	泊江市の名義を後援として講演会チラシやパンフレットに使用することを承認した。
福祉サービス支援室	後援	泊江における障がいのある子ども達の放課後活動	講演会	地域の中で、障害があっても安全・安心で豊かに生活が出来ることを目指し、泊江市市内において学齢期の子ども達を中心に支援をする施設・相互理解をすること。障害児の自立と社会参加への理解・社会啓発をすること。	泊江市地域デザイングループ事業連絡協議会	平成21年10月13日	中央公民館講座室	泊江市の名義を後援として講演会チラシやパンフレットに使用することを承認した。
福祉サービス支援室	後援	「発達障害」のなぜアスペルガー当事者として伝えたいこと	講演会	「発達障害」を事実として理解し、当事者にとつて望ましい支援とはどのようなものかを参加者全員で考えることを通し、支援のゆるいネットワーク構築を構築する。	子ども☆若者支援者ネットワークショップ実行委員会	平成21年11月29日	北沢タウンホールらぶらす11階 研修室	泊江市の名義を後援として講演会チラシやパンフレットに使用することを承認した。
福祉サービス支援室	後援	研修会「発達障がい児(者)の行動問題の理解と支援」	講演会	応用行動分析や発達障がい児の発達支援の専門家を迎え、ボランティアスタッフが障がい児(者)の行動問題の理解と支援方法について深く学び、日頃の活動に	特定非営利活動法人バリアフリーセンター福祉ネット「ナナの家」	平成22年3月13日	泊江市あいとぴあセンター4階 講座室	泊江市の名義を後援として講演会チラシやパンフレットに使用することを承認した。
福祉サービス支援室	後援	手話入門ミニ講座	講座	聴覚障がい者に出会った時手話で簡単な挨拶程度の会話ができるように。	泊江市聴覚障がい者会	22.5.7～6.4(毎週金曜日)	駄倉地区センター2階	泊江市の名義を後援として講演会チラシやパンフレットに使用することを承認した。
福祉サービス支援室	後援	多摩川乗馬会	その他	交流のため	特定非営利活動法人バリアフリーセンター福祉ネット「ナナの家」	平成22年4月25日、5月16日、9月19日、10月31日	和泉多摩川河川敷	泊江市の名義を後援として講演会チラシやパンフレットに使用することを承認した。

意見交換・情報交換（懇談会・フォーラム・シンポジウム等）

担当課	種別	開催名称	開催目的	参加団体	実施日	実施場所	交換した意見・情報の内容
公民館	懇談会	西河原公民館利用者懇談会	西河原公民館の運営について、情報を提供し、直接意見交換を行い、交流する機会を持つ。	西河原公民館利用団体：57団体・56人	平成21年5月26日	西河原公民館・学習室1	西河原公民館運営について 公民館利用の説明 公民館登録申請（4年に1度）の説明 西河原公民館利用団体の交流（団体紹介、利用上感じていること） 西河原公民館利用上の意見交換
公民館	懇談会	中央公民館利用者懇談会	中央公民館の運営について、情報を提供し、直接意見交換し、交流する機会を持つ。	中央公民館利用団体：99団体・92人	平成21年5月20日	中央公民館・講座室	中央公民館利用の説明 公民館登録申請（4年に1度）の説明 中央公民館利用団体の交流（団体紹介、利用上感じていること） 中央公民館利用上の意見交換

担当課	種別	事業名	事業目的	協働相手	支出額	理由
安心安全課	補助金	調布地区防犯協会等に対する補助金	狛江市調布地区防犯協会等が行う各種防犯運動及び看板設置等の事業、青少年野球大会・剣道大会等の事業、防犯に関する映画会・座談会等の事業、防犯運動用雑誌の発行、その他青少年の非行防止等事業に対して補助を行う。 狛江市調布地区防犯協会等に対する補助の基準	調布地区防犯協会 調布地区防犯協会狛江支部連合会	680,000	調布地区防犯協会狛江支部連合会補助金と、調布地区防犯協会補助金を一本化
環境管理課	補助金	子ども多摩川ふれあい事業	多摩川の自然再生活動に参加体験し、春夏冬、川魚の産卵床作りを通して発見する魚の生態と自然愛護の心。多摩川の源流である小菅村の豊かな自然を肌で体験し、川や森、生きものなど、自然に対する理解と関心を深める。 多摩・島しょ子ども体験塾市町村助成金要綱	狛江水辺の楽校運営協議会	0	平成18～20年度助成を受け、3年を超えて申請ができないため、未実施
社会教育課	委託	少年少女剣道大会委託	スポーツの普及と参加者相互の親睦を図るため。 青少年健全育成の一環。	狛江市剣道連盟	0	体育館改修により、場所の確保ができないかったため
社会教育課	委託	少年少女バドミントン大会委託	スポーツの普及と参加者相互の親睦を図るため。 青少年健全育成の一環。	狛江市少年少女バドミントン大会実行委員会	0	体育館改修により、場所の確保ができないかったため
福祉サービス支援室	補助金	小規模作業所等新体系移行支援事業	小規模作業所の運営等に要する経費の一部を補助することにより、障がい者の自立更生を促進するとともに、保護者の負担の軽減を図ることを目的とする。 狛江市小規模作業所等新体系移行支援事業補助金交付要綱	NPO狛江さつき会 足立邦栄会	16,503,200	心身障害者(児)通所訓練等事業、精神障害者共同作業所通所訓練事業から移行

年度	担当課	種別	分野	事業名	支援の目的・根拠条文	交付対象	事業総額(円)	交付総額(円)	交付総額の負担割合	実績及び成果
21	福祉サービス支援課	補助金	保健・医療・福祉	心身障害者(児)通所訓練等事業	心身障害児通所訓練施設運営費等補助(地域デイグループ) 柏江市心身障害者(児)通所訓練等事業運営費補助金交付規則	えるぶ[こども教室えるぶ、スペースえるぶ]、ゆめぽっと、ハッピーライフアフォーエバー、福祉ネット「ナナの家」	62,339,386	43,305,651	都 2／3 市 1／3	心身障害児通所訓練施設運営を行うことで、地域社会における在宅心身障がい者(児)の社会適応訓練の場を継続して確保した。
21	福祉サービス支援課	補助金	保健・医療・福祉	(新規)小規模作業所等新体系移行支援事業	小規模作業所の運営等に要する経費の一部を補助することにより、障がい者の自立更生を促進するとともに、保護者の負担の軽減を図ることを目的とする。	NPO柏江さつき会「ワーク・イン メイ、カレージョップ メイ」 足立邦栄会「こまえ工房(こもれび・もえぎ・こだち)」	98,395,321	16,503,200	都 10／10	作業所の安定的な運営と障がい者の自立更生を促進するとともに、保護者の負担の軽減を図ることができた。
20	福祉サービス支援課	補助金	保健・医療・福祉	心身障害者(児)通所訓練等事業	知的障害者通所授産事業 柏江市心身障害者(児)通所訓練等事業運営費補助金交付規則	柏江福祉作業所 柏江第二福祉作業所 柏江第三福祉作業所	58,758,075	54,866,930		知的障害者通所授産事業を行った。 ⇒21年度小規模作業所等新体系移行支援事業へ
20	福祉サービス支援課	補助金	保健・医療・福祉	心身障害者(児)通所訓練等事業	心身障害児通所訓練施設運営費等補助(地域デイグループ) 柏江市心身障害者(児)通所訓練等事業運営費補助金交付規則	こども教室えるぶ スペースえるぶ ゆめぽっと はっぴいハウス ナナの家	63,253,171	43,821,000		心身障害児通所訓練施設運営を行った。
20	福祉サービス支援課	補助金	保健・医療・福祉	精神障害者共同作業所通所訓練事業	精神障害者社会適応訓練事業 柏江市精神障害者共同作業所及びグーループホーム運営費補助金交付規則	ワーク・インたまがわ ワーク・イン野川	37,900,197	36,099,602		精神障害者社会適応訓練を実施 ⇒21年度小規模作業所等新体系移行支援事業へ

54,866,930+36,099,602=16,503,200=74,463,332

市民協働事業評価アンケート 評価のまとめ

15 事業（12 課 15 団体）についてアンケート回答

補助金事業 7 件 協定事業 5 件 委託事業 3 件

評価基準

1:まったくできなかった 2:良くできなかった 3:良くできた 4:大変良くできた

※アンケート用紙の各質問で、色の濃い部分が行政の評価、○の部分が団体の評価。評価のところで色が濃く、○が重なっているところは、行政団体の評価が同一。

事業実施前についての質問

- 1 「協働事業についての明確・具体的な目標を、両方で共有されていたと思いますか。
(A. を確認して記入してください。)」

行政と団体で評価が同じ : 評価 4 ⇒ 4 件 (補助金 2・協定・委託)

評価 3 ⇒ 3 件 (補助金 2・委託)

評価 2 ⇒ 1 件 (協定)

行政と団体で評価が異なる : 行政の評価 4 - 団体の評価 3 ⇒ 5 件 (補助金 2・協定 3)

行政の評価 3 - 団体の評価 4 ⇒ 2 件 (補助金・委託)

A 欄 - 事業の明確・具体的な目標 : 3 事業で同一、12 事業でほぼ同一

- 2 「単独実施ではなく協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通認識していたと思いますか。(B. を確認して記入してください。)」

行政と団体で評価が同じ : 評価 4 ⇒ 3 件 (補助金・協定・委託)

評価 3 ⇒ 6 件 (補助金 6)

評価 2 ⇒ 1 件 (協定)

行政と団体で評価が異なる : 行政の評価 4 - 団体の評価 3 ⇒ 3 件 (協定 3)

行政の評価 3 - 団体の評価 4 ⇒ 1 件 (委託)

行政の評価 2 - 団体の評価 3 ⇒ 1 件 (委託)

B 欄 - 事業の意義・メリット : 1 事業で同一、4 事業でほぼ同一

- 3 「事前に役割分担は明確かつ適正に定められていましたか。」

行政と団体で評価が同じ : 評価 4 ⇒ 2 件 (補助金・委託)

評価 3 ⇒ 4 件 (補助金 2・協定・委託)

評価 2 ⇒ 3 件 (補助金 2・協定)

行政と団体で評価が異なる : 行政の評価 4 - 団体の評価 3 ⇒ 2 件 (協定 2)

行政の評価 4 - 団体の評価 2 ⇒ 1 件 (協定)

行政の評価 3 - 団体の評価 4 ⇒ 3 件 (補助金 2・委託)

事業実施中についての質問

- 4 「それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。」

行政と団体で評価が同じ : 評価4⇒3件(補助金・協定・委託)

評価3⇒7件(補助金4・協定2・委託)

評価2⇒1件(協定)

行政と団体で評価が異なる : 行政の評価4 - 団体の評価2⇒1件(協定)

行政の評価3 - 団体の評価4⇒2件(補助金・委託)

行政の評価2 - 団体の評価4⇒1件(補助金)

- 5 「事業実施中に意見交換や情報交換を十分に行うことができましたか。」

行政と団体で評価が同じ : 評価4⇒2件(補助金・協定)

評価2⇒3件(補助金2・委託)

行政と団体で評価が異なる : 行政の評価4 - 団体の評価3⇒3件(補助金・協定・委託)

行政の評価4 - 団体の評価2⇒2件(協定2)

行政の評価3 - 団体の評価4⇒1件(委託)

行政の評価3 - 団体の評価2⇒2件(補助金・協定)

行政の評価2 - 団体の評価3⇒2件(補助金2)

- 6 「事業実施中に発生した問題や修正すべき点に対し、連携して柔軟に対応できましたか。(C.を確認して記入してください。)」

行政と団体で評価が同じ : 評価4⇒2件(協定・委託)

評価3⇒1件(補助金)

評価2⇒1件(補助金)

行政と団体で評価が異なる : 行政の評価4 - 団体の評価3⇒1件(協定)

行政の評価3 - 団体の評価4⇒1件(委託)

行政の評価3 - 団体の評価2⇒1件(協定)

行政の評価2 - 団体の評価3⇒4件(補助金2・協定2)

団体のみ評価4⇒1件(補助金)

団体のみ評価2⇒1件(補助金)

行政と団体ともに評価なし⇒2件(補助金・委託)

C欄-事業実施中に発生した問題・修正点等 : 2事業で同一 5事業でほぼ同一

事業実施後についての質問

- 7 「目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。」

行政と団体で評価が同じ : 評価4⇒2件(協定・委託)

評価3⇒6件（補助金3・協定2・委託）

行政と団体で評価が異なる：行政の評価4 - 団体の評価3⇒2件（補助金・協定）

行政の評価3 - 団体の評価4⇒3件（補助金2・委託）

行政の評価1 - 団体の評価2⇒1件（協定）

行政のみ評価3⇒1件（補助金）

- 8 「協働事業として実施して、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。」

行政と団体で評価が同じ：評価4⇒6件（補助金3・協定2・委託）

評価3⇒2件（補助金2）

評価2⇒1件（協定）

行政と団体で評価が異なる：行政の評価4 - 団体の評価3⇒1件（協定）

行政の評価4 - 団体の評価2⇒1件（協定）

行政の評価3 - 団体の評価4⇒3件（補助金・委託2）

行政のみ評価3⇒1件（補助金）

- 9 「事業終了後に事業を振り返り、次回に活かすための話し合いの場を設け、十分に話し合うことができましたか。」

行政と団体で評価が同じ：評価4⇒1件（委託）

評価3⇒1件（委託）

評価2⇒4件（補助金3・協定）

行政と団体で評価が異なる：行政の評価4 - 団体の評価3⇒2件（補助金・協定）

行政の評価4 - 団体の評価1⇒1件（協定）

行政の評価3 - 団体の評価4⇒2件（補助金・委託）

行政の評価2 - 団体の評価3⇒2件（補助金・協定）

行政の評価2 - 団体の評価1⇒1件（協定）

行政のみ評価2⇒1件（補助金）

事業全体を振り返っての質問

- 10 「今回の協働事業が市民に対して効果があったと思いますか。」

行政と団体で評価が同じ：評価4⇒5件（補助金4・委託）

評価3⇒3件（補助金2・委託）

行政と団体で評価が異なる：行政の評価4 - 団体の評価3⇒3件（協定3）

行政の評価3 - 団体の評価4⇒2件（協定・委託）

行政の評価3 - 団体の評価2⇒1件（協定）

行政のみ評価4⇒1件（補助金）

市民協働事業評価アンケート 評価のまとめ 補足

質問	行政の評価平均	評価課数	団体の評価平均	評価団体数
1	3.5	15	3.3	15
2	3.3	15	3.2	15
3	3.1	15	3.1	15
4	3.1	15	3.3	15
5	3.1	15	2.7	15
6	2.8	11	3.1	13
7	3.1	15	3.3	14
8	3.5	15	3.5	14
9	2.7	15	2.6	14
10	3.6	15	3.4	14

※評価なしの課、団体は数に含まず
 ※評価平均の小数点第2位以下は四捨五入

市民協働事業評価アンケート

市の 担当部署	安心安全課	団体名	調布交通安全協会
事業名	交通安全関係補助〔補助金事業〕		
実施期間	平成 21 年 4 月 1 日	～	平成 22 年 3 月 31 日
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔行政〕	究極的には交通事故ゼロを目指し、市民への交通安全思想普及と交通安全意識の向上		
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔団体〕	交通安全運動、毎月10日の交通安全日の交差点配置、各種キャンペーン活動を通じ、子ども高齢者等の交通事故防止。広報啓発活動。		
B.事業の意義・ メリット〔行政〕	交通安全運転者講習会、交通安全思想普及活動、広報啓発活動を行っている。		
B.事業の意義・ メリット〔団体〕	「市民を自分たちの手で守ろう」、「交通死亡事故ゼロを目指そう」を合言葉として活動することにより、地域とつながりが持てる。		
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 〔行政〕	会員の高齢化。		
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 〔団体〕	会員の高齢化、減少		

評価基準	1:まったくできなかった 2:良くできなかった 3:良くてきた 4:大変良くてきた
------	---

事業実施前についての質問		評価			
1	協働事業についての明確・具体的な目標を、両者で共有されていたと思いますか。(A.を確認して記入してください。)	1	2	3	④
質問の主旨 協働事業を行うにあたり、事前に市民のニーズや社会情勢を踏まえた明確かつ具体的な目標が設定され、その目標が両者の間で認識の相違なく共有されていたか。					
2	単独実施ではなく協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通認識していたと思いますか。(B.を確認して記入してください。)	1	2	3	④
質問の主旨 行政あるいは市民公益活動団体が単独で実施するのではなく、両者が協働で実施する。その意義(なぜ協働で行うのか)や協働で行うことで「より高い事業効果につながる」等のメリットが、お互いに認識の相違なく共有されたか。					
3	事前に役割分担は明確かつ適正に定められていましたか。	1	2	3	④
質問の主旨 事前に「行政が行う部分」と「市民公益活動団体が行う部分」といった役割、責任や事業費の分担が、十分な話し合いのもとに明確かつ適正に(契約書や協定書等で)定められ、共有されていたか。					

その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。	
行政	補助金の使途については事業計画で報告され、狛江市(調布市)、調布警察署、調布交通安全協会の三者で協議をして事業を行っている。補助金を出して終わりではなく総合的に事業を推進するため効果的に人員等を配置し、春、秋の交通安全のつどい、講習会などで活躍し、狛江市総合防災訓練や今年行われる狛江市花火大会などでも警戒に参加している。
団体	春、秋の交通安全運動でのつどいや運動期間中毎日行われる車両広報など事前計画的に行われるので非常に助かる。

市民協働事業評価アンケート

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 事前に分担されたそれぞれの役割を、両者が責任を持って適切に遂行できたか。実際は一方だけがほとんどの部分を担っていたということがなかったか。					
5	事業実施中に意見交換や情報交換を十分に行うことができましたか。	1	2	③	4
質問の主旨 事業実施中に、事業の進捗状況や改善点等について意見交換や情報交換を十分に行うことができたか。					
6	事業実施中に発生した問題や修正すべき点に対し、連携して柔軟に対応できましたか。(C.を確認して記入してください。)	1	2	③	4
質問の主旨 事業実施中に、予定外の事態が発生したり事業計画を変更・修正しなければならなかった場合に、両者が連携して調整し、柔軟に対応することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	事業が効果的に推進されるために、狛江市(調布市)、調布警察署、調布交通安全協会の三者で協議をして役割を確認しているため、担当の職務について分担し事業を円滑に行えるよう話している。 独自事業においても報告があり、活動内容を把握できている。 年度末に市の支出が出来ないときに、対応していただいたりもしている。				
団体	事故発生現場、危険箇所などの看板、掲示物等の設置について話し合い実施している。 合同活動時に予定変更があっても柔軟に対応してもらえる。				
事業実施後についての質問		評価			
7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 協働事業を行うにあたり設定されていた目標に対する事業終了後の達成感について、両者が実感を共有できたか。					
8	協働事業として実施して、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 いくつかある事業形態の中から「行政と市民公益活動団体の協働」により事業を実施してみて、他の形態で実施するよりも効果が上がったと実感できたか。					
9	事業終了後に事業を振り返り、次回に活かすための話し合いの場を設け、十分に話し合うことができましたか。	1	2	③	4
質問の主旨 事業終了後に、お互いが今後の活動に活かすため事業の振り返りを行ったか。また、話し合いの場を設けてそれぞれの振り返りを共有し、検証・評価することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	特に交通安全運動期間中に多くの事業があり、無事に終了したときは大きな達成感がある。 市役所での事業は、全体のことを考えるが事故が集中して発生したときには、地域限定で活動を行うことが出来るので非常に助かっている。 ただ、事後の話は特になく翌年度に同じ事業を行うときに話す程度です。				
団体	エコルマホールで行われる交通安全のつどいでは、たくさんの市民の方にご参加いただき広く交通安全意識を高めることが出来た。 話し合いの場を設けることはほとんどないが、電話や市役所の窓口などで直接話し合いが出来る関係を築いており、お互いの意思の疎通は図れている。				

市民協働事業評価アンケート

事業全体を振り返っての質問		評価			
10	今回の協働事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨					
今回行った協働事業が受益者である市民にとって効果があったか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	平成14年に377件あった交通事故が平成20年は203件になり、約46%の減少を実現しました。残念ながら平成21年は交通事故件数が225件に増えてしまいましたが、これでも約40%減少しています。 交通事故の発生件数の減少から効果があったことが見れます。				
団体	平成21年中の交通事故死者数は粕江市はゼロ(前年比△1)重傷者数2名(前年比±0)という結果は、活動の成果である。今後もさらに活動を活発にし、交通事故防止に努めたい。				
自由意見記入欄 (市民協働に関するご意見を、ご自由にお書きください)					
行政	市としては、調布交通安全協会の活動を高く評価している。 調布警察署管轄の団体であるが、独立した団体として活動しており市の要望も取り入れて活動していただいている。				
団体	平成21年度より制服の貸与制度が開始された。初年度の半年間で約70万円の支出が発生しており財政的に厳しくなる。 また、交通安全のつどいでの参加者への配布物やアトラクションの経費なども嵩んでいる。 出来ることなら、補助金の増額をお願いできないか。				

市民協働事業評価アンケート

意見交換記入欄

(問題点・課題等を箇条書きで、ご自由にお書きください。)

問題点として、高齢化や会員の減少という問題があったが、狛江支部のみで考えると問題はそれほどでもない。消防団から交通安全協会に加入したり狛江市内では若手もかなり入っている。調布交通安全協会から補助金増額の依頼があったが、活動に関することなので市としても考慮したい。来年度予算要求までに増額の理由を出してもらおうこととする。狛江市での交通安全運動期間中の女性部の活動を狛江駅前で実施しているが、調布駅前の京王線の地下化の工事が完成する平成24年以降は継続していただけるのか後日回答待ち。狛江市と調布交通安全協会は非常に良好な関係であるのが、お互いの理解しているところです。今後も更なる交通事故防止、良好な交通環境を創るため調布警察署と連携して活動していきたいと確認しました。

市民協働事業評価アンケート

市の 担当部署	介護支援課	団体名	NPO法人狛江共生の家												
事業名	地域福祉推進事業(昼食会)〔補助金事業〕														
実施期間	平成	21	年	10	月	7	日	～	平成	22	年	3	月	31	日
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔行政〕	地域の方が参加できる昼食会を行うことにより、参加者の心身の健康の増進と、地域コミュニティ育成を目的とする。														
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔団体〕	地域の高齢者週1回昼食を調理提供し、健康な暮らしを持続していただく。また、地域コミュニティを育ててもらう。														
B.事業の意義・ メリット〔行政〕	第3次基本構想・前期基本計画の中で、「誰もが住みなれた地域で快適に暮らすことができる社会をめざす」とあり、この昼食会が、住民の参加する小地域での福祉活動となっています。														
B.事業の意義・ メリット〔団体〕	食事作りが困難、あるいは孤食している高齢者が会食し、食後のアクティビティーに参加することを通して、健康の維持と住民相互の交流を深めること。														
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 〔行政〕	参加希望者が当初予定より多くなり、改めて備品・受け入れ態勢の整備が必要となった。														
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 〔団体〕	20名の会員制でスタートしたが、口コミで参加希望者が増え、現在30名の登録会員となっている。欠席者も生じるため、毎回25～26食提供。参加者住所は猪方・駒井・岩戸地区に限らず、市内全域に広がっている。真に食事困難な高齢者には、まだまだ行きわたっていない。ミニデイサービス(アクティビティ)が大変喜ばれている。他所でも開催していきたい														
評価基準	1:まったくできなかった 2:良くできなかった 3:良くできた 4:大変良くできた														

↓

事業実施前についての質問		評価			
1	協働事業についての明確・具体的な目標を、両者で共有されていたと思いますか。(A.を確認して記入してください。)	1	2	③	4
質問の主旨					
協働事業を行うにあたり、事前に市民のニーズや社会情勢を踏まえた明確かつ具体的な目標が設定され、その目標が両者の間で認識の相違なく共有されていたか。					
2	単独実施ではなく協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通認識していたと思いますか。(B.を確認して記入してください。)	1	2	③	4
質問の主旨					
行政あるいは市民公益活動団体が単独で実施するのではなく、両者が協働で実施する。その意義(なぜ協働で行うのか)や協働で行うことで「より高い事業効果につながる」等のメリットが、お互いに認識の相違なく共有されたか。					
3	事前に役割分担は明確かつ適正に定められていましたか。	1	2	③	4
質問の主旨					
事前に「行政が行う部分」と「市民公益活動団体が行う部分」といった役割、責任や事業費の分担が、十分な話し合いのもとに明確かつ適正に(契約書や協定書等で)定められ、共有されていたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	昼食会自体は、他の団体でも行っており、事業目的・効果などが想像しやすかった。また、共生の家『多麻』というサービス付き高齢者専用住宅を活動の拠点としており、地域コミュニティ育成のメリットや意義を理解しやすかった。ただし、一方で参加者が共生の家『多麻』入居者に偏らないかという心配もあった。				
団体	平成21年10月からの半年間の実績で、効果は充分にあったと思う。安定的に継続することが、高齢者の健康保持と地域住民のコミュニケーションの醸成に役立つと評価できるので、市の協力をいただきながら続けていきたい。週1回(水曜日)の開催は、他の会食会と比較しても中身の濃いものとなっている。				

市民協働事業評価アンケート

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 事前に分担されたそれぞれの役割を、両者が責任を持って適切に遂行できたか。実際は一方だけがほとんどの部分を担っていたということがなかったか。					
5	事業実施中に意見交換や情報交換を十分に行うことができましたか。	1	2	③	4
質問の主旨 事業実施中に、事業の進捗状況や改善点等について意見交換や情報交換を十分に行うことができたか。					
6	事業実施中に発生した問題や修正すべき点に対し、連携して柔軟に対応できましたか。(C.を確認して記入してください。)	1	2	③	4
質問の主旨 事業実施中に、予定外の事態が発生したり事業計画を変更・修正しなければならなかった場合に、両者が連携して調整し、柔軟に対応することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	市の関わりが補助金という性質上、実務部分が団体に偏ってしまうのは仕方ないと思われる。(そのため、上記の評価は低めです。)				
団体	市担当者等を招待し、実施の様子を見ていただき助言があれば参考にすべきだった。				
事業実施後についての質問		評価			
7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 協働事業を行うにあたり設定されていた目標に対する事業終了後の達成感について、両者が実感を共有できたか。					
8	協働事業として実施して、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 いくつかある事業形態の中から「行政と市民公益活動団体の協働」により事業を実施してみて、他の形態で実施するよりも効果が上がったと実感できたか。					
9	事業終了後に事業を振り返り、次回に活かすための話し合いの場を設け、十分に話し合うことができましたか。	1	②	3	4
質問の主旨 事業終了後に、お互いが今後の活動に活かすため事業の振り返りを行ったか。また、話し合いの場を設けてそれぞれの振り返りを共有し、検証・評価することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	地域コミュニティの促進が目的である本補助金事業では、地域との密着性が強い市民公益活動団体との協働が効果的だと思われる。				
団体	食材費は参加会員自己負担(400円)でまかなえるから、会場費・光熱水費・アクティビティの経費(講師謝礼・材料費等)は、市の助成金によりまかなった。スタッフは完全無償ボランティアでしたが若葉会メンバーが中軸を担ってくだった。				

市民協働事業評価アンケート

事業全体を振り返っての質問		評価			
10	今回の協働事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨					
今回行った協働事業が受益者である市民にとって効果があったか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	参加希望者が予定より多くなったことが、効果があったことの例証のひとつと言える。				
団体					
自由意見記入欄 (市民協働に関するご意見を、ご自由にお書きください)					
行政	地域コミュニティの促進が目的である本補助金事業では、地域との密着性が強い市民公益活動団体との協働が効果的だと思われる。				
団体	各団体が、基本計画のどの部分を担っているのか分かっているのでしょうか？周知した上で事業を行ったほうが良いではないでしょうか？				

市民協働事業評価アンケート

意見交換記入欄

(問題点・課題等を箇条書きで、ご自由にお書きください。)

- ・市側では、参加者の大半が共生の家『多麻』の入居になってしまうのではないかと心配していたが、実際は5／30名程度。地域も東和泉や西和泉からバスを利用してまで来ている方もいる。
- ・市委託の会食会とは少し雰囲気が違っている。会食会(市委託)では食事がメインのため、皆さん外食に来るイメージで来ている。そのため余所行きの服装になる。また、1人1人独立して参加している。共生の家の会食会は、回数が多いこともあり普段着で来る方が多い。ミニディ部分がある影響もあるかも。また、友人を誘い合って参加している。
- ・1度、市担当者・担当課長等を招待することとなった。
- ・本補助金は原則3年なので、その後を考えないといけない。補助金がないと実際は継続は難しく、委託事業にできれば。。

市民協働事業評価アンケート

市の 担当部署	介護支援課	団体名	狛江市駒井町健康クラブ
事業名	老人クラブ〔補助金事業〕		
実施期間	平成 21 年 4 月 1 日 ~ 平成 22 年 3 月 31 日		
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔行政〕	高齢者の知識及び経験を生かし、生きがいと健康づくりのための多様な社会活動を通じ、高齢期の生活を豊かなものとするとともにいきいきとした高齢社会の実現に資することを目標とする。		
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔団体〕	各種屋外・屋内スポーツ活動、健康講習・講演会等を通じて会員の心身の健康維持・増進を図るとともに、各種サークル活動、社会施設見学、講演会等を通じて会員相互の研鑽により趣味・教養の充実・向上を図る。更には、友愛活動、公共施設の清掃奉仕、募金活動、地域活動協力等に対し積極的取り組む。		
B.事業の意義・ メリット〔行政〕	補助金を交付することで、老人クラブの運営を安定したものとし、充実した活動を展開できる。		
B.事業の意義・ メリット〔団体〕	上記諸活動に積極的・継続的に取り組むことにより、孤独感に陥りやすい高齢会員が地域社会との一体感と生きがいを保ち続け、ひいては介護防止の一端に寄与出来ればと願っている。		
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 〔行政〕	団体の役員・会員の努力により、円滑に事業を実施していただいた。		
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 〔団体〕	市関係部署から適時受けるアドバイスと、それにも増してクラブ全役員の一致団結した滅私奉公的努力によって特に大きな問題も無くほぼ計画どおりに諸活動を遂行する事が出来た。 特段当該事業期間だけの問題ではないが、クラブ行事に全く参加されない一部会員の方に対するケアについて、今後とも何等の配慮・工夫が必要であろう(友愛活動の更なる拡充など)。		
評価基準	1:まったくできなかった 2:良くできなかった 3:良くできた 4:大変良くできた		

↓

事業実施前についての質問		評価			
1	協働事業についての明確・具体的な目標を、両者で共有されていたと思いますか。(A.を確認して記入してください。)	1	2	③	4
質問の主旨 協働事業を行うにあたり、事前に市民のニーズや社会情勢を踏まえた明確かつ具体的な目標が設定され、その目標が両者の間で認識の相違なく共有されていたか。					
2	単独実施ではなく協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通認識していたと思いますか。(B.を確認して記入してください。)	1	2	③	4
質問の主旨 行政あるいは市民公益活動団体が単独で実施するのではなく、両者が協働で実施する。その意義(なぜ協働で行うのか)や協働で行うことで「より高い事業効果につながる」等のメリットが、お互いに認識の相違なく共有されたか。					
3	事前に役割分担は明確かつ適正に定められていましたか。	1	②	3	4
質問の主旨 事前に「行政が行う部分」と「市民公益活動団体が行う部分」といった役割、責任や事業費の分担が、十分な話し合いのもとに明確かつ適正に(契約書や協定書等で)定められ、共有されていたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	補助金を有効に活用し、老人クラブの運営に関して役員が中心となり自主的に事業展開している。 駒井町健康クラブは毎月の会報発行・サークル活動・奉仕活動・小物品創作講習等さまざまな活動を展開しており、会員が各人の能力を生かし活躍している。				
団体	①他市町村(e.g.小菅村、上野原市、調布市、羽村市、稲城市、等)との老人クラブ運営に関する意見交換会の設定に際しては、介護支援課及び関連部署からの事前の紹介・調整を得て効果的な会合を実施する事が出来た。				

市民協働事業評価アンケート

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 事前に分担されたそれぞれの役割を、両者が責任を持って適切に遂行できたか。実際は一方だけがほとんどの部分を担っていたということがなかったか。					
5	事業実施中に意見交換や情報交換を十分に行うことができましたか。	1	2	③	4
質問の主旨 事業実施中に、事業の進捗状況や改善点等について意見交換や情報交換を十分に行うことができたか。					
6	事業実施中に発生した問題や修正すべき点に対し、連携して柔軟に対応できましたか。(C.を確認して記入してください。)	1	②	3	4
質問の主旨 事業実施中に、予定外の事態が発生したり事業計画を変更・修正しなければならなかった場合に、両者が連携して調整し、柔軟に対応することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	活動内容についての意見交換や情報交換は不十分であったと思うが、団体が自主的に柔軟に対応していた。役割分担について、話し合いの場を設定していくことが必要である。 老人クラブ連合会の事業に関しては、連携して対応できた。				
団体	①特段予定外の事態と思われる事項は無かったが、クラブ単独で判断に迷う様な事項に関してはその都度介護支援課と相談・アドバイスを得て対処してきた。 ②泊老連合同の健康づくり事業関連の各種講習会・講演会実施については、その設定に関し全面的に介護支援課の支援を受けて実施している。				
事業実施後についての質問		評価			
7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 協働事業を行うにあたり設定されていた目標に対する事業終了後の達成感について、両者が実感を共有できたか。					
8	協働事業として実施して、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 いくつかある事業形態の中から「行政と市民公益活動団体の協働」により事業を実施してみて、他の形態で実施するよりも効果が上がったと実感できたか。					
9	事業終了後に事業を振り返り、次回に活かすための話し合いの場を設け、十分に話し合うことができましたか。	1	2	3	④
質問の主旨 事業終了後に、お互いが今後の活動に活かすため事業の振り返りを行ったか。また、話し合いの場を設けてそれぞれの振り返りを共有し、検証・評価することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	団体から実績報告書は提出していただいているが、実績報告の作成を通じて活動内容の意見交換ができた。 老人クラブ補助金の交付目的等、団体が充分理解して、活動内容に生かしていただいている。 団体の役員等が活動内容について検討し、実施することで、高齢者にとってより参加しやすい(参加したい)と思う事業が展開されている。				
団体	①老人クラブ補助金の会計処理区分や単位クラブから市老連への分担金等の扱い等については、今後とも介護支援課と市老連・単位クラブとの間での意見交換を必要性があらう。				

市民協働事業評価アンケート

事業全体を振り返っての質問		評価			
10	今回の協働事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 今回行った協働事業が受益者である市民にとって効果があったか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	年間を通じて、580回の活動を実施し、延べ2,700人以上の参加があった。狛江市老人クラブ連合会の活動にも参加・協力しており、充実した活動内容であり、高齢者の生きがいと健康づくりに寄与している。				
団体	会員からの年会費のみと役員のボランティア精神だけでは、充実した老人クラブ活動を維持する事は不可能であり、今後とも市当局の一層の理解と支援を切望する。				
自由意見記入欄 (市民協働に関するご意見を、ご自由にお書きください)					
行政	老人クラブとしての活動を積極的・自主的に実施し、高齢者の介護予防にもつながっているという点では、行政が担えない柔軟な活動を展開していただき、補助金が有効に活用され、行政の実施する事業と違う部分の介護予防等の成果がある。 60代・70代・80代等の高齢者がより多く入会し、老人クラブの加入率が上がることを期待している。				
団体	老人クラブ活動に関して見るなら、市内にある17単位クラブの日常活動の全てについて、3～4名の介護支援課職員が協働することは不可能であり、基本方針と適時・適切なアドバイスを狛老連を通じて各単位クラブに与える事が出来れば可とすべきであろう。				

市民協働事業評価アンケート

意見交換記入欄

(問題点・課題等を箇条書きで、ご自由にお書きください。)

老人クラブの活動は地域との交流を通じて社会参加をすることで、生きがいを見つけていくことが重要であると感じた。

介護支援課としては、情報交換は不十分な部分もあったかと思っていたが、団体からは話し合いの場を設け、十分に話し合いができたと評価していただいた。

老人クラブの活動の場として、地域センターの施設利用料の減免・グラウンドの確保・老人クラブ連合会の事務所の確保を検討してほしいと要望があった。

①殆ど全ての当クラブの活動は、その活動拠点を公民館、地域・地区センターに拠っているが、その年間施設利用料の総額は老人クラブ補助金の大きな部分を占めており、何等かの配慮を望む。

②特に市東部に位置する単位老人クラブ員にとっては近接した屋外スポーツ施設が皆無で、高齢者が肉体的負担無く利用出来る場所の実現を切望する。(e.g. 中学校校庭を市民にも開放と言うが、現実には月によって全く利用不可の場面が多発している。小学校校庭の開放も切望する。……子供優先であることに全く異存は無いが)

③粕老連全体のことについて言うと、単位クラブ会長宅が事務所化しており、会長・役員の交代に際して諸資料・備品の逸散が危惧される。何等かの粕老連共通の事務所(一室)を市が配慮して頂きたい。望ましくは事務局員の配備、不可であれば何等かの労務費助成を御願いたい。(本件は、現時点ではアンケート回答者の個人的見解)

市民協働事業評価アンケート

市の 担当部署	環境管理課	団体名	狛江青年会議所				
事業名	どうする多摩川河川敷？問題解決と有効活用に向けたまちづくりディスカッション〔協定事業〕						
実施期間	平成 21 年 5 月 31 日	～	平成 21 年 10 月 4 日				
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔行政〕	市民からの多様な考え方を、問題解決への提言とする。						
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔団体〕	現在市が抱える喫緊の課題であり、幅広い市民層の関心事であるテーマ「多摩川河川敷の問題解決と有効活用」について、住民基本台帳を利用した無作為抽出により選ばれた市民による「市民協議会」を開催し、幅広い市民層の参加による多様な意見を取り入れた「市民提案書」を作成し、行政側の政策立案の参考にさせていただく。						
B.事業の意義・ メリット〔行政〕	提案団体による細かな働きかけ、市民を巻き込みながらの実践、そして市単独では目配りできない活動として、特色ある効果的な影響を及ぼした。						
B.事業の意義・ メリット〔団体〕	多摩川の河川敷の諸問題については、行政側も抜本的な解決策を見いだせず、その対応策については苦慮している状況にある。そこで、青年会議所のノウハウにより市民協議会を開催し、一般市民の生の意見を聞き、今後の行政活動の参考としていただくとともに、新しい市民参加手法で行政が抱える課題への対応策を検討することにより、参加した市民の意識を高め、市民の市政への参加を促すことにもつながる。これらの事業を一任意団体だけで行うのではなく、行政と協働することにより、市民の信頼を高めることができ、安心して参加していただくことができる。						
C.事業実施中に 発生した問題・修 正点等〔行政〕	市民協議会の手法に戸惑いを感じたが、目的を共有する事で改善した。						
C.事業実施中に 発生した問題・修 正点等〔団体〕	参加市民の意見として、行政、特に狛江市役所に対する批判や意見が数多く出され、追加の情報提供を行った。（詳細は後述）						
評価基準	1:まったくできなかった 2:良くできなかった 3:良くてきた 4:大変良くてきた						
事業実施前についての質問		評価					
1	協働事業についての明確・具体的な目標を、両方で共有されていたと思いますか。（A.を確認して記入してください。）	1	2	③	4		
質問の主旨 協働事業を行うにあたり、事前に市民のニーズや社会情勢を踏まえた明確かつ具体的な目標が設定され、その目標が両者の間で認識の相違なく共有されていたか。							
2	単独実施ではなく協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通認識していたと思いますか。（B.を確認して記入してください。）	1	2	③	4		
質問の主旨 行政あるいは市民公益活動団体が単独で実施するのではなく、両者が協働で実施する。その意義（なぜ協働で行うのか）や協働で行うことで「より高い事業効果につながる」等のメリットが、お互いに認識の相違なく共有されたか。							
3	事前に役割分担は明確かつ適正に定められていましたか。	1	②	3	4		
質問の主旨 事前に「行政が行う部分」と「市民公益活動団体が行う部分」といった役割、責任や事業費の分担が、十分な話し合いのもとに明確かつ適正に（契約書や協定書等で）定められ、共有されていたか。							
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。							
行政	事業目的を共有できた事から、同じ目的、目標に向かって役割分担をし、お互いに責任をもって事業実施していく中で、信頼関係が築け、パートナーシップも深まった。						
団体	市民協議会の運営がお互い初めての取り組みということもあり、協定書レベルでの事前の役割分担にあいまい部分があった。事前の役割分担に偏りがあった。						

市民協働事業評価アンケート

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	②	3	4
質問の主旨 事前に分担されたそれぞれの役割を、両者が責任を持って適切に遂行できたか。実際は一方だけがほとんどの部分を担っていたということがなかったか。					
5	事業実施中に意見交換や情報交換を十分に行うことができましたか。	1	②	3	4
質問の主旨 事業実施中に、事業の進捗状況や改善点等について意見交換や情報交換を十分に行うことができたか。					
6	事業実施中に発生した問題や修正すべき点に対し、連携して柔軟に対応できましたか。(C.を確認して記入してください。)	1	2	③	4
質問の主旨 事業実施中に、予定外の事態が発生したり事業計画を変更・修正しなければならなかった場合に、両者が連携して調整し、柔軟に対応することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	事業計画作りの段階から、事業目的を共有できたため、役割分担も的確にでき、実施段階でも必要に応じてミーティングを行い、常に共通認識を確保しながら事業を実施したので、役割分担はうまくできた。				
団体	途中で、参加市民が議論するための前提とする情報の内容が不十分であった局面があり、追加で新たな情報提供を国(国土交通省)に依頼する必要が生じたが、かなわなかった。情報提供依頼の際、市の力(市の行政機関としてのクレジット)を十分には発揮してもらえなかった。市の行政機関としてのクレジットをもっと活用できればクリアできたかもしれないと感じた。 担当課長による追加の情報提供については、大変良かったと思う。				
事業実施後についての質問		評価			
7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 協働事業を行うにあたり設定されていた目標に対する事業終了後の達成感について、両者が実感を共有できたか。					
8	協働事業として実施して、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 いくつかある事業形態の中から「行政と市民公益活動団体の協働」により事業を実施してみて、他の形態で実施するよりも効果が上がったと実感できたか。					
9	事業終了後に事業を振り返り、次回に活かすための話し合いの場を設け、十分に話し合うことができましたか。	①	2	3	4
質問の主旨 事業終了後に、お互いが今後の活動に活かすため事業の振り返りを行ったか。また、話し合いの場を設けてそれぞれの振り返りを共有し、検証・評価することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	主催団体である粕江青年会議所及び実行委員等とは、問題解決のために今後も協力関係を維持していくことを確認している。				
団体	市の行政機関としてのクレジットを活用して参加市民を募ることができた。 事業終了後には特に今後の活動についての具体的な話はできていない。				

市民協働事業評価アンケート

事業全体を振り返っての質問		評価			
10	今回の協働事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨					
今回行った協働事業が受益者である市民にとって効果があったか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政					
団体	市(行政)が抱える喫緊の課題に対して幅広い市民参加を促し、多くの市民にこの問題の所在を知らせることで、まちづくりに関心を寄せるきっかけをつくることができた。 様々な関係者からの情報提供をもとに討議を行い、市民目線に立ったより良い解決策を導き出すことができた。行政批判などを含め、市民の多様な意見を取り入れた市民提案書を作成して行政側の政策立案の参考にすることもできた。				

自由意見記入欄 (市民協働に関するご意見を、ご自由にお書きください)	
行政	
団体	市民協働とは、「市の実施機関と市民公益活動を行う団体が、行政活動等について共同して取り組むこと。」という定義がある。また、市民参加の場として想定される行政活動の例として「地方公共の秩序を維持し、住民等の安全、健康及び福祉を保持すること。」が挙げられている。地域の課題解決に向けて、行政単独では解決が困難な問題がある場合、行政と市民団体等がそれぞれを補完し、ともに協力して課題解決に向けた取り組みをすることが、市民協働が必要な例であると考えられる。 本来、市民の安全、安心、健康の維持は行政の重要な役割であり、それら住民サービスが市民の行政に対する信頼の基でもある。世の中に完璧な組織など存在し得ないし、そのようなことは期待すべきでもないと思うが、少なくとも期待される自らの役割に対し、真摯で十分な努力があつてはじめて評価され、周りが不足している部分を補うことも可能となる。しかし、自らの役割に対し後ろ向きとなり、どこかにその責任を転嫁するような姿勢が少しでも見られるとしたら、周りは喜んで役割の補完をするだろうか？ 現在の粕江市役所が少ない人数でより多くの役割を担っていることは、議会での市長の答弁にも表れている。市民協働事業を行うことを決定する機関は、外部の審議会であり、仮にその決定により担当部署の担当役割が過大となるなら、内部に調整機関が必要となろう。もちろん協働する側の市民団体にはわからないことではある。市民協働事業がその部署にとって、やっかいなお荷物であるならば、つまり余計な仕事を増やされたという意識が前面に表れ、積極的な協働の姿勢が見られないのであれば、市民団体にとっては、なぜそのような対応を受けてまで協働事業を行い、役所の補完をしなくてはならないのか？という疑問が湧いてくる。我々は一体誰のために、何のためにこのような苦勞をしているのだろうか？という気にさえさせられてしまうのである。そのような姿勢では、協働事業提案制度そのものが絵に描いたもちとなり、協働しようという団体がなくなってしまうかねない。 粕江市民にとって、本当に必要とされている事業であれば、仕事の優先順位を高く設定すべきであろう。そうでなければ、初めから内部で調整し、協働を行う市民団体に対し優先事項を説明するべきである。市民が貴重な時間と労力を費やして協働事業を提案する以上、おざなりな対応をするくらいならやらない、という判断も必要であろう。どれだけ事業の重要性を共有し、自らの問題として関わるかが重要である。問題が大きくなってからあわてて対策を検討しているようでは、その行政経費と手間はより重いものとならざるをえない。 後手に回らないよう、やはり優先順位づけと事業の目的への理解が重要であると思われる。 市役所の行政活動に対し、自ら手を挙げて協働事業を提案するような市民団体は、市役所の熱意さえあればその役割の補完を行ってくれるところが多いはずである。今後の市民協働の姿勢に期待したい。

市民協働事業評価アンケート

意見交換記入欄

(問題点・課題等を箇条書きで、ご自由にお書きください。)

市民討議会の手法は、本事業に対して市民の意見を集約するものと位置づけられ、主催者側である粕江青年会議所自身の考え方や意見、そして参加市民の役割を、もう少し明確にしたほうが良かったのではないかと思います。

- ・事前の協定書に記載されている業務につき、ほとんどの部分は行っていただけたが、当日の運営にも、もう少し積極的に役割分担を設定し、関わっていただくよう依頼すべきであった。
- ・協働事業を行う市民団体は市役所に出入りする業者とは異なる。粕江市にとって必要と認められた事業について、現場の担当者までがその意義を理解すべきである。初めから担当部署を押し付けあっているようでは、行政活動の無策からくる結果の重大性について本当に理解がなされているか疑問を感じる。
- ・実施報告書へ担当部長のあいさつ文を協働した主催者として依頼したところ、拒否された。粕江青年会議所が単独で勝手に行った事業であるかのような対応は遺憾である。
- ・市長への報告後、半年たつが、実施報告書が市役所HPに掲載されていないようである。市民への情報公開はこの事業の義務でもあると思うのでお願いしたい。

市民協働事業評価アンケート

市の 担当部署	健康支援課	団体名	狛江地域ねこの会												
事業名	野良猫トラブルOをめざして～野良猫から地域猫へ～〔協定事業〕														
実施期間	平成	21	年	4	月	1	日	～	平成	22	年	3	月	31	日
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔行政〕	市民と猫との共生の実現、ガイドラインの作成														
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔団体〕	野良猫の不妊去勢、エサやりルール作り、フンの掃除をし、人との共生を図る。飼い主のいない猫の飼育ガイドラインを作成する。														
B.事業の意義・ メリット〔行政〕	野良猫を減らすと共に近隣の猫トラブルを減少する。														
B.事業の意義・ メリット〔団体〕	ガイドライン作成の中で、市民に地域ねこ活動の必要性を伝えることができ、問題解決の方向を示すことができる。														
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 〔行政〕	行政側が主体的に動くことができなかった。														
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 〔団体〕	猫の増えている現場を調査すると、世話をしている人が、世間との係わりを持たず生活しているため、活動が進まず手術費用も全額助成金を充てることとなった。														
評価基準	1:まったくできなかった 2:良くできなかった 3:良くできた 4:大変良くできた														
↓															
事業実施前についての質問										評価					
1	協働事業についての明確・具体的な目標を、両者で共有されていたと思いますか。（A.を確認して記入してください。）										1	②	3	4	
質問の主旨 協働事業を行うにあたり、事前に市民のニーズや社会情勢を踏まえた明確かつ具体的な目標が設定され、その目標が両者の間で認識の相違なく共有されていたか。															
2	単独実施ではなく協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通認識していたと思いますか。（B.を確認して記入してください。）										1	②	3	4	
質問の主旨 行政あるいは市民公益活動団体が単独で実施するのではなく、両者が協働で実施する。その意義（なぜ協働で行うのか）や協働で行うことで「より高い事業効果につながる」等のメリットが、お互いに認識の相違なく共有されたか。															
3	事前に役割分担は明確かつ適正に定められていましたか。										1	②	3	4	
質問の主旨 事前に「行政が行う部分」と「市民公益活動団体が行う部分」といった役割、責任や事業費の分担が、十分な話し合いのもとに明確かつ適正に（契約書や協定書等で）定められ、共有されていたか。															
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。															
行政															
団体	「地域ねこ活動」の意味・内容が行政に理解されぬまま、協働事業として出発してしまったという感じがしている。														

市民協働事業評価アンケート

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	②	3	4
質問の主旨 事前に分担されたそれぞれの役割を、両者が責任を持って適切に遂行できたか。実際は一方だけがほとんどの部分を担っていたということがなかったか。					
5	事業実施中に意見交換や情報交換を十分に行うことができましたか。	1	②	3	4
質問の主旨 事業実施中に、事業の進捗状況や改善点等について意見交換や情報交換を十分に行うことができたか。					
6	事業実施中に発生した問題や修正すべき点に対し、連携して柔軟に対応できましたか。(C.を確認して記入してください。)	1	②	3	4
質問の主旨 事業実施中に、予定外の事態が発生したり事業計画を変更・修正しなければならなくなった場合に、両者が連携して調整し、柔軟に対応することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政					
団体	行政側からの具体的な意見が欲しいと思った。 事なかれ主義的な感じしか、受け取れなかった。				
事業実施後についての質問		評価			
7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	②	3	4
質問の主旨 協働事業を行うにあたり設定されていた目標に対する事業終了後の達成感について、両者が実感を共有できたか。					
8	協働事業として実施して、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	②	3	4
質問の主旨 いくつかある事業形態の中から「行政と市民公益活動団体の協働」により事業を実施してみて、他の形態で実施するよりも効果が上がったと実感できたか。					
9	事業終了後に事業を振り返り、次回に活かすための話し合いの場を設け、十分に話し合うことができましたか。	①	2	3	4
質問の主旨 事業終了後に、お互いが今後の活動に活かすため事業の振り返りを行ったか。また、話し合いの場を設けてそれぞれの振り返りを共有し、検証・評価することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政					
団体	協働することにより、お互いの理解を深め、同じ目的を持って歩むことができなければ、協働事業の意味がない。				

市民協働事業評価アンケート

事業全体を振り返っての質問		評価			
10	今回の協働事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	②	3	4
質問の主旨					
今回行った協働事業が受益者である市民にとって効果があったか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政					
団体	協働事業に対する市民の認識が足りないと思う。 広報でもっと大きく取り上げアピールが必要。				
自由意見記入欄 (市民協働に関するご意見を、ご自由にお書きください)					
行政	野良猫の問題も地域・行政・ボランティアが一体となって取り組むことが重要である。				
団体	この活動が本当に必要なものであると、両者の意見が一致しなければ真の協働は実現できないと思う。				

市民協働事業評価アンケート

意見交換記入欄

(問題点・課題等を箇条書きで、ご自由にお書きください。)

- ・不妊去勢手術が年々減少していることから分かるとおり、猫の会の取り組みの成果が確実に結果として現れている。
- ・行政としては、町会・自治会への働きかけを重点的に行っていく。

- ①4月より担当者が変わり今迄の流れが引き続きされていれば、もう少しスムーズに行事等も進めていく事ができるのではないか。
- ②両者の認識の統一を図る必要がある。ガイドライン(地域猫パンフレット)をもう一度勉強する事も必要。
- ③市民への啓発の方法(町会自治会も含めて)を考えて行く。広報誌での掲載等に力を入れて欲しい。
- ④行政で本格的に取り組める部署を設けて欲しい。協働事業ではなく行政で取り組める部署を確立し、地域猫活動を推進して欲しい。

市民協働事業評価アンケート

市の 担当部署	子育て支援課	団体名	サポート狛江
事業名	狛江市内の支援の必要な子どもにかかわる支援ネットワークマップの作成〔協定事業〕		
実施期間	平成 22 年 4 月 1 日	～	平成 23 年 3 月 31 日
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔行政〕	子育ての途中で心配や困りごとがあったとき、誰に、どこに頼ればよいかが分かるマップを作る。また、支援が必要な子どもにかかわる機関や団体をマップとしてまとめ、関係機関職員等が支援を行う際の案内書(道しるべ)としても活用する。		
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔団体〕	子育ての途中で心配や困りごとがあったとき、誰に、どこに頼ればよいかが一目で分かる支援ネットワークマップを作る。このマップを通して、市の窓口職員や相談当事者が支援機関の情報を知り、相談者を必要な支援につなげやすくする。		
B.事業の意義・ メリット〔行政〕	支援が必要な子どもにかかわる機関や団体を支援ネットワークマップとしてまとめ、一元化を図ることで、子育ての途中で心配や困りごとがあったとき、誰に、どこに頼ればよいかが分かりやすくなった。		
B.事業の意義・ メリット〔団体〕	子育てに関わる支援機関が支援ネットワークマップにまとめられ、広く活用されるようになった。デザインが秀逸であったことも、普及の要因。子育ての途中で心配や困りごとがあったとき、誰に、どこに頼ればよいかが分かりやすくなった。		
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 〔行政〕	支援が必要な子どもにかかわる機関や団体をマップの中に位置づけていく中で、掲載区分・対象範囲(行政・民間)、グループごとの色分け・配列など、位置付けに迷う部分が出てきた。また、マップの作成中や配布後に、事業内容の変更等により掲載内容を修正する箇所が出てくる可能性があり、その場合はマップの増刷に合わせて一部を修正していくことにした。		
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 〔団体〕	当初考えていたよりも、掲載機関の数が多くなったため、スペース配分に苦労した。公的機関と民間機関の表記や扱いについての調整も想定外の作業だった。機関ごとの性格や区分、色分け作業にも時間がかかった。完成後、抜けていた機関があったことに気づき、修正シールを作成。増刷時に訂正することとなった。		

評価基準	1:まったくできなかった 2:良くできなかった 3:良くできた 4:大変良くできた
------	---

事業実施前についての質問		評価			
1	協働事業についての明確・具体的な目標を、両者で共有されていたと思いますか。(A.を確認して記入してください。)	1	2	3	④
質問の主旨					
協働事業を行うにあたり、事前に市民のニーズや社会情勢を踏まえた明確かつ具体的な目標が設定され、その目標が両者の間で認識の相違なく共有されていたか。					
2	単独実施ではなく協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通認識していたと思いますか。(B.を確認して記入してください。)	1	2	3	④
質問の主旨					
行政あるいは市民公益活動団体が単独で実施するのではなく、両者が協働で実施する。その意義(なぜ協働で行うのか)や協働で行うことで「より高い事業効果につながる」等のメリットが、お互いに認識の相違なく共有されたか。					
3	事前に役割分担は明確かつ適正に定められていましたか。	1	2	③	4
質問の主旨					
事前に「行政が行う部分」と「市民公益活動団体が行う部分」といった役割、責任や事業費の分担が、十分な話し合いのもとに明確かつ適正に(契約書や協定書等で)定められ、共有されていたか。					

その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	マップの作成は子育て支援課とサポート狛江の事業として実施したが、マップは子育てと障害にまたがる分野であるため、事業の実施前に障害の担当課である福祉サービス支援室と事前協議を行ない、両課で目的や課題などを話し合い、その内容をマップに反映させた。				
団体	団体としての意図は明確で、担当課もその意図と必要性の認識を共有できていたので、スタートはスムーズだった。従来から行われてきていた情報交換のための「福祉・教育課長会議」での市内の子どもたちについての現状共有も役に立った。				

市民協働事業評価アンケート

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 事前に分担されたそれぞれの役割を、両者が責任を持って適切に遂行できたか。実際は一方だけがほとんどの部分を担っていたということがなかったか。					
5	事業実施中に意見交換や情報交換を十分に行うことができましたか。	1	2	3	④
質問の主旨 事業実施中に、事業の進捗状況や改善点等について意見交換や情報交換を十分に行うことができたか。					
6	事業実施中に発生した問題や修正すべき点に対し、連携して柔軟に対応できましたか。(C.を確認して記入してください。)	1	2	3	④
質問の主旨 事業実施中に、予定外の事態が発生したり事業計画を変更・修正しなければならなかった場合に、両者が連携して調整し、柔軟に対応することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	進捗状況や内容の確認のため、月1回の会議に参加し、具体的な内容や方向性を互いに確認するとともに、マップの掲載範囲(団体の区分)区分による色分けなど、検討が必要なことについてはその都度協議しながら対応を図った。				
団体	当初決めた役割分担が守られた。担当課が、団体側の会議に参加して下さったので、進捗状況や問題点を的確に把握してもらえ、別途に団体+市の打ち合わせ会議を持つよりも能率的だった。改善点もその場で決めることができて助かった。マップはデザインが生命線だった。団体側のデザイナーをどうしても使いたいとの意図を担当課が汲んでくださり、庁内調整に動いていただけたことが、マップ成功の第一の要因と考えている。				
事業実施後についての質問		評価			
7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 協働事業を行うにあたり設定されていた目標に対する事業終了後の達成感について、両者が実感を共有できたか。					
8	協働事業として実施して、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 いくつかある事業形態の中から「行政と市民公益活動団体の協働」により事業を実施してみて、他の形態で実施するよりも効果が上がったと実感できたか。					
9	事業終了後に事業を振り返り、次回に活かすための話し合いの場を設け、十分に話し合うことができましたか。	1	2	③	4
質問の主旨 事業終了後に、お互いが今後の活動に活かすため事業の振り返りを行ったか。また、話し合いの場を設けてそれぞれの振り返りを共有し、検証・評価することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	名ばかりの協働事業にならないように心がけた。マップの作成により個々の機関・団体の支援のつながりが分かりやすく見えるようになったが、今後はマップに掲載された機関・団体が連携を深めていくことで、実際の支援でも力を発揮する「支援ネットワーク」としていくことが必要となる。				
団体	担当課には負担を増やしてしまったが、「協働」の意味の大きい事業だったと思う。マップ完成直後の4月に人事異動があったので、「次回に活かすための話し合い」「次への展開」を十分話し合う機会がなくなってしまったことが残念。ただし、引き継ぎは行われており、新しい担当者も趣旨を十分理解してくださっていることは、幸運だった。				

市民協働事業評価アンケート

事業全体を振り返っての質問		評価			
10	今回の協働事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 今回行った協働事業が受益者である市民にとって効果があったか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	市民一般よりも、まず関係機関・団体に携わる人に、支援が必要な子どもにかかわる支援についての知識を深め、また、支援の際の案内書として活用してもらうことを目的として配布した。今後は、子育てを行う全ての人に配布するため、現在9,000部を増刷中であり、順次配布していく予定である。				
団体	今回は広く市民に配布するのではなく、まずは支援者に支援機関情報を行き渡らせることを目的とした。しかし、園や学校、相談機関を中心に、実際に支援にあたる人たちが広く活用してくれている実態があり、間接的にはあるが、このことを必要とする市民には、大いに役に立っていると考えられる。特別支援学級や早期療育に通う児童・生徒の保護者や、市内の親の会などに配布したため、保護者が「これは役に立つ。渡してあげたい人がいる」と、自ら配布役を買って出ているという例もあり、「作ること」で終わらない「生きた支援」につながりつつある。				
自由意見記入欄 (市民協働に関するご意見を、ご自由にお書きください)					
行政	協働事業といっても、どうしても行政は資金提供に偏り、それ以外のことは団体に頼りがちになってしまいがちであり、協働事業における行政側の意識をしっかりと持つ必要性を感じた。また、今回の協働事業では、内容が他の部署に関連するものが多かったが、福祉・教育関係課長会議の協力等により、内容の正確性などを強めることができた。特に福祉サービス支援室とは、事前協議等により情報交換を行い、それをもとにサポート泊江との協議を行ったことで、目標や注意事項を明確にすることができた。マップの完成時には、発表会を兼ねて関係機関・団体・市民との意見交換会を行ない、活用についてPRを行った。				
団体	■前例のない事業形態であったため、担当課には苦勞していただいた。協働事業は、ただでさえ多忙な課の業務に、さらに余分な負担をかけることを知った上で提案したのだが、担当課がイヤな顔ひとつせず、私どもの意図を実現するために誠実に動いてくださったことで、市役所への信頼が増した。 ■多くの課にまたがる情報を集めることは、庁内組織だけでは難しく、その部分は市民側の底力が発揮できたと考えている。集めた意見の調整・集約を担当課が引き受けてくださったことで、何回も各課を回る労力を使わずにすんで助かった。 ■この企画はデザインが生命線だった。「内容の分かっているデザイナーに依頼したい」という、行政の発想にはなじまない私どもの希望を実現させる努力をしていただいたことに感謝している。 ■庁内への周知、漏れのない配布については、市民協働ならではの結果が出たと思う。 ■「作った」ことに満足せず、有効な支援グッズの一つとして、生きて、広がってゆくよう、今後も、努力したいと考えている。「税金を使って作ってもらったものだ」という意識が、後押しになっている。 ■担当課長が4月に交代したが、新任の担当課長にも意義や内容を理解していただけて、今後も協働の成果をあげていきたい。 ■それにしても、市民協働事業提案は、ハードルが高い。もっと、「気軽な、ちょっとした提案」を市民からたーーーさん上げてもらい、その中で市にとって必要なものについて、事業化を依頼して協働する、といった方向も検討できるといいと思う。 ■市の働きを応援したいと考えている市民は少なくないので、それを、じょうずに取り込んでゆくシステム(たとえば、人材バンク、データベース等)を市としても、もっと工夫してもらいたい。				

市民協働事業評価アンケート

意見交換記入欄

(問題点・課題等を箇条書きで、ご自由にお書きください。)

今後の増刷をどう展開していくか。関係機関等の増、修正等があったとき、マップを持っているし市民にどう周知するか。

子どもを持つ市内の全ての家庭に配布することが望ましいが、その手段がなかなかない。

市報等でこのマップの紹介はできないか。(要望としてあった)

このマップにより、特に児童福祉、障害福祉、教育等の部門については、市民に対して大きな責任を負った気がする。特に窓口対応、電話における対応等、今後、市民が問い合わせをした場合、丁寧な対応ができないとせっかくの高い評価が台無しになってしまう。子育て、障害等の相談窓口には、その業務を熟知した人間を配置すべきである。

今回のマップは関係機関をビジュアル的に紹介したものであるが、今後、支援にあたる関係機関がネットワークとして機能するためには、マップを発行しただけではダメで、これをきっかけに関係機関の更なる研鑽等が必要である。

このマップに関係する部署だけでなく、市職員全体(新任研修等で)でこのマップの存在を周知して欲しいとの要望もあった。

また、どうしてもプレゼンが必要なことは理解できるが、手続き、作業とも大変でこの事業に対するハードルは高いと感じられたとの話もあった。

担当職員が夜遅くなる会議等の場合、大変です。

■市民協働事業は、多忙な課の本来業務にさらに＋アルファで加わる負担。今回は、担当者の努力でスムーズに運んだが、「丸投げ」状態になってしまうことが多いのも、ムリもない、と感じた。人の配置などの配慮が必要なのではないかな。

■デザインや印刷について、今回は、これも担当課の努力でクリアできたが、「一円でも安いところに落札」ではなく、「趣旨をもっとも生かしてくれて、市民に最大の効果を発揮するところに依頼する」という考え方も今後は取り入れてもらいたい。

■従来から断続的に行われている「福祉・教育関係課長会議」の存在が、担当課の負担感を少し和らげたのではないかと感じている。役所の組織が縦割りであることはやむをえないが、今回のように、庁内横断的に、市全体を見渡すことが必要な事業は今後さらに増えてくると思う。庁内でも、課題に応じた横断的情報交換会などでの意思疎通が日常的に計られるようになっていけると、市民協働も進みやすくなるのではないかと感じた。

■市民協働は、市と市民との信頼関係がなければできない事業であるし、逆に、協働事業を行う中で両者の信頼関係が深まるという面もある。この点をさらに市として(政策室として)アピールしてほしい。

■生きた支援ツールになるために、それを使う職員の研修が欠かせない。庁内窓口職員の研修、管理職の研修などの機会を作してほしい。「育ちの森」の存在をすべての窓口職員が知ってほしい。

研修講師は、サポート泊江のメンバーが引き受けます。

市民協働事業評価アンケート

市の 担当部署	公民館	団体名	日本語教室運営委員会
事業名	日本語教室〔委託事業〕		
実施期間	平成 21 年 4 月 4 日	～	平成 22 年 3 月 31 日
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔行政〕	外国から日本に来た方々が日本語及び生活文化を学ぶ場として開設。また、市民と外国人による市民レベルの交流を図る。		
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔団体〕	国際理解及び国際交流の一環として、日本語の学習を必要とする関係者に対し日本語の学習の機会や、日本文化、生活の規範を継続的に学習できる機会を提供する。		
B.事業の意義・ メリット〔行政〕	受講者は、中国の他16カ国から外国人の方を受け入れ、年間37回の授業を開催し、延1,000名以上が受講している。日本語を学ぶことを通じて、国を越え受講者同士がふれあい、学びあい、連帯の輪が広がり、地域との関わりが徐々にではあるが生まれている。		
B.事業の意義・ メリット〔団体〕	日本語教室の学習を通して、日本社会への理解度を向上させ市民としての生活適応力を高めると共に、相互理解を深める。		
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 〔行政〕	日本語を教える先生方は、ボランティアスタッフとして、外国人に日本語を教えており、一方で、外国人の方々は無料で日本語を教えてもらっているが、先生と生徒のクラス体制を調整するのが難しい。また、生徒の突然の欠席、複数人担当する場合に生徒同士のレベル差があるなど、教える側と学ぶ側のニーズをいかにマッチングさせ、意欲的に活動できるようにするのが、大きな課題である。		
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 〔団体〕	語学学習の成果は継続が最も効果の上がる方法であるが、途中挫折される学習者も少なくない。一方、運営の基本理念として学習希望者を随時受け入れていることから生徒数の増減があり、クラス編成が難しくなる。学習者の要望に答えきれない事も間々あるがボランティアの協力を得て随時調整をしながら運営を進めている。		

評価基準	1:まったくできなかった 2:良くできなかった 3:良くできた 4:大変良くできた
------	---

事業実施前についての質問		評価			
1	協働事業についての明確・具体的な目標を、両者で共有されていたと思いますか。(A.を確認して記入してください。)	1	2	3	④
質問の主旨 協働事業を行うにあたり、事前に市民のニーズや社会情勢を踏まえた明確かつ具体的な目標が設定され、その目標が両者の間で認識の相違なく共有されていたか。					
2	単独実施ではなく協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通認識していたと思いますか。(B.を確認して記入してください。)	1	2	3	④
質問の主旨 行政あるいは市民公益活動団体が単独で実施するのではなく、両者が協働で実施する。その意義(なぜ協働で行うのか)や協働で行うことで「より高い事業効果につながる」等のメリットが、お互いに認識の相違なく共有されたか。					
3	事前に役割分担は明確かつ適正に定められていましたか。	1	2	3	④
質問の主旨 事前に「行政が行う部分」と「市民公益活動団体が行う部分」といった役割、責任や事業費の分担が、十分な話し合いのもとに明確かつ適正に(契約書や協定書等で)定められ、共有されていたか。					

その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政					
団体	前年度の事業報告時に、反省と今年度への課題について意見交換を行っており、それらを踏まえて次年度への計画を立案して事業契約書を作成しているので共有化は充分に行われているものと認識している。				

市民協働事業評価アンケート

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 事前に分担されたそれぞれの役割を、両者が責任を持って適切に遂行できたか。実際は一方だけがほとんどの部分を担っていたということがなかったか。					
5	事業実施中に意見交換や情報交換を十分に行うことができましたか。	1	2	3	④
質問の主旨 事業実施中に、事業の進捗状況や改善点等について意見交換や情報交換を十分に行うことができたか。					
6	事業実施中に発生した問題や修正すべき点に対し、連携して柔軟に対応できましたか。(C.を確認して記入してください。)	1	2	3	④
質問の主旨 事業実施中に、予定外の事態が発生したり事業計画を変更・修正しなければならなくなった場合に、両者が連携して調整し、柔軟に対応することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政					
団体	月例で開催される日本語教室運営委員会に、西河原公民館事業担当係(日本語教室担当)が出席され、運営委員会での議論・意見交換に参加されているので協力・連携は充分行われているものと認識している。				

事業実施後についての質問		評価			
7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 協働事業を行うにあたり設定されていた目標に対する事業終了後の達成感について、両者が実感を共有できたか。					
8	協働事業として実施して、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 いくつかある事業形態の中から「行政と市民公益活動団体の協働」により事業を実施してみて、他の形態で実施するよりも効果が上がったと実感できたか。					
9	事業終了後に事業を振り返り、次回に活かすための話し合いの場を設け、十分に話し合うことができましたか。	1	2	3	④
質問の主旨 事業終了後に、お互いが今後の活動に活かすため事業の振り返りを行ったか。また、話し合いの場を設けてそれぞれの振り返りを共有し、検証・評価することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政					
団体	日本語の学習者が楽しく継続できるよう各種の交流行事を開催しているが、これらの行事にも毎回多大なご支援・協力をいただいております。協働事業としての相互理解を深め事業推進に反映できたものと考えます。				

市民協働事業評価アンケート

事業全体を振り返っての質問		評価			
10	今回の協働事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨					
今回行った協働事業が受益者である市民にとって効果があったか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政					
団体	国際化の進む中で、中国からの帰国者が中心であった生徒さんの国籍が多彩になり、これと同時に、学習者としての要望する学習内容も多種に及ぶようになってきている。これらに応えるべく学習者からの要望に耳を傾け、ボランティアの協力を最大限生かせるような運営を目指しており、アンケート結果や日常的な反応からも、それなりの成果を挙げていると自負している。				
自由意見記入欄 (市民協働に関するご意見を、ご自由にお書きください)					
行政	話し合いの場をもってはいるが、運営委員及び先生、生徒、行政とのそれぞれのニーズ・役割等をみんながで きるだけ理解し、相互に把握できれば、さらに良くなると思う。				
団体	ボランティアによる週1回開催の日本語教室では、残念ながら日本語学習としては不十分であり、基本的には近隣他 市で実施されているような週数回開催・個別指導の本格的・実用的な語学指導をおこなうことが望ましいと考えま す。但し、そのためには予算確保を始め、有資格指導者・専用学習室・ボランティア等の確保が必要となるので実現 に向け幾つかの検討課題があります。市民の要望にも拠りますが、いずれこれらの課題を検討することが必要 と考えます。				

市民協働事業評価アンケート

意見交換記入欄

(問題点・課題等を箇条書きで、ご自由にお書きください。)

先生からの要望、生徒からの要望、運営側からの要望などをアンケート等を実施することで、お互いのニーズを把握し、現状をより良い方向に展開できれば、さらに発展できると思う。

中国からの帰国者への支援活動を母体に行っていることから、当行では基本理念として授業料無料、教材についても教科書の当日分コピーを無償で配布している。このように学習者の経済的負担軽減を図っているが、一方では、学習者に一部負担をして頂いたほうが勉強意欲を駆り立てて出席率を向上させるのではないかと指摘も頂いている。学習者にとって最も好ましい方法はどうあるべきか、多くの意見に耳を傾けながら検討を進めてゆきたいと考えている。

市民協働事業評価アンケート

市の 担当部署	児童青少年課	団体名	狛江市青少年育成事業委員会
事業名	青少年育成事業(親子ふれあいおしゃべりコンサート)[委託事業]		
実施期間	平成 21 年 4 月 1 日	～	平成 22 年 3 月 31 日
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔行政〕	親子が気軽に参加できる体験活動を通じて、親子の絆を深め、青少年の健全な育成を図る。		
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔団体〕	市内小中学生とその保護者を対象に、クラシック音楽の素晴らしさ、楽しさ、おもしろさを伝えるとともに、家庭においてもこのコンサートのことが話題にのぼり、親子の会話が増えることで、親子の絆が深められるコンサートの開催。		
B.事業の意義・ メリット〔行政〕	日頃、気軽に行けないクラシックコンサートを親子向けの内容にして音楽を楽しむ機会を提供できた。 委員会と協働をすることによって学校への連絡調整がうまくいった。		
B.事業の意義・ メリット〔団体〕	「世界一受けたい授業」等、テレビでお馴染みの青島広志氏を招いて行うような大きな事業の場合、一団体だけの開催では、出演交渉・予算・場所の確保・集客等に限界がある。行政との協働だからこそ実現できる事業である。		
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 〔行政〕	・市内小中学校向けに先行予約特別割引チケットを販売したことによりでチケットが売り切れてしまったため、一般販売を取りやめた。 ・チケットの申し込みが学校だったため、他の申し込みの回収袋に混在してしまったケースがあった。 ・申し込みをした結果についてチラシに掲載していなかったため、市役所へ多数の問い合わせがあったため急遽、ハガキで結果の案内を送付した。		
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 〔団体〕	出演者への対応・接待 チケット完売にもかかわらず、当日来場しなかったために空いた客席を埋める手配		

評価基準	1:まったくできなかった 2:良くできなかった 3:良くできた 4:大変良くできた
------	---

事業実施前についての質問		評価			
1	協働事業についての明確・具体的な目標を、両者で共有されていたと思いますか。(A.を確認して記入してください。)	1	2	3	④
質問の主旨 協働事業を行うにあたり、事前に市民のニーズや社会情勢を踏まえた明確かつ具体的な目標が設定され、その目標が両者の間で認識の相違なく共有されていたか。					
2	単独実施ではなく協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通認識していたと思いますか。(B.を確認して記入してください。)	1	2	3	④
質問の主旨 行政あるいは市民公益活動団体が単独で実施するのではなく、両者が協働で実施する。その意義(なぜ協働で行うのか)や協働で行うことで「より高い事業効果につながる」等のメリットが、お互いに認識の相違なく共有されたか。					
3	事前に役割分担は明確かつ適正に定められていましたか。	1	2	③	4
質問の主旨 事前に「行政が行う部分」と「市民公益活動団体が行う部分」といった役割、責任や事業費の分担が、十分な話し合いのもとに明確かつ適正に(契約書や協定書等で)定められ、共有されていたか。					

その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	事業の性質上、役割分担を明確に分担することは難しいが、お互いの特性を活かした事業の企画運営が出来たと思う。				
団体	3の評価について、前例のない事業を行うにあたって、どこまでが行政の部分で、どこまでが市民公益活動団体の部分と割り定めに分けることは難しく、その都度、互いに連携を取り合うことで、共有することができたと思う。 プロの音楽家を招いてのコンサートの企画・運営が初めてだったため、交渉の際、不手際があった。また、諸手続等で不慣れなことも多々あった。 市内小中学校向けに先行予約特別割引チケットを用意したことにより、予想以上にチケットの申し込みが多かったため、一般販売はしなかった。				

市民協働事業評価アンケート

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 事前に分担されたそれぞれの役割を、両者が責任を持って適切に遂行できたか。実際は一方だけがほとんどの部分を担っていたということがなかったか。					
5	事業実施中に意見交換や情報交換を十分に行うことができましたか。	1	2	③	4
質問の主旨 事業実施中に、事業の進捗状況や改善点等について意見交換や情報交換を十分に行うことができたか。					
6	事業実施中に発生した問題や修正すべき点に対し、連携して柔軟に対応できましたか。(C.を確認して記入してください。)	1	2	3	④
質問の主旨 事業実施中に、予定外の事態が発生したり事業計画を変更・修正しなければならなかった場合に、両者が連携して調整し、柔軟に対応することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	お互いにプロの音楽家を招いたコンサートは、初めてで諸手続きについて不慣れな面があった。トラブルに関しては、速やかに報告し、対応できた。				
団体	5の評価について、事業実施中に意見交換や情報交換を十分に行えたかどうかを判断する余裕はなかったが、連携は取れていたと思われるので「3:よくできた」に○をした。				

事業実施後についての質問		評価			
7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 協働事業を行うにあたり設定されていた目標に対する事業終了後の達成感について、両者が実感を共有できたか。					
8	協働事業として実施して、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 いくつかある事業形態の中から「行政と市民公益活動団体の協働」により事業を実施してみて、他の形態で実施するよりも効果が上がったと実感できたか。					
9	事業終了後に事業を振り返り、次回に活かすための話し合いの場を設け、十分に話し合うことができましたか。	1	2	3	④
質問の主旨 事業終了後に、お互いが今後の活動に活かすため事業の振り返りを行ったか。また、話し合いの場を設けてそれぞれの振り返りを共有し、検証・評価することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政					
団体	7の評価について、達成感というより、無事に終了した安堵感を互いに共有した。				

市民協働事業評価アンケート

事業全体を振り返っての質問		評価			
10	今回の協働事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨					
今回行った協働事業が受益者である市民にとって効果があったか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	協働事業で事業を展開することによって的確に市民のニーズを把握し、市民の声を活かした事業展開ができた。プロの演奏家を招いて音楽を聴く機会が欲しい声や芸術や科学などに親しめる企画をして欲しい声が多かった。				
団体	参加対象が小学1年生から大人までと幅が広がったが、青島氏の音楽とおしゃべりで年齢に関係なく楽しんでいる様子がうかがえた。 また、当日お願いしたアンケートの集計結果では、回収278件中「とても楽しかった」が215件・「楽しかった」が49件となっている。今後もこのようなコンサートを希望する声も多かった。				

自由意見記入欄 (市民協働に関するご意見を、ご自由にお書きください)	
行政	
団体	

市民協働事業評価アンケート

意見交換記入欄

(問題点・課題等を箇条書きで、ご自由にお書きください。)

市主催の事業のため、学校や外部との連携がとりやすかった。

市民協働事業評価アンケート

市の 担当部署	社会教育課	団体名	狛江市少年少女サッカー連盟
事業名	第32回狛江市少年少女サッカー大会[委託事業]		
実施期間	平成 22 年 1 月 24 日	～	平成 22 年 3 月 14 日
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔行政〕	青少年育成に寄与すると共にサッカー愛好者相互の親睦を深め、技術向上を目指す		
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔団体〕	青少年育成に寄与すると共にサッカー愛好者相互の親睦を深め、技術向上を目指す		
B.事業の意義・ メリット〔行政〕	市内少年少女サッカー関係者の協力の下に、少年少女がスポーツを通して他校児童との交流や地域での人間関係を育む機会をつくること。		
B.事業の意義・ メリット〔団体〕	市内少年少女サッカー関係者の協力の下に、少年少女がスポーツを通して他校児童との交流や地域での人間関係を育む機会をつくること、また、団体単独で行う大会よりも団体が負担する大会費用が軽減される。		
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 〔行政〕	特になし		
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 〔団体〕	特になし		

評価基準	1:まったくできなかった 2:良くできなかった 3:良くできた 4:大変良くできた
------	---

事業実施前についての質問		評価			
1	協働事業についての明確・具体的な目標を、両者で共有されていたと思いますか。(A.を確認して記入してください。)	1	2	③	4
質問の主旨 協働事業を行うにあたり、事前に市民のニーズや社会情勢を踏まえた明確かつ具体的な目標が設定され、その目標が両者の間で認識の相違なく共有されていたか。					
2	単独実施ではなく協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通認識していたと思いますか。(B.を確認して記入してください。)	1	2	③	4
質問の主旨 行政あるいは市民公益活動団体が単独で実施するのではなく、両者が協働で実施する。その意義(なぜ協働で行うのか)や協働で行うことで「より高い事業効果につながる」等のメリットが、お互いに認識の相違なく共有されたか。					
3	事前に役割分担は明確かつ適正に定められていましたか。	1	2	3	④
質問の主旨 事前に「行政が行う部分」と「市民公益活動団体が行う部分」といった役割、責任や事業費の分担が、十分な話し合いのもとに明確かつ適正に(契約書や協定書等で)定められ、共有されていたか。					

その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政					
団体					

市民協働事業評価アンケート

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 事前に分担されたそれぞれの役割を、両者が責任を持って適切に遂行できたか。実際は一方だけがほとんどの部分を担っていたということがなかったか。					
5	事業実施中に意見交換や情報交換を十分に行うことができましたか。	1	②	3	4
質問の主旨 事業実施中に、事業の進捗状況や改善点等について意見交換や情報交換を十分に行うことができたか。					
6	事業実施中に発生した問題や修正すべき点に対し、連携して柔軟に対応できましたか。(C.を確認して記入してください。)	1	2	3	4
質問の主旨 事業実施中に、予定外の事態が発生したり事業計画を変更・修正しなければならなくなった場合に、両者が連携して調整し、柔軟に対応することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	6 に関して 問題点及び修正すべき点が特になかったため記入なし				
団体					

事業実施後についての質問		評価			
7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 協働事業を行うにあたり設定されていた目標に対する事業終了後の達成感について、両者が実感を共有できたか。					
8	協働事業として実施して、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 いくつかある事業形態の中から「行政と市民公益活動団体の協働」により事業を実施してみて、他の形態で実施するよりも効果が上がったと実感できたか。					
9	事業終了後に事業を振り返り、次回に活かすための話し合いの場を設け、十分に話し合うことができましたか。	1	2	③	4
質問の主旨 事業終了後に、お互いが今後の活動に活かすため事業の振り返りを行ったか。また、話し合いの場を設けてそれぞれの振り返りを共有し、検証・評価することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政					
団体					

市民協働事業評価アンケート

事業全体を振り返っての質問		評価			
10	今回の協働事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨					
今回行った協働事業が受益者である市民にとって効果があったか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政					
団体					
自由意見記入欄 (市民協働に関するご意見を、ご自由にお書きください)					
行政					
団体	委託金があるため、独自で行う大会には出さない「メダル」を優秀者に渡すことができ、子どもたちも喜んでいた。				

市民協働事業評価アンケート

意見交換記入欄

(問題点・課題等を箇条書きで、ご自由にお書きください。)

市民協働事業と委託事業は運営方法等違いがあるため、この市民協働の調査には不適合と考えます。

市民協働事業評価アンケート

市の 担当部署	政策室	団体名	狛江市国際交流協会
事業名	国際化事業〔補助金事業〕		
実施期間	平成 21 年 5 月 24 日	～	平成 22 年 5 月 23 日
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔行政〕	市民による国際交流を推進して、国際相互理解と親善平和及び市民生活、福祉の向上を図る。		
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔団体〕	各種事業を行うことにより、①狛江市民の国際化意識を高め、②市民と外国人の交流を深める。		
B.事業の意義・ メリット〔行政〕	市が市民とともに国際化事業に取り組み、市民主体の国際交流事業の充実及び発展に資する。		
B.事業の意義・ メリット〔団体〕	行政が協会に事業を委託し実行するのは適当な形と思うが、行政の意志をどのように示すかが問題である。		
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 〔行政〕	特になし		
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 〔団体〕	個々の行事においては協会の実行委員会と事務局である政策室協働調整担当と話し合い、問題のないように調整している。実行上の問題点は特になかった。		

評価基準	1:まったくできなかった 2:良くできなかった 3:良くできた 4:大変良くできた
------	---

事業実施前についての質問		評価			
1	協働事業についての明確・具体的な目標を、両者で共有されていたと思いますか。(A.を確認して記入してください。)	1	2	3	④
質問の主旨 協働事業を行うにあたり、事前に市民のニーズや社会情勢を踏まえた明確かつ具体的な目標が設定され、その目標が両者の間で認識の相違なく共有されていたか。					
2	単独実施ではなく協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通認識していたと思いますか。(B.を確認して記入してください。)	1	2	③	4
質問の主旨 行政あるいは市民公益活動団体が単独で実施するのではなく、両者が協働で実施する。その意義(なぜ協働で行うのか)や協働で行うことで「より高い事業効果につながる」等のメリットが、お互いに認識の相違なく共有されたか。					
3	事前に役割分担は明確かつ適正に定められていましたか。	1	2	3	④
質問の主旨 事前に「行政が行う部分」と「市民公益活動団体が行う部分」といった役割、責任や事業費の分担が、十分な話し合いのもとに明確かつ適正に(契約書や協定書等で)定められ、共有されていたか。					

その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。	
行政	日常的に連絡を取り合うとともに、毎回理事会に出席をしている。目標や意義・メリットはお互いに共有できていると考える。役割等について書面での取り決めはないが、適宜役割分担を確認して行っている。
団体	Cで述べたとおり、担当間で細かく打ち合わせをし、行事の実施中でも問題の発生しないよう、実施している。

市民協働事業評価アンケート

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 事前に分担されたそれぞれの役割を、両者が責任を持って適切に遂行できたか。実際は一方だけがほとんどの部分を担っていたということがなかったか。					
5	事業実施中に意見交換や情報交換を十分に行うことができましたか。	1	2	3	④
質問の主旨 事業実施中に、事業の進捗状況や改善点等について意見交換や情報交換を十分に行うことができたか。					
6	事業実施中に発生した問題や修正すべき点に対し、連携して柔軟に対応できましたか。(C.を確認して記入してください。)	1	2	3	④
質問の主旨 事業実施中に、予定外の事態が発生したり事業計画を変更・修正しなければならなかった場合に、両者が連携して調整し、柔軟に対応することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	お互いの役割分担については適宜確認している。 日常的に連絡を取り合うとともに、毎回理事会に出席をしている。意見交換や情報交換は十分に行えていると考える。				
団体	特記事項なし。				

事業実施後についての質問		評価			
7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 協働事業を行うにあたり設定されていた目標に対する事業終了後の達成感について、両者が実感を共有できたか。					
8	協働事業として実施して、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 いくつかある事業形態の中から「行政と市民公益活動団体の協働」により事業を実施してみて、他の形態で実施するよりも効果が上がったと実感できたか。					
9	事業終了後に事業を振り返り、次回に活かすための話し合いの場を設け、十分に話し合うことができましたか。	1	2	③	4
質問の主旨 事業終了後に、お互いが今後の活動に活かすため事業の振り返りを行ったか。また、話し合いの場を設けてそれぞれの振り返りを共有し、検証・評価することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	行政のみで、多様な事業を行うことは不可能。国際交流協会の豊富な経験・人材があつてこそ成り立つ事業と考える。 理事会で事業報告が行われ、双方で振り返りを行っている。				
団体	特記事項なし。				

市民協働事業評価アンケート

事業全体を振り返っての質問		評価			
10	今回の協働事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨					
今回行った協働事業が受益者である市民にとって効果があったか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	毎年多くの市民の方に、ご参加いただき、国際交流協会の活動が着実に周知しつつあると感じている。初釜のつどいと日本語スピーチ大会は例年100人近くの参加者がある。				
団体	事業計画の各行事は、つつがなく行われた。特に年度末に行われた初釜、スピーチ大会、桜祭り等は内容を充実させ、出演者数、参加国数、行事の演目も従来以上に中身のあるものであった。				
自由意見記入欄 (市民協働に関するご意見を、ご自由にお書きください)					
行政					
団体	国際交流活動は粕江市として全体的、一元的に行うことが望ましいと思う。特に①外国人支援のあり方(通訳・翻訳体制の強化・充実)の検討。②具体的には日本語教室との一体的運営が考えられるのではなかろうか。				

市民協働事業評価アンケート

意見交換記入欄

(問題点・課題等を箇条書きで、ご自由にお書きください。)

- ・市内在住外国人参加者を増やすためにも、日本語教室と連携をとれないかどうか申し上げたところ、担当部署が違うこともあり、日本語教室との連携は難しいとの団体からの回答であった。
- ・今年度補助金要綱の見直しがある。
- ・ボランティアの団体であり、活動には限界がある。
- ・会員の活性化・増加に力を入れていく。
- ・他の国際交流協会ではイベントなどの事業というよりは、通訳・翻訳といった外国人支援に重点を置いている。協会でも協力できるよう努力していきたい。
- ・現在他の国際交流関係団体との交流がない。

市民協働事業評価アンケート

市の 担当部署	地域活性課	団体名	南部地域センター運営協議会
事業名	南部地域センター自主運営に関する協定〔協定事業〕		
実施期間	平成 21 年 4 月 1 日	～	平成 22 年 3 月 31 日
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔行政〕	地域住民の自発的なコミュニティ活動を助長する。		
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔団体〕	地域住民の自発的なコミュニティ活動の助長を図るための施設管理と運営		
B.事業の意義・ メリット〔行政〕	地域住民により組織された運営協議会に地域センターの自主運営を委託することにより、地域に即した活動を主体的に行うことが出来る。		
B.事業の意義・ メリット〔団体〕	地域住民の利用に対し、身近な運営ができる。		
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 〔行政〕	施設の維持管理において、団体からの改善要望等に対し、十分に対応できなかった。		
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 〔団体〕	建物の老朽化による緊急修繕が増えている。		

評価基準	1:まったくできなかった 2:良くできなかった 3:良くできた 4:大変良くできた
------	---

事業実施前についての質問		評価			
1	協働事業についての明確・具体的な目標を、両者で共有されていたと思いますか。(A.を確認して記入してください。)	1	2	③	4
質問の主旨 協働事業を行うにあたり、事前に市民のニーズや社会情勢を踏まえた明確かつ具体的な目標が設定され、その目標が両者の間で認識の相違なく共有されていたか。					
2	単独実施ではなく協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通認識していたと思いますか。(B.を確認して記入してください。)	1	2	③	4
質問の主旨 行政あるいは市民公益活動団体が単独で実施するのではなく、両者が協働で実施する。その意義(なぜ協働で行うのか)や協働で行うことで「より高い事業効果につながる」等のメリットが、お互いに認識の相違なく共有されたか。					
3	事前に役割分担は明確かつ適正に定められていましたか。	1	2	③	4
質問の主旨 事前に「行政が行う部分」と「市民公益活動団体が行う部分」といった役割、責任や事業費の分担が、十分な話し合いのもとに明確かつ適正に(契約書や協定書等で)定められ、共有されていたか。					

その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。

行政	事業の実施にあたっては、お互いの立場や役割を認識し共有していたと考えている。
団体	協働事業の主旨とは異なる内容があるため、同じ基準での評価が難しい。

市民協働事業評価アンケート

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 事前に分担されたそれぞれの役割を、両者が責任を持って適切に遂行できたか。実際は一方だけがほとんどの部分を担っていたということがなかったか。					
5	事業実施中に意見交換や情報交換を十分に行うことができましたか。	1	②	3	4
質問の主旨 事業実施中に、事業の進捗状況や改善点等について意見交換や情報交換を十分に行うことができたか。					
6	事業実施中に発生した問題や修正すべき点に対し、連携して柔軟に対応できましたか。(C.を確認して記入してください。)	1	2	③	4
質問の主旨 事業実施中に、予定外の事態が発生したり事業計画を変更・修正しなければならなくなった場合に、両者が連携して調整し、柔軟に対応することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	事業実施における施設管理については、施設修繕などに対し、予算額の限度があり団体からの改善要求に十分対応することが出来ない部分があった。				
団体	施設管理においては、大きな修繕など予算との関係で急な対応が難しいなどの課題も見受けられる。				

事業実施後についての質問		評価			
7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 協働事業を行うにあたり設定されていた目標に対する事業終了後の達成感について、両者が実感を共有できたか。					
8	協働事業として実施して、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	②	3	4
質問の主旨 いくつかある事業形態の中から「行政と市民公益活動団体の協働」により事業を実施してみて、他の形態で実施するよりも効果が上がったと実感できたか。					
9	事業終了後に事業を振り返り、次回に活かすための話し合いの場を設け、十分に話し合うことができましたか。	1	②	3	4
質問の主旨 事業終了後に、お互いが今後の活動に活かすため事業の振り返りを行ったか。また、話し合いの場を設けてそれぞれの振り返りを共有し、検証・評価することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	交換便等で双方行き来しているため、事業後次の年度に入ってもコミュニケーションは密になっていると思います。 しかし、施設の管理運営のため、事業終了後の達成感については、年度終了後すぐに次の年度が始まってしまいうため達成感があっても両者の実感を共有する機会がもう少しあったらと思いました。				
団体	特に事業内容等についての見直しなどは実施していない。				

市民協働事業評価アンケート

事業全体を振り返っての質問		評価			
10	今回の協働事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨					
今回行った協働事業が受益者である市民にとって効果があったか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	事業実施については、団体として非常に良く取り組んでいただきました。 周辺地域の状況や要望等に対しても、よく検討し対応していただき、地域の拠点としてコミュニティ活動を推進していただいたと考えています。				
団体					
自由意見記入欄 (市民協働に関するご意見を、ご自由にお書きください)					
行政					
団体	協働事業として推進を図る部分と委託事業としていくべき部分の区分が必要であると考えます。				

市民協働事業評価アンケート

意見交換記入欄

(問題点・課題等を箇条書きで、ご自由にお書きください。)

協定を結ぶ段階でお互いに共通認識が取れていたと思う。
他の地域センターとの打ち合わせの機会がもう少しあるといい。
修繕料の不足については、団体に昨今の難しい財政について理解をいただいた。
運営協議会の高齢化により、これから運営協議会のあり方が問われてくると思う。
若い世代の取り込みが課題になってくる。

市民協働事業評価アンケート

市の 担当部署	地域活性課	団体名	野川地域センター運営協議会
事業名	野川地域センター自主運営に関する協定〔協定事業〕		
実施期間	平成 21 年 4 月 1 日	～	平成 22 年 3 月 31 日
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔行政〕	地域住民の自発的なコミュニティ活動を助長する。		
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔団体〕	地域コミュニティ活動の推進及び円滑な管理運営		
B.事業の意義・ メリット〔行政〕	地域住民により組織された運営協議会に地域センターの自主運営を委託することにより、地域に即した活動を主体的に行うことが出来る。		
B.事業の意義・ メリット〔団体〕	活動団体の育成と推進		
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 〔行政〕	施設の維持管理において、団体からの改善要望等に対し、十分に対応できなかった。		
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 〔団体〕	協働事業者の高齢化		

評価基準	1:まったくできなかった 2:良くできなかった 3:良くできた 4:大変良くできた
------	---

事業実施前についての質問		評価			
1	協働事業についての明確・具体的な目標を、両者で共有されていたと思いますか。(A.を確認して記入してください。) 質問の主旨 協働事業を行うにあたり、事前に市民のニーズや社会情勢を踏まえた明確かつ具体的な目標が設定され、その目標が両者の間で認識の相違なく共有されていたか。	1	2	③	4
2	単独実施ではなく協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通認識していたと思いますか。(B.を確認して記入してください。) 質問の主旨 行政あるいは市民公益活動団体が単独で実施するのではなく、両者が協働で実施する。その意義(なぜ協働で行うのか)や協働で行うことで「より高い事業効果につながる」等のメリットが、お互いに認識の相違なく共有されたか。	1	2	③	4
3	事前に役割分担は明確かつ適正に定められていましたか。 質問の主旨 事前に「行政が行う部分」と「市民公益活動団体が行う部分」といった役割、責任や事業費の分担が、十分な話し合いのもとに明確かつ適正に(契約書や協定書等で)定められ、共有されていたか。	1	2	③	4

その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。

行政	事業の実施にあたっては、お互いの立場や役割を認識し共有していたと考えている。
団体	

市民協働事業評価アンケート

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 事前に分担されたそれぞれの役割を、両者が責任を持って適切に遂行できたか。実際は一方だけがほとんどの部分を担っていたということがなかったか。					
5	事業実施中に意見交換や情報交換を十分に行うことができましたか。	1	2	③	4
質問の主旨 事業実施中に、事業の進捗状況や改善点等について意見交換や情報交換を十分に行うことができたか。					
6	事業実施中に発生した問題や修正すべき点に対し、連携して柔軟に対応できましたか。(C.を確認して記入してください。)	1	2	③	4
質問の主旨 事業実施中に、予定外の事態が発生したり事業計画を変更・修正しなければならなかった場合に、両者が連携して調整し、柔軟に対応することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	事業実施における施設管理については、施設修繕などに対し、予算額の限度があり団体からの改善要求に十分対応することが出来ない部分があった。				
団体					
事業実施後についての質問		評価			
7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 協働事業を行うにあたり設定されていた目標に対する事業終了後の達成感について、両者が実感を共有できたか。					
8	協働事業として実施して、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 いくつかある事業形態の中から「行政と市民公益活動団体の協働」により事業を実施してみて、他の形態で実施するよりも効果が上がったと実感できたか。					
9	事業終了後に事業を振り返り、次回に活かすための話し合いの場を設け、十分に話し合うことができましたか。	1	2	③	4
質問の主旨 事業終了後に、お互いが今後の活動に活かすため事業の振り返りを行ったか。また、話し合いの場を設けてそれぞれの振り返りを共有し、検証・評価することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	交換便等で双方行き来しているため、事業後次の年度に入ってもコミュニケーションは密になっていると思います。 しかし、施設の管理運営のため、事業終了後の達成感については、年度終了後すぐに次の年度が始まってしまいうため達成感があっても両者の実感を共有する機会がもう少しあったらと思いました。				
団体					

市民協働事業評価アンケート

事業全体を振り返っての質問		評価			
10	今回の協働事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨					
今回行った協働事業が受益者である市民にとって効果があったか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	事業実施については、団体として非常に良く取り組んでいただきました。 周辺地域の状況や要望等に対しても、よく検討し対応していただき、地域の拠点としてコミュニティ活動を推進していただいたと考えています。				
団体					
自由意見記入欄 (市民協働に関するご意見を、ご自由にお書きください)					
行政					
団体	運営協議会は市からの委託事業であることから、市の協働事業としての関わりはなじまないのではないか。				

市民協働事業評価アンケート

意見交換記入欄

(問題点・課題等を箇条書きで、ご自由にお書きください。)

ほぼ委託の事業であるため、このアンケートの質問内容が実際の事業にあまり合わなかったと思います。
市側のCの問題点で挙げていた修繕料の不足については、団体側にもご理解いただいた。
利用者の高齢化により、下の世代の団体が育ってこないことが問題になってきている。
毎年度事業であるため、既存事業への取組で新たな取組を提案していくことが難しい。新たな取組の提案を考えたい。

運営協議会ごとの取組で地域センターのサービスに差が出ないようにしたい。

- ・野川地域センターは市の方針で児童センター的役割を担う施設となっているが、施設に集まる児童に対して指導ができない。
- ・学校との連携がない。
- ・施設管理上からの指導しかできない。
- ・利用者団体の高齢化に伴い、後継者不足から存続が困難な団体が出始めている。

市民協働事業評価アンケート

市の 担当部署	都市整備課	団体名	多摩川住宅【街づくり(地区計画)準備会】
事業名	地区まちづくり準備会(補助金事業)		
実施期間	平成 21 年 5 月 29 日	～	平成 22 年 3 月 31 日
A.事業の明確・ 具体的な目標 【行政】	多摩川住宅の「一団地の住宅施設」を見直し、住民発意の地区計画制度を活用した街づくりを推進するとともに、活動区域を住みよい活力のある地域にすることを目的とした、地区まちづくり協議会の設立を目指す。		
A.事業の明確・ 具体的な目標 【団体】	多摩川住宅の「一団地の住宅施設」を見直し、住民発意の地区計画制度を活用した街づくりを推進するとともに、活動区域を住みよい活力のある地域にすることを目的とした、地区まちづくり協議会の設立を目指す。		
B.事業の意義・ メリット【行政】	運営費の助成、専門家の派遣及び情報提供とともに、住民がまちづくりの計画段階から参加でき、100年先を見据えた多摩川住宅の望ましいまちづくりを協働で推進することができる。		
B.事業の意義・ メリット【団体】	運営費の助成、専門家の派遣及び情報提供とともに、住民がまちづくりの計画段階から参加でき、100年先を見据えた多摩川住宅の望ましいまちづくりを協働で推進することができる。		
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 【行政】	多摩川住宅は、狛江市と調布市にまたがる約3900戸という大規模な「一団地の住宅施設」に加え、商業施設、公共施設が混在しているため、問題の調整が困難である。		
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 【団体】	・多摩川住宅の計画と高さ制限などの市の規制及び計画との矛盾があった。 ・旧第四小学校について記載されている公共施設再編方針が、多摩川住宅には情報提供がなく、策定されてしまった。 ・調布市と狛江市にまたがるため、両市の助成金の申請方法及び助成金額の違いや温度差などから、両市の調整が難しかった。		

評価基準	1:まったくできなかった 2:良くできなかった 3:良くできた 4:大変良くできた
------	---

事業実施前についての質問		評価			
1	協働事業についての明確・具体的な目標を、両者で共有されていたと思いますか。(A.を確認して記入してください。)	1	2	3	④
質問の主旨 協働事業を行うにあたり、事前に市民のニーズや社会情勢を踏まえた明確かつ具体的な目標が設定され、その目標が両者の間で認識の相違なく共有されていたか。					
2	単独実施ではなく協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通認識していたと思いますか。(B.を確認して記入してください。)	1	2	③	4
質問の主旨 行政あるいは市民公益活動団体が単独で実施するのではなく、両者が協働で実施する。その意義(なぜ協働で行うのか)や協働で行うことで「より高い事業効果につながる」等のメリットが、お互いに認識の相違なく共有されたか。					
3	事前に役割分担は明確かつ適正に定められていましたか。	1	②	3	4
質問の主旨 事前に「行政が行う部分」と「市民公益活動団体が行う部分」といった役割、責任や事業費の分担が、十分な話し合いのもとに明確かつ適正に(契約書や協定書等で)定められ、共有されていたか。					

その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	地区まちづくり準備会に認定される前から、管理組合などで話し合いや勉強会が行われていたので、住民発意で事業は進められていた。ただし、役割分担については、明確に認識されていたとは言いがたい。				
団体	具体的な目標は意思統一が図れていたと感じるが、事業の役割分担は手探りの段階であった。継続中の事業であることから、現段階での評価とした。いずれは全て評価4としたい。				

市民協働事業評価アンケート

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 事前に分担されたそれぞれの役割を、両者が責任を持って適切に遂行できたか。実際は一方だけがほとんどの部分を担っていたということがなかったか。					
5	事業実施中に意見交換や情報交換を十分に行うことができましたか。	1	②	3	4
質問の主旨 事業実施中に、事業の進捗状況や改善点等について意見交換や情報交換を十分に行うことができたか。					
6	事業実施中に発生した問題や修正すべき点に対し、連携して柔軟に対応できましたか。(C.を確認して記入してください。)	1	2	③	4
質問の主旨 事業実施中に、予定外の事態が発生したり事業計画を変更・修正しなければならなかった場合に、両者が連携して調整し、柔軟に対応することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	当該団体主導により、総会、定例役員会、勉強会、説明会等の各会合を行い、協議会設立に向けて前進している。行政(狛江市・調布市)からは、助成金に加え、勉強会では、専門家を派遣するなどの支援を行った。				
団体	・狛江市の助成金交付が、事業終了後に交付するシステムであり、先に交付する調布市とは違い、事前に多額を負担しなければならなかった。 ・公共施設再編方針の情報提供がなかった。				
事業実施後についての質問		評価			
7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	2	3	4
質問の主旨 協働事業を行うにあたり設定されていた目標に対する事業終了後の達成感について、両者が実感を共有できたか。					
8	協働事業として実施して、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	2	3	4
質問の主旨 いくつかある事業形態の中から「行政と市民公益活動団体の協働」により事業を実施してみて、他の形態で実施するよりも効果が上がったと実感できたか。					
9	事業終了後に事業を振り返り、次回に活かすための話し合いの場を設け、十分に話し合うことができましたか。	1	2	3	4
質問の主旨 事業終了後に、お互いが今後の活動に活かすため事業の振り返りを行ったか。また、話し合いの場を設けてそれぞれの振り返りを共有し、検証・評価することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	目標は、地区まちづくり協議会設立であることから、目標達成までとはいかないが、様々な制度や法律があることについて、理解を深めたことは、今年度の目標達成として評価した。				
団体	・継続事業であるため、現段階での達成感や実感などは、平成21年度は評価をすることは困難である。事業終了後に全ての評価が4になるよう、努力したい。				

市民協働事業評価アンケート

事業全体を振り返っての質問		評価			
10	今回の協働事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	2	3	4
質問の主旨 今回行った協働事業が受益者である市民にとって効果があったか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	各種の支援を通して、住民主導で、総会、定例役員会、勉強会、説明会等の各会合の場で、意見交換などを行うことができ、協働のまちづくりに向け、前進した。				
団体	・継続事業であるため、現段階での評価をすることは困難である。事業終了後に評価が4になるよう、努力したい。 ・受益者は市民だけではなく、行政も受益者である。勿論、市民にとって、各種の支援を行っていただいたことは、効果があったが、行政側もこの支援を行うことによって、利益があるので、この質問に関しては疑義がある。				
自由意見記入欄 (市民協働に関するご意見を、ご自由にお書きください)					
行政	地区まちづくり準備会支援は、原則2ヵ年事業となっており、今年度だけで判断はできない。また、準備会は協議会設立のためにあることから、最終目標達成には時間を要する。 地元住民の意思を反映したまちづくりは、行政主導で行おうとすると、一方的なまちづくりとなりかねないため、助成金を含めた本制度によることが必要である。 住民主体でまちづくりを考えることは、当該目的を達成した後も、継続して地元住民同士のコミュニケーションを確立するために必要である。				
団体	・この事業が今後の団地再生のモデル事業となるように、まちづくりに関して、行政としても市民協働を進めていただきたい。				

市民協働事業評価アンケート

意見交換記入欄

(問題点・課題等を箇条書きで、ご自由にお書きください。)

- 狛江市と調布市にまたがる約3900戸の「一団地の住宅施設」であるため、住民等の意思統一が難しい。
- ・ 住民間や管理組合ごとに、建替えや大規模修繕など、考え方に温度差がある。
- ・ 分譲部分、東京都住宅供給公社の所有する賃貸部分、店舗、調布市・狛江市の公共施設等が混在しているため、問題の整理や調整が困難である。
- 都市計画法や建築基準法などの法律と各種の計画が絡んでいるため、問題の整理がしづらい。
- 理想論だけではなく、実質的な予算はどのくらい必要か、今後検討していくべきである。

- ・ 狛江市の多摩川住宅に対するビジョンを明確に示していただきたい。
- ・ 情報提供を確実に行っていただきたい。
- ・ 調布市と狛江市のこの事業に対する温度差を感じた。
- ・ 多摩川住宅にかかわらず、行政同士でのまちづくりに関しての話し合いを継続的に行っていただきたい。
- ・ 狛江市の助成金額を上げてほしい。

市民協働事業評価アンケート

市の 担当部署	福祉サービス支援室	団体名	社会福祉法人 足立邦栄会												
事業名	小規模作業所等新体系移行支援事業〔補助金事業〕														
実施期間	平成	21	年	4	月	1	日	～	平成	22	年	3	月	31	日
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔行政〕	障がい者の自立更生を促進するとともに、利用者等の負担の軽減を図ることを目的とする。小規模作業所等の事業を運営する社会福祉法人及び団体に対し、運営等に必要経費の一部を補助することにより、安定的な運営と地域社会における障がい者（児）の社会適応訓練の場を確保し、もって健全な市民生活の促進を図ることを目的とする。														
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔団体〕	障がいがあるために一般企業で働くことが困難な方に、働いたり活動したりする場を提供し、作業及び生活の支援を通して、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的とする。														
B.事業の意義・ メリット〔行政〕	この事業を実施することにより、障がい者の自立更生を促進するとともに、保護者の負担の軽減を図る効果が期待できる。														
B.事業の意義・ メリット〔団体〕	この事業を実施することにより、利用者を支援する職員（生活支援員）配置を増やすことができる。職員の配置増により、利用者に対しキメの細かな支援を実施することができ、利用者の自立更生を促進することができる。														
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 〔行政〕	特になし。														
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 〔団体〕	特になし														
評価基準	1:まったくできなかった 2:良くできなかった 3:良くできた 4:大変良くできた														
↓															
事業実施前についての質問										評価					
1	協働事業についての明確・具体的な目標を、両者で共有されていたと思いますか。（A.を確認して記入してください。）										1	2	③	4	
質問の主旨 協働事業を行うにあたり、事前に市民のニーズや社会情勢を踏まえた明確かつ具体的な目標が設定され、その目標が両者の間で認識の相違なく共有されていたか。															
2	単独実施ではなく協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通認識していたと思いますか。（B.を確認して記入してください。）										1	2	③	4	
質問の主旨 行政あるいは市民公益活動団体が単独で実施するのではなく、両者が協働で実施する。その意義（なぜ協働で行うのか）や協働で行うことで「より高い事業効果につながる」等のメリットが、お互いに認識の相違なく共有されたか。															
3	事前に役割分担は明確かつ適正に定められていましたか。										1	2	3	④	
質問の主旨 事前に「行政が行う部分」と「市民公益活動団体が行う部分」といった役割、責任や事業費の分担が、十分な話し合いのもとに明確かつ適正に（契約書や協定書等で）定められ、共有されていたか。															
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。															
行政	本事業においては、事業者との協働というよりも、市が運営費を補助し、団体が事業を運営するという要素が大きく、その意味では役割分担については明確に行われていた。														
団体	実施内容・方法等についての事前の協議・周知がなされていたので、混乱なく事業を実施することができた。														

市民協働事業評価アンケート

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 事前に分担されたそれぞれの役割を、両者が責任を持って適切に遂行できたか。実際は一方だけがほとんどの部分を担っていたということがなかったか。					
5	事業実施中に意見交換や情報交換を十分に行うことができましたか。	1	②	3	4
質問の主旨 事業実施中に、事業の進捗状況や改善点等について意見交換や情報交換を十分に行うことができたか。					
6	事業実施中に発生した問題や修正すべき点に対し、連携して柔軟に対応できましたか。(C.を確認して記入してください。)	1	2	3	4
質問の主旨 事業実施中に、予定外の事態が発生したり事業計画を変更・修正しなければならなかった場合に、両者が連携して調整し、柔軟に対応することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	役割分担が明確であったので、各々の業務を的確に遂行できた反面、意見交換や、情報交換を行う機会は少なく、事務的な連絡に留まることが多かった。				
団体	事業実施中に市との意見や情報の交換ができると良かった。				
事業実施後についての質問		評価			
7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 協働事業を行うにあたり設定されていた目標に対する事業終了後の達成感について、両者が実感を共有できたか。					
8	協働事業として実施して、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 いくつかある事業形態の中から「行政と市民公益活動団体の協働」により事業を実施してみて、他の形態で実施するよりも効果が上がったと実感できたか。					
9	事業終了後に事業を振り返り、次回に活かすための話し合いの場を設け、十分に話し合うことができましたか。	1	②	3	4
質問の主旨 事業終了後に、お互いが今後の活動に活かすため事業の振り返りを行ったか。また、話し合いの場を設けてそれぞれの振り返りを共有し、検証・評価することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	市が運営費を補助することで生活支援員の増員につながり、利用者へのきめ細かな支援で自立更生の促進をすることができたことは、団体が単独で実施するよりも大いに効果があったといえる。しかし、事業終了後にお互いを振り返り、次年度への課題を共有する機会は少なかった。				
団体	事業実施後、課題や評価について、事業完了後速やかに意見交換できればよかった。				

市民協働事業評価アンケート

事業全体を振り返っての質問		評価			
10	今回の協働事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨					
今回行った協働事業が受益者である市民にとって効果があったか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	市の補助を受け、人員配置を確保できたことで、地域のイベントへの参加が可能となり、利用者と市民の両者の交流を広げることができた。				
団体	事業の実施により、市民である利用者の支援の幅を広げることができた。また職員の配置増により、地域のイベント・展示などに参加することができ、市民のみなさまへの事業の紹介や地域交流をすることができた。				

自由意見記入欄 (市民協働に関するご意見を、ご自由にお書きください)	
行政	
団体	

市民協働事業評価アンケート

意見交換記入欄

(問題点・課題等を箇条書きで、ご自由にお書きください。)

- 市と事業者の役割分担が明確であった反面、事業実施中、実施後の情報交換、課題を探る話し合いに欠ける面が見られたため、今後はより綿密な連絡・調整を図る必要がある。
- 21年度は事業実施中に特に問題や修正点は発生しなかったが、万が一問題が発生した場合の協議の場を速やかに設置できるよう、危機管理意識をもつ必要がある。
- ・事業実施中の綿密な連絡・調整や、事業実施後の課題等の整理のための協議を市と行なえば良かった。
- ・事業実施中に特に問題は起きなかったが、問題が発生した場合の協議の場を速やかに設定できるようにしたい。

市民協働事業評価アンケート

市の 担当部署	福祉サービス支援室	団体名	障害者団体連絡協議会
事業名	ふれあいサロン夢運営事業〔補助金事業〕		
実施期間	平成 21 年 4 月 1 日	～	平成 22 年 3 月 31 日
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔行政〕	主に、障がいのある人の就労と訓練、社会参加、市民交流の場として、あいとぴあセンターの軽食喫茶と売店等を総合的に運営し、市民の皆さまへのサービスを提供する。		
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔団体〕	主に、障がいのある人の就労と訓練、社会参加、市民交流の場として、あいとぴあセンターの軽食喫茶と売店等を総合的に運営し、市民の皆さまへのサービスを提供する。		
B.事業の意義・ メリット〔行政〕	障がいのある人が、障がいの違う人たちと共に働くことで学びあい、市民の皆さまとふれ合う中で、経験を積み重ねて、地域でいきいきと暮らせるようになる。		
B.事業の意義・ メリット〔団体〕	上記の目標を遂げる中で、地域福祉に役立ち、資源としての質を高めていくことができる。		
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 〔行政〕	特にない。		
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 〔団体〕	通常の運営の上では大きな問題はなかったと言えるが、更に福祉資源として展開しようとする時、行政との情報の共有、展望への意欲に落差があり、事業単独でしか動けなかった。		
評価基準	1:まったくできなかった 2:良くできなかった 3:良くできた 4:大変良くできた		
事業実施前についての質問		評価	
1	協働事業についての明確・具体的な目標を、両者で共有されていたと思いますか。(A.を確認して記入してください。)	1	2 ③ 4
質問の主旨 協働事業を行うにあたり、事前に市民のニーズや社会情勢を踏まえた明確かつ具体的な目標が設定され、その目標が両者の間で認識の相違なく共有されていたか。			
2	単独実施ではなく協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通認識していたと思いますか。(B.を確認して記入してください。)	1	2 ③ 4
質問の主旨 行政あるいは市民公益活動団体が単独で実施するのではなく、両者が協働で実施する。その意義(なぜ協働で行うのか)や協働で行うことで「より高い事業効果につながる」等のメリットが、お互いに認識の相違なく共有されたか。			
3	事前に役割分担は明確かつ適正に定められていましたか。	1	2 ③ 4
質問の主旨 事前に「行政が行う部分」と「市民公益活動団体が行う部分」といった役割、責任や事業費の分担が、十分な話し合いのもとに明確かつ適正に(契約書や協定書等で)定められ、共有されていたか。			
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。			
行政	事業の目標や意義など、それぞれは持っているが、それを共通の認識として確認したり共有するという機会はなかった。(しかし、このアンケート実施に際し、意見交換をしてみて共通の認識も持っていたことが明らかになった。)		
団体	一通りの認識は共有されていたと思うが、その認識から行政としての努力・協働の動きは低調だったと思う。まだまだ資源として活かしていけるかもしれない事業への働きかけ等が放置されていた。行政と市民活動の歩調が揃ってこそ、協働の成果があるのであって、市が先走りを恐れるあまり、施策として見えてこないのでは、市民活動は活性化しない。		

市民協働事業評価アンケート

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 事前に分担されたそれぞれの役割を、両者が責任を持って適切に遂行できたか。実際は一方だけがほとんどの部分を担っていたということがなかったか。					
5	事業実施中に意見交換や情報交換を十分に行うことができましたか。	1	②	3	4
質問の主旨 事業実施中に、事業の進捗状況や改善点等について意見交換や情報交換を十分に行うことができたか。					
6	事業実施中に発生した問題や修正すべき点に対し、連携して柔軟に対応できましたか。(C.を確認して記入してください。)	1	②	3	4
質問の主旨 事業実施中に、予定外の事態が発生したり事業計画を変更・修正しなければならなかった場合に、両者が連携して調整し、柔軟に対応することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	行政の役割として、運営費を補助することだけであるならば、それぞれの役割は適切に遂行できたと思うが、この事業を通して、粕江市としての障がい者の就労支援について検討していくことも役割の一つとするならば、行政側は十分に遂行できたとは思えない。団体との意見交換・情報交換などを行いながら、協働で取り組む姿勢が求められていると感じる。				
団体	事業としては、手を休めることなく実施してきたが、行政担当者の交代ごとに情報交換することなく、14年安定継続していることで見過ごされてきたと言える。				
事業実施後についての質問		評価			
7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 協働事業を行うにあたり設定されていた目標に対する事業終了後の達成感について、両者が実感を共有できたか。					
8	協働事業として実施して、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 いくつかある事業形態の中から「行政と市民公益活動団体の協働」により事業を実施してみて、他の形態で実施するよりも効果が上がったと実感できたか。					
9	事業終了後に事業を振り返り、次回に活かすための話し合いの場を設け、十分に話し合うことができましたか。	1	②	3	4
質問の主旨 事業終了後に、お互いが今後の活動に活かすため事業の振り返りを行ったか。また、話し合いの場を設けてそれぞれの振り返りを共有し、検証・評価することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	障がい者を受け入れる企業が少ない粕江市の中で、唯一三障がい(知的・身体・精神障がい)を持つ方々が共に働ける場としてのこの事業の役割は重要で、目標を達成できていると思う。事業の振り返り、話し合いについては充分ではなかったと感じている。				
団体	障がい福祉が切り口の事業ではあるが、受益者又は関わるという視点でみると、福祉全体に関わる事業である点から、単体であるよりは市の政策との協働、多様な連携体制の作りやすさ等、効果を感じる。				

市民協働事業評価アンケート

事業全体を振り返っての質問		評価			
10	今回の協働事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨					
今回行った協働事業が受益者である市民にとって効果があったか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	軽食喫茶を利用される方も多く、市民にとっても効果があったと思われる。				
団体	充分いろいろな市民に、それぞれのニーズによって利用されている。				
自由意見記入欄 (市民協働に関するご意見を、ご自由にお書きください)					
行政	この事業の運営補助を通して、市の他の事業である「障がい者の日」行事などでも、障害者団体連絡協議会と共催で行事を行い、多大なご協力を得ている。協働で事業を行う際に、連携がスムーズに図れる点で良好な関係が築けていると感じている。				
団体	障がいのある人だけで働くのが、その就労とは限らない。例えば、市産の品物の販売、関わる人も中高年・主婦等全てを巻き込んだ事業展開等、福祉サービスの視点からではなく、「地域ですべての人が生きる」ことをコンセプトに、政策として雇用創出、商工・農業の活性化、地域振興の視点で、プロジェクトを組んだ事業がほしい。地域にそうした枠組みがあってこそ、障がいのある人も、高齢者も若者も全ての人がそれぞれのできる力をその事業の場に注ぐことができるだろう。				

市民協働事業評価アンケート

意見交換記入欄

(問題点・課題等を箇条書きで、ご自由にお書きください。)

・狛江市の障がい者への就労支援という観点で、もっと大きな視野で考えていかなければいけないということを感じた。

1. 狛江市の規模で、就労支援事業、特例子会社等が期待しにくい。

これを補うものが必要と考えられるが、行政の意向は？ 夢は、まず一步として出発した事業であるが、知的・精神の作業所に関連する人たちに対応しているに過ぎない。それ以外の人たちや、またもっと仕事量が可能な人たちの働く場が市内に必要。

2. 国・都費の利用を活発にする必要がある。

予算が少ないのは狛江市に限ったことではない。狛江市では、国・都費、その他の助成金等について、行政から助言が得られたことは皆無。他地区では、これはどう？これをやってみないか？と行政とのやりとりが活発。アンテナがない。

3. 三角地の件

何故活かそうとしないのか。何故消そうとするのか？

市民協働事業評価アンケート

市の 担当部署											団体名										
事業名																					
実施期間	平成		年		月		日	～	平成		年		月		日						
A.事業の明確・ 具体的な目標																					
B.事業の意義・ メリット																					
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等																					

評価基準	1:まったくできなかった	2:良くできなかった	3:良くできた	4:大変良くできた
------	--------------	------------	---------	-----------

事業実施前についての質問		評価			
1	協働事業についての明確・具体的な目標を、両者で共有されていたと思いますか。(A.を確認して記入してください。)	1	2	3	4
質問の主旨					
協働事業を行うにあたり、事前に市民のニーズや社会情勢を踏まえた明確かつ具体的な目標が設定され、その目標が両者の間で認識の相違なく共有されていたか。					
2	単独実施ではなく、協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通の認識をしていたと思いますか。(B.を確認して記入してください。)	1	2	3	4
質問の主旨					
行政あるいは市民公益活動団体が単独で実施するのではなく、両者が協働で実施する。その意義(なぜ協働で行うのか)や、協働で行うことで「より高い事業効果につながる」等のメリットが、お互いに認識の相違なく共有されていたか。					
3	事前に役割分担は明確かつ適正に定められていましたか。	1	2	3	4
質問の主旨					
事前に「行政が行う部分」と「市民公益活動団体が行う部分」といった役割、責任や事業費の分担が、十分な話し合いのもとに明確かつ適正に(契約書や協定書等で)定められ、共有されていたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	2	3	4
質問の主旨					
事前に分担されたそれぞれの役割を、両者が責任を持って適切に遂行できたか。実際は一方だけがほとんどの部分を担っていたということがなかったか。					
5	事業実施中に意見交換や情報交換を十分に行うことができましたか。	1	2	3	4
質問の主旨					
事業実施中に、事業の進捗状況や改善点等について意見交換や情報交換を十分に行うことができたか。					
6	事業実施中に発生した問題や修正すべき点に対し、連携して柔軟に対応できましたか。(C.を確認して記入してください。)	1	2	3	4
質問の主旨					
事業実施中に、予定外の事態が発生したり事業計画を変更・修正しなければならなくなった場合に、両者が連携して調整し、柔軟に対応することができたか。					

市民協働事業評価アンケート

その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。

事業実施後についての質問

評価

7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	2	3	4
	質問の主旨				
	協働事業を行うにあたり設定されていた目標に対する事業終了後の達成感について、両者が実感を共有できたか。				
8	協働事業として実施して、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	2	3	4
	質問の主旨				
	いくつかある事業形態の中から「行政と市民公益活動団体の協働」により事業を実施してみて、他の形態で実施するよりも効果が上がったと実感できたか。				
9	事業終了後に事業を振り返り、次回に活かすための話し合いの場を設け、十分に話し合うことができましたか。	1	2	3	4
	質問の主旨				
	事業終了後に、お互いが今後の活動に活かすため事業の振り返りを行ったか。また、話し合いの場を設けてそれぞれの振り返りを共有し、検証・評価することができたか。				

その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。

事業全体を振り返っての質問

評価

10	今回の協働事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	2	3	4
	質問の主旨				
	今回行った協働事業が受益者である市民にとって効果があったか。				

その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。

自由意見記入欄

(市民協働に関するご意見を、ご自由にお書きください)

市民協働事業評価アンケート

意見交換記入欄

(問題点・課題等を箇条書きで、ご自由にお書きください。)